SHARP

AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル　シー　ディーエックス
LC-52DX1
エル　シー　ディーエックス
LC-46DX1
エル　シー　ディーエックス
LC-42DX1
エル　シー　ディーエックス
LC-37DX1

テレビ台などは別売りです。

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・再生
予約録画
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(9ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

- キーワードは、知りたい内容をもくじから探すときに便利です。
  お使いいただく上で、特に大切な用語（キーワード）は太字にしています。
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、
  実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いてLC-52DX1を例にとって説明しています。LC-46DX1、LC-42DX1、LC-37DX1は外形寸法などは異なりますが、使いかたは同じです。

はじめに

キーワード　ページ

テレビを見るための準備

詳しいもくじは……**25**ページ

キーワード　ページ

テレビを見る

詳しいもくじは …… 71ページ

次のページに続く

本機に内蔵のBD（ブルーレイディスク）レコーダー機能で録画･再生する

詳しいもくじは・・・**103**ページ

キーワード　ページ

※本書では、「BD（ブルーレイディスク）レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

レコーダー･プレーヤー･パソコンなどをつなぐ

詳しいもくじは ･･････････ **149**ページ

ビデオデッキやハードディスク･DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画･再生する

次のページに続く

AQUOSレコーダーで録画・再生する（ファミリンク機能を使う）

ゲームやパソコンをつなぐ

本機の機能を活かした使いかた

詳しいもくじは ････････ **175**ページ

故障かな？と思ったら／こんなときは

詳しいもくじは ･･････････ **189**ページ

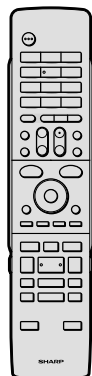
故障かな？と思ったら

こんなときは

● 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（ ▶ **209**ページ）

付属品の使いかた

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

本機を操作する

リモコン×1

リモコン用乾電池
（単3形乾電池×2）

※アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて使います。
▶44ページ

取扱説明書など

取扱説明書（本書）×1※　かんたん!!ガイド×1※

保証書×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

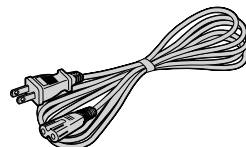
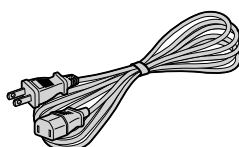
アンテナとつなぐ

VHF/UHF用アンテナケーブル（4m）×1

地上デジタル放送、地上アナログ放送を
見る場合につなぎます。 ▶36〜39ページ

電源コンセントとつなぐ

LC-52DX1／LC-46DX1／LC-42DX1

電源コード（4m）×1※

本機に電源を供給します。
▶41ページ

LC-37DX1

電源コード（4m）×1※

本機に電源を供給します。
▶23ページ

※ 付属の電源コードはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

転倒を防ぐ（台・壁・柱などに固定）

LC-52DX1／LC-46DX1

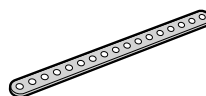
固定金具×2　固定金具取付けネジ×4

台などに固定するときに使います。▶43ページ

クランプ×2　クランプ取付けネジ×2

市販のひもと金具を使い、壁や柱に
固定するときに使います。▶42ページ

LC-42DX1／LC-37DX1

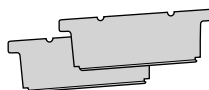
固定バンド×1　固定バンド取付けネジ×1

台などに固定するときに使います。▶43ページ

クランプ×2　クランプ取付けネジ×2

市販のひもと金具を使い、壁や柱に
固定するときに使います。▶42ページ

保護カバーをつける（スタンドをはずした場合のみ）

LC-52DX1／LC-46DX1

保護カバー×2（同じ形状）

LC-42DX1

保護カバー×2（左右1枚ずつ）

壁掛け設置などスタンドをはずして設置する場合は、底面の穴をふさぎます。▶227ページ

デジタル放送を見る

B-CASカード×1

デジタル放送を見る
ときに使います。
▶32ページ

- B-CASカードはB-CASパンフレットの袋の中の台紙についています。（同梱箱をご確認ください。）
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

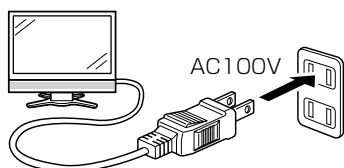
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

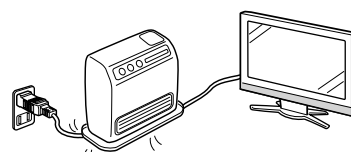
記号は、しなければならないことを表しています。

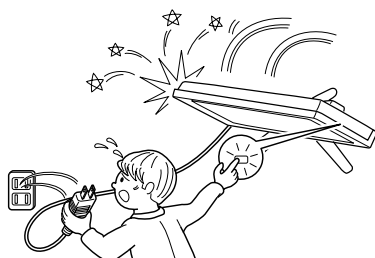
警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

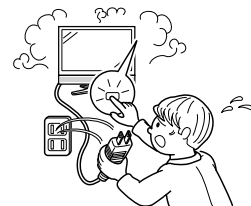
100ボルト以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

次のページに続く

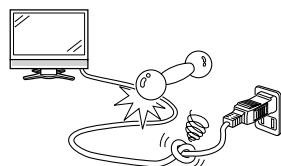
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

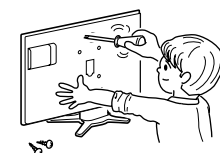
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）や、ディスク挿入口などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

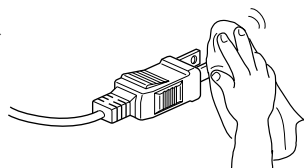
分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

風呂やシャワー室では使用しない

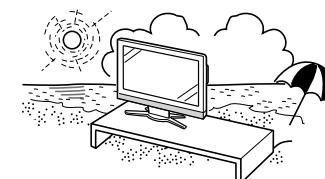
風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

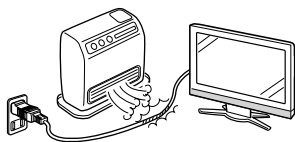
接触禁止

感電の原因となります。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

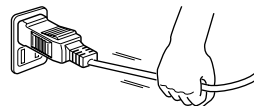
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 注意

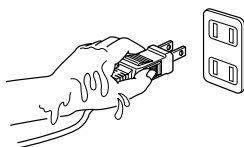
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

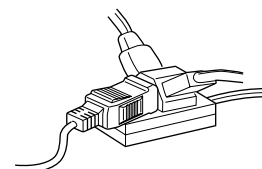
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

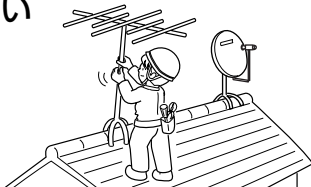
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

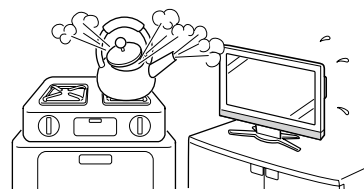
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

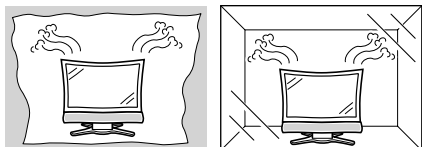
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

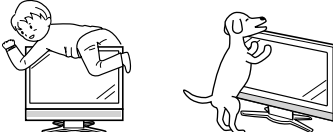
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

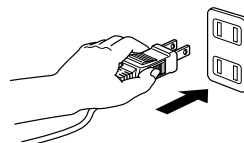
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

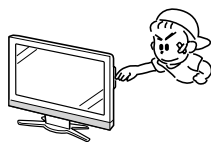
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

次のページに続く

⚠ 注意

ディスク挿入口に手を入れない

小さなお子さまがディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

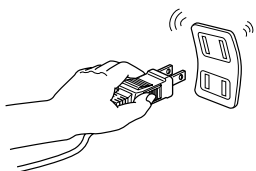
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

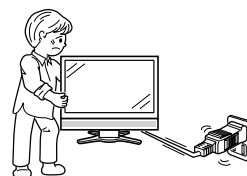
飛び散ってけがの原因となることがあります。BDユニットの故障の原因にもなり、ディスクが取り出せなくなります。

⚠ 注意

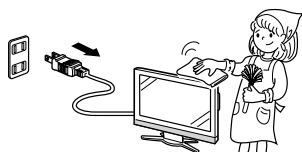
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

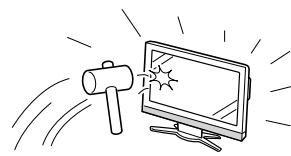
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

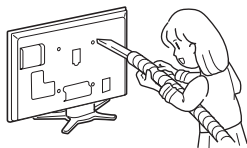
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

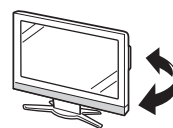
禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く 内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下ややけがの原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。
  このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

免責事項 **お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**

次のページに続く

アルカリ電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

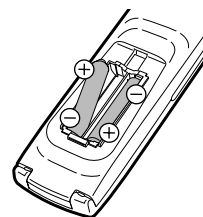
⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

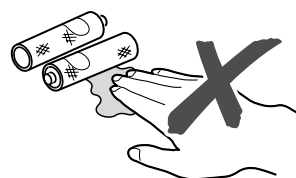
禁止

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

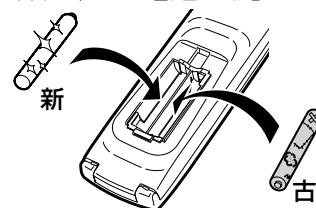
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

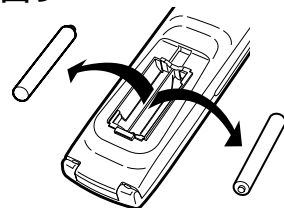
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

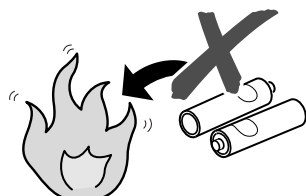
指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

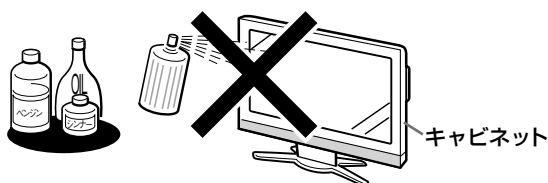
禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

保存のしかた：⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた：⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたしたネルなどの布をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

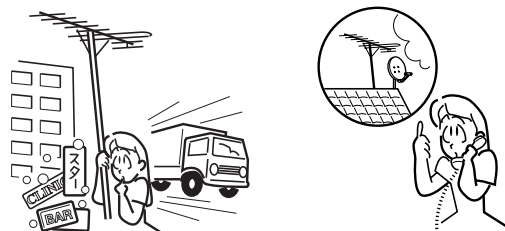
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

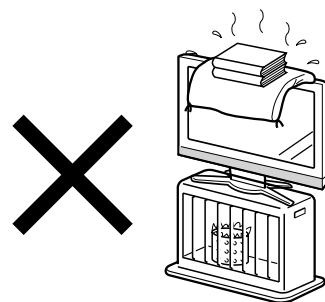
- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOSクリーニングクロス
推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS·110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(▶**37**〜**39**ページ)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

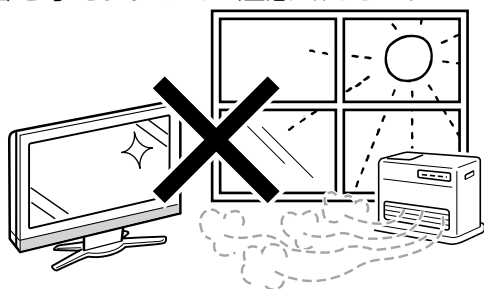
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

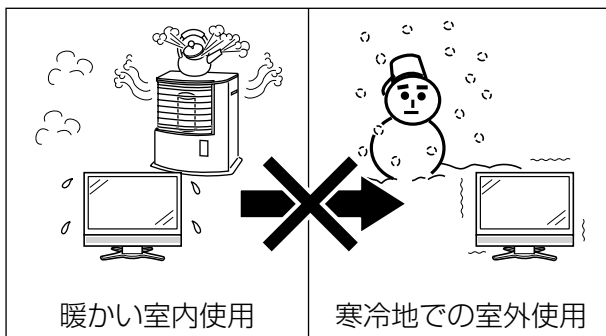
次のページに続く

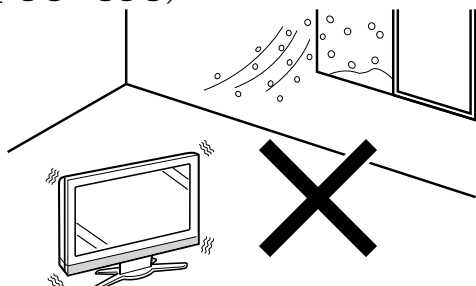
守っていただきたいこと

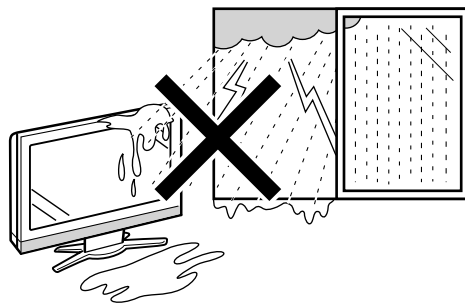
直射日光・熱気は避けてください

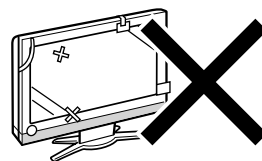
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

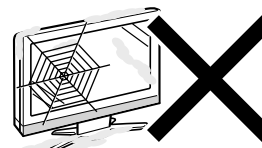
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

暖かい室内使用	寒冷地での室外使用

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障、ディスクが録画・再生できない原因となります。(使用温度:5℃~35℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

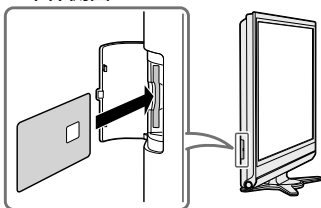
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

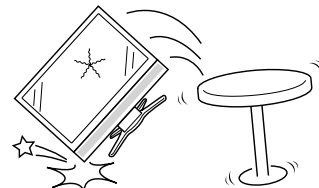
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

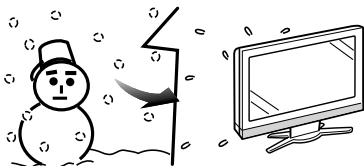
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

- 周囲温度は5℃～35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 壁掛け金具を使用される場合は、傾けて設置せず垂直になるよう設置してください。BDユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

● 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

画面が暗くなったり、チラついたときは（蛍光管について）

● 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

● ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

次のページに続く

守っていただきたいこと

引っ越しや輸送のときは

・ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

使用温度について

・室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

磁気について

・本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

ディスクを入れるときは

・ディスク挿入口にディスクを入れるときは、無理に入れないでください。既にディスクが入っているときにもう１枚挿入しようとすると、故障の原因になります。

壁掛け設置をするときは

・ディスクを取り出してから設置してください。また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

重要　必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は**........ 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。

■ **録画（録音）内容の補償はできません**........ 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ **著作権について**............... あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

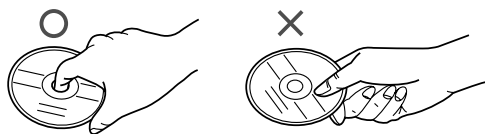
■ **録画防止機能について**.... 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

■ **保証について**................... 本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ **再生の制限について**........ 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク(BD･DVD･CD)の取り扱いはていねいに

- 記録面(再生面)には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク(BD･DVD･CD)のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買いあげの販売店またはお客様相談センター（▶**211**ページ）にご依頼ください。

録画中に停電になったときは

- 録画中に停電になったときは、録画の内容が損なわれることがあります。また、BDが使用できなくなる場合があります。

ディスク(BD･DVD･CD)の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき(結露)」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと

ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

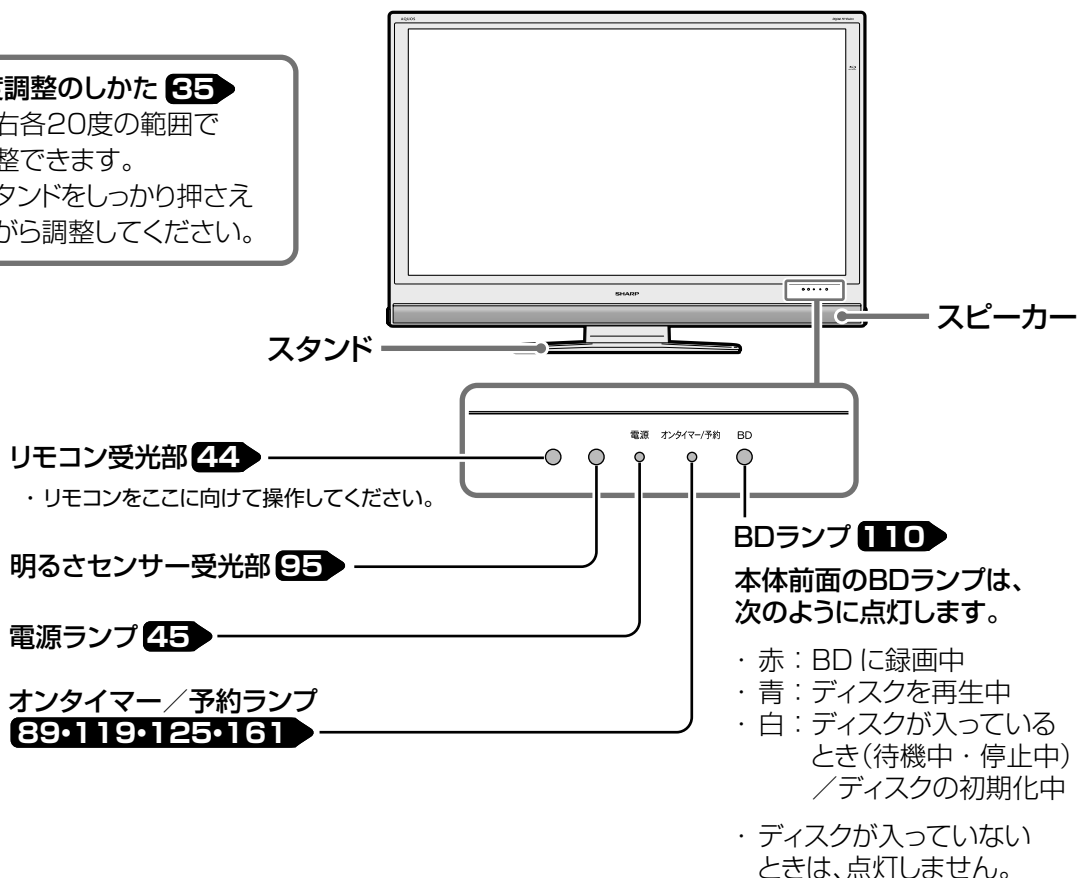
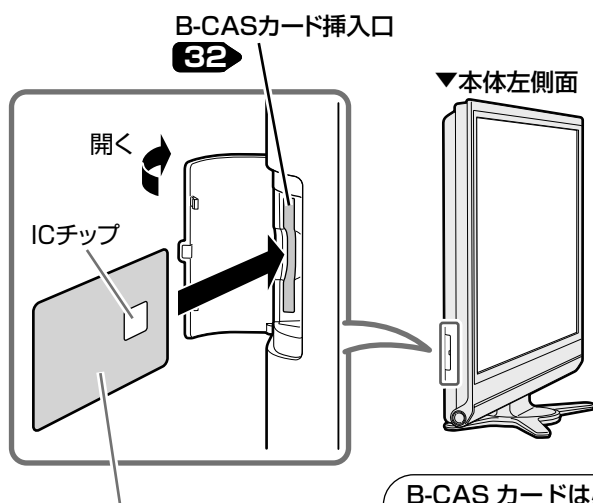
特殊なCDについて

- 特殊形状(ハート形や六角形など)のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

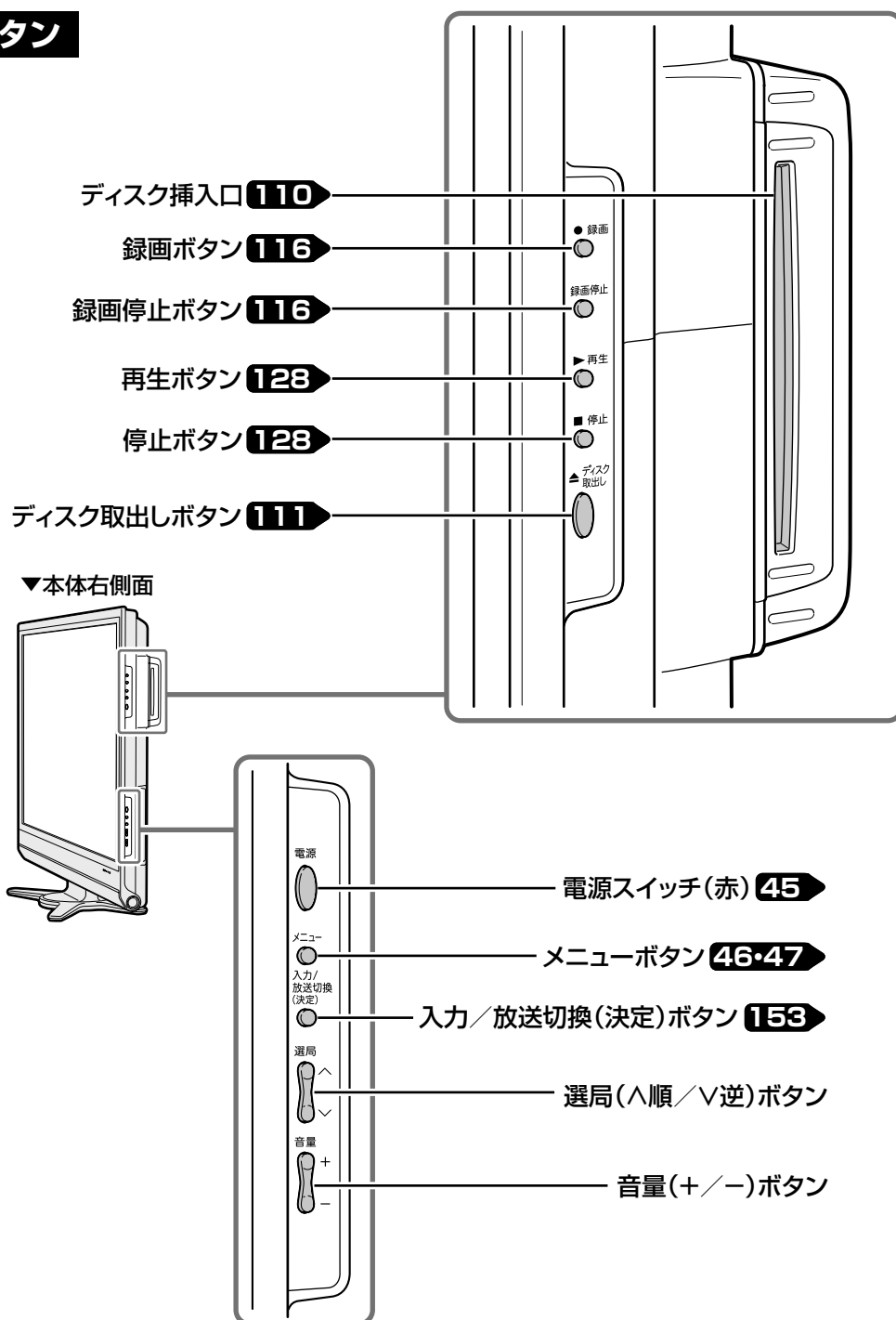
本体

・ ■ の中の数字は、詳しい説明を掲載しているおもなページです。

前面

側面

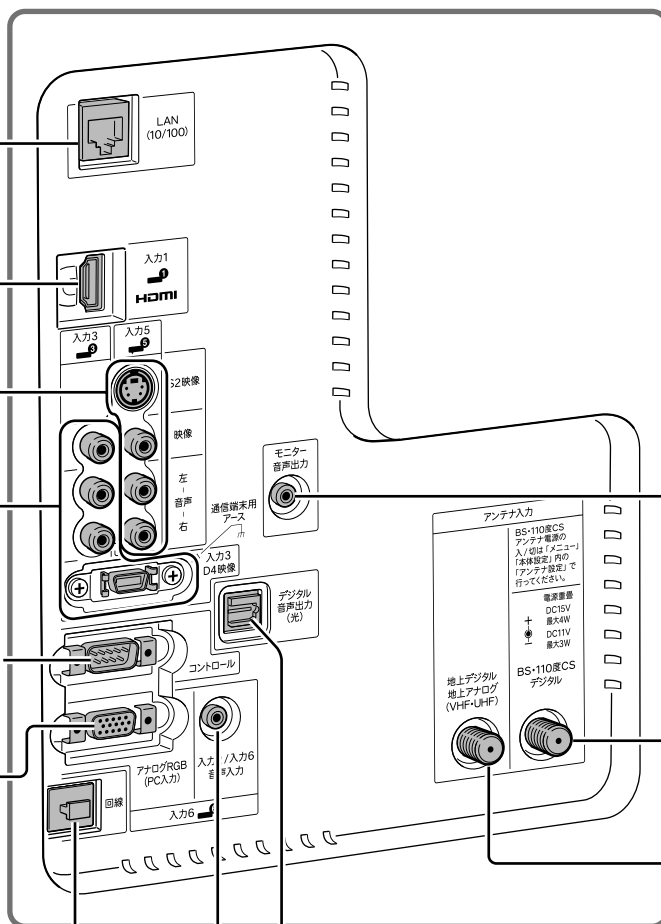
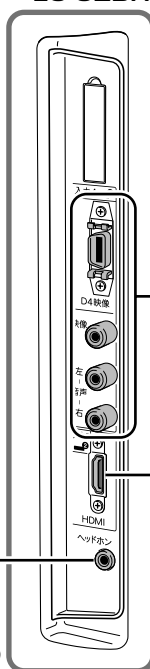
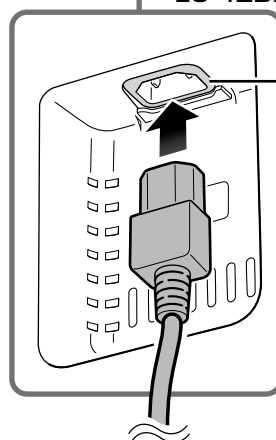
操作ボタン

次のページに続く

背面

• LC-52DX1 を例に説明していますが、LC-46DX1 や LC-42DX1、LC-37DX1 も端子の配置はほぼ同じです。

▼LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1

▼LC-52DX1

ヘッドホン端子
・ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
・ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。
（ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える▶**102**ページ）
・入力ごとに別々の音量に設定できます。

ヘッドホンの音量表示

▼LC-37DX1
電源入力
(AC100V)端子
41
電源コードを
接続する
・付属の電源コードは
イラストと異なる
場合がありますが、
支障ありません。
AQUOS
▼LC-46DX1/
LC-42DX1/
LC-37DX1
入力2(HDMI)
150〜151・152・
157・166・170
入力4 150〜151・166
外部機器を一時的に
つなぐのに便利
ヘッドホン端子
・詳しくは、22ページを
ご覧ください。
▼LC-52DX1/
LC-46DX1/
LC-42DX1
電源入力
(AC100V)端子
41
電源コードを
接続する
・付属の電源コードはイラストと異なる
場合がありますが、支障ありません。

リモコンのボタン

・本書の操作説明で記載しているボタンのイラストは、基本的にこのリモコンのものです。

番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは▶72ページをご覧ください。

電源を入／切する……45
選局する……73
・各種設定の数字入力にも使用します。
放送の種類を切り換える…72
・初めてCSチャンネルを選ぶときは……51
連動データ放送を見る……76•88•136
音を一時的に消す……73
・消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調整してください。
音量を調整する……73
番組表を表示する…78•80
番組表から予約録画する……118•161
メニューを消す
操作を終了する……46
・メニューや電子番組表を消したり操作を中止したいときなどに使うと便利です。
裏番組表を表示する……79
画面にチャンネル番号などを表示する……74
BDディスクに録画した番組を再生する……128
再生中に、早送りや早戻しなどの操作をする‥134～135

番組情報を見る……87
入力を切り換える……153
順／逆で選局する……73
・地上デジタル放送は選局の順番を変更できます。(変更のしかた74)
・工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。(解除のしかた67)
BDディスクに録画した番組の一覧を見る……129
ディスクのトップメニューを表示する……131
カーソルボタンで選ぶ……46
決定する……46
1つ前の画面に戻る……46
カラーボタンで番組表の機能を使う……80～81
・連動データ放送画面の操作にも使用します。……88
BDの状態を見る……124
BDのポップアップメニューやDVDのディスクメニューを表示する……131
録画モニター……117
見ている番組をBDに録画する……116
録画を止める……116

電源
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換　地上D　BS　CS　地上A
データ連動　番組情報　消音　音量　選局　入力切換
番組表　予約　録画リスト　トップメニュー
決定　終了　戻る
青　赤　緑　黄
画面表示　裏番組　BD状態（ポップアップメニュー）
早戻し　再生　早送り　前　次　一時停止　10秒戻し　30秒送り　停止
●録画　録画停止

フタ内のボタン　フタ両側の突起部( )を持ち、引き上げます。

AVポジションを選ぶ……93
音声を切り換える……84•85•136
映像を切り換える‥85•137
字幕を表示する(切り換える)……85•136
お好み選局／登録をする……75
画面を静止する……86
視聴メニューを表示する‥138
タイマーで電源を切る‥204

画面サイズを選ぶ‥91•172
メニューを表示する……46
テレビ／データを切り換える……72
CATV放送を選局する‥76
3桁入力で選局する……75
ディスクを取り出す……111
ファミリンク……160•162～165
・ファミリンク対応の録画機器などを操作します。

AVポジション　画面サイズ　メニュー
音声切換　映像切換　字幕　テレビ/データ
お好み選局/登録　静止　CATV　3桁入力
ディスク　取出し　オフタイマー　視聴メニュー
レコーダー電源　早戻し　再生　早送り
機能選択　●録画　録画停止　停止
ファミリンク(外部専用)

テレビを見るための準備

ページ

ページ

デジタル放送を受信するための豆知識

放送を受信するために

どんな放送を受信できるの？

● 放送には地上の放送と衛星の放送があります。本機では、次の放送を受信することができます。

☆ 地上の放送局から受信する放送

• 地上デジタル放送
• 地上アナログ放送
（地上アナログ放送は2011年放送終了）

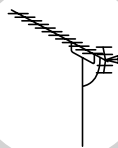
☆ 放送衛星から受信する放送

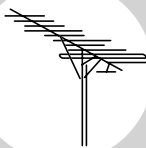
• BSデジタル放送
• 110度CSデジタル放送

• 本機では、「地上アナログ放送」「地上デジタル放送」「BS デジタル放送」「110 度 CS デジタル放送」の４つの放送を受信できます。
• これらの放送を受信するためには、専用のアンテナが必要です。

どんなアンテナが必要なの？

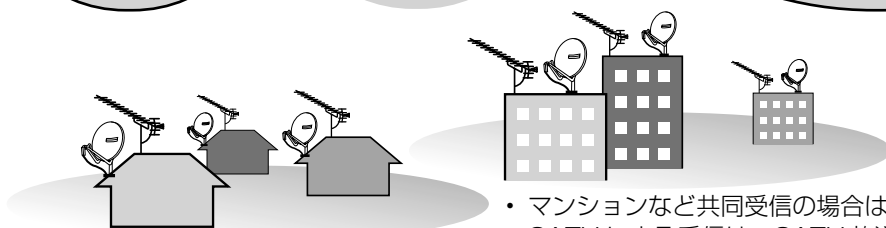
☆ 地上の放送を受信するためのアンテナ

UHFアンテナ

• 地上デジタル放送を受信できます。

VHFアンテナ

• 地上アナログ放送のみ受信できます。**地上デジタル放送は受信できません。**

☆ 衛星放送を受信するためのアンテナ

BS･110度CS共用アンテナ

• BSデジタル放送も110度CSデジタル放送も、このアンテナで受信できます。
※ 他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。

• マンションなど共同受信の場合は管理者へご確認ください。
• CATV による受信は、CATV 放送会社にご確認ください。

従来の放送（アナログ放送）との違い

デジタル放送って何が違うの？

● アナログ放送とデジタル放送では、放送のしくみが違います。

☆ アナログ放送の場合

☆ デジタル放送の場合

・映像などをそのまま信号にして送ります。

・映像などの信号を数字データ（デジタルデータ）に変換し、暗号に置き換えて送ります。

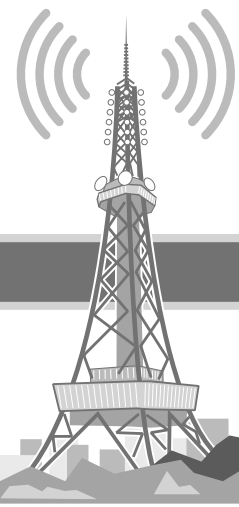
● テレビは受信した信号をそのまま映像にして表示します。受信環境が悪ければ、その分画質も悪くなります。

● 受信した暗号はB-CASカードで解読し、デジタル放送対応テレビが数字データを映像などに戻して、画面に表示します。

・デジタル放送は数字データを正しく受信できれば、常に一定の画質で表示されます。画質は劣化しません。ただし、受信できないときは何も映りません。
・デジタル放送は数字データを整理し圧縮してから送信するので、アナログ放送よりはるかに多い情報量を送信できます。

B-CAS（ビーキャス）カードを差し込んでおくのはなぜ？

● デジタル放送の画質は常に一定で劣化することはありません。これは、デジタル方式で録画やダビングする場合も同じです。このため、放送局は数字データを暗号に置き換え、録画やダビングできる回数に制限をかけて送信しています。この暗号はテレビでは解読できないようになっていて、B-CAS カードが暗号を解く鍵の役割をしています。

・デジタル放送※を見るには、B-CAS カードをテレビに差し込んでおく必要があります。
※有料放送は、視聴契約をしないと視聴や録画ができません。

本機：デジタル放送受信機について

デジタル放送の特長を生かした機能

- デジタル放送は原理的には信号を数字に置き換えて送信するしくみなので、膨大な情報を圧縮して整理し、送信することができます。
  アナログ放送ではできなかったデジタル放送の特長を生かした放送サービスが追加されています。

☆ 電子番組表

- 録画したい番組や見たい番組を予約できます。

電子番組表（例）

☆ 地域別の情報送信

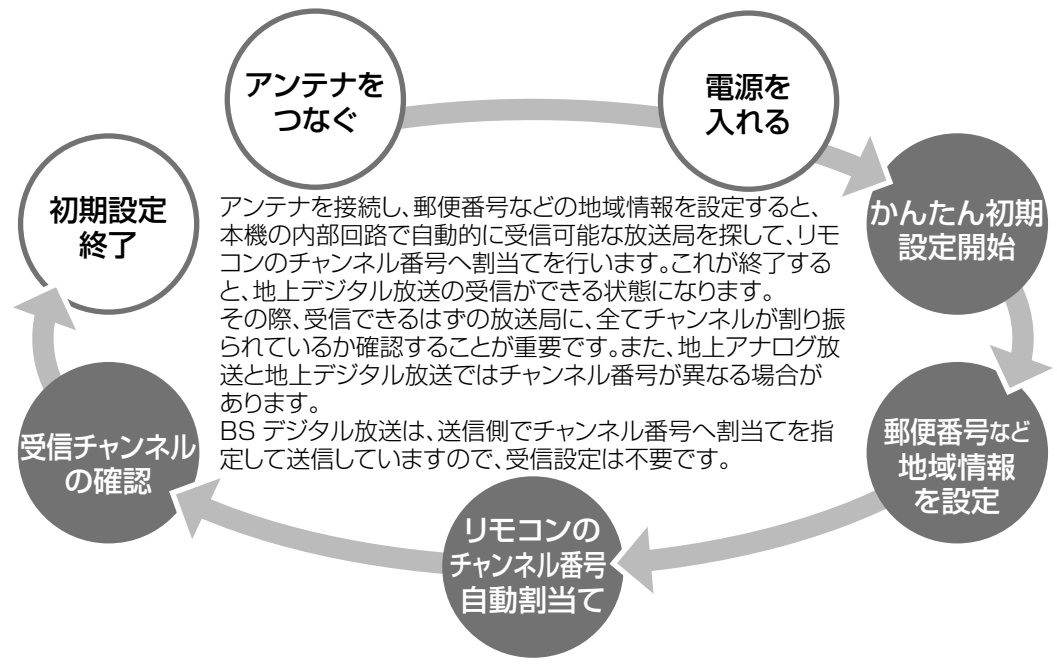
- 連動データ放送では地域別の情報を送信しています。

連動データ放送（例）

・これらの機能を使うために、地域設定、郵便番号入力（▶ **48•54** ページ）が必要になります。

かんたん初期設定とは

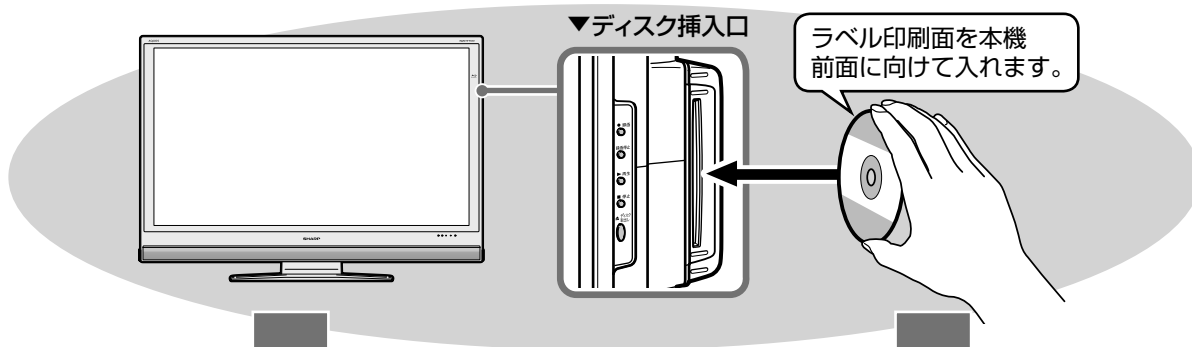
アンテナをつなぐ → 電源を入れる → かんたん初期設定開始 → 郵便番号など地域情報を設定 → リモコンのチャンネル番号自動割当て → 受信チャンネルの確認 → 初期設定終了

アンテナを接続し、郵便番号などの地域情報を設定すると、本機の内部回路で自動的に受信可能な放送局を探して、リモコンのチャンネル番号へ割当てを行います。これが終了すると、地上デジタル放送の受信ができる状態になります。
その際、受信できるはずの放送局に、全てチャンネルが割り振られているか確認することが重要です。また、地上アナログ放送と地上デジタル放送ではチャンネル番号が異なる場合があります。
BS デジタル放送は、送信側でチャンネル番号へ割当てを指定して送信していますので、受信設定は不要です。

ハイビジョン放送を録画するには

BD ディスクを入れて、デジタル放送の番組を録画する

- 録画画質「標準（DR)」で録画すれば、放送内容に合わせて HD（ハイビジョン画質）や SD（標準画質）で録画されます。
- 録画画質「2 倍」「3 倍」「5 倍」で録画すると、圧縮したハイビジョン画質で長時間録画することができます。

☆ BD ディスクの準備

- 本機の電源を入れて、録画用の BD ディスク（BD-RE Ver. 2.1 ／ BD-R Ver. 1.1、Ver. 1.2、Ver. 1.2 LTH、Ver. 1.3※）を挿入します。（※ BD-R Ver. 1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。2008 年 10 月現在発売はされていません。）

☆ すぐに録画する

① 録画したい番組を選びます。

・

や

で選びます。

② リモコンフタ上の ●録画 を押して録画します。

・番組の最後まで録画が続きます。

☆ 予約録画する（らくらく一発予約）

① 番組表 予約 を押して電子番組表を表示します。

② 予約録画したい番組を選びます。

・予約した時刻で録画されます。

録画した番組を再生する（▶ 128 ページ）

録画ができていない？

こんなときは ▶ 194・202 ページ

テレビを見る準備をする（電源を入れるまで）

準備のながれ

● 以下の順番で、本機の準備をします。

デジタル放送を受信するための豆知識／デジタル放送の種類と特長について ▶26〜31ページ
- デジタル放送についてお知りになりたい場合にご覧ください。

B-CASカードを挿入する・登録する ▶32ページ
- 電源を入れる前にB-CASカードを挿入してください。

本機を置く場所を決める ▶35ページ
- 設置や接続に別売品を使う場合は、「別売品について」をご覧ください。（▶219ページ）

アンテナのつなぎかた ▶36〜39ページ
- テレビだけをつなぐ場合
- 録画機器もつなぐ場合

外部機器の映像（DVDやビデオテープなど）を見るためのつなぎかた ▶40ページ

電源コードをつなぐ／ケーブルやコードをまとめる ▶41ページ

本機を固定して転倒を防ぐ ▶42ページ

電源を入れる ▶44・45ページ
- リモコンに乾電池を入れます。
- 本機の電源を入れます。

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について ▶48ページ

デジタル放送の種類と特長について

● 本機では、従来の地上アナログ放送に加え、次の 3 種類のデジタル放送を受信できます。

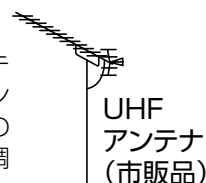
地上デジタル放送

2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送**
- **天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**

重　要

- 受信には、UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

UHF アンテナ（市販品）

地上デジタル放送の CATV 放送対応について
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）
- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス
- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を予約録画していた場合、自動的に追従します。

緊急警報放送
- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

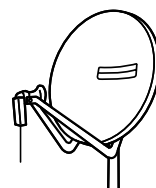
マルチビューサービス
- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。リモコンフタ内の映像切換ボタンで切り換えます。

重　要

- **アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**
- デジタル放送を受信するには、本機に B-CAS カードを入れてください（▶ **32** ページ）。
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。
  ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。
- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

BS デジタル放送	110 度 CS デジタル放送
放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。一部有料放送やNHKを除き、無料で楽しめます。	BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー!e2」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルと視聴契約する必要があります。
• 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質 **• 視聴者参加型の双方向通信番組** **• 2種類のデータ放送(独立データ放送・番組に連動したデータ放送)**	**• テーマ別に専門化した多数のチャンネル** **• 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能** **• ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能**
重　要 • 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。 BS・110度CSデジタル共用アンテナ(市販品)	重　要 • 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。** BS・110度CSデジタル共用アンテナ(市販品)

降雨対応放送（BS のみ）

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。リモコンフタ内の映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

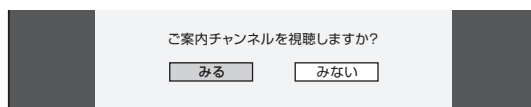
ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

110度ＣＳデジタル放送の専用サービス

ご案内チャンネルの表示

- 未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

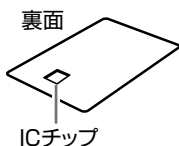
（画面例）

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（スカパー！ e2）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（▶ **208** ページ）

（画面例）

B-CAS（ビー キャス）カードを挿入する・登録する

B-CASカードを挿入する（B-CASカードの役割について）

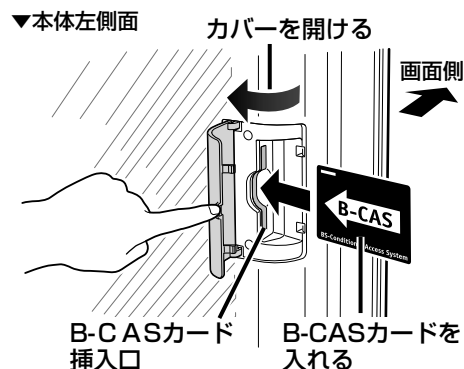
- デジタル放送（地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送）を楽しむために、B-CAS（ビーキャス）カードを本体に必ず入れてください。B-CASカードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CASカードは、視聴情報などが記憶されますので常に本体に入れておいてください。

重要

B-CASカードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- ICチップには触れない
- 分解、加工しない

1 B-CASカードの台紙の内容を読み、同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

- B-CASカードはB-CASパンフレットの袋の中の台紙についています。（同梱箱をご確認ください。）
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

2 本体左側面の挿入口カバーを開けて、B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

3 カバーを閉める

重要

- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。

おしらせ

万一、B-CASカードを抜く場合は

- 本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CASカードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

- 破損などによりB-CASカードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。（連絡先はカードに記載されています。）
- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（▶ **186** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CASカードが正しく挿入されているか確認できます。

B-CAS カードを登録（任意で無料）する

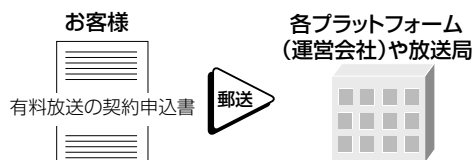
● **B-CAS カードの登録をおすすめします。（任意登録で無料）**

ユーザー登録について

- 「ユーザー登録はがき」または B-CAS 社ホームページ [http://www.b-cas.co.jp] のどちらか一方で、必要事項を記入の上、登録してください。
  Ⓐ B-CAS カードの台紙の登録用はがきに必要事項を記入し、郵送する

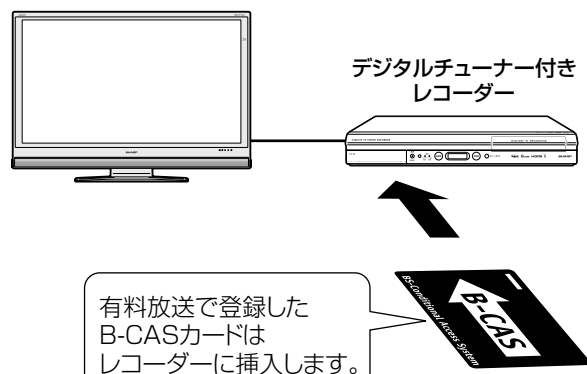
  Ⓑ インターネットの次のサイトで登録する
  http://www.b-cas.co.jp
- スカパー !e2、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

WOWOW や スカパー!e2などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー !e2 などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送してください。（インターネットで申し込める場合もあります。）

本機の BD レコーダー機能で有料放送を録画する場合には

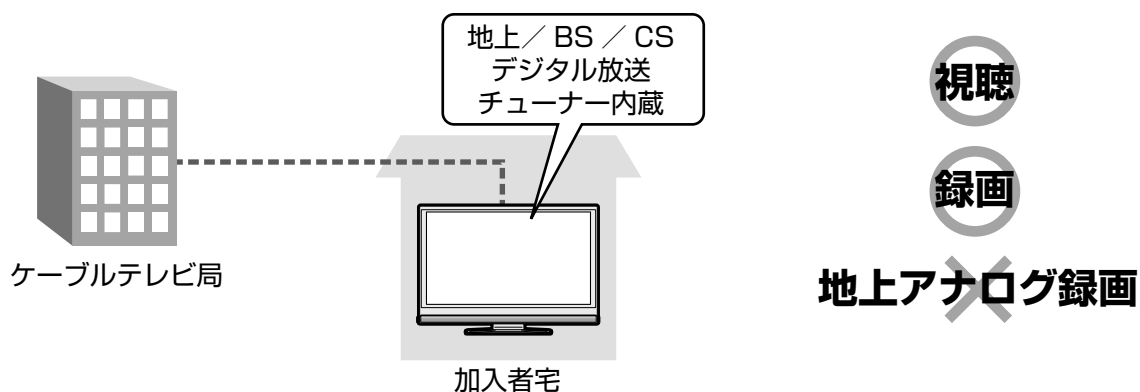
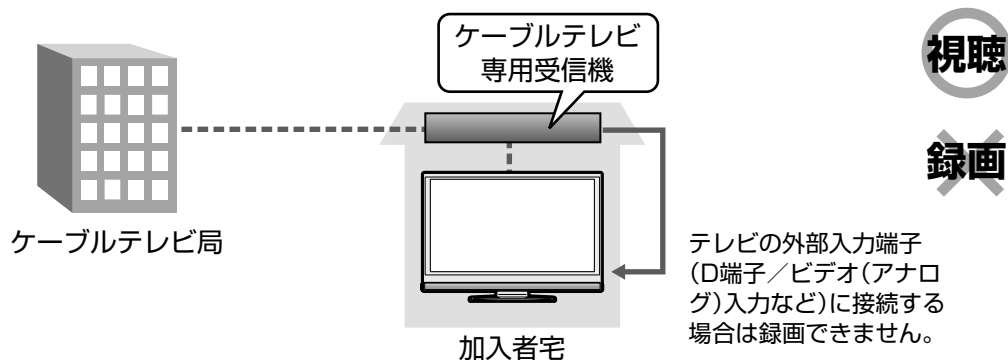
- 本機の BD レコーダー機能で有料放送を録画する場合には、本機に付属している B-CAS カードを有料放送の受信契約時に登録し、本機に挿入してください。

お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

- デジタルチューナー付きレコーダーを使って有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていることをご確認ください。受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていないと有料放送を録画することはできません。（本機の BD レコーダー機能で有料放送を録画する場合には、前項をご覧ください。）

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

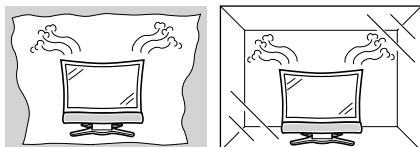
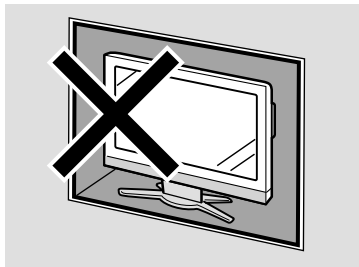
ケーブルテレビ(CATV)によるデジタル放送受信世帯のお客様へのご案内

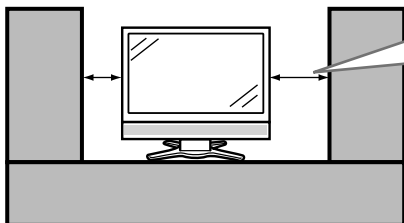
- ブルーレイ内蔵アクオス（DX シリーズ）は、放送の受信環境によって本機で録画できない場合があります。
- ケーブルテレビ会社の専用受信機の受信機能や、CATV 放送のサービス方式についての詳しいことは、ご加入のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

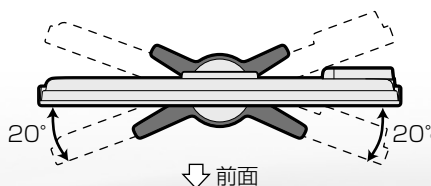
ケーブルテレビ（CATV）を受信している場合の視聴・録画の条件（例）

本機を置く場所を決める

● 以下のような設置のしかたをしないでください。

- 風通しの悪いところに置かない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度や湿度が高い場所や温度が低い場所には、設置しない（使用温度 5℃～ 35℃）

禁止

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどをしないでください。

● 設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 左側は 10cm、右側は 15cm 以上スペースを空けてください。左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、メニューの視聴環境設定や音声調整で調整してください。
  また、本体の右側にはディスクの挿入・取り出しのためのスペースも必要となりますのでご注意ください。

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用して固定しておいてください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネット部を強く押さないでください。

角度調整のしかた

スタンド下部 (図の濃い色の部分）を片方の手でしっかりと押さえながら、本体を回転させます。左右各20度の範囲内で調整できます。

重 要

- **本機を傾けて使用することはできません。**傾けて使用するとBDユニットが傾き、正常な再生･録画ができません。

おしらせ

別売品を使って設置することもできます。

- 別売の壁掛け金具に取り付けてご使用になれます。（▶ **219** ページ）
  壁に掛けてお使いになる場合は、スタンドをはずし（▶ **224・225** ページ）、壁掛け金具を使って設置してください。（▶ **226・227** ページ）

アンテナのつなぎかた（テレビだけをつなぐ場合）

● 録画機器もつなぐ場合は、「アンテナのつなぎかた（レコーダー（録画機器）もつなぐ場合）」（▶ **38**・**39** ページ）をご覧ください。

地上デジタル・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

● 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。
● BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も見る場合は、「BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ」（▶ **37** ページ）をご覧ください。
● 一部、追加の部品が必要になる場合があります。販売店にご相談ください。

VHFアンテナ
UHFアンテナ
地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

壁のアンテナ端子

VHF/UHF
または
どちらか一方

VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）

端子部の突き出たネジ込み式の
使用をおすすめします。

このタイプの端子は使用しないで、金属シールドタイプの周波数帯域に対応したものに交換することをおすすめします。

VHF
またはUHF

平行フィーダー線（市販品）
VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）
アンテナ整合器（市販品）

VHFとUHF

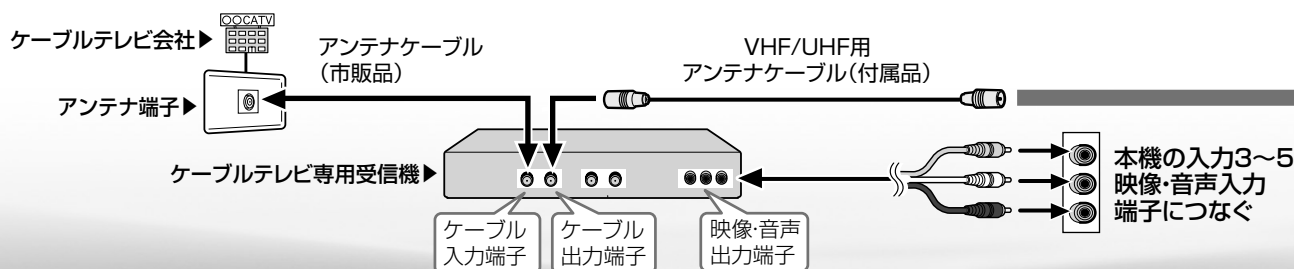
U/V混合器（市販品）
VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）
平行フィーダー線（市販品）

VHF/UHF
または
どちらか一方

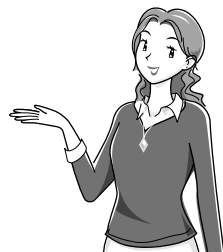
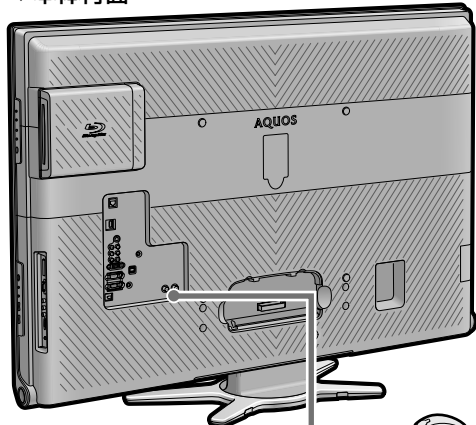
同軸ケーブル（市販品）

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF・UHF）へ

ケーブルテレビを見るときは

● 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。
● CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（▶ **56** ページ）で再送信している場合は、本機のチューナーで地上デジタル放送が楽しめます。
・本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド(MID:C13〜C22)帯」、「スーパーハイバンド(SHB: C23〜C62)帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できますが、本機では録画できません。(▶**34**ページ)

放送の種類により以下のアンテナが必要です。
地上デジタル放送……………………………▶UHFアンテナ
BSデジタル／110度CSデジタル放送 ……▶BS・110度CSデジタル共用アンテナ

▼本体背面

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF・UHF）

アンテナ入力
BS・110度
CSデジタル

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

▶アンテナ端子部

地上デジタル
地上アナログ
（VHF・UHF）

BS・110度CS
デジタル

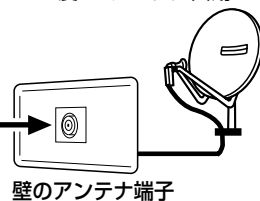
録画機器をつなぐ場合のアンテナのつなぎかたは…
▶次ページをご覧ください。

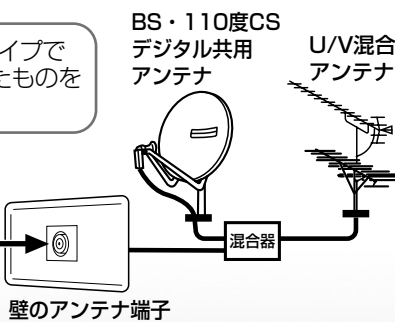
BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ

- ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。
- かんたん初期設定では、「BS/CS アンテナ設定」で「する」を選択します。（▶ **49** ページの手順 **5** ）

おしらせ

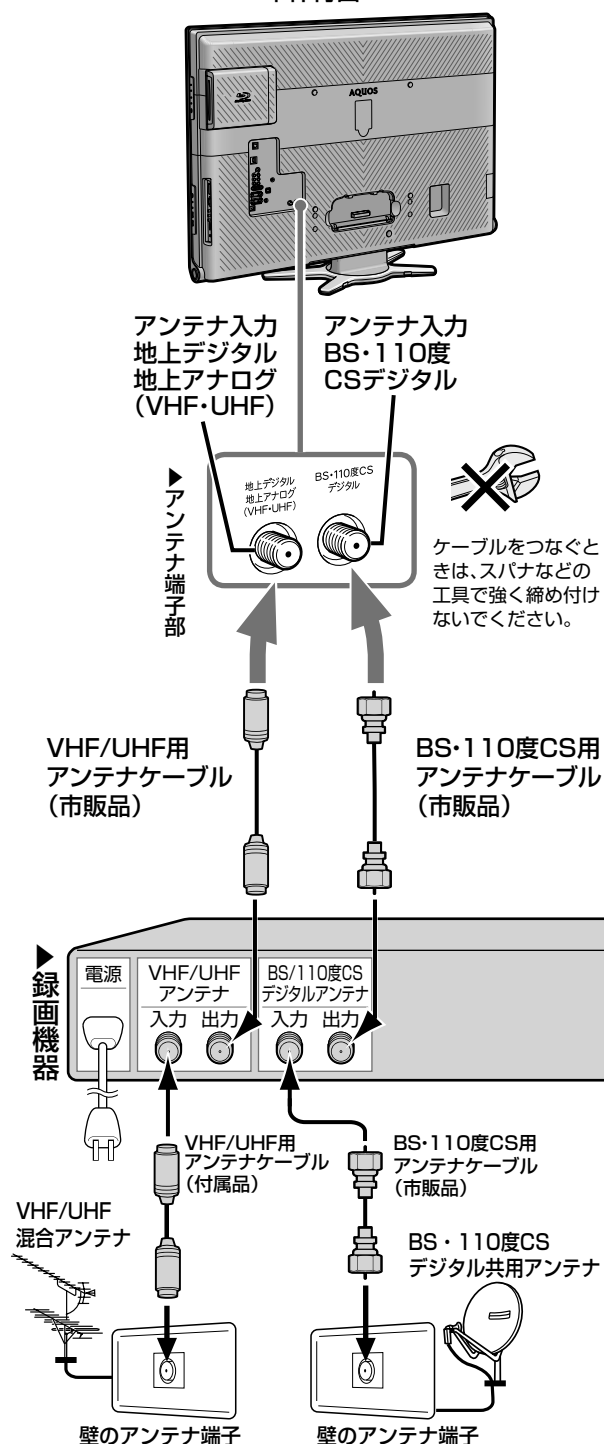
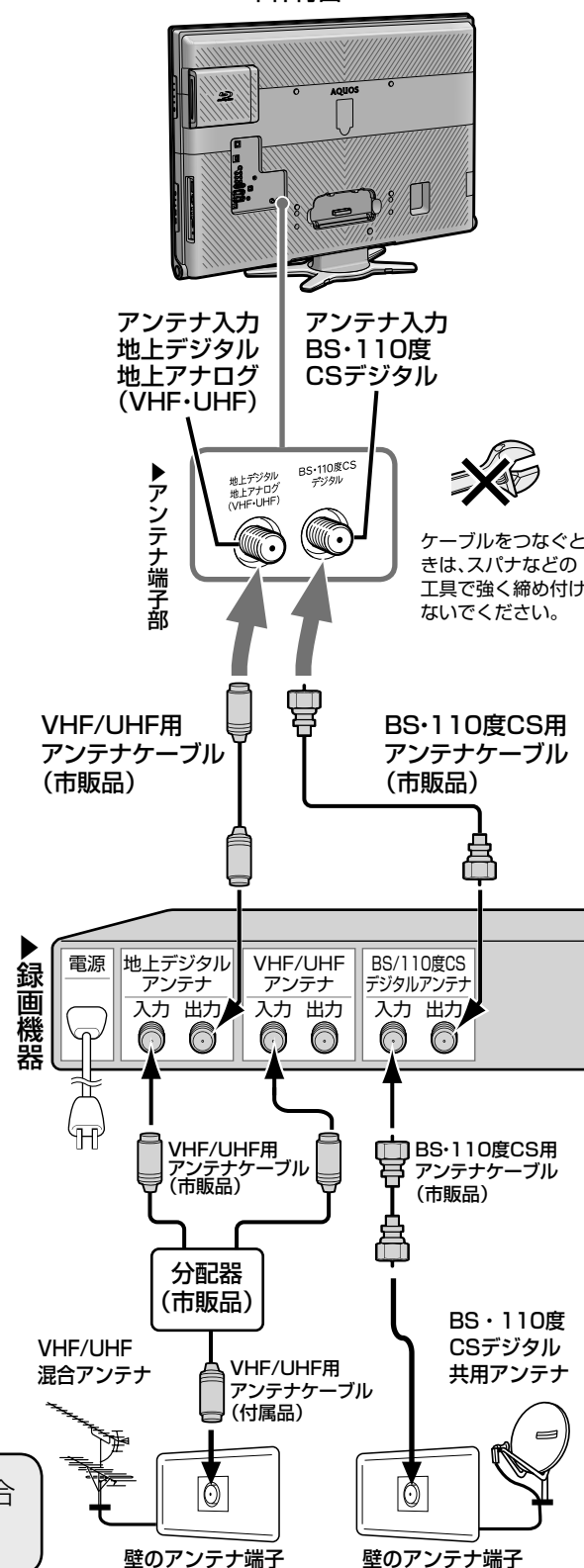
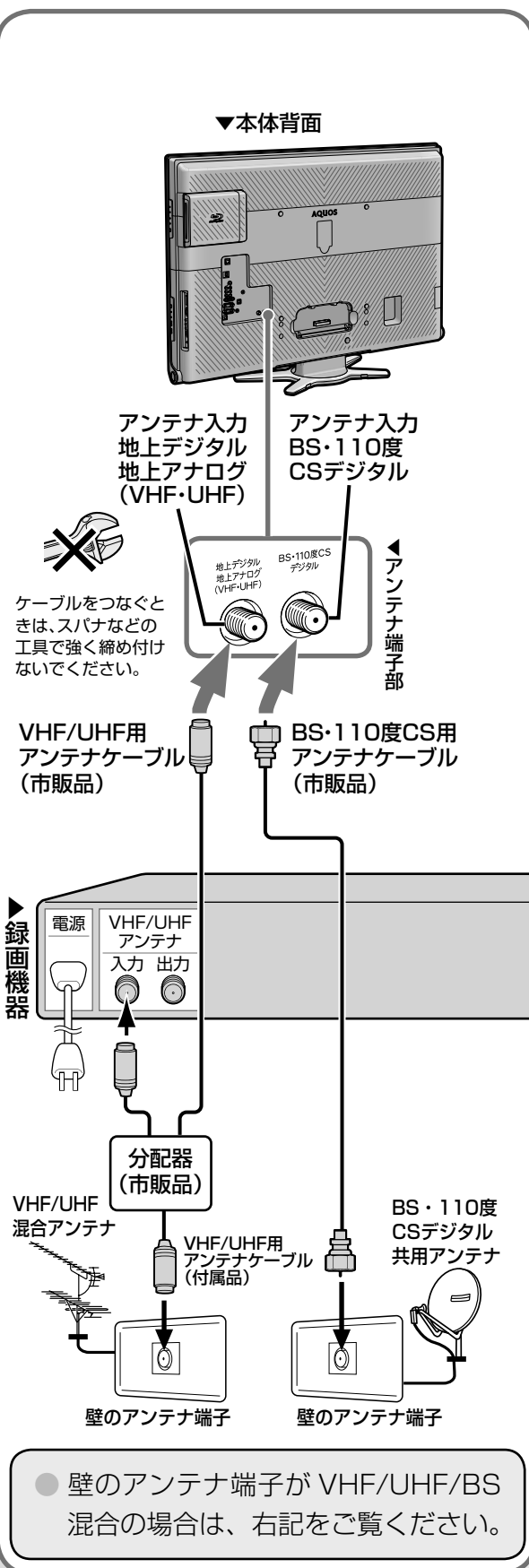
- **接続しなおすときは、ディスクを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（▶ 41 ページ）**（BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110 度 CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110 度 CS コンバーターに +15V ／ +11V の電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本体とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。）
- ブースター、市販のアンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線は S-5C-FB など。）詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 従来の BS アナログアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

BS・110 度 CS デジタル共用アンテナを個人で設置しているとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が別の端子のとき）

マンションなどの共聴システムで受信するとき
（BS・110 度 CS デジタルと VHF/UHF が混合されているとき）

BS/UV分波器（市販品）は金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

次のページに続く

アンテナのつなぎかた（レコーダー（録画機器）もつなぐ場合）

デジタルチューナー内蔵のレコーダー（録画機器）の場合

市販品のアンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、次のページをご覧ください。

デジタルチューナーを内蔵していないレコーダー（録画機器）の場合

壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS 混合の場合

市販品のアンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

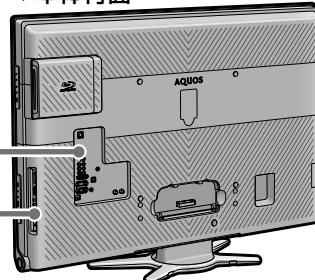
● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、右記をご覧ください。

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、BS/UV 分波器（市販品）を使って、VHF/UHF 用と BS･110 度 CS デジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

次のページに続く

外部機器の映像（DVD やビデオテープなど）を見るためのつなぎかた

- BD ディスク、DVD ディスクは本機の BD レコーダー機能でも再生できます。（▶ **105** ページ）

HDMI 端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

AQUOS レコーダーと接続している場合は

- 「ファミリンク設定」をします。▶ **158** ページ

D 映像端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

▼録画機器

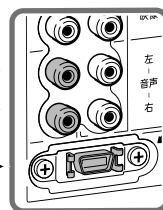
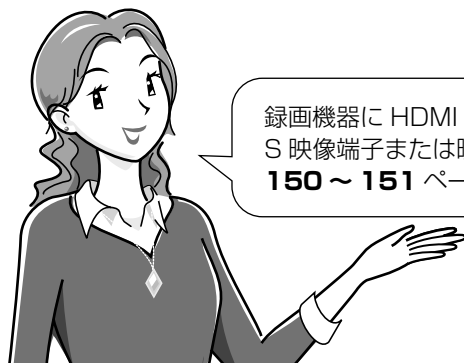
D映像端子　出力（音声 右ー左　映像　S映像）　HDMI端子

赤　白

音声ケーブル（市販品）

D映像ケーブル（市販品）

▼本体背面

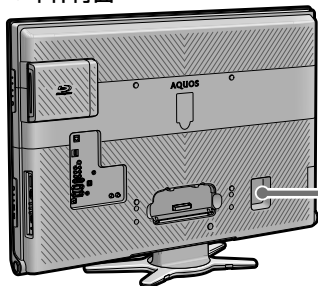
入力４（D4 端子）も使えます。

入力３（D4 端子）

録画機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は S 映像端子または映像端子につなぎます。**150 ～ 151** ページをご覧ください。

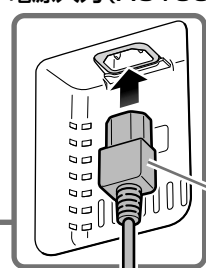
電源コードをつなぐ／ケーブルやコードをまとめる

電源コードをつなぐ

⚠注意　**接続が終わるまでは、電源スイッチ(赤)を「入」にしないでください。**

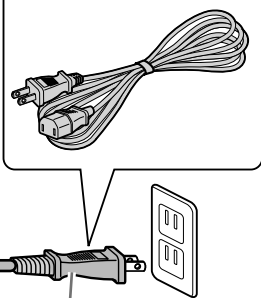
● 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

▼本体背面

LC-52DX1/
LC-46DX1/
LC-42DX1 ▶
LC-37DX1の端子については、**23**ページをご覧ください。

電源入力(AC100V)端子

・付属の電源コードはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

本体側プラグ

付属の電源コード

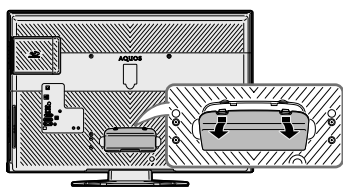
・本機は主電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

コンセント側プラグ　電源コンセント（AC100V）

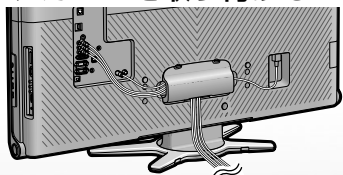
重要

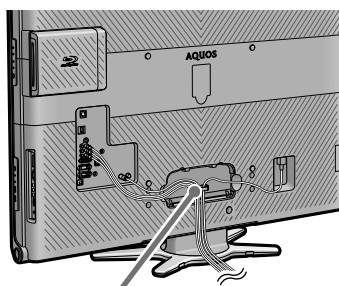
- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。
- 録画可能なBD-REまたはBD-Rを挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで10分以上かかる場合もあります。

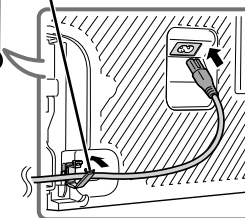
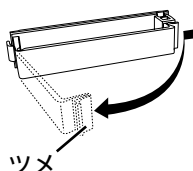
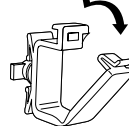
つないだケーブルやコードをまとめる

● 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ず付属のケーブルクランプで固定してください。

1 **背面のカバーをはずす**
- ツメ（2箇所）を押さえてはずします。

2 **ケーブルをまとめる**

3 **開口部からケーブルが出るように、カバーを取り付ける**

4 **端子からケーブルが抜けていないか確認する**

ケーブルクランプを使って、ケーブルをまとめます。

◀本体背面
LC-37DX1では、電源コードを右のクランプに通します。

ケーブルをケーブルクランプに通します。

ケーブルクランプは、ツメを押えて開きます。

ツメ

▲LC-37DX1の電源コード用

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意
- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

壁や柱に固定する

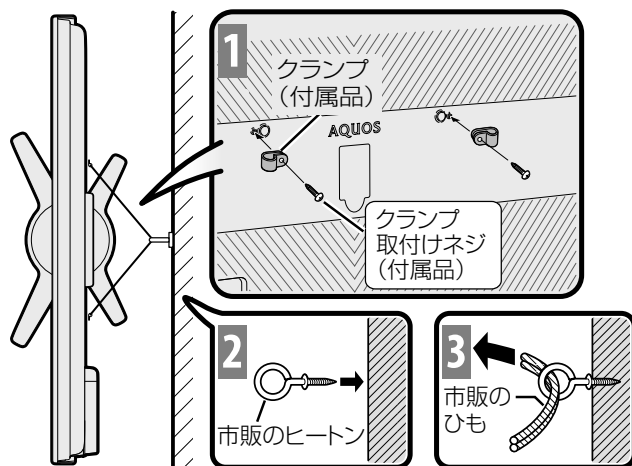
付属の転倒防止用部品

クランプ×2

クランプ取付けネジ×2

1 付属の転倒防止用クランプ(2個)を、付属のクランプ取付けネジで本機に取り付ける

2 市販の金具(ヒートン)を壁または柱に確実に取り付ける
- ひもを固定する金具は、ひもがはずれない形状のヒートンをご使用ください。
- 取り付けた金具が容易にはずれないか確認してください。

▼本体天面

3 本機に取り付けたクランプと、壁または柱に取り付けた金具（ヒートン）の穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する
- テレビが傾かないように設置してください。テレビが傾くと BD ユニットが傾き、正常な録画・再生ができません。

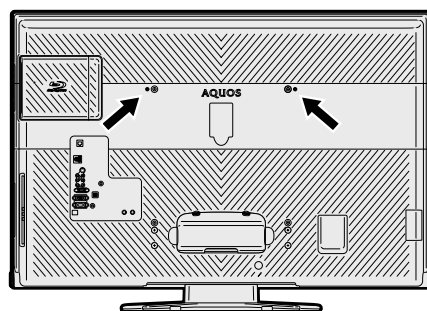
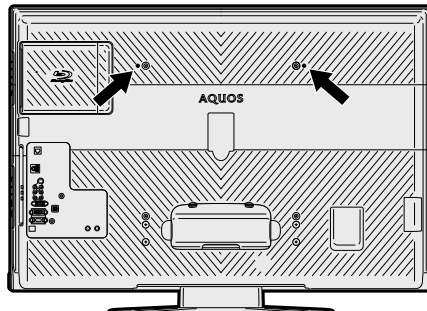
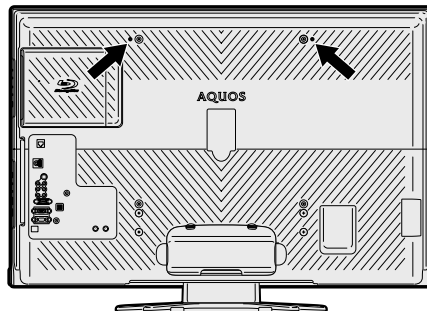
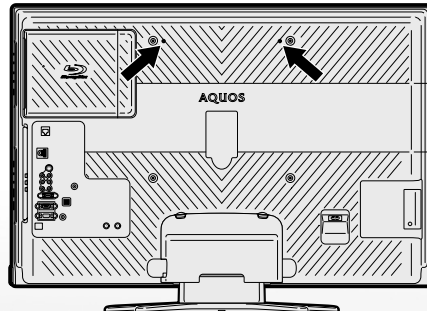
転倒防止クランプを取り付ける位置

LC-52DX1

LC-46DX1

LC-42DX1

LC-37DX1

転倒防止は必ず実施してください。

テレビ台などに固定する

重 要

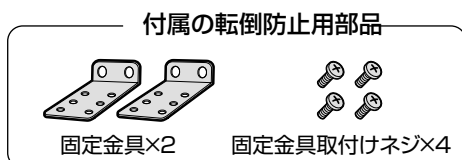
- 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や間柱（壁内部の柱）に固定してください。（▶ **42** ページ）

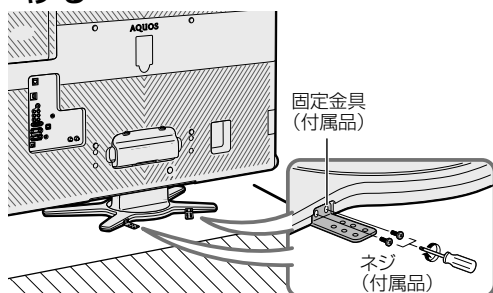
LC-52DX1 ／ LC-46DX1 の場合

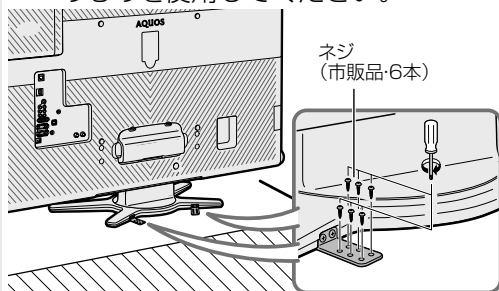
※説明のイラストは LC-52DX1 ですが、LC-46DX1 も取り付けかたは同じです。

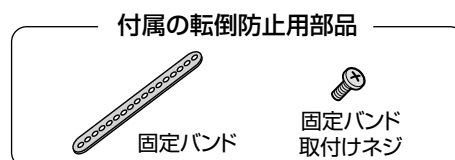
付属の転倒防止用部品

固定金具×2

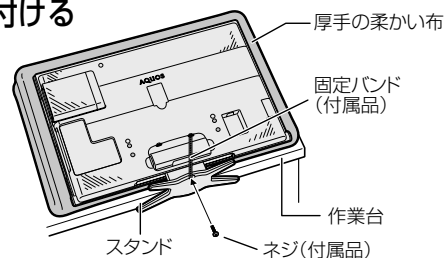
固定金具取付けネジ×4

1 設置するテレビ台などの上に位置決めする

2 付属の転倒防止用固定金具を、付属のネジでスタンドに取り付ける

3 固定金具の穴に、上から市販のネジを取り付けて本機を固定する

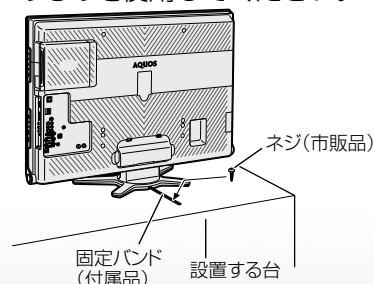
- テレビ台側のネジは、お客様のテレビ台の材質、厚みなどに合った市販のネジをお使いください。
- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

LC-42DX1 ／ LC-37DX1 の場合

※説明のイラストは LC-42DX1 ですが、LC-37DX1 も取り付けかたは同じです。

付属の転倒防止用部品

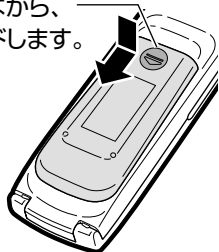
1 作業をする平らな台の上に厚手の柔らかい布などを敷き、その上に画面を下にしたうつ伏せの状態で本機を置く

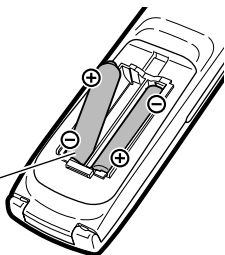
2 スタンド底面に、付属の転倒防止用の固定バンドを、付属のネジで取り付ける

3 本機を起こし、設置する台などの上に位置決めする

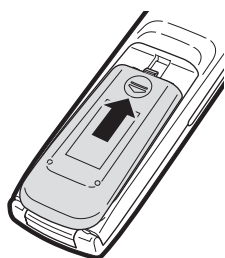
4 市販のネジを使い、固定バンドの穴に上からネジを取り付けて固定する

- テレビ台側のネジは、お客様のテレビ台の材質、厚みなどに合った市販のネジをお使いください。
- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

電源を入れる

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

2 付属の単３形乾電池（アルカリ）を入れる

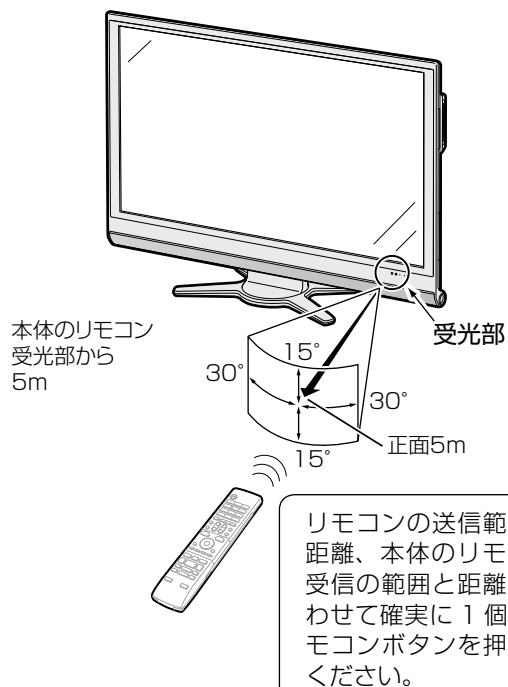
⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 電池カバーを元どおりに閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

おしらせ

乾電池を交換するときは

・ 乾電池は単３形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの送信範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に１個のリモコンボタンを押してください。

重 要

リモコン使用上のご注意

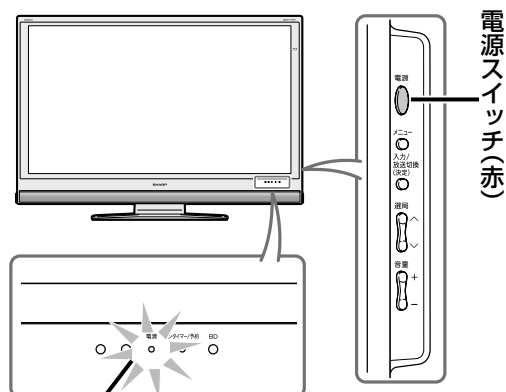
・ リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
・ リモコン番号（▶ **100** ページ）を設定する機能があるため、このリモコンが付属している本機以外のAQUOS では正しく操作できない場合があります。

リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。
早めに新しい乾電池と交換してください。

電源を入れる

● あらかじめケーブル類を接続してください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチ（赤）を押し、電源を「入」にする

・電源ランプが緑色に点灯します。

電源ランプ
• 緑色点灯：動作状態
• 赤色点灯：待機状態
• 橙色点灯：パワーマネージメント状態
（▶**205**ページ）

2 リモコンの電源ボタン（赤）で電源を入／切する

電源

▼リモコン

重要

・録画可能な BD-RE または BD-R を挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。

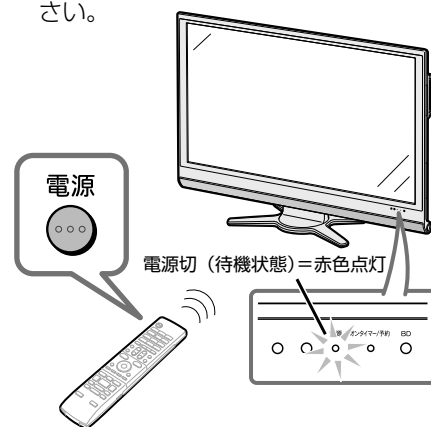
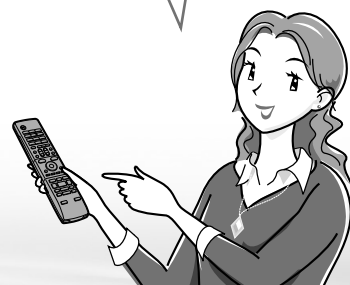
おしらせ

・本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
・本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
・電源コードを接続している場合は、本体の電源を「切」にしても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（▶ 99 ページ）

・リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

録画中の電源（切）について

・本機のBD レコーダー機能で録画する場合、本体の電源スイッチで電源を切らないでリモコンの電源ボタンで電源を切る（待機状態にする）ようにしてください。

テレビを見るための設定をする

本機の機能と操作のしかた（メニューの基本操作）

● 本機をお使いになるときに、設定を行うための画面を呼び出します。この設定を行う画面のことを「メニュー」と呼びます。

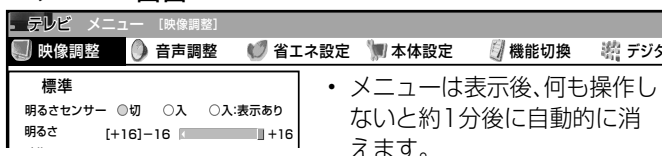
● メニューからさまざまな設定が行えます。（▶**47**ページ）

フタを開けたところ

1 メニューを表示する

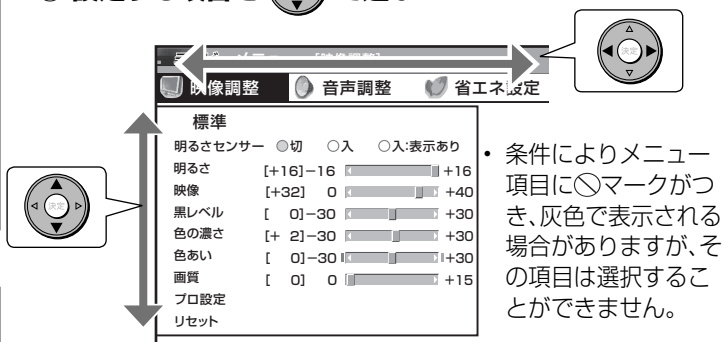
メニューを押す

▼メニュー画面

・メニューは表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。

2 項目を選ぶ

① 設定する項目の分類を ◀▶ で選ぶ

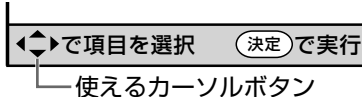
② 設定する項目を ▲▼ で選ぶ

・条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

③ ガイド表示に「決定」が表示されているときは 決定を押す

ガイド表示に「決定」が表示されていないときは手順３に進む

▼ガイド表示の例（画面下部に表示されます）

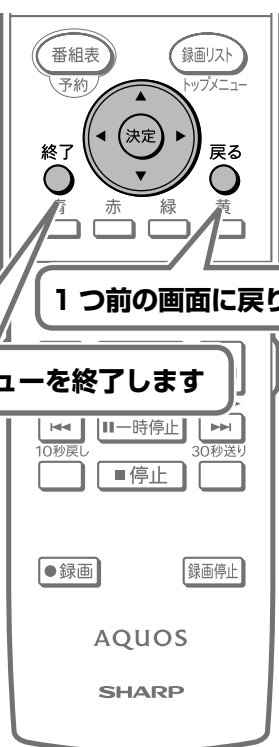
◀▲▼▶で項目を選択　決定で実行

使えるカーソルボタン

・表示中の画面で使用できるボタンが案内されています。案内は、画面によって異なります。

1 つ前の画面に戻ります

メニューを終了します

3 ガイド表示を参考に、操作を進める

操作方法は、機能や項目によって異なります。
使用するボタンについては、ガイド表示を参考にしてください。

メニューの項目の一覧

▼メニュー画面

テレビ　メニュー　［映像調整］

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

映像調整

映像をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質	▶94
プロ設定	▶95

音声調整

音声をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
高音／低音／バランス	▶96
サラウンド	▶96
音質補正	▶96

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための設定項目です。

項目	ページ
無信号オフ※2	▶204
パワーマネージメント※3	▶205
無操作オフ	▶205
オフタイマー	▶204

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

項目	ページ
かんたん初期設定	▶48・50
地域設定※1	▶54
チャンネル設定※1	▶56・59
アンテナ設定※1	▶52
視聴環境設定(音声)	▶97
入力スキップ設定	▶154
入力解像度※3	▶174
自動同期調整※3	▶173
入力表示選択※4	▶154
位置調整※2	▶90
画面調整※3	▶173
オートワイド※2	▶92
映像反転	▶99
クイック起動設定	▶99
Language(言語設定)	▶239
時計設定	▶88・89
リモコン番号設定	▶100
個人情報初期化	▶209

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

項目	ページ
BD設定	▶113・115・137・141・142・144・145・148
ファミリンク設定	▶158・165
入力選択※5	▶154
入力音声選択※9	▶174
モニター音声出力端子設定	▶169
ヘッドホン設定	▶102
字幕表示設定※7	▶85
番組名表示設定※7	▶87
ゲーム時間表示設定※4	▶167
映像オフ	▶99
オンタイマー設定	▶89
チャイルドロック	▶177
画面表示色設定	▶99
画面文字サイズ設定	▶98
選局効果	▶88

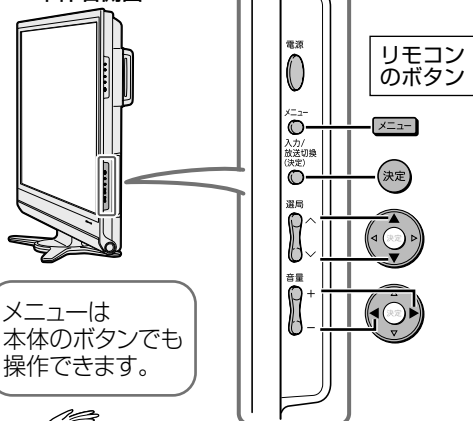
デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

項目	ページ
デジタル音声設定※6 ※7	▶168
ダウンロード設定	▶206
番組表設定※1	▶82・83
通信設定※7	▶184・187
暗証番号設定※7	▶176
視聴年齢制限設定※1	▶177
双方向サービス設定※7	▶186
システム動作テスト	▶186

お知らせ

本機が受信した情報を確認するための項目です。

項目	ページ
受信メッセージ一覧	▶208
ボード※8	▶208
受信機レポート	▶208
B-CASカード番号表示	▶208

メニュー、再生リストを表示しているときは、上図のように本体のボタンが、メニューボタン、カーソルボタン、決定ボタンとして機能します。

※１　テレビ視聴時のみ表示されます。
※２　入力６選択時は表示されません。
※３　入力６選択時のみ表示されます。
※４　入力１～６選択時のみ表示されます。
※５　入力３～６選択時のみ表示されます。
※６　入力１～６選択時は表示されません。
※７　テレビ視聴時およびディスク再生時のみ表示されます。
※８　ディスク再生時は表示されません。
※９　入力２または入力６選択時のみ表示されます。

おしらせ

- ここでは、本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。
- ⃠マークがつき、灰色で表示されるメニュー項目は、選択できません。
- メニュー項目の詳細は「メニュー項目の一覧」(▶**214**～**217**ページ)をご覧ください。
- メニューの表示内容は変更される場合があります。
- メニュー画面や電子番組表などの表示色を変更することができます。(画面表示色設定▶**99**ページ)
- メニュー画面に表示される文字の大きさを大きくすることができます。(画面文字サイズ設定▶**98**ページ)

メニュー画面を英語で表示するには ▶**239**ページ　To display menu screens in English ▶Page **239**

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について

●お買いあげ後、B-CASカードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。「かんたん初期設定」は画面を見ながら操作・設定してください。受信できる地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

・設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

かんたん初期設定を中断した場合は…

・初めて電源を入れて「かんたん初期設定」を行っている途中で電源が切れた場合は、次に電源を入れた場合に再度「かんたん初期設定」画面になります。
・「かんたん初期設定」をリモコンの終了ボタンを押して終了した場合は、次に電源を入れても「かんたん初期設定」画面が表示されません。メニューから選んで「かんたん初期設定」をやり直してください。（▶**50**ページ）

1

メッセージを確認して決定する

を押す

・途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。電源を切った場合は、再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。
・B-CAS カードが正しく挿入されていないときは、「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。
電源を切り、▶ **32** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

◆地域を設定する

2

①お住まいの地域を選ぶ

で選び
決定
を押す

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

◆郵便番号を入力する

3

郵便番号を入力する

1 〜 10/0 で入力し「次へ」で
決定 を押す

・「0」を入力するときは 10/0 を押します。

◆チャンネルを設定する

4 「する」を選ぶ

で選び

決定

を押す

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

地上デジタル放送と地上アナログ放送の
チャンネル設定をしますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
現在の地域設定は○○です。

する　しない

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

▼

- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。

1 ～ 12 は、リモコンの**数字ボタン（チャンネルボタン）**に対応しています。

- 次の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

おしらせ

チャンネル設定の途中で「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れなおすと **48** ページの手順 1 の画面が表示されます。
  なお、地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要です。
- **まだ、地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上アナログ放送を受信する場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れなおすと **48** ページの手順 1 の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 5 へ進みます。

◆ BS･CS アンテナを設定する

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び

決定

を押す

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 7 に進みます。

- 「する」を選んだときは、次の画面が表示されます。

接続確認
地域設定
郵便番号設定

BS/CSアンテナ電源自動設定中

- 次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選んでください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。（▶ **37** ～ **39** ページ）
  電源を入れなおすと **48** ページの手順 1 の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選んだあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 7 の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは（▶ 52・53 ページ）

次のページに続く

6 受信状態を確認して決定する

を押す

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
受信強度 BS−15
現在値 95 最大値 95
受信状態:良好です。【A】
次へ

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナ線を確認してください。（▶ **37** ～ **39** · **52** ページ）
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（▶ **37** ～ **39** · **52** ページ）

7 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び
決定
を押す

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

かんたん初期設定は、すべて終了しました。（詳しい操作方法は、付属の「かんたんガイド」、または「取扱説明書」をご覧ください。）

[設定内容]
B−CASカード :認識できました
地域設定 :○○
郵便番号 :〒○○○−○○○○
地上デジタル :受信可能
地上アナログ :受信可能
BS/CSアンテナ電源 :オート

完了　再設定

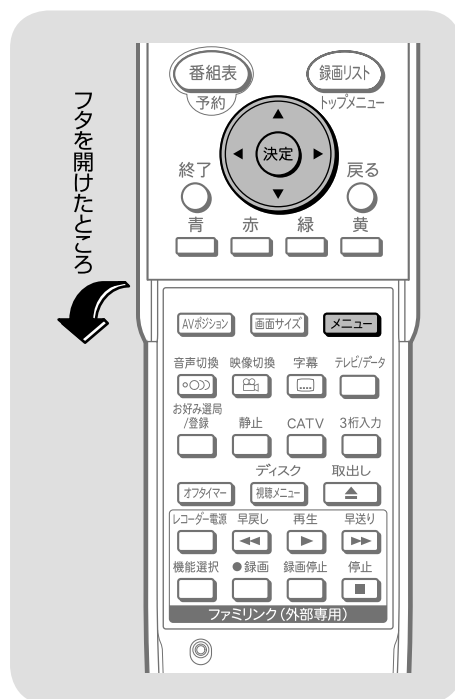
設定内容が表示されますので確認してください。

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。▶68 ページをご覧ください。

おしらせ

- デジタル放送の双方向番組を利用する場合は、双方向通信のための接続と設定が必要です。（▶ **182** · **187** ページ）
- B-CAS カードの挿入や電話回線の接続が正しく行われているかをテストできます。（「システム動作テスト」▶ **186** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

1 メニューを表示する

を押す

2 「本体設定」－「かんたん初期設定」を選ぶ

で選び

を押す

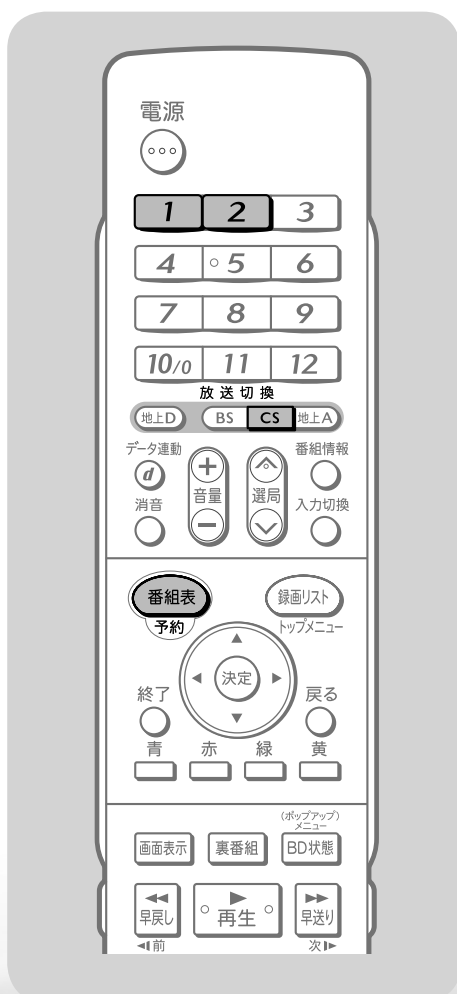
- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（▶ **48** ページ）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

● 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	・デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（▶ **52** ページ）
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）	・デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（▶ **54** ページ）
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	・受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（▶ **56** ページ）
デジタル放送のチャンネルの個別設定	・デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（▶ **57** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	・地上アナログ放送（従来のVHF・UHF放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。 ・受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。（▶ **59** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	・地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。（▶ **66** ページ）
CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定	・CATVチャンネルのスキップを解除します。（▶ **67** ページ）

CSチャンネルのネットワーク情報を取得する
（110度CSデジタル放送を初めて選局するとき）

● CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

1 CSデジタル放送を選んで、約5秒待つ

CS を押す

2 1チャンネルを選んで、約5秒待つ

1 を押す

3 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する

番組表 予約 を押す

おしらせ

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

・数字ボタン（チャンネルボタン）1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約5秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約5秒待ってください。そのまま待つことでCSネットワーク情報を取得することができます。）

・2008年9月現在、CS001chは放送されていません。

次のページに続く

デジタル放送用アンテナの設定をする

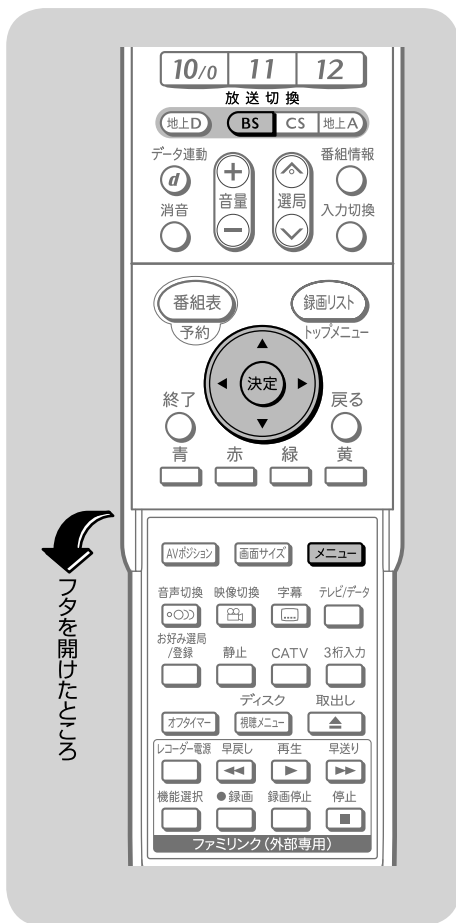
● デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（▶ **48**・**50** ページ）を行ってください。）

重 要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本体とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

おしらせ

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS･CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

（例） BSデジタル放送のアンテナ設定をする

1 BS を押す

BS デジタル放送を選ぶ

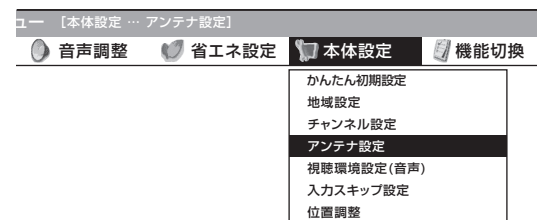
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定は行えます。

2 メニュー を押す

メニューを表示する

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

3 で選び 決定 を押す

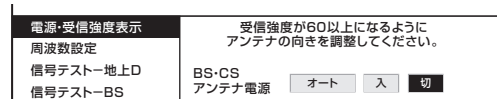
「本体設定」－「アンテナ設定」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「電源・受信強度表示」を選ぶ

◆アンテナに電源を供給するための設定

5 で選ぶ

「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

電源･受信強度表示
周波数設定
信号テスト－地上D
信号テスト－BS
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

「オート」	本機の電源が「入」のとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を「切」にしたときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
「入」	本機の電源が「入」のとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を「切」にしたときも、常にアンテナ電源は「入」になります。「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。
「切」	アンテナ電源が常に「切」になります。 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。

◆受信強度の調整

6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 手順 6 で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、次の処置が必要です。

「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナ線を確認してください。（▶ **37** ～ **39** · **52** ページ）
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（▶ **37** ～ **39** · **52** ページ）

- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。
  （表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

信号テストをするときは

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 前ページの手順 4 で「信号テストー BS」を選ぶ

で選び

決定を押す

2 確認したい項目を選ぶ

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」です。（2008 年 4 月現在）

で選び

決定を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。

3 「終了」を選ぶ

終了を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の信号テストについて

- 手順 1 で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選びます。あとは同じ要領で行ってください。

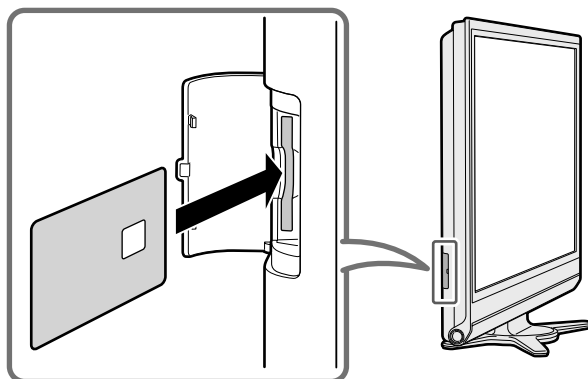
周波数設定について

- 手順 1 で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

重 要

・ B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（▶ **32** ページ）

▼本体左側面

地域選択／郵便番号設定

● 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。

チャンネル設定（▶ 56 ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。

● お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

1 メニューを表示する

を押す

・ メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

2 「本体設定」－「地域設定」を選ぶ

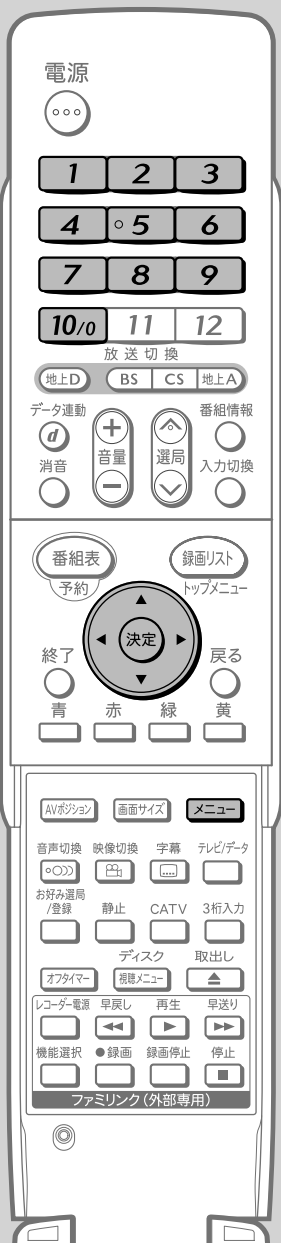
で選び

を押す

かんたん初期設定
地域設定
チャンネル設定
アンテナ設定
視聴環境設定（音声）
入力スキップ設定
位置調整
オートワイド
映像反転 ［しない］
クイック起動設定 ［しない］
Language（言語設定） ［日本語］
時計設定

◆地域選択

3 「地域選択」を選ぶ

で選び
決定
を押す

地域選択	
郵便番号設定	現在の地域設定は　東京　です。 地域設定を変更する場合は、 [決定]ボタンを押してください。 地域設定の変更後は、チャンネル設定から 地上デジタル　ー　自動を行ってください。

おしらせ

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル—自動」を行ってください。

4 お住まいの地域を選ぶ

で選び
決定
を押す

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

で選び
決定
を押す

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

福岡	佐賀
長崎	熊本
大分	宮崎
鹿児島	鹿児島 島部
沖縄	

◆郵便番号設定

6 「本体設定」－「地域設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

[本体設定 … 地域設定]

音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換

7 「郵便番号設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

8 郵便番号を入力する

1
～
10/0
で入力し
「次へ」で
決定
を押す

地域選択
郵便番号設定

お住まいの郵便番号を入力してください。

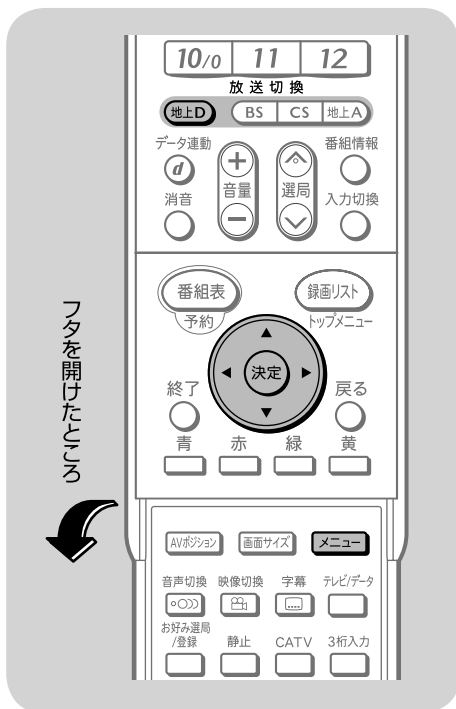
8 1 6 - 8 4 0 8

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力しなおします。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0を押します。

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

● 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。
チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（▶ 54 ページ）をしてください。

重 要

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

・「地上デジタル―自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 4 の②で「地上デジタル―追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

・CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
・本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。
・CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

1 地上デジタル放送を選ぶ

を押す

2 メニューを表示する

を押す

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 ①「地上デジタル」を選ぶ
②「地上デジタル―自動」を選ぶ

で選び

を押す

5 「する」を選ぶ

で選び

を押す

6 サーチ範囲を選ぶ画面で「UHF」または「全チャンネル」を選ぶ

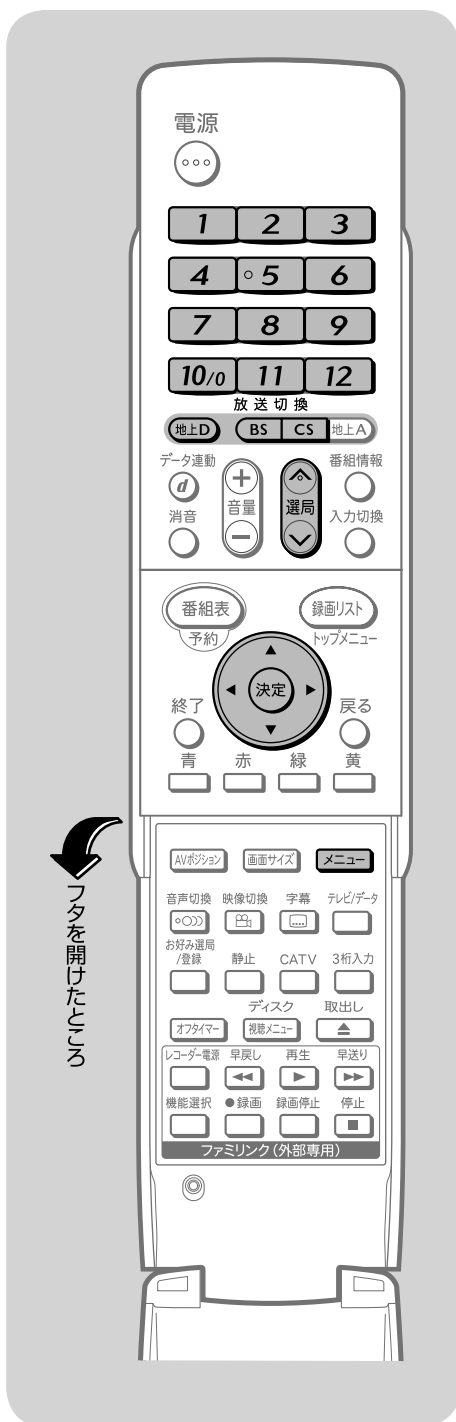
・通常は「UHF」を選びます。
・CATV パススルーの場合は「全チャンネル」を選びます。
・自動登録が始まります。

で選び

を押す

・自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 3 の画面に戻ります。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

● 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番 (地上デジタル放送のみ)	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。地上デジタル放送のチャンネルをスキップ設定したときは、番組表や裏番組表にスキップ設定したチャンネルを表示するかどうかを設定できます。

(例)地上デジタル放送の設定内容を変更する

1 デジタル放送を選ぶ

のいずれかを押す

2 メニューを表示する

を押す

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選ぶ

地上デジタル	地上デジタル放送の受信チャンネルの設定です。 (チャンネル設定をする前に、必ず地域設定をお住まいの地域に設定しておいてください。)
地上アナログ	
BSデジタル	
CSデジタル	
デジタル登録	

で選び

を押す

・「地上デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **5** に進みます。
・「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **6** に進みます。

次のページに続く

5 「地上デジタル−個別」を選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタル−自動
−追加
−個別
−選局順

放送局	3桁	スキップ
テレビ ① ●●●●●	051	
テレビ ② ●●●●●	061	
テレビ ③ ●●●●●	121	
テレビ ④ ●●●●●	041	
テレビ ⑤ ●●●●●	021	

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

6 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び 決定 を押す

7 変更したい項目を選ぶ

（例）地上デジタルの枝番を変更する場合

で選び 決定 を押す

8 画面の指示に従い、入力欄に数字を入力して「確認」を選ぶか、「する」「しない」を選ぶ

1 〜 12 で入力 または
で選び 決定 を押す

- 枝番を入力する場合は、1〜9を押します。
- 数字ボタンや枝番が重複している場合は、「数字ボタン（枝番の場合は「枝番」）が重複しています。置き換えますか？」の確認画面が表示されます。

数字ボタンを置き換える場合
「確認」を選びます。

置き換えずに別の数字にする場合
画面の「戻る」を選ぶかリモコンの戻るボタンを押してから、別の数字を入力して決定ボタンを押します。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12の数字ボタン(チャンネルボタン)の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁のチャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

スキップしたチャンネルを電子番組表や裏番組表で非表示にするには（地上デジタル放送のみ）

1. 前ページ手順 4 で「地上デジタル」を選ぶ
2. 「地上デジタル−個別」を選ぶ
3. スキップするチャンネルを選ぶ
4. 「スキップ」を選ぶ
5. 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選ぶ
6. 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」を選ぶ
   - スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表や裏番組表に表示されなくなります。
     ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組表に表示されます。

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

重 要

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。

おしらせ

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログー自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」(▶ **60** ~ **61** ページ)、「地域番号一覧表」(▶ **62** ~ **65** ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順 **4** の②で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン(チャンネルボタン)または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順 **4** の②で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

1 地上A を押す

地上アナログ放送を選ぶ

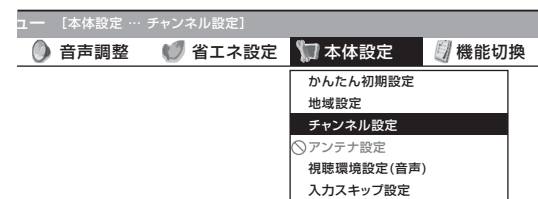
2 メニュー を押す

メニューを表示する

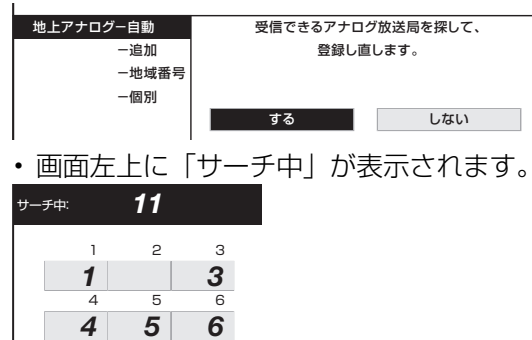
- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

3 で選び 決定 を押す

「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

①「地上アナログ」を選ぶ
②「地上アナログー自動」を選ぶ

5 で選び 決定 を押す

「する」を選ぶ

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（▶ **62** ～ **65** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（▶ **59** ページ）または「地上アナログー個別」（▶ **66** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
お	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087

五十音	都市名	地域番号
さ	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京23区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104
は	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	099

次のページに続く

地域番号一覧表

		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコン番号		受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	37 ぎふチャン
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	41 ぎふチャン
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ～テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

次のページに続く

地域番号一覧表（つづき）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
	京都 2	098	32 NHK 京都	2 NHK 総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
	姫路	062	1	50 NHK 総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK 教育
	明石	063	1	51 NHK 総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABC テレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK 教育
	川西	064	1	29 NHK 総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABC テレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK 教育
奈良	奈良	065	51 (NHK 総合)	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32 NHK 総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABC テレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK 総合	4 NHK 教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSS テレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK 総合	7	8	9	10 BSS テレビ	11	12 NHK 教育
	浜田	069	1	2 NHK 総合	54 日本海テレビ	4	5 BSS テレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK 教育	4	5 NHK 総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHK テレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK 総合	4 RCC テレビ	5	6	7 NHK 教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	5 NHK 総合	2	57 広島ホームテレビ	4	54 テレビ新広島	6	3 NHK 教育	8	9	7 RCC テレビ	11	11 広島テレビ
	呉	073	1 NHK 教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCC テレビ	10	11 NHK 総合	12
山口	山口	074	1 NHK 教育	2	3	4	28 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK 総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK 教育	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	33 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	39 NHK 総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK 教育)
	宇部	076	55 NHK 教育	2 九州朝日放送	3	4	24 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	44 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	58 NHK 総合	10 テレビ西日本	61 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK 教育	2	3	4 RCC テレビ	62 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK 総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	5	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	38 NHK 教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK 教育	4	37 NHK 総合	6	31 OHK テレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK 教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK 総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK 総合	3	4 NHK 教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK 教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK 総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 NHK 教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル／放送局名											
福岡	福岡	083	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	19	37
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	北九州	084	1	2	23	35	5	6	7	8	9	10	11	12
				九州朝日放送	TVQ 九州放送	福岡放送		NHK 総合		RKB 毎日放送		テレビ西日本		NHK 教育
	久留米	085	57	2	46	48	5	54	7	8	60	10	14	52
			九州朝日放送		NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		TVQ 九州放送	福岡放送
	大牟田	086	58	19	53	61	5	50	7	8	55	10	43	12
			九州朝日放送	TVQ 九州放送	NHK 総合	RKB 毎日放送		NHK 教育			テレビ西日本		福岡放送	
佐賀	佐賀	087	19	36	40	38	48	52	57	60	9	10	11	12
			TVQ 九州放送	サガテレビ	NHK 教育	NHK 総合	RKB 毎日放送	福岡放送	九州朝日放送	テレビ西日本	(NHK 総合)		熊本放送	
長崎	長崎	088	1	2	3	4	5	6	37	8	27	10	25	12
			NHK 教育		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎		長崎文化放送		長崎国際テレビ	
	佐世保	089	1	2	3	17	5	31	7	8	9	10	11	35
				NHK 教育		長崎国際テレビ		長崎文化放送		NHK 総合		長崎放送		テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2	16	4	22	6	34	8	9	10	11	12
				NHK 教育	熊本朝日放送		熊本県民テレビ		テレビ熊本		NHK 総合		熊本放送	
大分	大分	091	1	2	3	34	5	6	36	32	24	10	11	12
			(NHK 教育)		NHK 総合	あいテレビ	大分テレビ	(NHK 総合)	テレビ大分	テレビ愛媛	大分朝日放送	南海テレビ		NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35	7	8	9	10	11	12
								テレビ宮崎		NHK 総合		宮崎放送		NHK 教育
	延岡	093	1	2	3	4	5	6	7	39	9	10	11	12
				NHK 教育		NHK 総合		宮崎放送		テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	094	1	2	3	4	5	6	32	8	38	10	30	12
			南日本放送		NHK 総合		NHK 教育		鹿児島放送		鹿児島テレビ		鹿児島読売テレビ	
	阿久根	095	1	17	3	23	5	35	7	8	9	10	11	12
				鹿児島読売テレビ		鹿児島放送		鹿児島テレビ		NHK 総合		南日本放送		NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2	3	4	5	6	7	8	28	10	11	12
				NHK 総合						沖縄テレビ	琉球朝日放送	琉球放送テレビ		NHK 教育

おしらせ

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

● 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

次のページに続く

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

● 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。−64 ～ 0 ～ +63 の範囲で調整できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

を押す

2 メニューを表示する

を押す

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

で選び
を押す

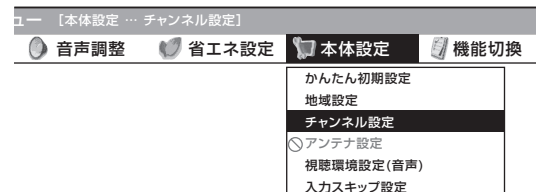
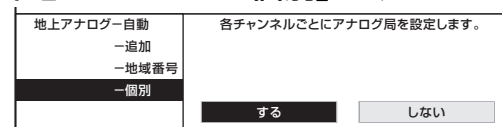
4 「地上アナログ」で決定する

を押す

5 「地上アナログー個別」を選ぶ

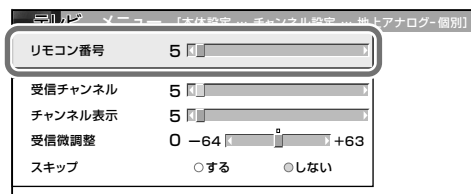
で選び
を押す

6 「する」を選ぶ

で選び

を押す

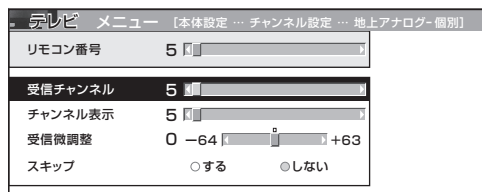
7 変更したい「リモコン番号（放送チャンネル）」を選ぶ

で選ぶ

- 地上アナログチャンネルは、「1」～「20」です。
- CATV チャンネルは「C13」～「C63」です。
- リモコン番号「1」～「12」を変更するときは、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押しても選べます。

8 変更したい項目を選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

で選ぶ

テレビ　メニュー［本体設定 … チャンネル設定 … 地上アナログ−個別］
リモコン番号 5
受信チャンネル 5
チャンネル表示 5
受信微調整 0 −64 +63
スキップ ○する ○しない

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

で選ぶ

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

選局ボタン（緑）で CATV チャンネルを選局したいときは（CATV スキップ解除）

● CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順 1 ～このページの手順 6 を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

で選ぶ

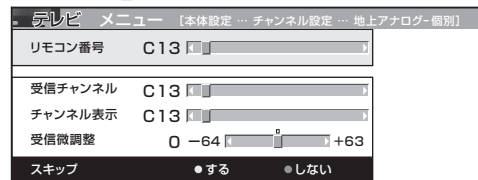
3 スキップを解除したい CATV チャンネルを選ぶ

で選ぶ

4 「スキップ」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

CATV（ケーブルテレビ）放送について

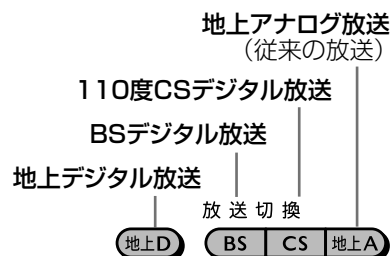
- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。（CATV チャンネルを選ぶ▶ **76** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で CATV チャンネルを選局できます。
- 上記の手順 8 で「受信チャンネル」を選び、手順 9 で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

映りかたを確かめる

● リモコンを使って番組を選んでみましょう。
● 本体の電源スイッチで電源を入れてから操作します。

1 放送の種類を選ぶ

放送切換ボタンを押します。

地上アナログ放送（従来の放送）
110度CSデジタル放送
BSデジタル放送
地上デジタル放送
放送切換

**デジタル放送の場合は
テレビ／データボタンを押します。**

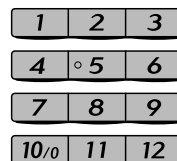
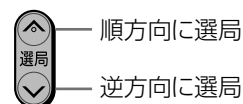
- リモコンフタ内の テレビ/データ を押すと、テレビ放送⇔データ放送※が切り換わります。

※ 放送がある場合に切り換わります。

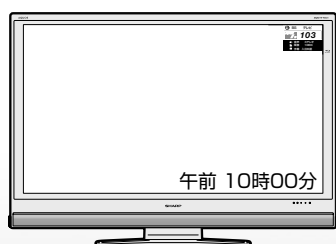
2 チャンネルを選ぶ

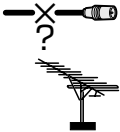
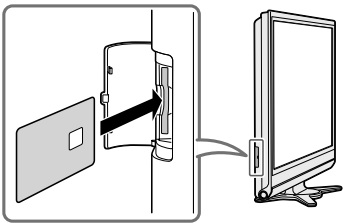
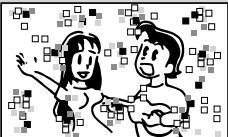
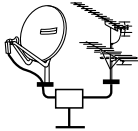
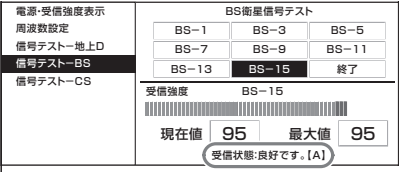
数字ボタン
(チャンネルボタン)
を押します。

選局ボタン(緑)を
押します。

順方向に選局
逆方向に選局

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

● テレビ画面の**チャンネルサイン**で確認できます。チャンネルサインは 画面表示 を押すと表示できます。
画面表示 を繰り返し押すと表示内容が変わります。(▶ 74 ページ)

▼テレビ画面のチャンネルサイン(例)

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（「放送が受信できません。[E202]」と表示される）

お電話する前に
故障ではないことがありますので、ここをお確かめください。

	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・付属のアンテナケーブルを使用していますか。 ・古いケーブルは使わないでください。	8・36～39 –
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。 ・アンテナの向きは正しいですか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	– – 36
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。 ・端子を間違えて接続していませんか。 ・アンテナケーブルが切れていませんか。 ・BS·CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。 ・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ・B-CAS のカバーは閉めてありますか。 ▼本体左側面	36～39·70 – – 49・52 32 –
	画面に四角いノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きは正しいですか。 ・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **199** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 電源・受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テスト−地上D / 信号テスト−BS / 信号テスト−CS BS衛星信号テスト：BS−1 BS−3 BS−5 BS−7 BS−9 BS−11 BS−13 BS−15 終了 受信強度 BS−15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。【A】 ・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	– 50・53 –
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	33
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応のものを使用していますか。	37～39
	画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 ・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	– 36～39·70
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。 ・アンテナの受信強度を確認してください。	33 53

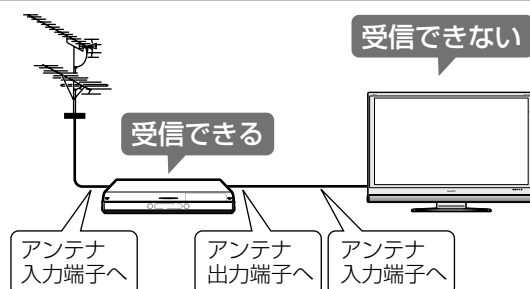
● アンテナの接続については、次ページをご覧ください。

次のページに続く

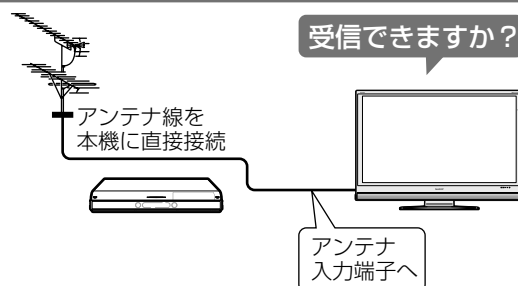
アンテナ接続のワンポイントアドバイス

● お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

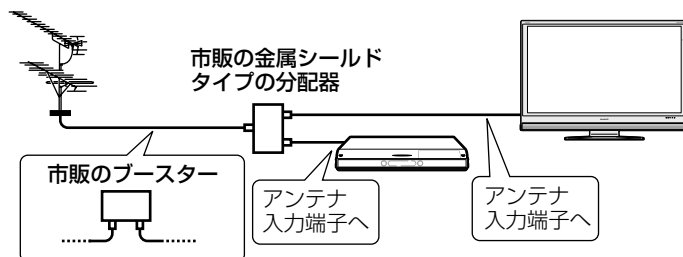
こんなときは

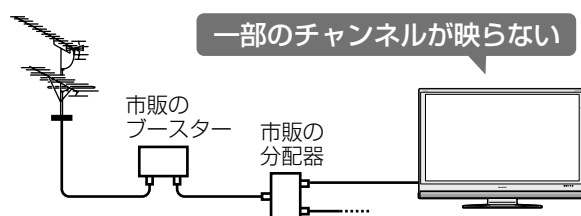
アンテナ線が、レコーダーを経由して本機に接続されている場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

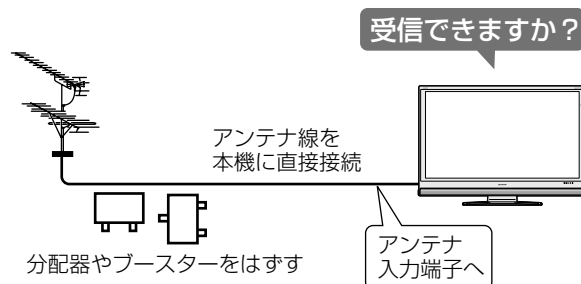
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。レコーダーの出力端子から本機の入力端子に接続するのは止めましょう。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…
- アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。（本機に付属のアンテナケーブルをご使用ください。また、レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…
- ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

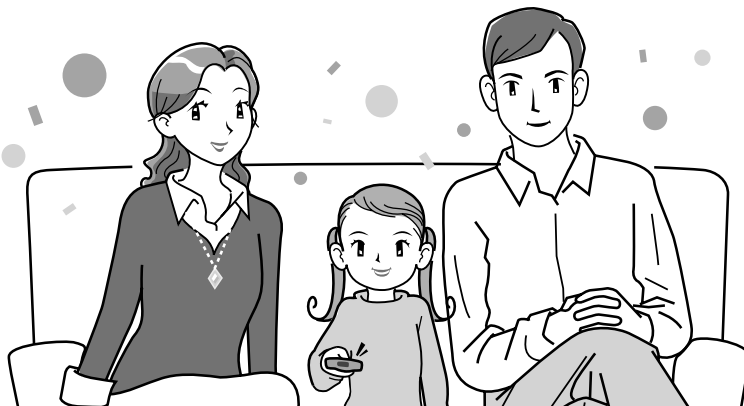
おしらせ

- デジタル放送はB-CASカード（▶32ページ）を挿入しないと視聴できません。
- **110度CSデジタル放送を初めて選局するときは、▶51ページをご覧ください。**

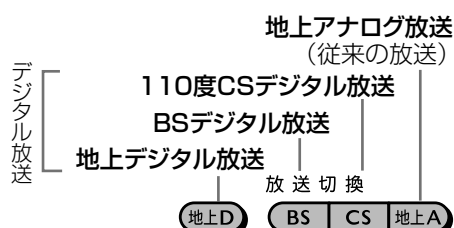
電源を入れてください。
本体の電源ランプが赤のときに押すと電源が入ります。

デジタル放送は、電子番組表や裏番組表でも番組を選べます。
（▶**78**･**79**ページ）
裏番組はリモコンのフタ上にあります。

基本的な選びかた

● リモコンを使って番組を選んでみましょう。

1 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

① 放送切換ボタンを押します。

地上アナログ放送（従来の放送）
デジタル放送：110度CSデジタル放送／BSデジタル放送／地上デジタル放送
放送切換：地上D　BS　CS　地上A

② デジタル放送の場合はメディア(テレビ／データ※)の選択ができます。

- 放送がある場合のみ切り換わります。

テレビ放送の例　　テレビ/データ　　データ放送の例

※ 2008年10月現在、BSデジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、テレビ放送→ラジオ放送→データ放送→テレビ放送の順に切り換わります。

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

おしらせ

- 右記のチャンネル一覧は2009年3月現在のもので、変更されることがあります。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

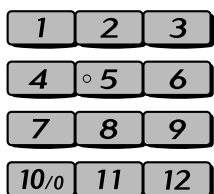
BSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	－	－
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	－	－
4	BS 日テレ	141	－	－
5	BS 朝日1	151	－	－
6	BS-TBS	161	－	－
7	BS ジャパン	171	－	－
8	BS フジ･181	181	－	－
9	WOWOW	191	－	－
10/0	スターチャンネル	200	－	－
11	BS 11	211	－	－
12	TwellV	222	－	－

おしらせ

- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくように設定できます。（▶ **88** ページ）

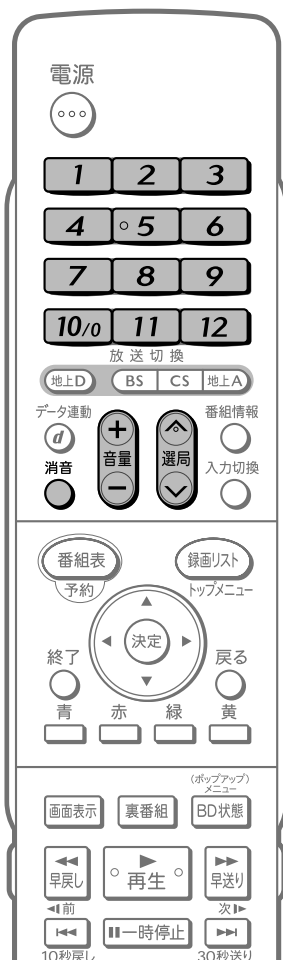
2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン（チャンネルボタン）または選局ボタン（緑）を押します。

- 数字ボタン（チャンネルボタン）には、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの一覧も確認できます。（▶**77**ページ）

- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。（▶**74**ページ）

3 音量を調節する

音量ボタンや消音ボタンで調節します。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
- 一時的に音を消せます。

110度CSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ チャンネル番号
1	100
2	001
3	－
4	－
5	－
6	－
7	－
8	－
9	－
10/0	－
11	－
12	－

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合･東京	011
2	NHK教育･東京	021
3	－	－
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	TOKYO MX	091
10/0	－	－
11	－	－
12	放送大学	121

工場出荷時は関東の東京で受信できるチャンネルが登録されています。

おしらせ

- ３桁のチャンネル番号でも選局できます。（▶ **75** ページ）

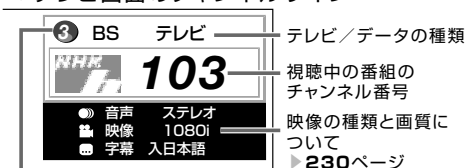
次のページに続く

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

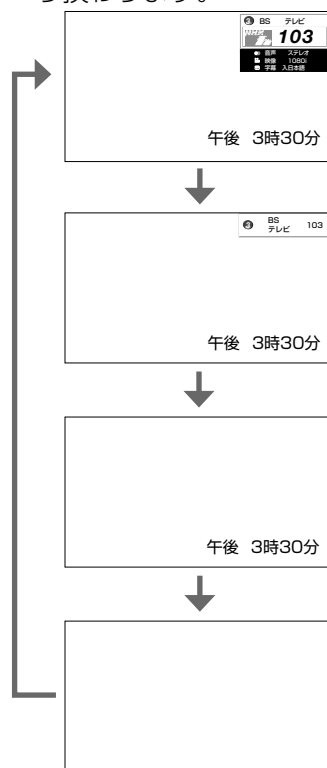
● 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 画面表示 を押す

チャンネルサインを表示する

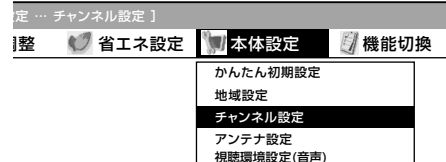
▼テレビ画面のチャンネルサイン

2 画面表示 を押す

チャンネルサインの表示を切り換える

・ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

・上記は、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」（▶ **88** ページ）を「する」にしている場合です。

選局ボタンでの選局される順番を変更する（地上デジタル放送のみ）

● 工場出荷時は、3 桁チャンネル番号順で選局されます。この順番を電子番組表（▶ **78** ページ）に表示されている順番に変更することもできます。

1 地上D を押す

地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー を押す

メニューを表示する

3 で選び 決定 を押す

「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び を押す

「地上デジタル」を選ぶ

5 で選び を押す

「地上デジタル－選局順」を選ぶ

6 で選び を押す

「モード 1」または「モード 2」を選ぶ

・**「モード 1」**：番組表に表示されている順番で選局できます。
・**「モード 2」**：チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます。
・操作を終了する場合は終了ボタンを押します。

その他の選びかた

よく見るチャンネルを登録して選局できるようにする（お好み選局／登録）

- よく見るチャンネルを 12 局まで登録しておき、数字ボタン（チャンネルボタン）で選局できます。
- 地上デジタル、地上アナログ、BS デジタル、110 度 CS デジタルやテレビ、データを混在させた登録ができるので、放送の種類を切り換えずにチャンネルを換えられ、チャンネルが選びやすくなります。

お好み選局でチャンネルを選ぶ

1 お好み選局／登録 を押す

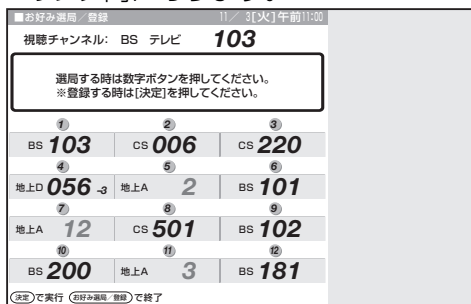
お好み選局／登録画面を表示する

・お好み選局／登録ボタンはリモコンのフタ内にあります。

■お好み選局／登録　11／ 3[火]午前11:00
視聴チャンネル:　BS　テレビ　103
選局する時は数字ボタンを押してください。
※登録する時は[決定]を押してください。

①	②	③
BS 103	CS 006	CS 220
④	⑤	⑥
地上D 056 -3	地上A 2	BS 101
⑦	⑧	⑨
地上A 12	CS 501	BS 102
⑩	⑪	⑫
BS 200	地上A 3	BS 181

(決定)で実行 (お好み選局／登録)で終了

2

のいずれかを押す

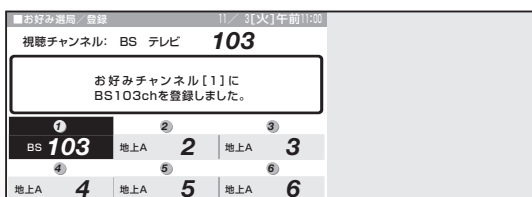
チャンネルを選ぶ

・視聴したいチャンネルを直接選局できます。

おしらせ

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する

① 登録したい放送の種類やチャンネルを選局する
② お好み選局／登録ボタンを押す
③ 決定を押す
④ 登録したい先の数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

（登録例）

（右上につづく）

⑤ 終了ボタンを押し、画面表示を消す（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

・登録したチャンネルを変更するには、①～⑤を行って、新たなチャンネルを登録しなおします。
・お好み選局／登録画面は、工場出荷時には地上アナログ放送のチャンネルに設定されています。
・お好み選局／登録ボタンを押して登録されたチャンネルの確認だけを行い、そのまま終了ボタンを押して終了することもできます。

３桁入力で選ぶ
※ デジタル放送のみの選びかたです。

- ３桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧 ▶**72～73**ページ）を入力しても選局できます。

1

のいずれかを押す

デジタル放送の種類を選ぶ

2 3桁入力 を押す

３桁入力欄を表示する

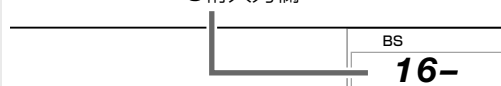
・繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

3 1 ～ 10/0 で入力

３桁チャンネル番号を入力する

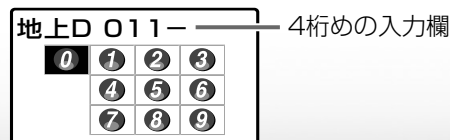
（例）BSデジタル放送の161チャンネル（BS-TBS）を選んでいるとき

3桁入力欄

BS
16–

・間違った番号を入力した場合は、３桁入力ボタンを押してから入力しなおします。

おしらせ

地上デジタル放送の場合は

・地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、４桁め（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶには

- ケーブルテレビ（CATV）放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。
- CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた▶ **67** ページ）
- 本機のCATV チャンネルは、C13～C 63 チャンネルの範囲で選局できます。

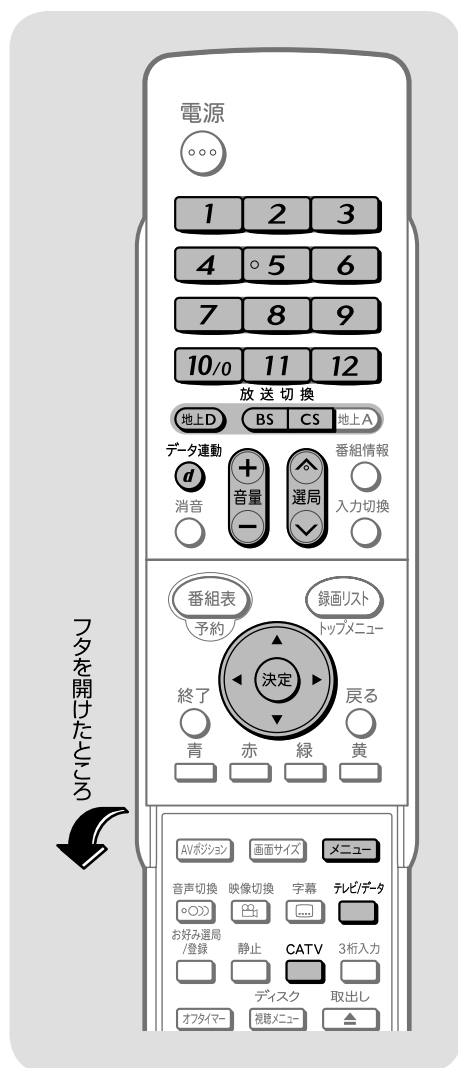
1 CATV を選ぶ

を押す

2 チャンネル番号を入力する

で入力

（例）C23 を選ぶとき

・「2」→「3」の順に押します。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BS デジタル放送を選ぶ

を押す

2 データ放送に切り換える

テレビ/データ を押す

3 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

で選ぶ

連動データ放送（データ連動 ⓓ）の番組から選ぶ

1 デジタル放送の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

を押す

2 メニューに表示されている目次から、天気予報や株価の項目を選ぶ

で選び

を押す

・操作のしかたは、表示されているメニューの内容によって異なります。

天気予報や株価を知りたいときは地域設定（▶**54**ページ）を行ったあとデータ放送をご活用ください。

デジタル放送のチャンネルのボタン番号を確認・変更するときは

● 数字ボタン（チャンネルボタン）の登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

登録チャンネルを確認する

1 登録を確認したいデジタル放送を選局する

のいずれかを押し

テレビ/データ を押す

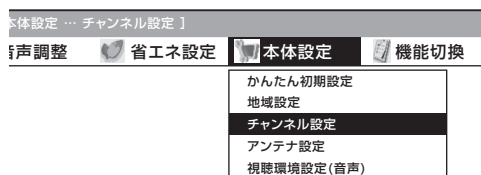
- 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／BS デジタル放送／110度CSデジタル放送)やメディア（テレビ／データ）を選びます。

2 メニューを表示する

を押す

3 「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

本体設定 … チャンネル設定]
音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換
かんたん初期設定
地域設定
チャンネル設定
アンテナ設定
視聴環境設定(音声)

4 ①「デジタル登録」を選ぶ ②「する」を選ぶ

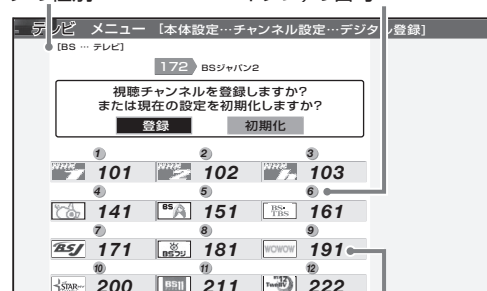
で選び

を押す

- チャンネルの一覧が表示されます。

（例）BS デジタル放送の、テレビ放送の一覧

選ばれている放送の種類とテレビ／データの種別

登録されているリモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

登録されている放送チャンネルのロゴ

登録されている放送チャンネルの番号

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

チャンネルを登録する

1 登録したいデジタル放送のチャンネルを選ぶ

2 左の手順 2 〜 4 を行う

3 「登録」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 登録したい数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

1 〜 12 のいずれかを押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、終了ボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

おしらせ

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ）につき12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 3 で「初期化」を選びます。そのあとは、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表（EPG※）で番組を選ぶには

電子番組表とは

- テレビ画面に表示される番組の一覧表のことを「電子番組表」といいます。
- 地上デジタル放送やBS･110度CSデジタル放送では電子番組表が送信されています。デジタル放送の受信中に（番組表/予約）を押すと、電子番組表が表示できます。

※「EPG」とは、Electronic Program Guide のことです。

映画や音楽などジャンルごとの番組一覧を表示したり、一週間先までに放送される番組を確認できます。

こんなことができます

電子番組表の見かた

（モード 1 の例）

選択中の放送の種類とテレビ／データの種別

選択している日にち

選んでいる番組の情報

放送局名とチャンネル番号

予約リスト

時間帯
AM:午前
PM:午後

番組名

テレビ　番組表　[BS　テレビ]　今日　4[水]　5[木]　6[金]　7[土]　8[日]　9[月]　10[火]　11/ 3 [火] 午前11:00

5 151　BS 朝日1　午後 2:00～午後 3:00　世界の絶景スペシャル

BS 日テレ 4 141　BS 朝日1 5 151　BS-TBS 6 161　BS ジャパン 7 171　BS フジ･181 8 181　WOWOW 9 191　スター・チャン･･ 10 200

■予約リスト　P1 P2 P3 P4 1/1

11/ 3[火]　午後 2:00:00～午後 3:00:00　5 141 BS朝日1　世界の絶景スペシャル　録画画質：標準

録画画質：標準　残量：1時間10分

で選択　予約は（決定）を押す　（戻る）で前の画面に戻る　（番組表）で終了　（青）で番組情報を見る（赤）でジャンル検索（緑）で日時検索（黄）で予約リスト

おしらせ

予約リストについて

- 電子番組表から「らくらく一発予約」（▶ **118** ページ）を行うと、予約リストが電子番組表の左端に表示されます。予約リストとは、設定した予約録画や視聴予約の一覧です。
- 予約リストは、 1ページ4番組・全4ページ (合計 16 番組）まで表示されます。
- 予約の変更は、予約リストから行います。予約リストの操作と番組表の操作の切り換えは、カラーボタン（黄）で行います。

おしらせ

- 本機で電子番組表を表示できるのは、デジタル放送のみです。
- 電子番組表やメニュー画面などの表示色を変更することができます。（画面表示色設定▶ **99** ページ）
- 本書ではおもに BS デジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。
- 地上デジタル放送の電子番組表は、送信している各チャンネルから取得する必要があります。
- BD レコーダー機能を使って BD を再生しているとき、電子番組表は表示できません。

電子番組表の表示内容について

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………6 時間

おしらせ

- 電源を入れてからすぐに番組表ボタンを押すと、番組表の内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

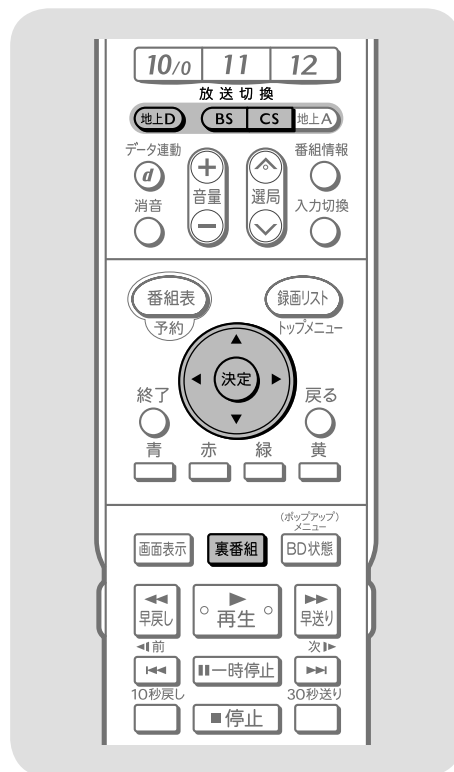
番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	予約録画(BD録画)している番組
	予約録画(ファミリンク録画)している番組
	録画できない番組
	録画に制限がある番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

放送中の他の番組（裏番組）を調べる

● 視聴中に［裏番組］を押すと、裏番組を一覧で確認できます。

1 裏番組表を表示する

［裏番組］を押す

2 裏番組を選ぶ

- 選んだ番組に切り換わります。

［決定］を押す

おしらせ

- 地上D･BS･CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ･データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示できます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上D・BS・CS）、リモコンフタ内のテレビ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表の使いかた

1 電子番組表を表示する

を押す

・放送切換ボタンやテレビ／データボタンで放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

（モード１の例：放送局名の表示は変更になることがあります。）

※

電子番組表を閉じる

電子番組表を閉じる

・通常の画面に戻ります。

※ 予約リストに表示される録画可能時間の残量表示は、表示されている番組表（地上D／BS／CS）のハイビジョン放送を録画できる時間です。

番組内容の紹介（番組情報）を見るには

1 内容を確認したい番組を選ぶ

で選び

2 番組情報の画面を表示する

青
を押す

・番組情報が表示されます。

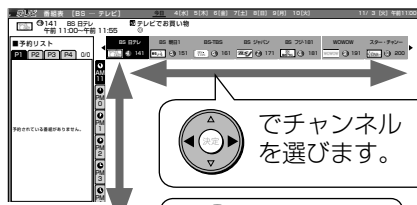
・番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・番組情報の表示中に決定ボタンを押すと、放送中の番組の場合は選んでいる番組が選局されます。放送予定の番組の場合は、選んでいる番組がBDレコーダー機能で予約録画設定されます。

視聴中の番組の情報を見るには

・視聴中に 番組情報 を押してください。（▶ **87** ページ）
（電子番組表を表示する必要はありません。）

番組表表示中の音声について

- デジタル放送の電子番組表を表示しているときに次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。
  - カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
  - 放送切換ボタン(地上D･BS･CS)で放送の種類を切り換えたとき
  - 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
  - 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
  - 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき

2 見たい番組を選ぶ

で選び
を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、BD レコーダー機能で予約録画設定されます。
  (予約については ▶ **118** ページをご覧ください。)

隠れている部分を見るには

おしらせ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 電子番組表の表示方式を切り換えることができます。(▶ **83**ページ)

分類(ジャンル)で番組を探すには

1 ジャンル検索の画面を表示する

赤
を押す

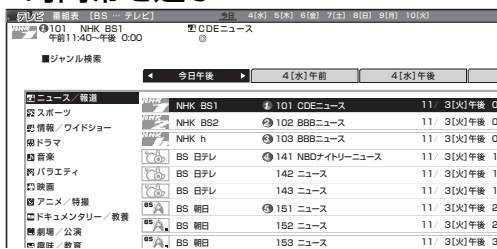
2 ジャンルを選ぶ

で選ぶ

3 時間帯を選ぶ

で選び
を押す

4 見たい番組を選ぶ

で選び
を押す

- 番組表示を黄ボタンで次のページに、緑ボタンで前のページに送ることができます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、BD レコーダー機能で予約録画設定されます。(予約については ▶ **118** ページをご覧ください。)

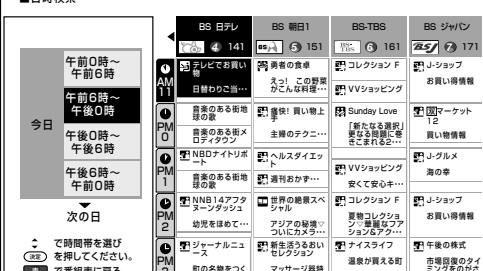
日時を指定して番組を探す

1 日時検索の画面を表示する

緑
を押す

2 時間帯を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

3 見たい番組を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、BD レコーダー機能で予約録画設定されます。
  (予約については ▶ **118** ページをご覧ください。)

電子番組表をもっと便利に利用する

● 電子番組表をもっと便利に利用するため、電子番組表の表示内容の設定を変更できます。

地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる

● 番組表取得設定（地上デジタル放送の番組表取得設定）を「する」に設定すると、地上デジタル放送の電子番組表が電源待機中に自動取得されます。自動取得しておくと、電子番組表の表示が速くなります。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

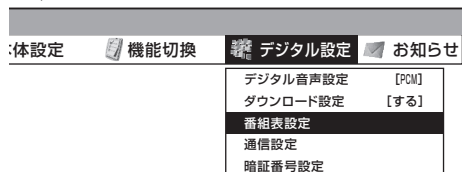
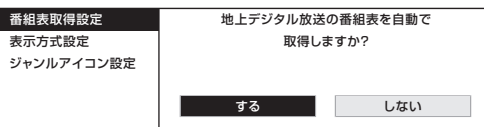
3 「番組表取得設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

番組表取得設定	地上デジタル放送の番組表を自動で取得しますか?
表示方式設定	
ジャンルアイコン設定	する　しない

4 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機が放送局の番組情報を取得しているためです。）また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる

● ジャンルアイコン設定で電子番組表のジャンルを示すアイコン（▶ 79 ページ）に濃淡を付けて、識別しやすくできます。

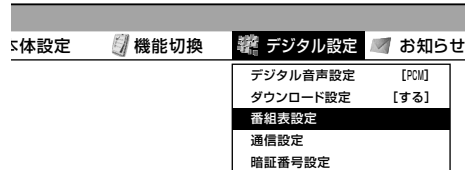
1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

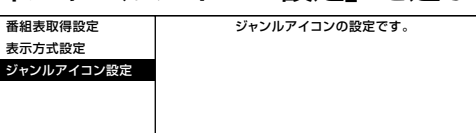
で選び

決定 を押す

体設定	機能切換	デジタル設定	お知らせ
		デジタル音声設定 ［PCM］	
		ダウンロード設定 ［する］	
		番組表設定	
		通信設定	
		暗証番号設定	

3 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

で選び

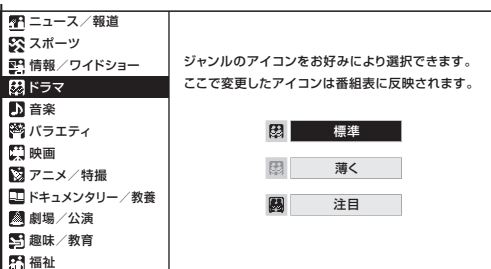
決定 を押す

番組表取得設定	ジャンルアイコンの設定です。
表示方式設定	
ジャンルアイコン設定	

4 ジャンル名を選ぶ

で選び

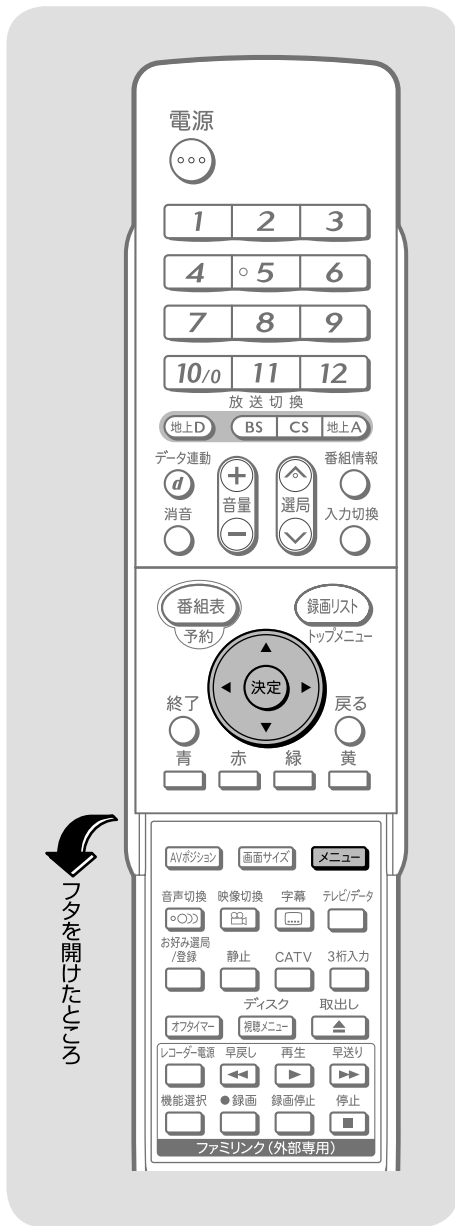
決定 を押す

5 「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選ぶ

で選び

決定 を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電子番組表の表示範囲を変える

● 表示方式設定で、番組表に一度に表示できる範囲の設定ができます。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「表示方式設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

4 「モード1」「モード2」のいずれかを選ぶ

- 「モード1」：新聞のテレビ欄のように横に多くのチャンネル※を同時表示します。（工場出荷時には「モード1」に設定されています。）
- 「モード2」：新聞のテレビ欄のように横にチャンネルを並べ表示します。

※ 画面文字サイズ設定が「標準」のときは、7チャンネル分を表示します。画面文字サイズ設定が「大きな文字」のときは、5チャンネル分を表示します。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び 決定 を押す

モード1の電子番組表の例

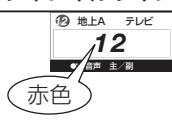
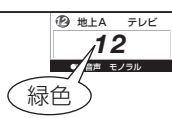
モード2の電子番組表の例

おしらせ

- 画面文字サイズ設定（▶ **98** ページ）を「大きな文字」にしている場合は、「モード2」を選択できません。

音声・映像・字幕を切り換える

音声の見分けかた

・アナログ放送では、二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

地上アナログ放送で二重音声放送（二ヶ国語、主音声+副音声、ステレオ）の番組を見るときは

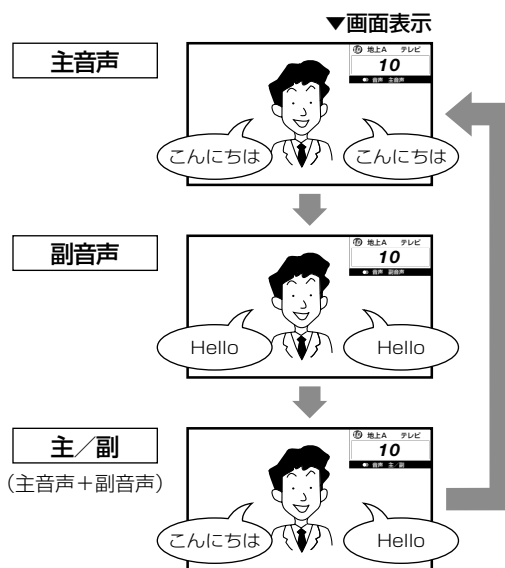
● 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

二重音声放送の音声を切り換える

● ニュースや洋画などの二ヶ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の 2 種類の音声が楽しめます。

音声切換 を押す

お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

音声をモノラルで聞きたいときは

● ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。

テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。

ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

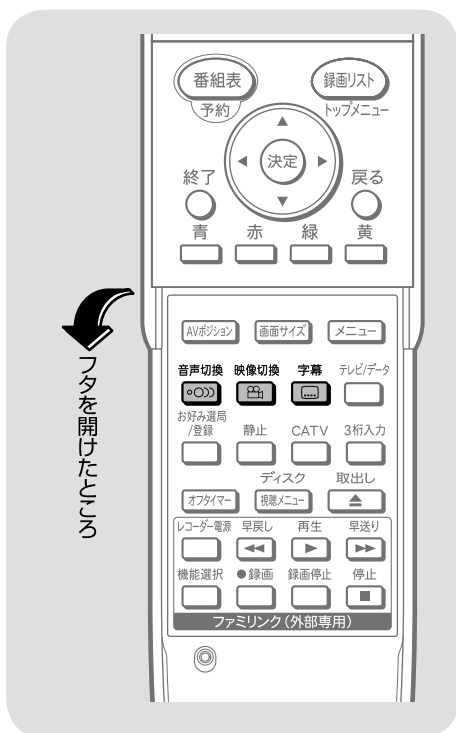
おしらせ

・雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送で映像・音声・字幕を切り換える

● 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。

● 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

映像切換 を押す

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。
  ※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換 を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2～8※→

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副→

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕 を押す

字幕を表示する（切り換える）

- ボタンを押すたびに字幕※の表示が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに字幕表示が出ます。（切り換わりかたは、左記の「字幕表示設定」によって変わります。）
  ※放送局から強制的に表示する字幕が送られてくる場合があります。その際は、字幕表示「入」・「切」やチャンネルサインに関係なく、字幕が表示されます。

- 「字幕表示設定」を「しない」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕非表示→字幕1表示→字幕2表示→

字幕が1種類のとき　→字幕非表示→字幕表示→

- 「字幕表示設定」を「する」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕1表示→字幕2表示→

字幕が1種類のとき　字幕表示のまま変化なし

おしらせ

音声の選択について

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 予約録画時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声 1」で録画します。

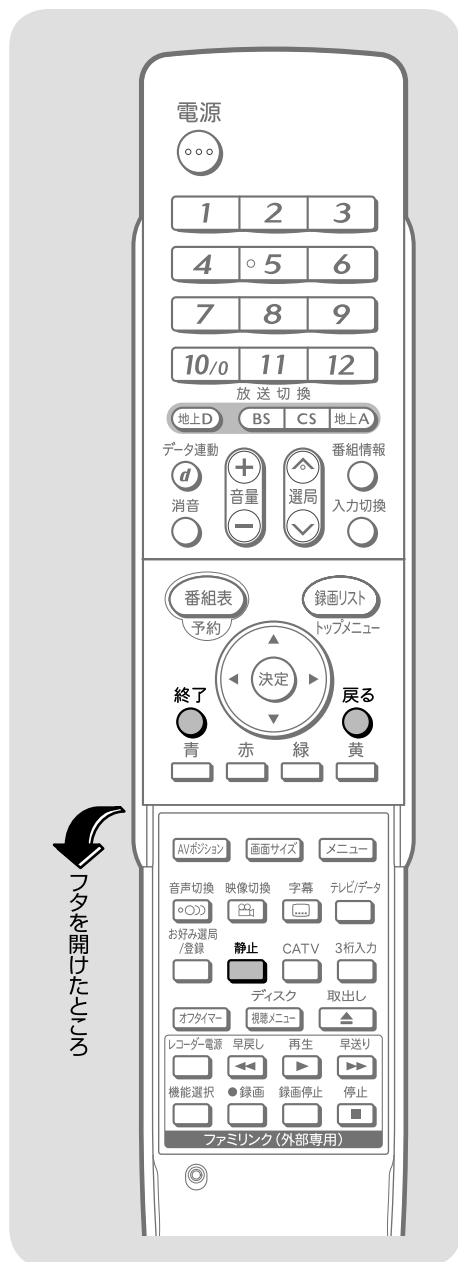
字幕表示設定について

- メニューの「機能切換」－「字幕表示設定」で設定します。

項目	内容
する	・字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕を常に表示させます。 ・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、複数の字幕の切り換えができます。字幕表示は消えません。
しない	・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切と複数の字幕の切り換えができます。（工場出荷時の設定）

テレビを見るときの便利な使いかたについて

見ている画面を静止させる

● いま見ている放送を静止できます。
料理番組のメモをとったりするときに便利です。

1

静止

を押す

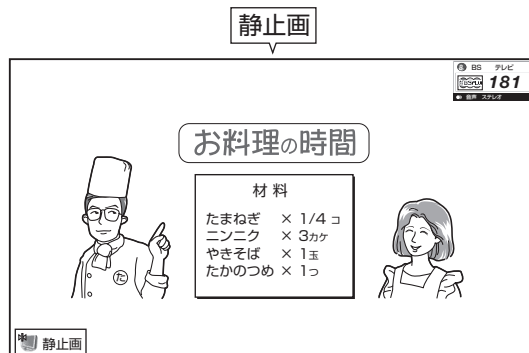
視聴中に映像を静止させる

・ 視聴中の映像が静止画になります。

2

静止

を押す

元に戻す

・ 視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。
・ 戻るボタンまたは終了ボタンを押しても、元に戻せます。

おしらせ

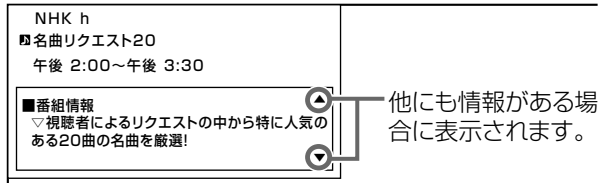
・ 次の場合は、静止画が解除されます。
 · 選局や入力切換の操作をしたとき
 · メニューボタンを押したとき
 · 映像を静止してから 30 分経過したとき
・ 静止画表示中は画面サイズや AV ポジションの切り換えや、番組表、裏番組、番組情報の表示はできません。

見ているデジタル放送の番組の詳細を知りたいときは

● デジタル放送の番組視聴中に番組情報が表示できます。

1 番組情報 を押す

デジタル番組の視聴中に番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 番組情報の右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで表示の送り・戻しができます。
- 視聴中のチャンネルで 2 分以内に次の番組が始まる場合は、次の番組の情報も表示されます。

2 番組情報 を押す

元に戻す

- 番組情報が消えます。
- 終了ボタンでも番組情報を消すことができます。

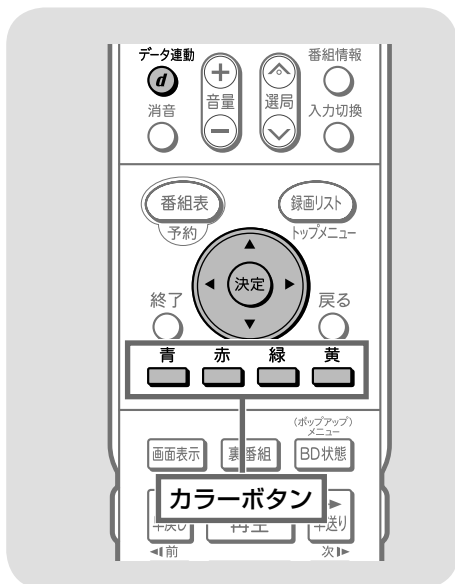
おしらせ

番組名表示設定

- 選局したときに番組名を表示するように設定することができます。
- メニューの「機能切換」－「番組名表示設定」で設定します。

項目	内容
する	選局したときに番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	何も表示しません。

番組に連動したデータ放送を見る

● テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

データ放送画面を表示する

データ連動 を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（画面例）

・テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

データ放送画面の基本操作

● データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

● 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んだり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

おしらせ

・電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

時刻を表示するには（時刻表示）

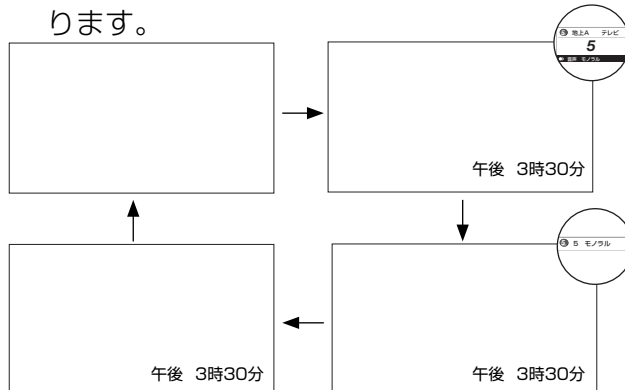
重 要

・デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で時刻を合わせておいてください。（▶ **89** ページ）

時刻表示のしかたを選ぶ

● メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30 分ごと）	毎時 00 分と 30 分に現在時刻を表示します。
しない	表示しません。

●「する」に設定したときは、画面表示ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

チャンネルの切り換え時に動きの効果をつける

● チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくよう設定できます。

● メニューの「機能切換」－「選局効果」で設定します。

項目	内容
する	選局効果を設定します。
しない	選局効果を設定しません。

「する」に設定したときの画面の、切り換わりかた

・選局ボタンで選局したときは、画面の上または下から次のチャンネルに変わります。
・放送切換ボタンで選局したときは、画面の左または右から次のチャンネルに変わります。
・チャンネルボタンや３桁入力（▶ **75** ページ）などその他の手順で選局したときは、画面の外周または中央から次のチャンネルに切り換わります。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れるには(オンタイマー設定)

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。
- メニューの「機能切換」－「オンタイマー設定」で設定します。設定する場合は、「オンタイマー」を「入」にして、以下の各項目を設定します。
- オンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、右記の「時刻設定」で合わせてください。

項目	内容
オン時刻（時）	タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
オン時刻（分）	タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
オン入力	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示される放送の種類（地上A、地上D、BS、CS)、入力またはディスク（本体のBDレコーダー機能）を選びます。
オンCH	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示されるチャンネルを選びます。
音量	タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0～60の範囲で選べます。

おしらせ

- オンタイマーで外部入力を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。
- 「オン入力」をディスク（内蔵のBDレコーダー機能）に設定している場合には、あらかじめ本機に再生するディスクをセットしてください。本機にディスクが入っていないときは、ディスク（内蔵のBDレコーダー機能）以外で最後に視聴したチャンネルまたは外部入力の画面で電源が入ります。ディスクが入っていても、読み込みが完了するまでは、前回視聴していたチャンネルまたは外部入力の映像となります。
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマー／予約ランプの色を確認してください。本体の電源スイッチで電源を切った場合には、予約録画・視聴予約は実行されませんのでご注意ください。
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- オンタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。(電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。)

時刻が合っていないときは（時刻設定）

- 画面に現在時刻を表示したり、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計を正しい時刻に合わせる必要があります。

自動時刻設定機能について

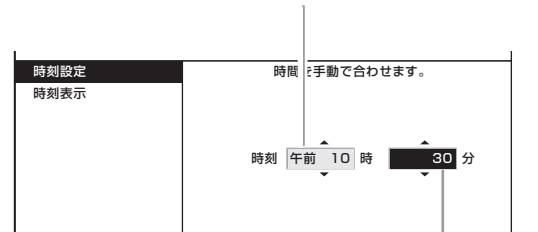
- デジタル放送を受信している場合は、自動的に時刻が設定されます。

  デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、「時刻が設定されていません。」と表示されます。この場合は、下記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

- メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

（例）午前10時30分に合わせる

1 上下カーソルボタンで「午前 10」時に合わせる

2 右カーソルボタンを押す

3 上下カーソルボタンで「30」分に合わせ、決定ボタンを押す

おしらせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は12時間表示です。
- 設定後、現在時刻を確認したいときは、時刻表示（▶**88**ページ）を「する」に設定したあと、画面表示ボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をしなおしてください。

画面のサイズや映像、音声を調節する

画面の位置がずれているときは（位置調整）

● 画面の垂直位置と水平位置を調整することができます。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「本体設定」－「位置調整」を選ぶ

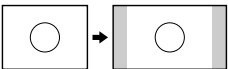
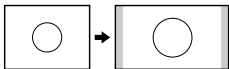
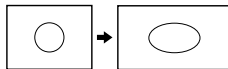
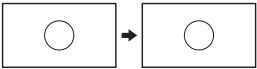
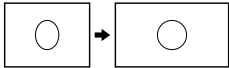
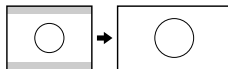
で選び

決定 を押す

3 「水平位置」または「垂直位置」を選ぶ

で選ぶ

4 適切な位置に調整する

で選ぶ

項目	内容
水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは（画面サイズ）

- 画面サイズを切り換えて、映像の左右や上下の幅を変えることができます。
- 映像の種類（▶155ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

ノーマル	スマートズーム	ワイド
通常のテレビ（4:3サイズ）の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。	通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。
Dot by Dot/アンダースキャン	**フル**	**シネマ**
入力信号どおりの映像で映します。 16:9 → 16:9	16:9から4:3に圧縮された映像を元の16:9に戻して画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

・ 1080p の信号を入力している場合、AV ポジション「PC」にしているときは、Dot by Dot のみとなります。

画面サイズ を押す

① 画面サイズ切換メニューを表示する

・ 表示中に次の操作を行います。

② お好みの画面サイズを選ぶ

・ 上下カーソルボタンでも選べます。

画面サイズ切換
ノーマル
スマートズーム
ワイド
シネマ
フル

映像の種類	選択できる画面サイズ
480i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 480p	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →（ノーマルに戻る）
1080i ハイビジョン	→フル1 →フル2（1035i）※1 → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フル1に戻る）
1080 p ハイビジョン	→ フル → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルに戻る）
720p※2 ハイビジョン	→ フル → アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →（フルに戻る）

※ 1 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

※ 2 デジタル放送を視聴しているときは、選択できる画面サイズは 1080i と同じになります。

重 要

- 本機の画面サイズ切換機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常（4:3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、位置調整（▶90ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

映像を自動で最適な大きさに切り換える／画面の大きさが勝手に変わるのを防ぐ（オートワイド機能）

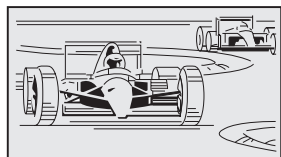
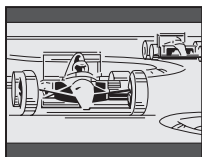
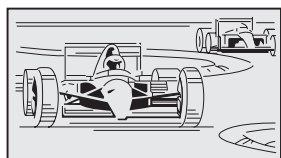
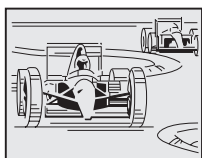
● オートワイド機能は、オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示する機能です。デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	受信している地上アナログ放送や入力1～5から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（▶ **91** ページ）にします。
HDMI 識別	入力1・2から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力3・4のD映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときはD端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
S2 対応 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力5のS2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

おしらせ

- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 映像判別は、D端子から入力された映像が480p、1080i、720pの場合は働きません。また、HDMI端子から入力された映像が、1080i、720p、1080pの場合も働きません。
- S2対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合（映像判別を除く）

画面が大きくなったり小さくなったりするときは

- オートワイド機能が働いているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは最適な画面サイズを探すために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、手順 **4** ～ **5** ですべての項目の設定を「しない」にしてください。

1 放送や入力を切り換える

や 入力切換 を押す

映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力1～5に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき
- HDMIケーブルをつないだ入力1・2に切り換えます。

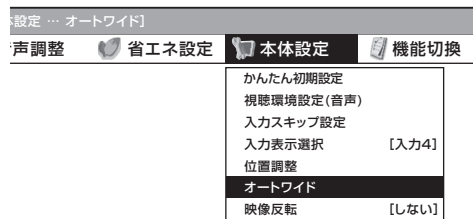
D 端子識別を設定するとき
- D端子ケーブルをつないだ入力3・4に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S端子ケーブルをつないだ入力5に切り換えます。

2 メニューを表示する

メニュー を押す

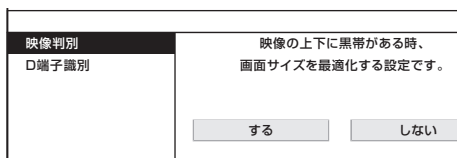
3 「本体設定」－「オートワイド」を選ぶ

で選び
を押す

4 設定したい項目を選ぶ

（例）映像判別の場合

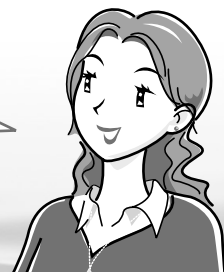
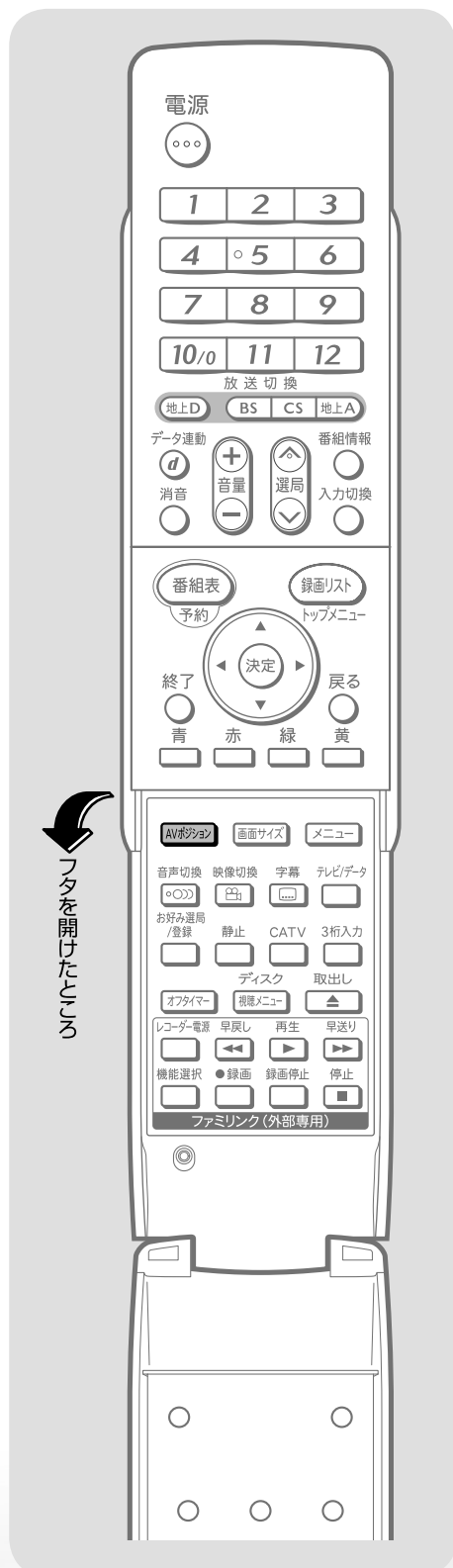
で選び
を押す

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

する：画面サイズを自動で最適化します。

しない：画面サイズの最適化機能は働きません。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

「オートワイド」のすべての項目を「しない」に設定すると、画面サイズが勝手に変わらなくなります。

映画やゲームなどに適した映像・音声にする(AVポジション)

項目	内容
標準 (工場出荷時の設定)	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
映画(リビング)	リビングなど明るいところで、映画などの映像を見るときにおすすめのモードです。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC	PC 用の画面モードです。
AV メモリー	入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
ダイナミック(固定)	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。

フタを開けたところ

1 AV ポジションを表示する

AVポジション を押す

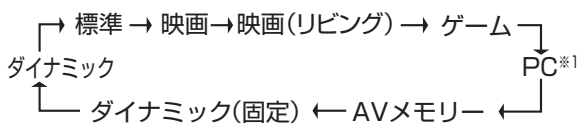
- 画面左下に現在の AV ポジションが表示されます。

AVポジション：標準 — AVポジション表示

2 表示が出ている間に再び AV ポジションボタンを押し、お好みの設定を選ぶ

AVポジション を押す

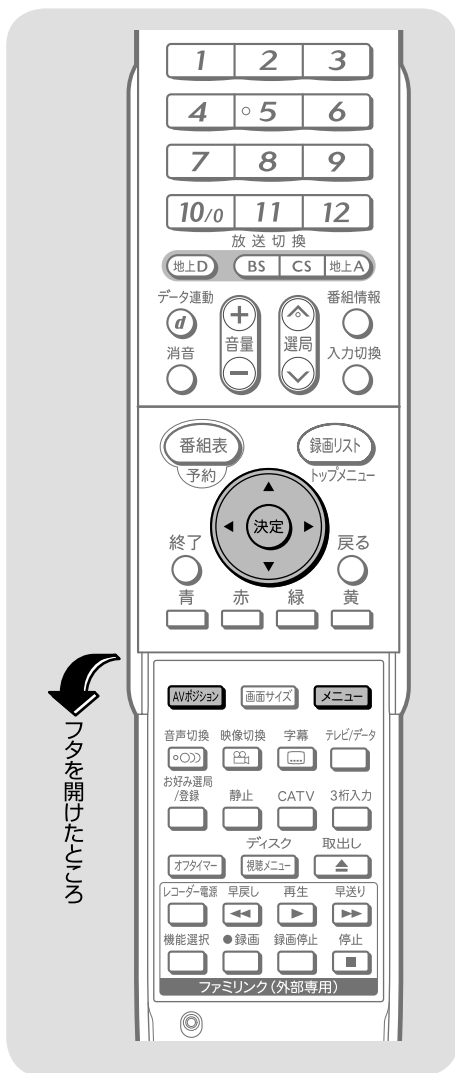
- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

標準 → 映画→映画(リビング) → ゲーム → PC※1 → AVメモリー → ダイナミック(固定) → ダイナミック → 標準

※1「PC」は入力 1 ～ 2、入力 6 選択時に表示されます。

おしらせ

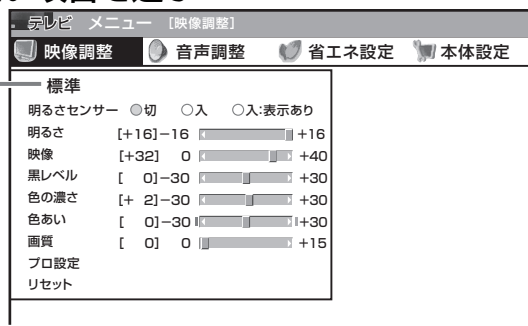
- AV ポジションの「標準」「映画」「映画(リビング)」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、映像調整(▶ **94** ページ)を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
  入力切換を行っても、「標準」「映画」「映画(リビング)」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別の調整を用意したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- AV ポジションは入力ごとに別のものを選べます。(例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など)

画面の明るさや色を変えるには（映像調整）

● 選択しているAVポジションの映像を調整できます。

項目	内容
明るさセンサー	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。 明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で調整することもできます。（明るさセンサー設定 ▶ **95** ページ）
明るさ	画面をお好みの明るさに調整します。調整すると明るさセンサーは「切」になります。
映像	映像の強弱を調整します。
黒レベル	画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色あい	色を調整します。
画質	画面をお好みの画質に調整します。
プロ設定	映像をさらにきめ細かく調整します。（▶ **95** ページ）
リセット	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

1 映像調整をしたいAVポジションを選ぶ

AVポジション を押す

2 メニューを表示し、「映像調整」の中から調整したい項目を選ぶ

メニュー を押し

で選ぶ

・選択中のAVポジションが表示されます。
この画面からAVポジションボタンを押してAVポジションを切り換えることもできます。

3 ◆「プロ設定」以外を設定する場合
左右カーソルキーでお好みの設定にする

で選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

◆「プロ設定」を設定する場合
決定を押したあと画面に従って操作する

を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・AVポジションごとに、お好みの映像調整を記憶できます。先にＡＶポジション（▶ **93** ページ）を選んでから映像調整してください。

AVポジションによる違いについて

・「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
・「AVメモリー」は、入力ごとの調整となります。
・その他のAVポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

映像調整の各項目の設定範囲については、▶214・216ページをご覧ください。

プロ設定の項目

「プロ設定」の各項目の設定範囲については、「メニュー項目の一覧」（▶ **214**・**216** ページ）をご覧ください。

項目	内容
カラーマネージメント※	色の構成要素となる6つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
色温度	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとにRゲイン、Gゲイン、Bゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
QS駆動（120Hz）	• **アドバンス**（120Hz駆動）：通常60コマ／秒で表示される映像を120コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。また、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **スタンダード**：動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **しない**：QS駆動を停止します。
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の2つの中から選べます。
ガンマ設定	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を、あらかじめ設定されている4つの中から選べます。
I／P設定	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 元がプログレッシブの映像（480p、720p、1080p）およびPC信号入力では、選択できません。
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が24コマ／秒の映像を高画質で再生します。 ＡＶポジションが「ゲーム」のとき、元が480p、720p、1080i、1080pの映像およびPC信号入力では、選択できません。
3次元ノイズリダクション	本機で録画した番組やビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。1080pの映像およびAVポジションが「PC」のときは、選択できません。
3次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
モノクロ	白黒映像にします。
明るさセンサー設定	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。

プロ設定を工場出荷時の設定に戻したいときは

- ▶ **94** ページの手順 **2** で「リセット」を選びます。左右カーソルボタンで「する」を選びます。

※ **カラーマネージメントの調整項目について**
例: 色相の調整の場合

系統色	調　整 −30………0………+30
R(赤)	マゼンタに近づく⟷黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく⟷緑に近づく
G(緑)	黄に近づく⟷シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく⟷青に近づく
B(青)	シアンに近づく⟷マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく⟷赤に近づく

おしらせ

- 「QS駆動（120Hz）」の設定を「アドバンス」または「スタンダード」にすると映像が乱れる場合があります。その場合は「しない」にしてください。
- QS駆動の設定を「アドバンス」にしても、映像によっては効果が分からないことがあります。

明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

- 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。（メニューや音量表示中、消音中は表示されません。）

▼本体前面

- 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせるには

- 左記の「プロ設定」の「3次元ノイズリダクション」を「強」または「弱」に設定してみてください。

お好みの音質にするには（音声調整）

● 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
● お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

項目	内容
高音	高音を調整できます。
低音	低音を調整できます。
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。
音質補正	選択している AV ポジションの音質を設定します。
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

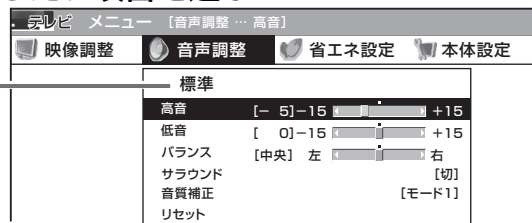
1 音声調整をしたい AV ポジションを選ぶ

を押す

2 メニューを表示し、「音声調整」の中から調整したい項目を選ぶ

を押し

で選び

で選ぶ

・選択中の AV ポジションが表示されます。この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

3 ◆「高音」「低音」「バランス」を設定する場合

左右カーソルキーでお好みの設定にする

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選ぶ

◆「サラウンド」を設定する場合

決定を押したあと「入」または「切」を選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

を押し

で選び

を押す

◆「音質補正」を設定する場合

決定を押したあと「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかを選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・ＡＶポジションごとに、お好みの音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（▶ **93** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

次の場合は音声調整が行えません

・AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
・「ヘッドホン設定」が「モード 1」でヘッドホンを接続しているとき
・モニター音声出力端子設定を「可変」に設定しているとき
・ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき

「サラウンド」について

・ヘッドホンで音声を聴いているときや、モニター音声出力端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
・放送や BD、DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

工場出荷時の設定に戻したいときは

・手順 **2** でメニューを表示し、「音声調整」の中から「リセット」を選びます。左右カーソルボタンで「する」を選びます。

音声調整の設定範囲については、▶214ページをご覧ください。

部屋や置きかたに適した音質を選ぶには

● この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

おしらせ

- 視聴環境設定(音声)は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（▶ **96** ページ）で調整してください。

1 メニューを表示する

を押す

2 「本体設定」－「視聴環境設定　（音声）」を選ぶ

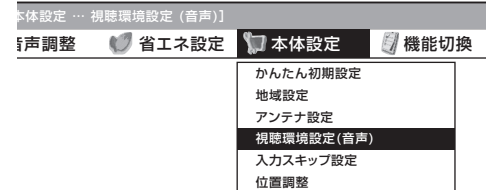
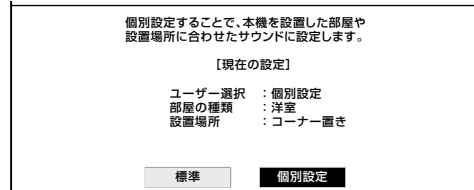
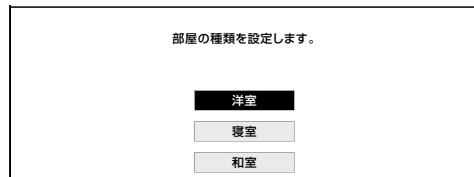
▲▼◀▶ で選び　決定 を押す

3 「個別設定」を選ぶ

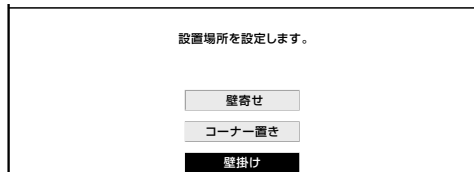
◀▶ で選び　決定 を押す

- 「標準」は、設定オフの状態になります。

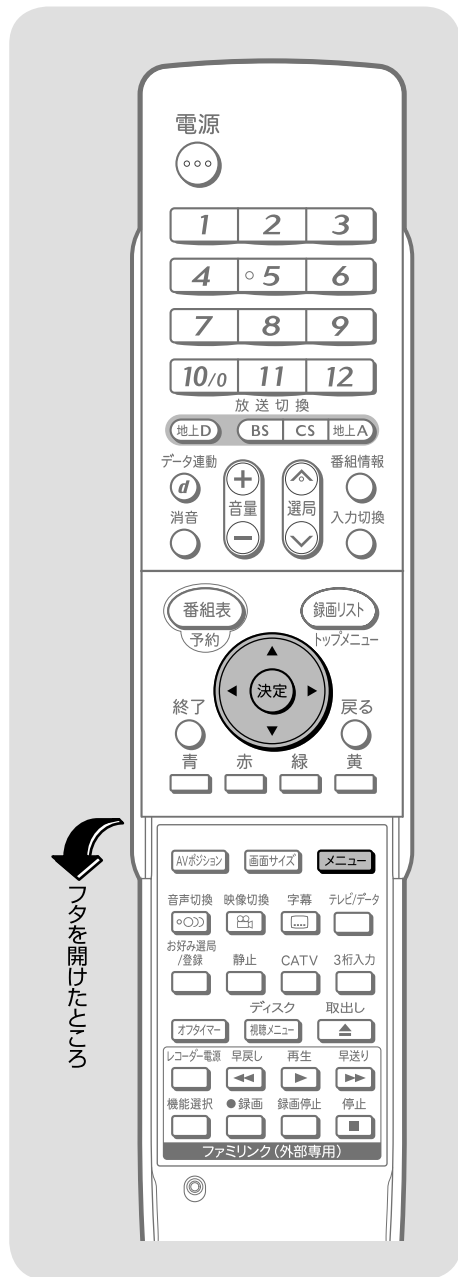
4 視聴している部屋の種類を選ぶ

▲▼ で選び　決定 を押す

洋室	フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
寝室	ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
和室	畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。

5 本機の設置場所を選ぶ

▲▼ で選び　決定 を押す

壁寄せ	部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
コーナー置き	部屋の角に設置している場合に選びます。
壁掛け	専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。(▶**226**ページ)

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

番組表、メニュー表示や映像表示、音声などをお好みに変更する

「大きな文字」にしたときは

- 「番組表設定」－「表示方式設定」（▶ **83** ページ）の設定により、番組表の表示が次のように変わります。
  - 「モード 1」の場合、番組表に表示されるチャンネルが 5 チャンネル分になります。
  - 「モード 2」の場合、「モード 1」に変わります。

メニューなどの文字を大きくする（画面文字サイズ設定）

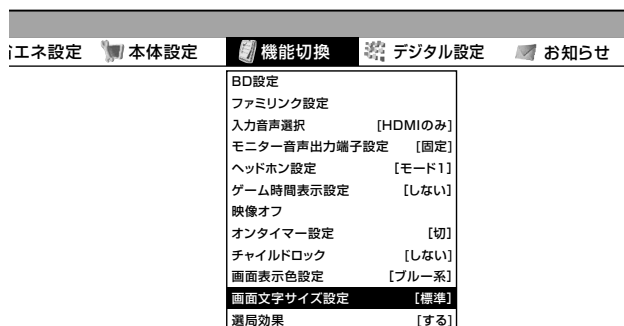
● メニューや番組表などに表示される文字の大きさを大きくすることができます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「画面文字サイズ設定」を選ぶ

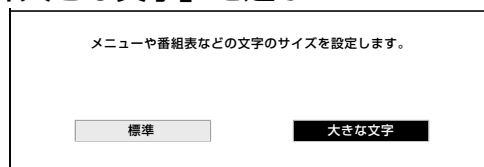
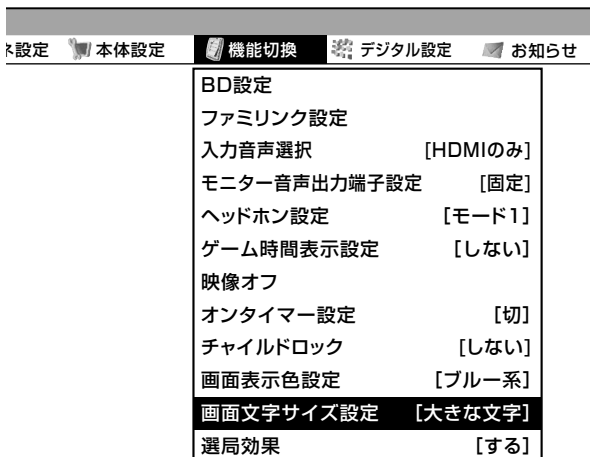
で選び
決定
を押す

機能切換	
BD設定	
ファミリンク設定	
入力音声選択	[HDMIのみ]
モニター音声出力端子設定	[固定]
ヘッドホン設定	[モード1]
ゲーム時間表示設定	[しない]
映像オフ	
オンタイマー設定	[切]
チャイルドロック	[しない]
画面表示色設定	[ブルー系]
画面文字サイズ設定	[標準]
選局効果	[する]

3 「大きな文字」を選ぶ

で選び
決定
を押す

メニューや番組表などの文字のサイズを設定します。

標準　大きな文字

機能切換	
BD設定	
ファミリンク設定	
入力音声選択	[HDMIのみ]
モニター音声出力端子設定	[固定]
ヘッドホン設定	[モード1]
ゲーム時間表示設定	[しない]
映像オフ	
オンタイマー設定	[切]
チャイルドロック	[しない]
画面表示色設定	[ブルー系]
画面文字サイズ設定	[大きな文字]
選局効果	[する]

- メニュー画面などの文字が大きな文字で表示されます。
- 元へ戻したい場合は、「標準」を選びます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

番組表やメニューなどの配色を変えるには（画面表示色設定）

- 番組表、裏番組表、番組情報、メニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面、お好み選局画面、録画リスト、再生リストなどの表示色を、「ブルー系」「グレー系」「レッド系」「グリーン系」の４種類から選ぶことができます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「画面表示色設定」を選ぶ

で選び

を押す

3 「ブルー系」「グレー系」「レッド系」「グリーン系」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

メニューや番組表などの色の設定です。
ブルー系
グレー系
レッド系
グリーン系

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映像を消して音声だけを聞くときは（映像オフ）

- メニューの「機能切換」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

おしらせ

・映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
・操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

・選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする（クイック起動設定）

クイック起動設定とは

- クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間や、BD レコーダー機能の起動時間を早くするための設定です。
- メニュー内のクイック起動設定を「する」に設定することをおすすめします。

クイック起動を設定すると

- 例えば市販のＢＤビデオを挿入したときに、自動的に再生が始まるまでの時間が早くなります。

おしらせ

・クイック起動を「する」に設定した場合、BD レコーダー機能を常時待機状態にして、起動から BD 読み込みまでの動作時間を短縮します。（BD レコーダー機能を常時待機状態にするので消費電力がアップします。工場出荷時は「しない」に設定されています。）

項目	内容
しない	クイック起動しません。
しない（BD は有効）	電源切時に常に BD レコーダー機能のみ有効にします。「しない」ときより、消費電力が増えます。
する（常に BD は有効）	電源切時に常に有効にします。「しない」ときより、消費電力が増えます。
する（2 時間のみ有効）	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。

映像の向きを変えるには（映像反転）

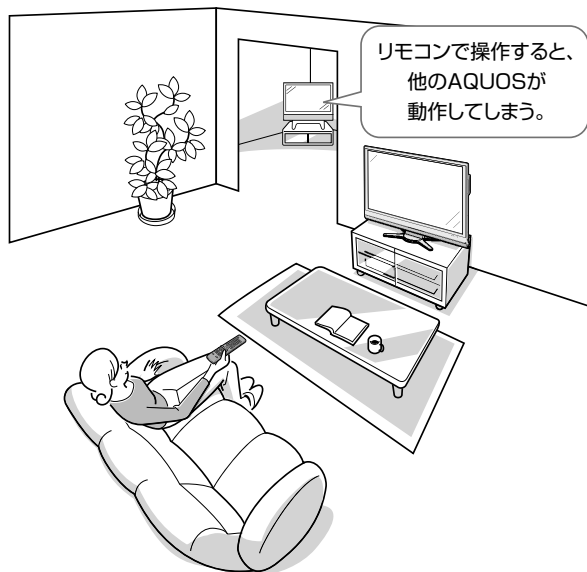
- 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。
- メニューの「本体設定」－「映像反転」で設定します。
- 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容	
しない	通常の表示にします。（工場出荷時の設定）	ABC
左右反転	左右を反転します。	ƆBA

おしらせ

・メニューも反転表示されます。
・音声は左右反転しません。

2台のAQUOSをそれぞれのリモコンで操作するには

● 2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまう場合があります。このとき、リモコン番号の設定を行うと他の AQUOS の動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

- リモコン番号には「1」「2」があり、リモコン側のリモコン番号と本体側のリモコン番号を合わせると、リモコンで操作できるようになります。
- 2 台の AQUOS を近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他の AQUOS と異なる番号に設定してお使いください。例えば、他の AQUOS が「1」なら本機は「2」にします。

- 工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

本体側とリモコン側のリモコン番号を設定する

重 要

- 先にリモコン側のリモコン番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

◆本体側の切り換え

1 メニューを表示する

を押す

2 「本体設定」－「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選ぶ

で選び
決定
を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

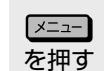
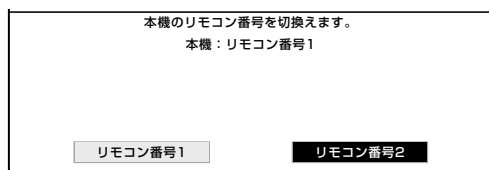
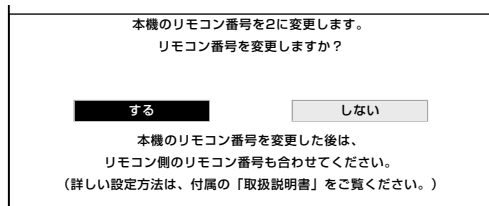
リモコン番号1　リモコン番号2

4 「する」を選ぶ

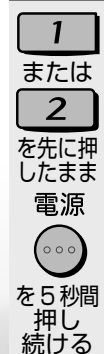
で選び
決定
を押す

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

する　しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

◆リモコン側の切り換え

1 リモコン番号を「1」または「2」に設定する

または
2
を先に押したまま
電源
を５秒間押し続ける

本体側のリモコン番号をリモコンに合わせる

- リモコン側と本体側のリモコン番号が異なるとき、本体側をリモコン側のリモコン番号に合わせることができます。

1 ５秒以上押し続ける

画面表示を５秒間押し続ける

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

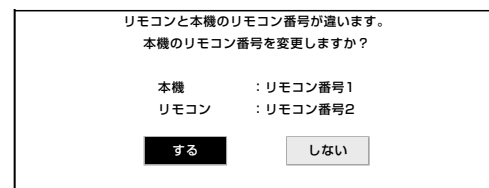
2 メッセージを確認し、「する」を選ぶ

で選び
を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号が異なります」と表示されます。

おしらせ

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約10秒以内に操作を行ってください。約10秒を経過すると、画面が消えます。

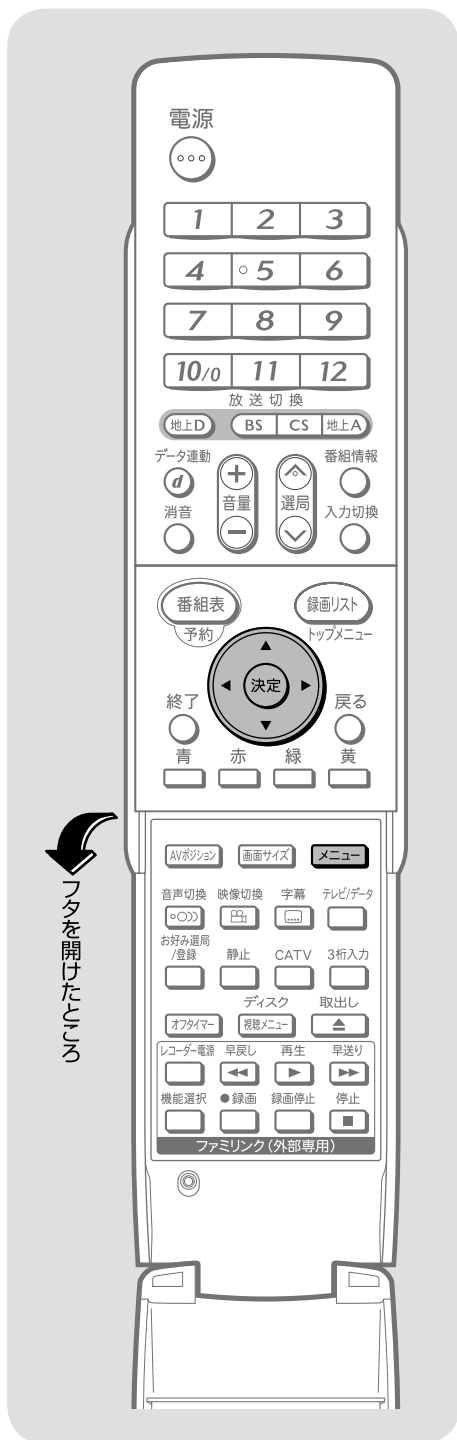
個人情報を初期化したときは

- 個人情報を初期化すると、本体側のリモコン番号は「1」に戻ります。

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

① 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを５秒間押すと切換メニューが表示されます。
② 本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号２」を選択します。
③ 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定します。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変えるには

● ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

1 メニューを表示する

を押す

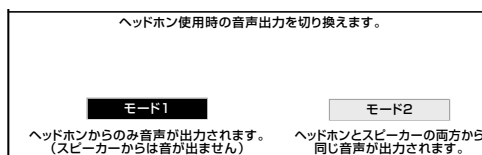
2 「機能切換」－「ヘッドホン設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「モード 1」または「モード 2」を選ぶ

で選び
決定
を押す

ヘッドホン使用時の音声出力を切り換えます。

モード1	モード2
ヘッドホンからのみ音声が出力されます。（スピーカーからは音が出ません）	ヘッドホンとスピーカーの両方から同じ音声が出力されます。

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

ヘッドホンを使用しているとき

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	見ている画面の音声
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ）	見ている画面の音声	見ている画面の音声

ヘッドホンを使用していないとき

• 設定に関係なく、スピーカーから音が出ます。

おしらせ

「モード 2」の音量調整について

•「モード 2」を選んでいるときは、スピーカーの音量を変えるにはリモコンの音量ボタン（青）を、ヘッドホンの音量を変えるには本体の音量ボタンを操作します。
•「モード 2」では、ヘッドホンをつないだときに消音ボタンを押しても、ヘッドホンからは音声が出ます。

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー※機能で録画・再生する

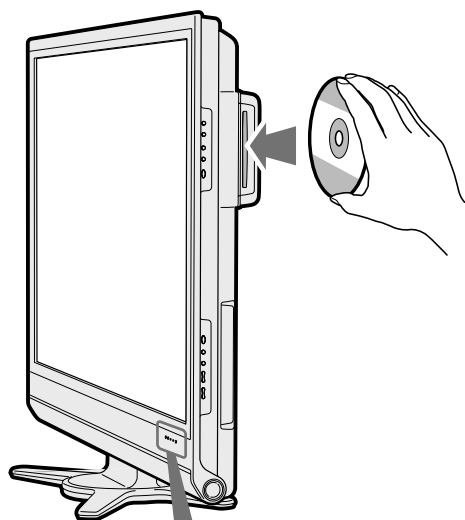
※本書では、「BD(ブルーレイディスク)レコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。
「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。

BDレコーダー機能を使った録画・予約・再生について

本機に内蔵のBDレコーダー機能について

- 本機に内蔵のBDレコーダー機能を使って、デジタル放送を録画できます。
- BDに録画した番組や、市販のBD･DVDビデオを再生できます。

ディスクについて

⇒ ディスクの正しい持ちかたや録画･再生できるディスクについて ･････････････ 107ページ
⇒ ディスクの入れかたについて ･････････････ 110ページ

BDランプ

今見ている番組を録画したいときは

⇒ 放送中の番組を録画する ････････････････ 116ページ

⇒ BDディスクの情報・録画可能時間を調べたいときは ････････････････････････ 124ページ

デジタル放送を予約録画したいときは

⇒ 電子番組表から予約録画する ･･･････････ 118ページ
⇒ 日時・チャンネル指定で予約録画する ････ 122ページ
⇒ お気に入りの番組専用のディスクを作る（予約の書き込み機能）･････････････････ 126ページ

録画･予約録画の設定

⇒ ビデオテープレコーダーとBDレコーダーの違いについて ･･････････ 108ページ
⇒ 長時間の番組を録画したいときは（録画画質の変更）･････････････････････ 112ページ
⇒ 録画した番組の構成について（オートチャプター設定）････････････････ 114ページ
⇒ 予約内容を確認･変更･取り消したい ･････ 122ページ

重 要

- 1枚のBDディスクに録画できるのは、200番組までです。
- 録画できる放送は本機のチューナーで受信したデジタル放送のみです。
- 本機はDVDディスクへの録画はできません。
- 予約件数は最大で16番組です。それ以上の予約はできません。（件数には電子番組表予約、日時指定予約が含まれます。）
- 16件を超える予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

予約録画実行中の制限について

- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、予約録画を停止させてから設定してください。

おしらせ

予約録画について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作し直してください。

操作中に録画開始時刻が近づいた場合

- テレビ画面にメッセージが表示されます。

マルチビューサービス放送をBDに録画して再生する場合は

- 「録画画質」を「標準（DR）」にして録画してください。「録画画質」を「2倍」「3倍」「5倍」にしているときは、視聴中の映像が録画されます。
- 「5倍」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。
- 詳しくは ▶ 112ページをご覧ください。

• ファミリンク機器を本機につないで録画・再生する場合は
▶ 160 ～ 165 ページ

おしらせ

・ 再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（▶ 194 ～ 197 ページ）をご覧ください。

再生中の画面表示について

・ 挿入されたディスクの種類などが表示されます。
・ BD 状態ボタンを押すと、カウンターなどが表示されます。（▶ 124 ページ）

BD-RE や BD-R に録画したタイトル（番組）を再生したいとき

⇒ BD-RE や BD-R を再生する ·················· **128** ページ

市販の BD ビデオや DVD ビデオ（映画など）を再生したいとき

⇒ 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する ·················· **130** ページ

他機で録画した DVD ディスクを再生したいとき

⇒ ファイナライズされた DVD ディスクを再生する ···· **132**ページ

音楽用 CD を再生したいとき

⇒ 音楽用 CD を再生する ······ **133** ページ

再生中の便利機能

⇒ いろいろな再生（サーチ、スロー再生、スキップなど） ·············· **134・135** ページ

⇒ 音声や字幕、映像、アングルなどの切り換え ······ **136・137** ページ

⇒ くり返し再生（番組全体、あるいは一定の範囲のくり返し再生）········ **139** ページ

⇒ 停止した場所からつづけて再生（つづき再生／はじめから再生） ···················· **140** ページ

⇒ セリフを聞きやすくする（音声レベル）········ **141** ページ

その他の便利機能

⇒ BD ビデオ／ DVD ビデオの視聴制限レベルを設定できます。················ **142** ページ

⇒ BD ビデオ／ DVD ビデオのディスク優先言語を設定できます。·············· **144** ページ

⇒ BD-RE ／ BD-R をお使いになるときは、誤ってディスク内のタイトル（録画した番組）を消去できないように「ディスク保護」を設定できます。······· 「BD ディスク保護」**145** ページ

⇒ 録画した BD から、不要なタイトルを消せます。·········· 「タイトルを消去する」**146** ページ

⇒ 間違ってタイトルを消さないように、タイトルごとに保護できます。············· **147** ページ

⇒ 使用済みの BD-RE を未使用の状態に戻せます。···············「BD 初期化」**148** ページ

次のページに続く

BD に録画をする前に

● デジタル放送を録画する前に、以下をお読みください。
● 本機に内蔵の BD レコーダー機能で録画できる放送は、本機のチューナーで受信したデジタル放送のみです。

重 要

- **アナログ放送は録画できません。**
- **外部機器（外部チューナー、CATV ボックスなど）の映像・音声は録画できません。**
- **有料放送の視聴・録画には、視聴契約が必要です。**
- **DVD ディスクには録画できません。**
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- BD-RE/BD-R に録画できる番組数は 200 番組までです。
- 予約の開始時刻になると、録画が停止されます。（予約録画／ファミリンク予約優先）
- 独立データ放送や、録画が禁止されている番組は録画できません。
- 録画中に、録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- 番組が始まるまで2分を切ると、予約ができません。録画用ディスク（BD）は、予約録画開始時刻の 4 分前までに挿入してください。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、その番組は保存されません。

予約を設定しているときや、録画中に電源を切るときは

- リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源スイッチ（赤）で電源を切ると、予約が実行されません。また、録画中の場合は、録画が停止します。

おしらせ

- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 録画画質が「5 倍」の場合、連動データ放送は録画されません。
- ディスクの読み込みが完了する前に録画ボタンを押し、続けて録画停止ボタンを押した場合には、録画が停止されるまでに少し時間がかかります。
- 電子番組表で番組情報を表示したり、ジャンル検索や日時検索から番組を選んだ場合も、選んだ番組を BD レコーダー機能で予約録画するよう設定されます。（▶ **80** ～ **81** ページ）
- 放送局で番組の開始時刻が変更されると予約した録画が行われない場合があります。（「受信機レポート」にメッセージが残ります。（▶ **208** ページ））

コピー制御信号について

- デジタル放送には「録画可能」「ダビング 10」「1 回だけ録画可能」「録画禁止」のコピー制御信号が含まれています。
  録画禁止の番組は録画できません（視聴のみ）。
  詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288（午前 10 時～午後 8 時）（2008 年 10 月現在）

ダビング 10 について

- デジタル放送番組の全てがダビング 10 ではありません。
- ダビング 10 の番組を BD へ録画した場合は、録画した BD からはダビングもムーブ（移動）もできません。

ディスクについて

BD-REは繰り返し使えるタイプで、BD-Rは使い切りタイプです。

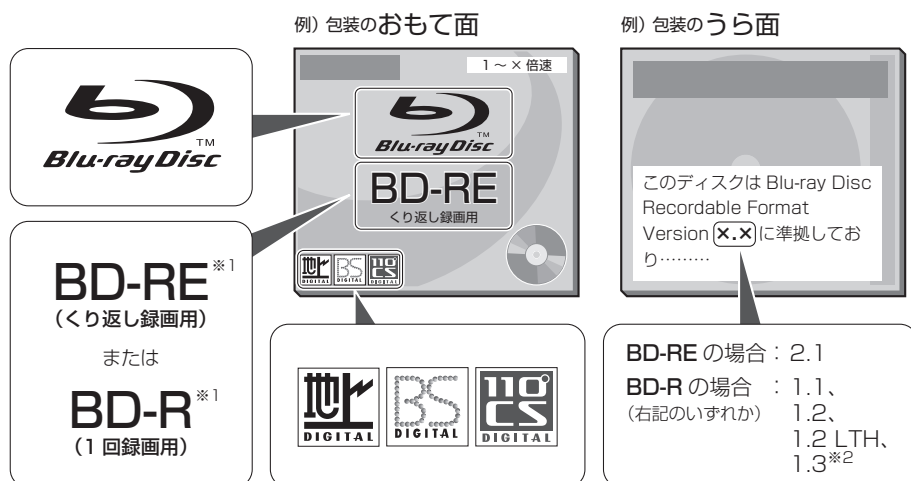
● 本機で使用できるディスクを正しく扱いましょう。

ディスクの持ちかた

- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。
- お手入れについては、▶ **19** ページをご覧ください。

・ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

本機で録画できるディスク（詳しくは▶ **213** ページ）

● 本機でデジタル放送を録画できるディスクは、BD-RE（くり返し録画用）と BD-R（1 回録画用）の 2 種類です。ご購入の際は、ディスクの包装を見て、以下の内容が表示されているものをご購入ください。（不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。）

※1 SL1層またはDL2層の12cm盤ディスクをご使用ください。

※2 BD-R Ver.1.3 LTHディスクは、本機ではご使用になれません。（2008年10月現在発売はされていません。）

おしらせ

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
・予約の書き込み機能をご使用になれるディスクは BD-RE のみです。

本機で再生できるディスク（詳しくは▶ **212** ページ）

● 本機で再生できるディスクは、以下のとおりです。

- 市販のBDビデオ※、DVDビデオ※、CD。
  ※BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
  ※本機では、BDビデオはリージョンコード「A」または「All Region（オールリージョン）」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「All（オール）」のソフトが再生できます。
- 上記のBD-RE、BD-Rに録画したもの。
- 他の機器で録画し、再生できるように処理（ファイナライズ）したDVD-RW／DVD-R／DVD+RW／DVD+R／DVD-RAM。

本機で使えないディスク、使用制限のあるディスク（詳しくは▶ **212・213** ページ）

● 本機で使えないディスクや使用制限のあるディスクは、以下のとおりです。

- カートリッジ付きのディスクは使えません。
- DVDディスクは、録画に使えません。
- 8cm盤のBD-REまたはBD-Rディスクは、本機ではご使用になれません。
- 本機以外で録画したBD-RE、BD-Rは空き容量のあるディスクでも録画用として使用できない場合があります。
- デジタルハイビジョンカメラ（HDV方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは、再生できない場合があります。
- パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。

次のページに続く

ビデオテープレコーダーと BD レコーダーの違い

目的

ビデオテープ

番組を録画する

録画するときは

● 録画用のビデオテープをセットする必要があります。

ビデオテープを巻き戻して録画

テープやディスクの空きがなくなったら

● テープを巻き戻して、すでに録画されている番組の上に録画（上書き）できます。

停止している位置から録画ができます。

まだ見ていない番組の上に、誤って録画して（消して）しまうこともあります。

録画できる時間と録画の画質は

録画できる時間と録画の画質は

● ビデオテープに標準画質「SP モード」で録画した場合、120 分（2時間）※。

ビデオテープ

ハイビジョン放送は画質を落とさないと録画できません。

録画した番組を再生する

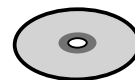
複数の番組の中から見たい番組を探すときは

● テープを巻き戻したり、早送りして探します。

BD

BD(ブルーレイディスク)について
- ブルーレイディスクは、書き込みに波長の短い青紫色レーザーを採用することによって録画のトラックピッチをそれぞれ縮小し、記録密度を高めているため、現行の DVD ディスクと比べて約 5 倍の記録容量があり、ハイビジョン放送をそのままの画質で約 3 時間（地上デジタル放送）の録画が可能です。

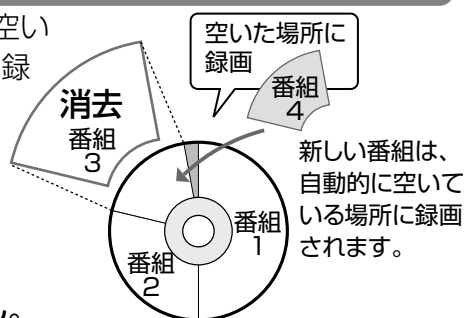
BD

違いは

録画するときは

- 録画用のBD-RE またはBD-Rディスクを挿入する必要があります。(▶**107**ページ)
- 新品のBD-RE／BD-Rディスクを挿入したときは、自動的に録画のための準備「**初期化**」が始まります。

BD-REディスクなら見終わった番組を消すだけ

- 見終わった番組を消して「空き」を作ると、空いている時間(録画領域)に新たな番組などを録画できます。

録画されている番組を消す操作が必要。

まだ見ていない番組の上から誤って録画する（消してしまう）心配はありません。

- BD-R ディスクは、番組を消しても空き容量は増えません。(繰り返し録画は行えません。) 保存に適したディスクです。

録画できる時間と録画の画質は

- BD-RE（片面1層／25GB）またはBD-R（片面1層／25GB）ディスクだと約3時間※

※ BD-RE ディスクに地上デジタル放送のハイビジョン放送を放送画質で録画した場合

ハイビジョン放送をハイビジョン画質のまま録画できます。

放送画質で　約 **180** 分！
(約3時間)

違いは

複数の番組の中から見たい番組を探すときは

- テレビ画面に再生リストを表示させて、かんたんに探せます。

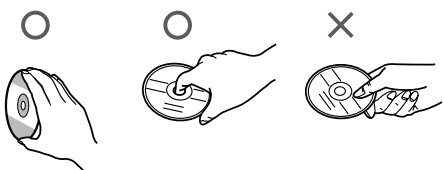
再生リスト(録画した番組の一覧)▼

次のページに続く

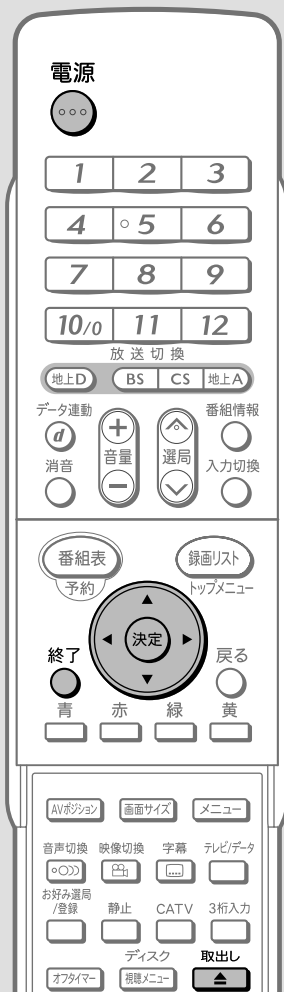
ディスクの入れかた・出しかた

● ディスクの挿入時や取り出し時には、指紋やホコリなどの汚れが付かないように、十分ご注意願います。
● ディスクの記録（再生）面に指紋やホコリなどの汚れが付着すると、録画に失敗したり、再生時に、画像の乱れや音飛びが発生します。

重 要

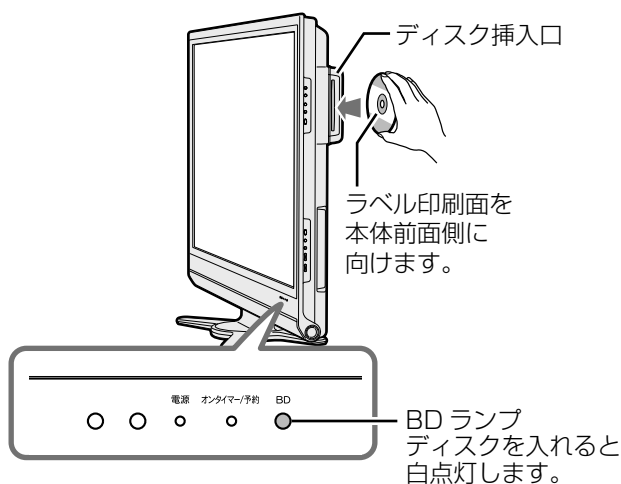
・ディスクを持つときは、光っている面に指紋や汚れなどが付かないようにご注意ください。

・ディスクの光っている面に、指紋や汚れが付着していないことを確かめてから挿入してください。
・汚れなどが付着しているときは、「ディスクのお手入れについて」を参考に汚れを拭き取ってください。

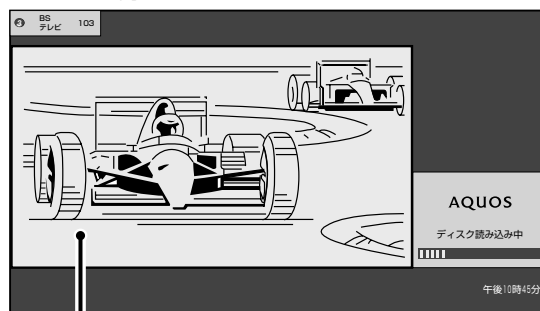
8cmアダプターは必要ありません

・再生用の 8cm 盤 DVD ディスクや CD ディスクを本機で再生するときは、そのままディスク挿入口に入れてください。
・8cm アダプターは使わないでください。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れる

電源 を押す

2 ディスク挿入口にディスクを入れる

・ラベル印刷面を図の向きにして入れます。
・両面記録の DVD ディスクは、再生したい面をテレビ背面側にして入れます。

・ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了するまでお待ちください。

ディスクを入れたときの表示例▲

見ている番組の縮小画面

おしらせ

本機で使えないディスクを入れたとき、またはディスクの表裏を間違えて入れたときは

・読み取りできないメディアが入っている場合はメッセージが表示され、ディスクが排出されますので、ご確認ください。
また、ディスクの表裏が反対に挿入されていないか確認し、ディスクを入れ直してください。

新品の BD-RE ／ BD-R ディスクを入れた場合

- 録画に使えるようにするための処理「初期化」が自動的に始まります。

- 新品の BD-RE または BD-R でも、ディスクメーカーによっては「初期化する」「ディスク取り出し」と表示される場合があります。
- 初期化をする場合は左右カーソルボタンで「初期化する」を選びます。
  本体右側面のボタンでも操作することができます。（▶ **47** ページ）

AQUOS
初期化しますか？
初期化する　ディスク取り出し

・100%になったら完了です。

番組を録画した BD を入れた場合

・読み込みが終わると再生リストが表示されます。

市販の BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合

・BD ランプが白色に点灯します。
・BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合は、自動的に再生※が始まるディスクがあります。
※ オートプレイ対応ディスク挿入時

重 要

・録画可能な BD-RE または BD-R を挿入した状態で電源コードを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。

ディスクの取り出しかた

1 本機の電源を入れる

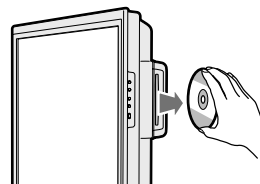
電源
を押す

2 再生リストや録画リストが表示されているときは、終了 を押して消す

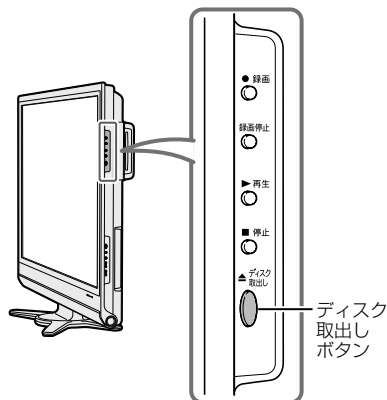
終了
を押す

3 取出し を押して、ディスクを途中まで出す

取出し
を押す

4 途中まで出たディスクを手で取り出す

・ディスクが出た後はすみやかに取り出してください。
・ディスクが出た状態で本体を揺すったりするとディスクが落ちる場合があります。
・途中まで出たディスクを再度挿入するときは、ディスクを一度取り出してから入れ直してください。

- 本体のディスク取出しボタンを押してもディスクが出ます。

おしらせ

・再生リスト／録画リストの表示中は、ディスクを取り出せません。
終了 を押し、再生リスト／録画リストを終了させてから取り出してください。

次のページに続く

録画画質と録画時間

- 本機ではデジタル放送を録画するときの録画画質（録画時間）「標準（DR)」「2 倍」「3 倍」「5 倍」が選べます。（▶ **113** ページ）
  （ビデオテープの標準モードや 3 倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。）

標準（DR）モードの録画画質と録画時間

- 以下は標準（DR）モードの録画時間です。
- 同じディスクを使用しても、放送の種類によって録画できる時間が異なります。

BD の種類／放送の種類	BD-RE/BD-R（SL/1 層）25GB ディスク使用時	BD-RE/BD-R（DL/2 層）50GB ディスク使用時
BS･110 度 CS ハイビジョン放送	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分
地上デジタルハイビジョン放送	約 3 時間	約 6 時間
標準放送	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分

2 倍／ 3 倍／ 5 倍モードの録画画質と録画時間

- 録画するときの画質を下げると、1 枚あたりに録画できる時間を増やすことができます。録画画質の設定については、次のページをご覧ください。
- 2 倍モード　：録画時間が 2 倍になります。
- 3 倍モード　：録画時間が 3 倍になります。
- 5 倍モード　：録画時間が 5 倍になります。
- 録画時間は目安です。

録画時間の算出について

- BS/110 度 CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。
- 2 倍は、約 12Mbps（うち連動データ放送 2Mbps)、3 倍は約 8Mbps（うち連動データ放送 2Mbps)、5 倍は約 4.8Mbps で換算しています。2 倍、3 倍の録画時間は、連動データ放送の大きさより 2 倍または 3 倍まで録画できない場合があります。標準（SD）放送は、さらに長く録画が行えます。（最大 24 時間）
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。録画時間は目安です。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

録画画質と録画される内容・楽しめる機能

録画画質／放送の種類	標準（DR）画質	2 倍／ 3 倍	5 倍
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）	○	主映像（音声は放送と同じ音声を記録）	主映像（音声は放送と同じ音声を記録）
連動データ放送	○	○	×
二重音声放送／字幕／番組情報	○	○	○

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

- 記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。
  本機で記録した BD を他機で再生するときは、下表を参考にしてください。
  （下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。）
- 他機での再生を保証するものではありません。

	記録方式／ディスクの種類	再生可能なBDレコーダー／BDプレーヤー
記録方式	DR(MPEG2-TS)記録	ほとんどのBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
	2倍／3倍／5倍(MPEG4 AVC/H.264)記録	MPEG4 AVC/H.264に対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに記録	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3 ディスク※に記録	BD-R Ver.1.3 ディスクに対応したBDレコーダー／BDプレーヤーで再生が可能です。

※BD-R Ver.1.3 LTHディスクは､本機ではご使用になれません。

録画画質の設定を変えるには

● デジタル放送をブルーレイディスクに録画する際の、録画画質「標準（DR)」「2 倍」「3 倍」「5 倍」を設定して録画時間を選ぶことができます。画質を優先される場合は「標準（DR)」を、より長い時間の録画を優先される場合は「5 倍」に設定することをおすすめします。
※ 録画画質は、工場出荷時「5倍モード」に設定されています。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「BD 録画設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「録画画質」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「標準（DR)」「2 倍」「3 倍」「5 倍」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

ブルーレイディスク録画画質設定

- 標準（DR）では、デジタル放送そのままの画質で録画します。
- 2倍／3倍／5倍モードは、ハイビジョン画質で長時間録画に対応した録画画質です。（録画画質、録画される内容、他機での再生の制約などがあります。詳細は▶ **112** ページをご覧ください。）

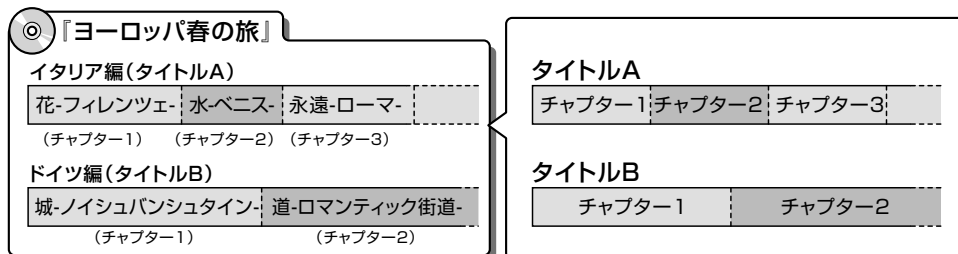
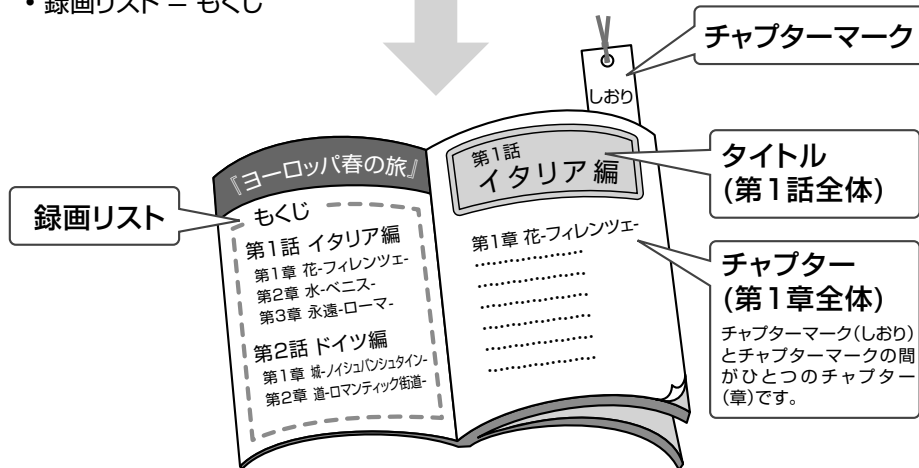
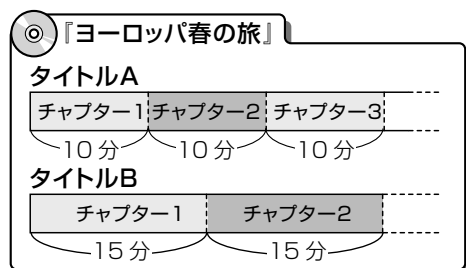
次のページに続く

録画した番組の構成について

● 録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトルは「録画リスト」に一覧表示され、再生・消去・保護ができます。（▶ **129・146・147** ページ）

録画リストの画面例

・「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係は以下のとおりです。

例）市販のディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- 録画リスト ＝ もくじ

例）本機で録画したディスクの場合

※本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。（BD にデジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。▶ **115** ページ）
図のタイトル A は「オートチャプター設定」を「10 分」に、タイトル B は「15 分」に設定した例です。

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- BD にデジタル放送を録画するとき、チャプターマークを自動的に記録することができます。録画した番組にチャプターマークが記録されていると、あとで再生したいシーンを探すときに便利です。
- チャプターマークが自動で記録される間隔を、「10 分」「15 分」「30 分」から選べます

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「BD 録画設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び
を押す

5 「しない」「10 分」「15 分」「30 分」のいずれかを選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

地上／BS／CSデジタル放送をBDに録画する

重 要

- 録画の前に「BD に録画をする前に」(▶ **106** ページ) をご覧ください。
- 予約情報を書き込んだディスクでは、通常の録画・予約録画は行えません。別の BD を挿入するか、予約情報を取り消してください。
  予約情報の取り消しかたは ▶ **127** ページをご覧ください。

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

● 今見ているデジタル放送の番組をその場で BD-RE ／ BD-R に録画します。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質の設定をします。(録画画質と録画時間については ▶ **112** ページ)

2 録画用 BD-RE または BD-R ディスクを挿入する（▶ 110 ページ）

- 新品の BD-RE または BD-R を挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。(▶ **111** ページ)
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、(ポップアップ)メニュー BD状態 を押します。
- 再生リスト（▶ **128** ページ) や録画リスト（▶ **129** ページ) が表示された状態では録画操作は行えません。録画を行うときは、終了 を押し、再生リストや録画リストを消してから操作してください。

3 録画したいデジタル放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

4 録画したいチャンネルを選ぶ

選局 で選ぶ

5 録画をはじめる

●録画 を押す

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 視聴中の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。
- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、録画停止 を続けて 2 回押してください。

録画中に電源を切るときは

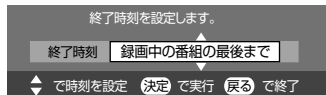
- リモコンの 電源 で電源を切ってください。本体の電源スイッチ（赤）で電源を切ると､録画が停止します。

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したとき

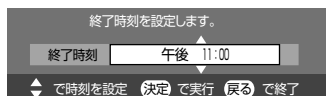
- 番組表が表示されていないチャンネルを録画したときはメッセージ画面は表示されません。(録画は自動で止まりません。)
- 録画を止めるときは 録画停止 を押してください。録画終了時刻を設定したいときは **117** ページをご覧ください。

録画終了時刻を設定し直すには

1 ●録画 を押す

録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

2

で選び 決定 を押す

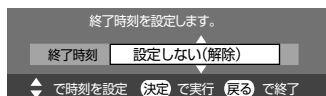
終了時刻を選ぶ（15 分単位）

「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 途中で録画を止めるときは、録画停止 を続けて 2 回押して停止してください。
- 電子番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
- 電源を切るときは、リモコンの 電源 で切ってください。
- 録画を途中で止めたいときは、録画停止 を続けて 2 回押してください。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除）」を選びます。

「設定しない（解除）」を選んだとき

- 「設定しない（解除）」を選んだときは 録画停止 を押すか、ディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。
- BD-R をお使いの場合は、停止のし忘れに注意してください。（リモコンの電源ボタンで電源を切っても録画は停止しません。）

録画の終了時刻について

- 電子番組表で区切られた、番組の開始時刻約 2 分前を過ぎて録画を開始すると、次の番組の終了時刻が設定されます。
- 予約録画が録画している番組の終了時刻と重複するときは、録画中の番組は途中で録画停止となり、予約録画が実行されます。
- ディスクの録画可能時間が足りないときは、ディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画中に別の番組を見たいときは

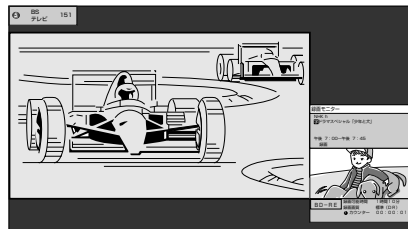
- 録画中に選局すると、録画を続けたまま別の番組が見られます。

1 地上D 放送切換 BS CS 地上A のいずれかを押し、見たい放送を選ぶ

2 1 ～ 12 または 選局 でチャンネルを選ぶ

おしらせ

録画の確認をしたいときは

- 録画中に BD 状態ボタンを押すと、録画中の映像が画面右下に表示されます。（録画モニター）

- もう一度 BD 状態ボタンを押すか、終了ボタンを押すと録画モニターを終了します。
- 録画モニターが表示できるのは、左画面がデジタル放送視聴中のみです。
- 音声は、左画面（デジタル放送）の音声が出力されます。
- 録画モニター表示中に入力切換を行ったり、録画が終了したときは、録画モニターが終了します。
- 録画モニターに表示される録画経過時間は目安です。映像によっては、経過時間や映像の動きが一定に進まない場合があります。

おしらせ

- BD 録画終了時刻設定画面の表示中は、録画ボタンと録画停止ボタンは働きません。
- 録画中に電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源スイッチ（赤）で電源を切ると、録画が停止します。
- 1 枚のディスクに録画できる時間は、最長 24 時間（200 番組）です。
  1 番組の連続録画可能時間は最長 12 時間です。

地上／BS／CS デジタル放送を BDに予約録画する

重 要

- 予約録画の前に「BD に録画をする前に」（▶ **106** ページ）をご覧ください。
- 予約情報を書き込んだディスクでは、通常の録画・予約録画は行えません。別の BD を挿入するか、予約情報を取り消してください。
  予約情報の取り消しかたは ▶ **127** ページをご覧ください。

デジタル放送を電子番組表で予約する（らくらく一発予約）

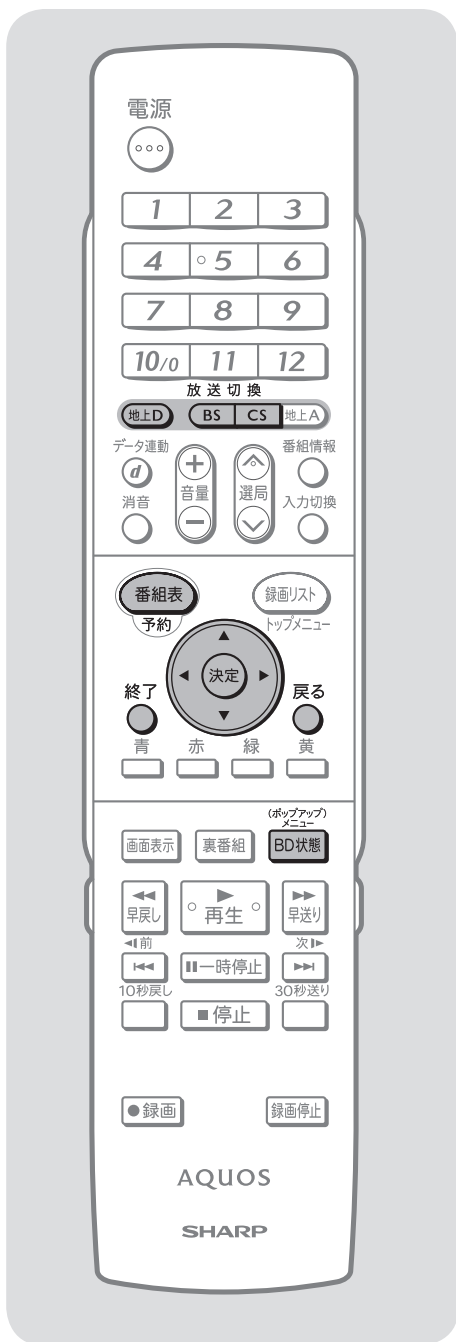
- 電子番組表から希望の番組を選ぶだけで、デジタル放送を BD レコーダー機能で予約録画できます。
- 7 日先まで予約録画できます。
- 予約の最大件数は、16 番組です。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。（▶ **113** ページ）

2 録画用 BD-RE または BD-R ディスクを挿入する（▶ **110** ページ）

- 新品の BD-RE または BD-R を挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。（▶ **111** ページ）
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、（ポップアップ）メニュー BD状態 を押します。
- 再生リストが表示されたときは、終了 を押し、再生リストを消します。

3 録画したいデジタル放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

4 電子番組表を表示する

番組表 予約 を押す

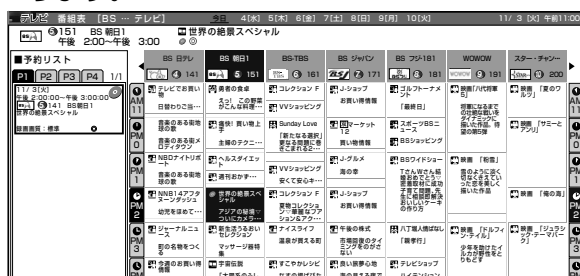
5 予約したい番組を選ぶ

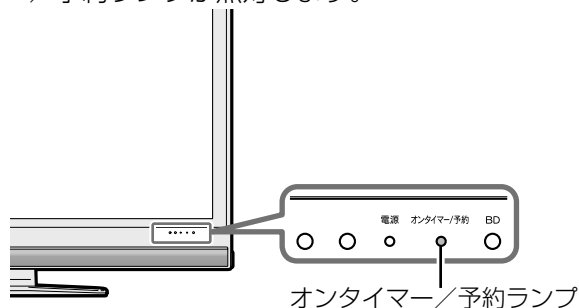
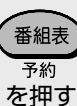
で選ぶ

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(▶ **81** ページ)

6 予約する

決定 を押す

・決定すると、BD レコーダー機能での予約録画が設定されます。
・予約が設定されると「この番組を BD 録画予約しました」というメッセージが表示されます。
・画面左の予約リストに、予約が表示されます。
・録画禁止の番組を予約したときは、視聴予約となります。

・予約した番組には、予約アイコンが表示されます。
・予約が設定されると、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

オンタイマー／予約ランプ

7 電子番組表を消す

を押す

予約録画した内容を変更したいときは、▶ 122 ページをご覧ください。

予約を設定しているときや、録画中に電源を切るときは

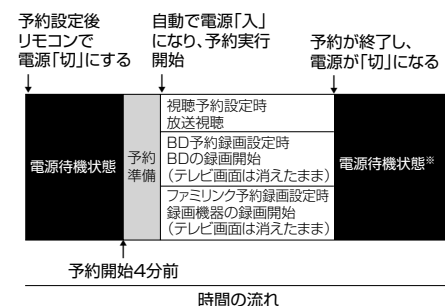
・リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
・本体の電源スイッチ（赤）で電源を切ると、予約が実行されません。また、録画中の場合は、録画が停止します。

おしらせ

・電子番組表で番組情報（▶ **80** ページ）の表示中に予約をしたときや、ジャンル検索（▶ **81** ページ）画面から予約をしたときは、予約リストは表示されません。
・予約録画に関する注意事項については「BD に録画をする前に」(▶ **106** ページ）や「故障かな？と思ったら」(▶ **194** ページ）を参照してください。
・手順 6 で決定したあとに、次のような画面が表示されたときは、次ページをご覧ください。

・視聴年齢制限が設定されている番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号（▶ **142**・**176** ページ）を入力してください。

その他のメッセージについては、▶ 202 ページをご覧ください。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

予約録画中に停止したいときは

・録画停止ボタンを押してください。メッセージ画面が表示されますので、「予約を解除しますか？」で「する」を選んでください。

予約設定後、ディスクを取り出したときは

・予約録画開始時刻の 4 分前までに録画用の BD を挿入してください。

次のページに続く

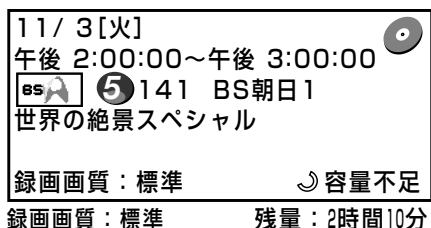
予約設定時のメッセージについて

- 電子番組表でデジタル放送の番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

ディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないとき

- 予約リスト（▶ **78** ページ）に「容量不足」と表示されます。

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 容量不足

録画画質：標準 残量：2時間10分

- BD-RE を挿入しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。タイトル消去の手順について詳しくは▶ **146** ページをご覧ください。
- BD-R を挿入しているときは、不要な番組を消去しても残量は増えません。
  別の録画用ディスクを挿入してください。

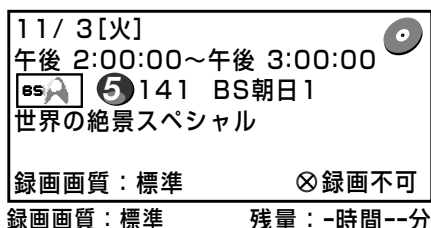
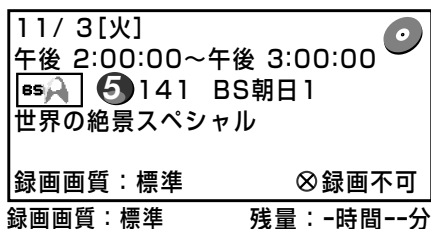
ディスクが入っていないとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 ⊗録画不可

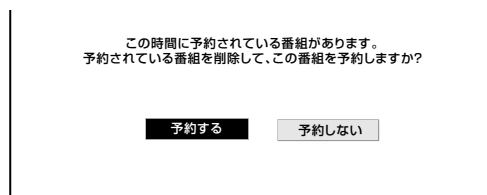
録画画質：標準 残量：-時間--分

再生専用ディスクが入っているとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 ⊗録画不可

録画画質：標準 残量：-時間--分

ディスクに書き込みができないときなど

- 書き込み不可のディスクが挿入されているときなどは、予約リスト（▶ **78** ページ）に「録画不可」と表示されます。

設定した予約が他の予約と重複しているとき

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残すとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残すとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

デジタル録画禁止の番組を予約したとき

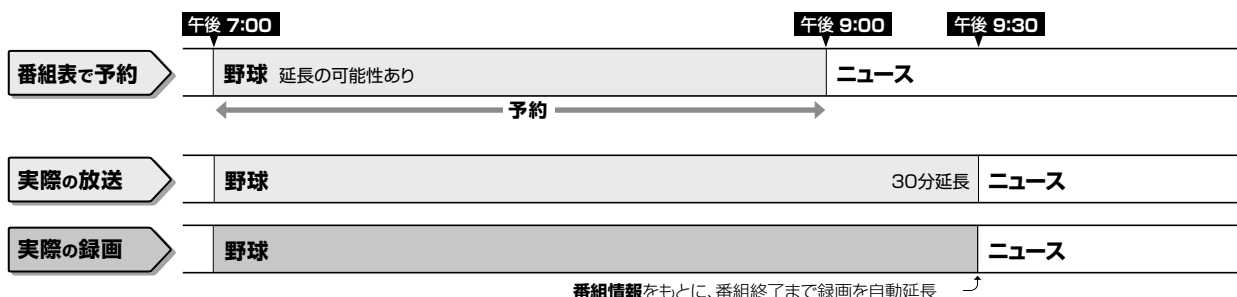
- 視聴予約になります。

おしらせ

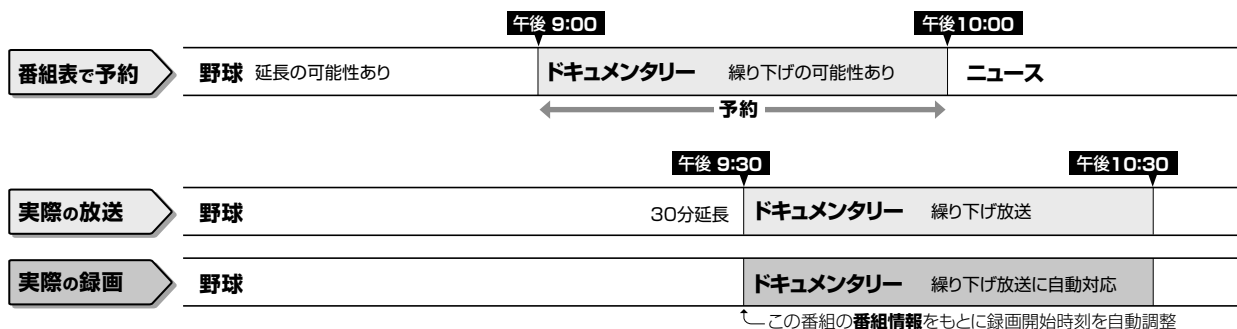
- BD レコーダー機能利用時のエラーメッセージ（▶ **202** ページ）も合わせてご覧ください。

電子番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を電子番組表で予約すると、予約録画の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、予約録画した番組の最後まで録画します。

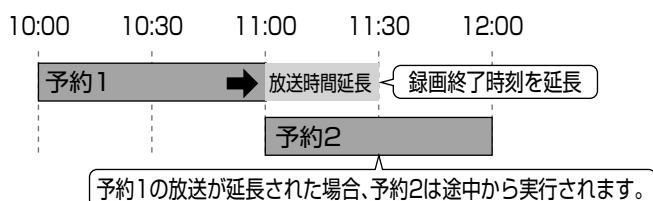
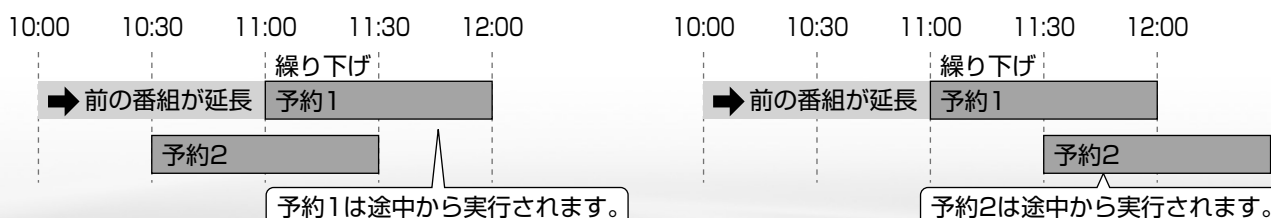
スポーツ番組を電子番組表から予約録画したとき

おしらせ

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

繰り下げの可能性がある番組を電子番組表から予約録画したとき

おしらせ

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が破棄されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約(▶ 125ページ)やファミリンク予約(▶ 161ページ)、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

・予約する番組を変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約を設定し直してください。

実行中の BD 予約録画を解除するには

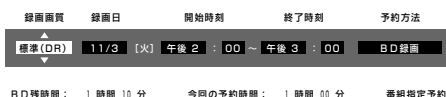
・リモコンフタ上の録画停止ボタンを押してください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を選ぶと予約を解除できます。

1 ①電子番組表を表示する ②予約リストを選ぶ

を押す
黄
を押す

2 確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

で選び 決定 を押す

- で予約されている番組を選びます。
- でページ P1 ～ P4 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、79ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆予約を取り消したいとき

3 ①「取り消す」を選ぶ ②「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 予約が取り消されます。
  手順 2 の画面に戻ります。

◆予約の設定を変更するとき

つづき

③変更したい項目の内容を選ぶ

で項目を

で内容を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
標準(DR)	11/3 [火]	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	BD録画

BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

設定項目	予約方法	録画日	録画画質※3
設定内容	・BD 録画 ・ファミリンク録画※1 ・視聴予約※4	・日付※2 ・毎週日曜 ～ ・毎週土曜 ・毎日 ・月ー土 ・月ー金	・標準（DR） ・2倍 ・3倍 ・5倍

※１　予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。

※２「日付」は、「28 日後の日付」～「今日の日付」が選べます。

※３「録画画質」が選択できるのは、予約方法が BD 録画の場合のみです。

※４　視聴予約については、**125** ページをご覧ください。

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

おしらせ

・「録画日」「開始時間」「終了時間」を変更すると、日時指定予約に変更されます。

5 「戻る」で決定する

を押す

［BSテレビ番組の予約設定］

予約方法：BD録画
録画画質：標準（DR）
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組をBD録画予約しました。

戻る

繰り返し予約をする

● 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し予約録画できます。

1 118 ページの手順 1 ～ 6 で繰り返し予約をしたい番組を選び、予約録画を設定する

・ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **81** ページ）

2 もう一度同じ番組を選ぶ

・予約リストからも選べます。

で選び

を押す

3 ①「録画日」を選ぶ ②「毎週○曜」「毎日」「月ー土」「月ー金」のいずれかを選ぶ

で選び

で選び

を押す

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
標準(DR)	毎週日曜	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	BD録画

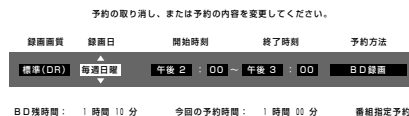
BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

5 「戻る」で決定する

を押す

［BSテレビ番組の予約設定］

予約方法：BD録画
録画画質：標準（DR）
毎週日曜 午後 2：00～午後 3：00

この番組をBD録画予約しました。
繰り返し録画を実行するためには適切にディスクを交換する必要があります。
日時指定が設定されているので、放送時間への追従はできません。

戻る

はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

次のページに続く

BD ディスク情報・録画可能時間を調べたいときは

- BD または DVD ディスクが入った状態で（ポップアップ）メニュー BD状態 を押すと、ディスクの情報が画面右下に表示されます。
- ディスク情報の表示から、録画可能時間などを確認できます。

ディスクの録画可能時間を確認する

1 ディスクを挿入する（▶ 110 ページ）

2 ディスク情報を表示する

（ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

- タイトルの再生中や番組の録画中にも、ディスク情報を見ることができます。

3 ディスク情報を消す

（ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

放送視聴中	録画中
① BD−RE ／ 録画可能時間 1時間10分 ② ／ 録画画質 標準（DR）③ ／ タイトル 1 ④ ／ チャプター 1 ⑤	① BD−RE ／ 録画可能時間 1時間10分 ② ／ 録画画質 標準（DR）③ ／ カウンター 00：00：01 ④
①現在挿入しているディスクの種類を表示します。	
②現在の録画できる時間を表示します。 ・表示される残時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。 ・録画できないディスクが挿入されたときは、録画可能時間表示部が「−−」または「0時間00分」と表示されます。	
③設定されている録画画質が表示されます。録画できないディスクが挿入されているときは、「−−」と表示されます。	
④ディスク内の総タイトル数を表示します。	④録画開始からの経過時間を表示します。
⑤ディスク内の総チャプター数を表示します。	

おしらせ

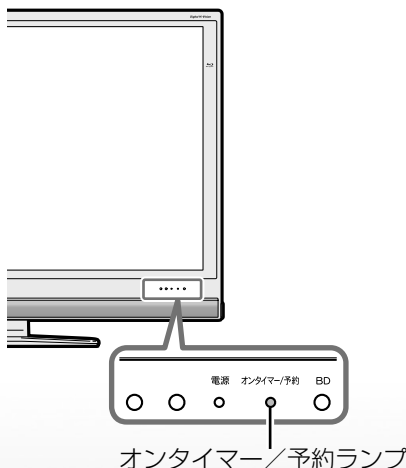
- 再生中は、録画可能時間・ディスク情報は表示しません。市販の BD ビデオディスクなどでポップアップメニューがある場合は、ポップアップメニューが表示されます。
- 録画可能時間が足りない場合は、ディスクの空き容量がなくなるまで録画や予約録画が実行されます。
- ディスクが挿入されていないときは、BD 状態ボタンを押してもディスク情報画面は表示されません。
- デジタル放送受信中に表示される「標準（DR）」の録画可能時間は、現在受信しているデジタル放送を録画した場合の録画可能時間です。

見たい番組を予約する（視聴予約）

- 電子番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。
- 一度 BD レコーダー機能への予約録画を設定し、「予約方法」を「視聴予約」に変更します。

おしらせ

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 予約録画と合わせて、16 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（▶ **122** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。（▶ **122** ページ）
- 録画禁止の番組を予約したときは、視聴予約となります。
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
- 視聴予約が設定されると、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

オンタイマー／予約ランプ

1 118 ページの手順 3 ～ 6 で視聴予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選び、予約録画を設定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **81** ページ）

2 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び

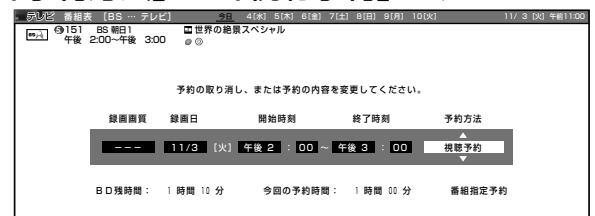
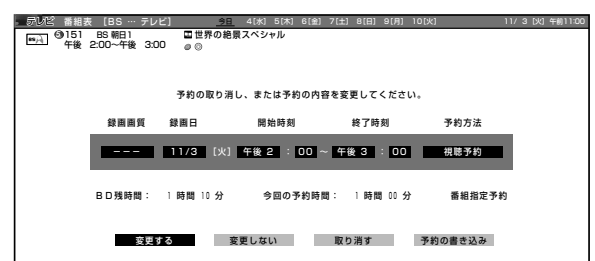
決定 を押す

3 「予約方法」で「視聴予約」を選ぶ

で選ぶ

4 「変更する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 本機の電源を切るときは、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

お気に入りの番組専用のディスクを作る（予約の書き込み機能）

● 自分専用のディスクを作って、お気に入りの番組を予約録画設定し、BD-RE ディスクに予約情報を書き込むことができます。

● 予約情報を書き込んだディスクを作っておくと、本機にディスクを入れるだけで、設定した予約録画が働くようになります。本機の操作に慣れているかたに予約情報を書き込んでいただくと、本機の操作に慣れていないかたでもディスクを入れるだけで予約録画ができるので便利です。

● 予約情報を書き込んだディスクは、他の番組の録画ができないので、誤って他の番組の録画に使われる心配がありません。録画する番組をディスク毎に分けたり、ディスクを個人用にしたいときなどに便利です。（予約情報を書き込んだディスクは、通常の録画、予約録画には使用できません。）

重要

- BD-R ディスクには、予約情報を書き込めません。
- 毎週や毎日などの日時指定予約（繰り返し予約）は、ディスクに設定できません。
- 1 枚のディスクには、1 つの予約録画しか設定できません。
- 「ディスクに予約を書き込む機能」を搭載していない機器で初期化や録画をしたBD-RE ディスクには、予約情報を書き込めない場合があります。そのようなときは、本機のメニューから「機能切換」－「BD設定」－「ディスク管理」－「BD 初期化」を選んで初期化を行ってください。
- **初期化を行なうと既に録画されている内容も消去されます。消去された内容は復元できませんので初期化の際はご注意ください。**
- 予約情報を書き込んだディスクが入っているときは、他の予約録画は実行されません。
  また、視聴予約やファミリンク録画も実行されません。

ディスクに予約情報を書き込む

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質の設定をします。（▶ **113** ページ）

2 録画用 BD-RE ディスクを挿入する

- 新品の BD-RE ディスクを挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。
- 初期化が行われた場合は、完了後「確認」で決定します。
- 再生リストが表示されたときは 終了 を押し、再生リストを消します。

3 **118～119ページの手順 3 ～ 6 でディスクに予約情報として設定したい番組（まだ放送されていない番組）を選び、予約録画を設定する**

4 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び

を押す

5 「予約の書き込み」を選ぶ

で選び

を押す

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
標準(DR)	11/3 [火]	午後 2 : 00	~ 午後 3 : 00	BD録画

BD残時間： 1 時間 10 分　　今回の予約時間： 1 時間 00 分　　番組指定予約

変更する　変更しない　取り消す　予約の書き込み

6 「了解」で決定する

決定 を押す

挿入されたディスクに予約情報を書き込みます

・タイトルをディスクのラベル面に記入することをお奨めします。
・設定ディスクは指定のタイトルのみの録画に対応します。
・ディスクの予約情報は、
　本機に入れるたびに予約リストへ追加されます。
・対応の機器以外にディスクを入れても
　予約情報を自動的に更新することはできません。

了解　設定をやめて戻る

（予約情報を書き込んだディスクを入れたときの電子番組表の画面例）

予約情報を書き込んだディスクで予約録画する

- 予約時間の開始時刻の 10 分前までに、予約情報を書き込んだディスクを本機に入れます。

- 予約録画の開始時刻になると、録画が始まります。
- 予約録画の時間を過ぎると予約リストには追加されません。
- 他のディスクまたは予約録画終了後に、お気に入り番組の予約情報を登録するには、再度「ディスクに予約情報を書き込む」の手順 2 から手順 6 を行ってください。

おしらせ

予約が 16 個登録されているときは

- 予約はできません。予約リストから予約を 1 つ取り消してください。（▶ 122 ページ）

予約情報を書き込んだディスクの取り扱いについて

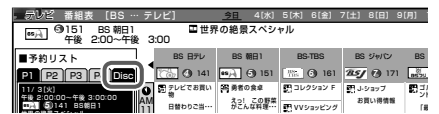
- ディスクのラベル面に名前や番組名を書いておくと便利です。

予約情報を書き込んだディスクの予約情報を取り消したいとき

- 本機に予約情報を書き込んだディスクを入れて、ディスクに設定した予約を予約リストから選んで決定し、「録画予約を削除する」を選んで決定します。
- 予約終了後に取り消したいときは、下記をご覧ください。

予約録画終了後に予約情報を取り消したいとき

- 予約情報を書き込んだディスクは予約情報書き込み専用ディスクとなります。通常の録画、予約録画に使用したいときは次の操作で予約情報を取り消してください。

1. 予約情報を書き込んだディスクを挿入する
2. 終了 を押し、再生リストを消す
3. 番組表 予約 を押して番組表を表示する
4. 黄 を押して予約リストを選ぶ
5. で Disc を選び 決定 を押す

6. で 予約を削除する を選び 決定 を押す
7. 戻る で 決定 を押す
   予約情報が取り消され、番組表に戻ります。

予約情報を書き込んだディスクを入れた状態で電源を切りたいときは

- リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
- 本体の電源スイッチ（赤）で電源を切ったときは、予約録画が働きません。

BDやDVDを再生する

おしらせ

- BD レコーダー機能の録画中は、再生リストは表示されません。
- 再生リスト表示中の左画面では、データ放送は表示されません。
- 再生リスト表示中に予約が開始された場合は、再生リストが終了します。
- 再生リストに表示される全タイトル数は、BD の場合 1 ～ 200 番組、DVD の場合 1 ～ 99 番組です。
- 再生リストに表示されている番組は、1 ～ 6 の数字ボタンでも選ぶことができます。
- ディスクのカウンター表示については、▶ **124** ページをご覧ください。
- 再生リスト表示中の左画面に地上アナログ、外部入力が表示されているときは、右下のサムネイル（小画面）に映像は表示されません。
- 再生リスト表示中は、本体右側面のボタンでも操作することができます。（▷ **47** ページ）

BD-REやBD-R、DVD-RW、DVD-R を再生する

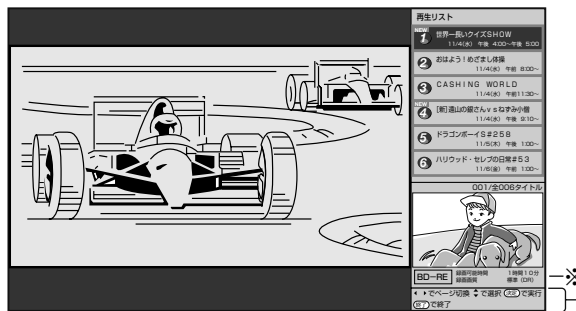
- BD-RE ／ BD-R や VR フォーマットで記録されている DVD は、「再生リスト」または「録画リスト」から録画した番組を選んで再生します。

おしらせ

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE は、再生できない場合があります。
- 他の BD レコーダーで H.264 長時間録画された BD ディスクは、本機では再生できない場合があります。
- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で 40 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- デジタル放送を録画画質「5 倍」で録画した番組は、連動データ放送が記録されていません。

再生リストからディスクを再生する

1 再生する BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R ディスクを挿入する （▶ **110** ページ）

- 視聴中の放送が縮小表示され、右端に再生リストが表示されます。

再生リストの操作のしかた

※再生リストに表示される録画可能時間は現在受信しているデジタル放送の録画可能時間です。

- 再生リストは、1ページに 6 タイトル (番組）まで表示されます。
- デジタル放送の視聴中に再生リストを表示した場合は、右下のサムネイル (小画面）に再生リストで選択されているタイトル (番組) が動画で表示されます。
- ディスクが挿入されたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、［再生］を押すと再生リストを表示します。
- 再生リストを消したいときは、［終了］を押します。

2 再生したい番組を選ぶ

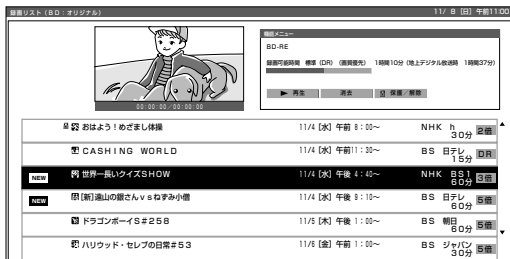
- 再生が始まります。
- 途中で停止した BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R を再生したときは、前回停止した位置から再生されます。（つづき再生 ▶ **140** ページ）
- 再生を止めるときは［■停止］を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

で選び［決定］を押す

録画リストからディスクを再生する

1 再生する BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R ディスクを挿入する
（▶ **110** ページ）

2 録画リストを表示させる

を押す

・録画リストに表示される映像はイメージです。映像によっては、一定に進まない場合があります。

3 見たい番組（タイトル）を選ぶ

で選び
決定
を押す

・番組が再生されます。
・タイトルが 7 つ以上あるときは、◀▶ でページを切り換えることができます。
・見たい番組を選んでから 黄 を押し、左右カーソルボタンで画面の「再生」を選ぶと、先頭から再生またはつづきから再生を選ぶことができます。

録画リストについて

● 録画した番組（タイトル）は、録画リストで一覧表示できます。録画リストからタイトルを選んで再生することができます。（上記）
● タイトルの消去・タイトルの保護も録画リストから行います。（▶ **146・147** ページ）

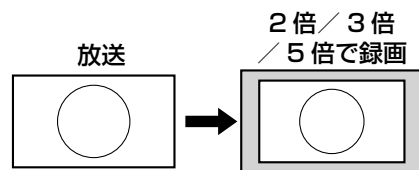
・録画リストに表示されるタイトル名は、BD で最大 40 文字、DVD で最大 32 文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。

・他の BD レコーダーで録画したディスクにプレイリストがあるときは、緑ボタン（プレイリスト）を押すとプレイリスト画面に切り換えられます。
・他機で使用制限をかけた BD をセットすると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

AQUOS
ディスクに使用制限がかかっています。
暗証番号を入力してください。
－ － － －

・暗証番号を 3 回まちがえると、ディスクが排出されます。ディスクを挿入してから、正しい暗証番号を入力してください。
・録画リストに表示される映像は、イメージです。そのため、録画リストに表示される映像は、動きが一定に進まない場合があります。

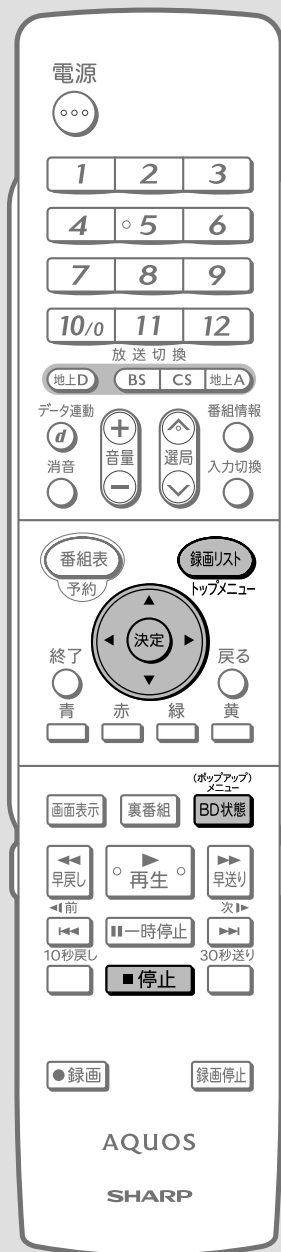
再生時の映像について

・2 倍／ 3 倍／ 5 倍で録画した番組を再生したときは、再生映像が放送視聴時と違って見える場合があります。

このような場合は画面サイズボタンを押し、画面サイズを調整してください。

録画リストに表示される録画可能時間表示について

・表示される録画可能時間は、ハイビジョン放送を録画できる時間です。

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する

● 映画などを収録した市販のBDビデオやDVDビデオディスクを再生します。

ディスクを挿入する（▶ **110** ページ）

- 挿入すると「ディスク読み込み中」と表示されます。読み込み後、自動的に再生が始まるディスクもあります。
- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

- DVDビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき

暗証番号を入力すると、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を3回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき

視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

- BDビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてからBDの視聴制限の設定を変更してください。
- BD視聴制限年齢については▶ **143** ページ
- 再生を止めるときは ■停止 を押します。
- つづき再生については▶ **140** ページ

おしらせ

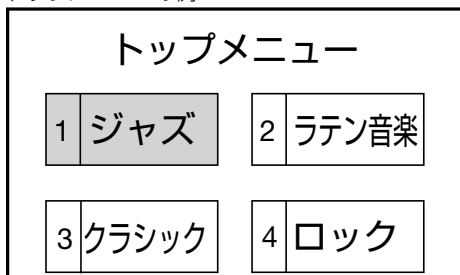
- 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
  ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- 市販のBDビデオやDVDビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示に従って操作してください。
- 海外テレビ番組のDVDビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- 市販のBDビデオの再生中、ディスクによっては自動で一時停止になるものもあります。このようなディスクを再生し、自動で一時停止になったときは一時停止ボタンを押して一時停止を解除できます。
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」（▶ **131** ページ）と同じ操作で表示できます。

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

を押す

再生中にトップメニューを表示する

トップメニューの例

- 画面の指示にしたがって操作してください。

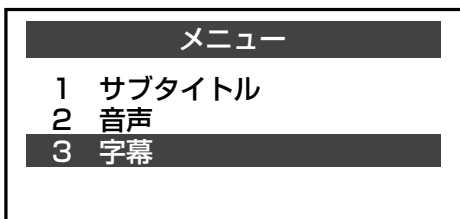
ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

を押す

再生中にディスクメニューを表示する

ディスクメニューの例

メニュー
1 サブタイトル
2 音声
3 字幕

- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

おしらせ

- BD ビデオ再生時の操作で、動作が遅くなったり正常に再生しなくなることがあります。
  このようなときは､「メニュー」－「機能切換」－「BD 設定」－「BD ビデオ初期化」で、BD ビデオの初期化を行います。

設定項目	設定内容
初期化する	本機に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
初期化しない	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

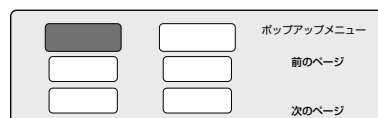
- 「BD ビデオ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。

ポップアップメニューを表示させるには

● BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 （ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

再生中にポップアップメニューを表示する

ポップアップメニューの例

- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

2

で選び

を押す

項目を選ぶ

3 （ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

操作が終わったら、ポップアップメニューを消す

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

次のページに続く

ファイナライズされた DVD ディスクを再生する

● ファイナライズされたディスクであれば他機で録画したDVDディスクも再生できます。
（ファイナライズされていないDVDディスクは本機で再生できません。）

1 ディスクを挿入する（▶ 110ページ）

・挿入すると「ディスク読み込み中」と表示されます。

2 停止中にタイトルメニューを表示させる

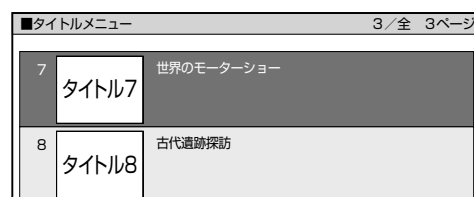
を押す

3 タイトルを選ぶ

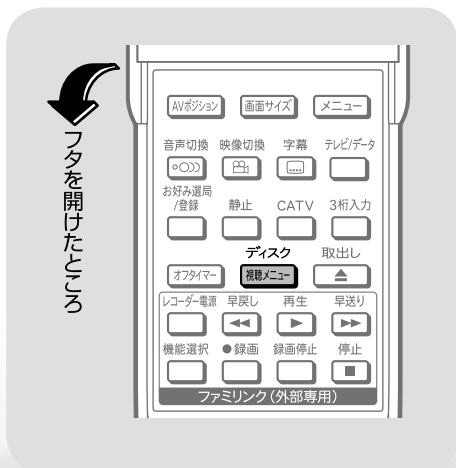
・再生が始まります。

で選び

を押す

（タイトルメニュー例）

・DVD-R DL（2層）ディスクは、再生できない場合があります。
・デジタル放送を録画したDVDディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
　・番組情報は表示できません。
　・連動データは表示できません。
　・字幕は表示できません。
・ファイナライズとは、録画したディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
・ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

音楽用CD を再生する

● 市販の音楽用 CD を再生できます。

再生する

1 CD を挿入する（▶ 110 ページ）

2 再生する
・再生が始まります。

を押す

曲を選んで再生させるには

1 CD を挿入して視聴メニューを表示させます

を押す

2 「T」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 曲番号を選ぶ
・選んだ曲から再生されます。

で選び

を押す

・リモコンの数字ボタンでも曲番号を指定できます。

再生中に使えるボタン（再生時の便利な機能）

● ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

おしらせ

- ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（▶ 196・197 ページ）をご覧ください。

- 早送り／早戻しがうまくいかないとき
- 一時停止／コマ送り再生がうまくいかないとき
- スロー再生がうまくいかないとき

おしらせ

早送り／早戻しについて

- 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- 次ボタンで次のタイトルを頭出ししたときや早送りボタンなどで最後まで再生したときは、最後のシーンが数秒間一時停止状態になった後、次のタイトルを再生します。
  上記の数秒間の一時停止状態のときに、早戻しボタンを押すと、そのシーンから早戻し再生が行えます。

タイトル／チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

● 1枚のディスクに複数の番組を録画した場合など、リモコンの ⏮(前) または ⏭(次) ボタンを押し、番組の頭出し(スキップ)が行える便利な機能です。

⏭(次) または ⏮(前) を押す

再生中に頭出しをする はじめに戻す

- ⏭(次) を押すと、次のタイトル／チャプター（トラック）を頭出しします。
- ⏮(前) を押すと、いま見ているタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。2 回続けて押すと、前のタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。
- タイトルを頭出ししたときは、録画した番組の古い順から頭出しされます。

早送り／早戻しするには（サーチ）

● 再生中の映像を早送り／早戻しできます。

または
を押す

再生中に早送りまたは早戻しをする

- 押すたびにサーチの速さが変わります。

BDを再生しているとき

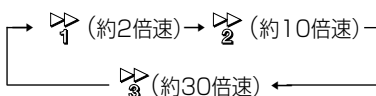
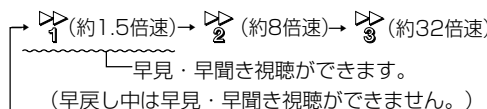
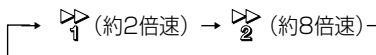
→ 1（約2倍速）→ 2（約10倍速）→ 3（約30倍速）→（1に戻る）

DVDを再生しているとき

→ 1（約1.5倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）→（1に戻る）

└早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

音楽用 CD を再生しているとき

→ 1（約2倍速）→ 2（約8倍速）→（1に戻る）

- サーチを解除するときは、サーチ中に ▶再生 を押します。サーチが解除され、再生画面に戻ります。
- タイトル（録画した番組）をまたぐ早送り／早戻しはできません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

● 約 30 秒先に送ることができます。コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

を押す

再生中に少し先に飛ぶ

- 約 30 秒先にジャンプします。

少し前に戻すには（10 秒戻し）

● 約 10 秒前に戻すことができます。ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。

を押す

再生中に少し前に戻す

・約 10 秒前に戻って再生します。

一時停止するには

● 再生中の映像を一時停止できます。

一時停止
を押す

再生中に一時停止する

・一時停止します。
・一時停止を解除するときは、再生 を押します。一時停止が解除され、再生画面に戻ります。
・一時停止 を押しても一時停止を解除できます。

コマ送りするには（コマ送り／コマ戻し再生）

● コマ送り再生ができます。

を押して離す

一時停止中に押して離す

・次 を押して離すと、コマ送りします。
・前 を押して離すと、コマ戻しします。
・コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは、再生 を押します。コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。
・DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

スローモーションで見るには（スロー／逆スロー再生）

● スローモーション再生ができます。

を 2 秒以上押す

一時停止中に 2 秒以上押し続ける

・BD のタイトルは、約 1/16 倍速のスロー／逆スロー再生になります。
・DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
・スロー再生は、タイトルの最後になると解除されます。
逆スロー再生は、タイトルの先頭になると解除されます。
・スロー／逆スロー再生を解除するときは、再生 を押します。スロー／逆スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。
・タイトルをまたぐスロー／逆スロー再生はできません。

おしらせ

音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・コマ送り

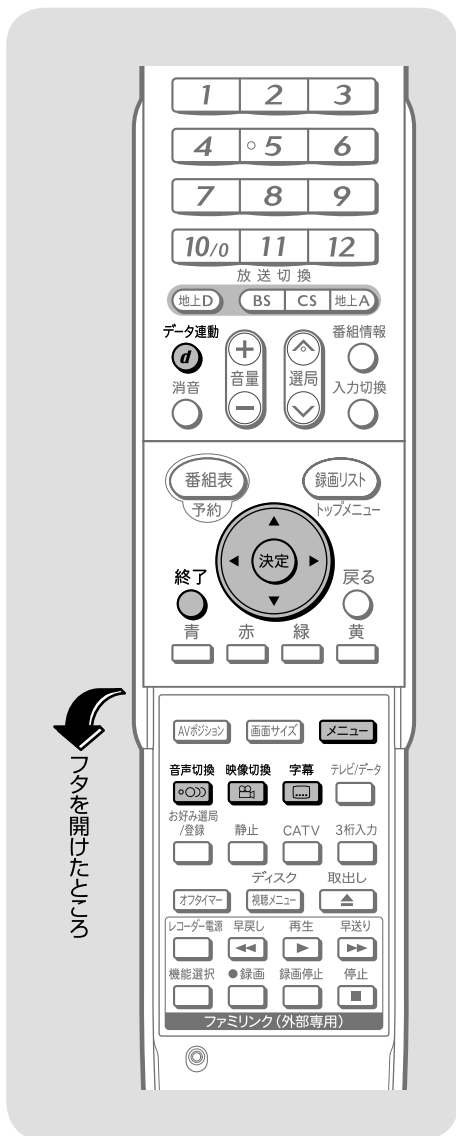
スロー再生について
・BD ビデオの場合、逆スロー再生はできません。

一時停止／コマ送り再生について
・VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
※BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。
・BD ビデオの場合、コマ戻し再生はできません。

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は
・DVD ディスクの場合、データ放送や字幕は再生できません。

30 秒送り／ 10 秒戻しについて
・30 秒送り／ 10 秒戻しを行うと、リピート再生（▶ **139** ページ）は解除されます。

再生中に連動データ放送を見る／再生中に字幕や音声を切り換える

● 再生中に連動データ放送や、音声・字幕・映像の切り換えができます。

再生中に連動データ放送を見るには

データ連動 を押す

連動データ放送を含む番組の再生中に、連動データ放送の画面を表示する
- 連動データ放送画面の基本操作については、▶ **88** ページをご覧ください。

おしらせ

連動データ放送の録画について
- 録画画質が「5 倍」の場合、連動データ放送は録画されていません。

音声を切り換えるには

音声切換 を押す

主・副音声のあるタイトルの再生中に、音声を切り換える
- 押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例▼

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
- 現在再生されている音声番号が表示されます。

- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

字幕を切り換えるには

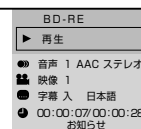
字幕 を押す

字幕のあるタイトルの再生中に、字幕を切り換える
- 押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例▼

おしらせ

各機能の切り換えについて
- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- 字幕、アングル、音声は、視聴メニューからも選べます。（▶ **138** ページ）

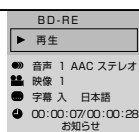
音声切換について
- 次のような場合は、ニヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク（マルチカラオケ音声）は音声切換ができません。

映像やアングルを切り換えるには

映像切換 を押す

複数の映像やアングルのあるタイトルの再生中に、映像を切り換える

- 押すたびに映像が切り換わります。

映像表示の例▼

おしらせ

- 表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

アングルマークを表示したいときの設定

複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク🎥を表示させるように設定することができます。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

BD/DVD再生設定
BD録画設定
ディスク管理
BDビデオ初期化
BD/DVDの再生に関する設定をします。

で選び

決定 を押す

4 「アングルマーク表示」を選ぶ

で選び

決定 を押す

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び

決定 を押す

再生中に設定をする（視聴メニュー）

● 再生しながら、再生情報を確認したり、タイトルの頭出し、リピート再生が行えます。

1 再生中に視聴メニューを表示する

ディスク 視聴メニュー を押す

2 設定項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

① 再生状態表示
動作状態やディスクの種類
② 設定項目（▶ **139** ページ）
③ 操作ガイド表示

3 設定する（▶ **139** ページ）

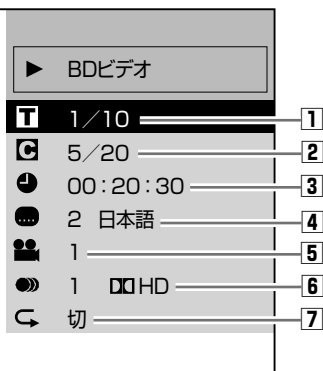
や
で選び
決定 を押す

4 設定を終了する

戻る または 視聴メニュー を押す

おしらせ

・BD ビデオや DVD ビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。
・アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

画面表示と各設定項目について

- 再生しているディスクによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号（CD の再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 C チャプター再生表示

- 再生中のチャプター番号が表示されます。
  番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用 CD はチャプターがありません。

3 再生経過時間表示

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

4 字幕言語再生表示

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像再生表示

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 「アングルマーク表示」（▶ **137** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

6 再生（視聴）音声表示

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。

7 リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。（▶**右記**）

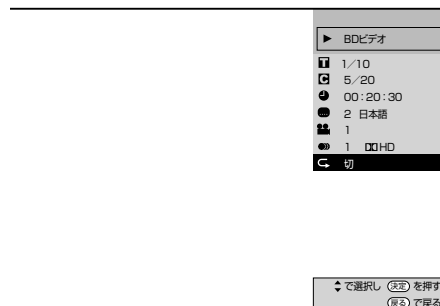
タイトルまたはチャプターをくり返し再生する（リピート再生）

- 視聴メニューで、選んだタイトルやチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生する

を押す

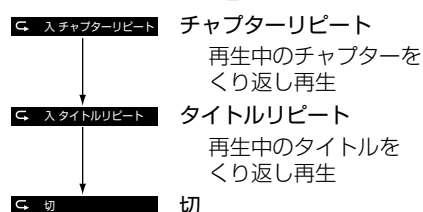
2 ①再生中に視聴メニューを表示する

ディスク 視聴メニュー を押し
で選び
決定 を押す

②「」を選ぶ

3 「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

で選び

を押す

- 入 チャプターリピート — チャプターリピート：再生中のチャプターをくり返し再生
- 入 タイトルリピート — タイトルリピート：再生中のタイトルをくり返し再生
- 切 — 切

- リピート再生を開始します。
- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。
- リピート再生を解除するには、視聴メニュー画面で「」を選び、「切」を選びます。

おしらせ

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- リピート再生状況を確認したいときは ディスク 視聴メニュー を押してください。
- 30 秒送り／ 10 秒戻し（▶ **134**・**135** ページ）を行うと、リピート再生は解除されます。

次のページに続く

停止した場所からつづけて再生する／はじめから再生する

● 再生を途中で停止している場合、[再生]を押すと、前回停止したところからつづきを再生できます。

おしらせ

- 電源コードを抜いたり、ディスクを取り出したりすると、つづき再生が働かなくなります。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かないまたは正常に働かない場合があります。

再生ボタンでつづき再生するには

を押す

再生を停止した状態から再生する

- つづきから再生できます。
  BD-RE などで再生リストが表示された場合は、つづき再生したいタイトルを選び (決定) を押してください。

BD ビデオ／ DVD ビデオ／ DVD（ビデオフォーマット）ディスクで、途中で止めたタイトルをはじめから再生するには

1 再生する

を押す

2 再生を停止する

を押す

3 もう一度、停止ボタンを押す

を押す

4 再生する

- はじめから再生されます。

を押す

BD-RE/BD-R/DVD（VR フォーマット）ディスクで、途中で止めたタイトルをはじめから再生するには

● [再生] を押すとつづき再生になる場合でも、「録画リスト」を使うと別のタイトルをはじめから再生できます。

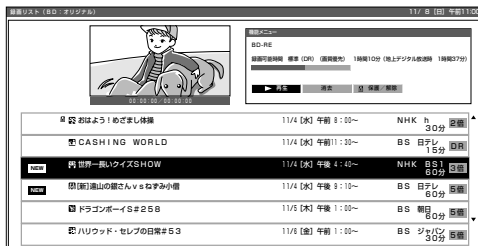
1 録画リストを表示する

を押す

2 再生したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

3 機能メニューを選び、「再生」を選ぶ

黄
を押し
で選び
を押す

4 「先頭から再生」を選ぶ

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

で選び
を押す

セリフが聞きづらいとき

● BD/DVD の再生時の音声の設定を変更できます。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「音声レベル」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「標準」または「シフト」を選ぶ

・ セリフが聞きづらいときは「シフト」を選びます。

で選び 決定 を押す

設定項目	設定内容
標準	記録されている音声をそのまま出力します。
※シフト	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときは標準にしてください。）

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります

再生時の設定、消去、保護や初期化

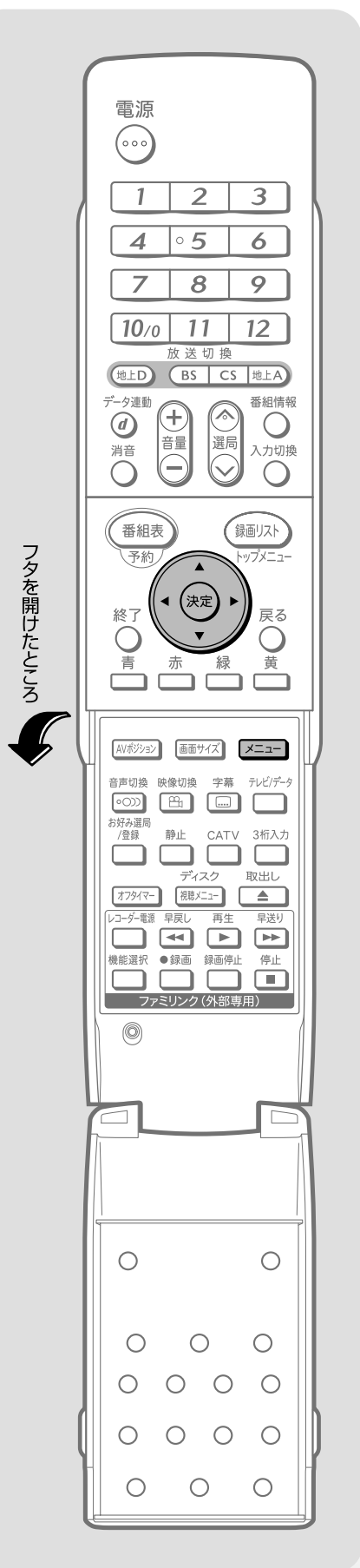
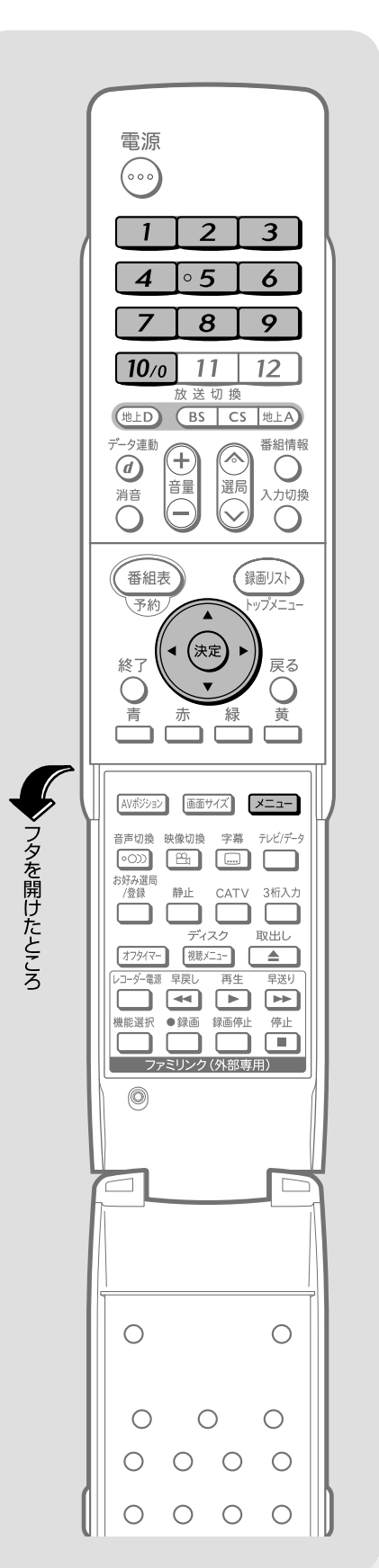
BD ／ DVD の視聴制限レベルを設定する

● ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び
を押す

体設定	機能切換	デジタル設定	お知らせ

BD設定	
ファミリンク設定	
モニター音声出力端子設定	[固定]
ヘッドホン設定	[モード1]
字幕表示設定	[しない]
番組名表示設定	[しない]
映像オフ	
オンタイマー設定	[切]
チャイルドロック	[しない]
画面表示色設定	[ブルー系]

3 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

で選び
を押す

BD/DVD再生設定	BD/DVDの再生に関する設定をします。
BD録画設定	
ディスク管理	
BDビデオ初期化	

4 「視聴制限レベル」を選ぶ

で選び
を押す

5 暗証番号を入力する

で入力

- 「暗証番号設定」（▶ **176** ページ）で設定した数字を入力します。
- 暗証番号の設定が済んでいない場合は、「暗証番号設定」（▶ **176** ページ）で暗証番号を設定してください。

視聴制限レベル	暗証番号を入力してください。
ディスク優先言語	― ― ― ―
アングルマーク表示	
音声レベル	デジタル設定の暗証番号設定で設定した4桁の数字が必要です。

6 「変更する」を選ぶ

で選び
を押す

- 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

7 DVD ビデオの視聴制限レベルを選ぶ

で選び
を押す

- 視聴制限を設定しない場合は「切」を選びます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切	視聴制限を「切」にします。

8 「次へ」で決定する

を押す

9 ① BD ビデオの視聴を制限する年齢を入力するか、「無制限」を選ぶ

で選び
で入力

設定項目	設定内容
無制限	年齢制限をしません。
0 歳を制限 ～ 99 歳以下を制限	0 歳～ 99 歳の間で年齢制限をします。

②「次へ」で決定する

を押す

10 ① BD/DVD ビデオの国コードを選ぶ

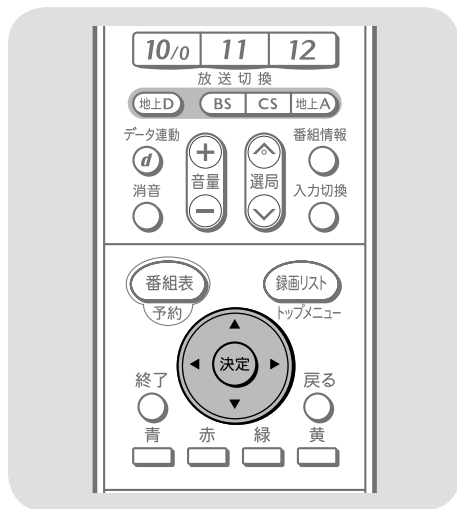
で選び
を押す

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。 （国コード一覧 **144** ページを参照）

②「完了」で決定する

を押す

ディスク優先言語を設定する

● ディスクを再生するときの優先言語（画面に表示するメニューや音声の言語）を選択できます。

1 「メニュー」－「機能切換」－「BD設定」を選ぶ

2 「BD/DVD 再生設定」を選ぶ

3 「ディスク優先言語」を選ぶ

4 「変更する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

・ 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

5 ①字幕の言語を選ぶか、字幕の言語を言語コード（下記）から選ぶ

で選び 決定 を押し 決定 を押す

②「次へ」で決定する

6 同様に音声言語を選んで決定する

7 同様にメニュー言語を選んで決定する

おしらせ

・ 画面に表示されるメニューや音声の言語は、ディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や言語の切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

国コードの一覧表

アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ＝ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

BDディスクの内容を消さない設定をする（BDディスク保護）

● 間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）をディスクごと保護できます。

1 保護したいディスクを挿入する

・再生リスト（▶ **128** ページ）が表示された場合は、終了で終了します。

2 メニューを表示する

メニューを押す

3 「機能切換」－「BD設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

4 「ディスク管理」を選ぶ

で選び
を押す

5 「ディスク保護」を選ぶ

で選び
を押す

6 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

・保護されたディスクの保護を解除するには、「保護解除」を選びます。

で選び
決定を押す

タイトル（録画した番組）を消去する

● すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を録画リストから消去することができます。

1 タイトル（録画した番組）を消去したいディスクを挿入する

- 再生リスト（▶ **128** ページ）が表示された場合は、終了で終了します。

2 録画リストを表示する

録画リスト トップメニュー を押す

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護解除」（▶ **147** ページ）を行ってください。

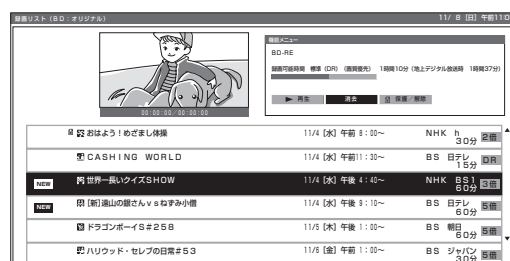
4 機能メニューを選び、消去（消去ボタン）を選ぶ

黄 を押し

で選び

決定 を押す

5 「消去する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

このタイトルをディスクから消去しますか？
※消去後は復元できません。

消去する　キャンセル

- 消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

- BD-RE または BD-R 以外のディスクはタイトルが消去できません。

おしらせ

- 消去したタイトルは復活できません。
- BD-R ディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
- チャプターの消去はできません。

タイトル（録画した番組）を消さない設定をする

● 間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）をタイトルごとに保護できます。

1 タイトル（録画した番組）を保護したいディスクを挿入する

・再生リスト（▶ **128** ページ）が表示された場合は、終了で終了します。

2 録画リストを表示する

を押す

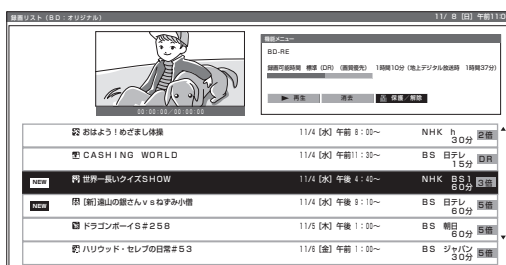
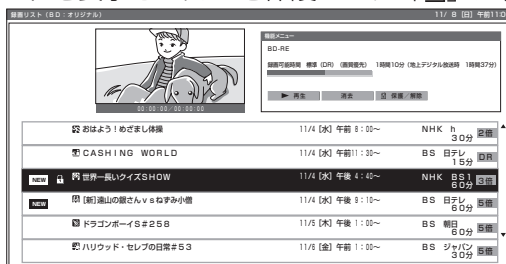
3 保護したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

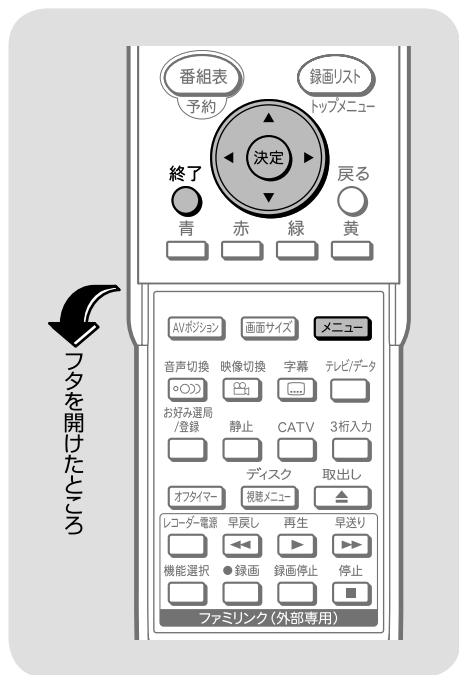
4 機能メニューを選び、保護／解除（保護／解除ボタン）を選ぶ

黄
を押し

で選び

を押す

・タイトル保護を設定したタイトルには、録画リストを表示させたとき保護マーク「🔒」が付きます。

・保護設定したタイトルを消去したいときは、「保護／解除」を選んでください。

BD を初期化する

- 未使用のBD-REまたはBD-Rを挿入したときは、自動的に初期化が始まります。（▶ **111**ページ）
- 使用済みのBD-REディスクの中身を未使用の状態に戻したい場合は、次の操作で初期化をします。

おしらせ

- 録画済みの BD-RE を初期化すると、録画されたタイトルがすべて消去されます。消去されたタイトル（番組）は元に戻せませんので、内容をよく確認してください。
- 他社のレコーダーで録画した BD-RE を挿入したときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んでください。

1 初期化するディスクを挿入する

- 再生リスト（▶ **128** ページ）が表示された場合は、終了で終了します。

2 メニューを表示する

を押す

3 「機能切換」－「BD 設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「ディスク管理」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「BD 初期化」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 初期化が実行されます。

8 「確認」で決定する

決定 を押す

レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ

ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

ゲームやパソコンをつなぐ

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどを再生する

ビデオデッキやDVDプレーヤーをつなぐ

- お手持ちの録画・再生機器を接続する場合は、機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

※1 HDMIケーブルは、必ず市販のHDMI規格認証品(カテゴリー2推奨)をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

※2 入力5のS2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。(S2対応 92ページ)

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

おしらせ

ビデオ機器側の接続端子について

- 詳しくは、ビデオ機器や DVD プレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

ビデオデッキをお使いの場合

- DVD プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

LC-52DX1の端子▼

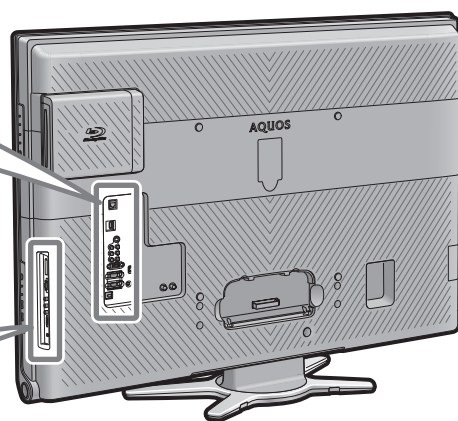
- LC-46DX1/ LC-42DX1/ LC-37DX1 の端子部については **23** ページをご覧ください。

入力4
(D4 映像・映像・音声)

取り付け･取りはずしをよく行う機器をつなぐときに便利な端子です。

入力2
(HDMI)

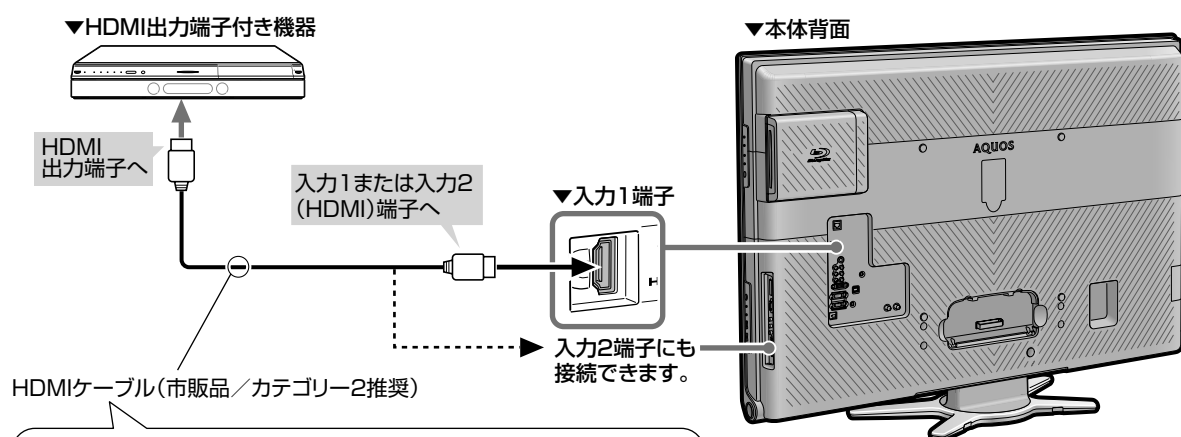
D4映像
映像
左
音声
右
HDMI
ヘッドホン

AQUOS

おしらせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊎と㊎、㊀と㊀、㊍と㊍）につなぎます。
- 映像の種類と画質について ▶ **155**・**230** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- **ゲーム機との接続については、166 ページをご覧ください。**

次のページに続く

HDMI 出力端子付き機器の接続のしかた

● HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
● HDMI 出力端子付き機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力 1」または「入力 2」を選びます。

必ず市販のHDMI規格認証品（カテゴリー2推奨）をご使用ください。
規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

・本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

おしらせ

・HDMI 入力では、HDMI ケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI 認証ケーブルを使用してください。
・入力 2 にレコーダーやオーディオを接続するときは、「入力音声選択」を「HDMI のみ」に設定してください。（工場出荷時は、「HDMI のみ」に設定されています。

対応している映像信号

● 1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA
● PC の接続について、詳しくは▶ **170** ページをご覧ください。

対応している音声信号

● 種類：リニア PCM
サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

HDMI出力端子付き機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは▶**156**ページをご覧ください。

ビデオデッキやDVDプレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

灰色で表示した手順はビデオ機器の操作です。

1 ビデオ機器を本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

3 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

- 表示中に次の操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力を選ぶ

入力切換 を押す

- 選択した入力に切り換わります。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 例えば、本機の入力１に接続した機器の映像を見たいときは、「入力１」を選びます。

選んでしばらくすると入力切換メニューは消えます。
決定ボタンを押して消すこともできます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6

選べる入力について

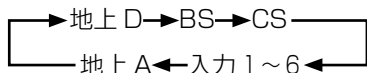
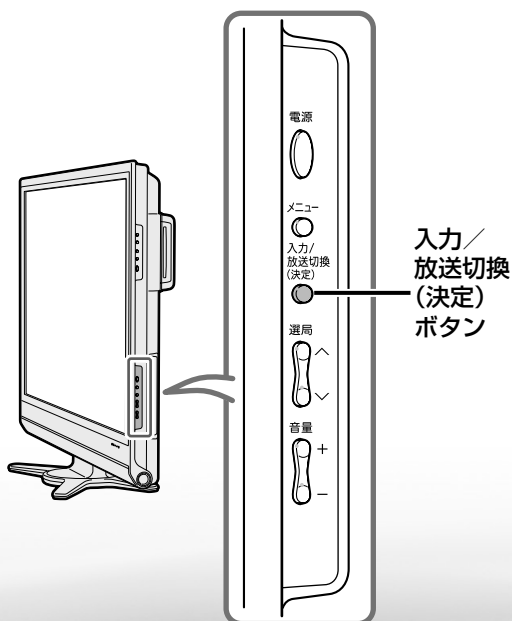
- 入力３～５は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5 ビデオ機器を再生状態にする

- ビデオ機器の再生映像が本機の画面に表示されます。
- ビデオ機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。
設定のしかたについては、接続したビデオ機器の説明書をご覧ください。

おしらせ

本体のボタンで切り換えるときは

- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。
ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。
地上D→BS→CS→入力１～６→地上A→（地上Dに戻る）
（放送の種類も切り換えられます。）
- 本体の入力／放送切換（決定）ボタンで切り換えるときは、入力切換メニューは表示されません。

次のページに続く

入力３～５の映像が表示されないときは（入力選択）

● 入力３～５の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 表示されない入力（入力３～５）を選ぶ

入力切換 を押す

2 メニューを表示する

メニュー を押す

3 「機能切換」－「入力選択」を選ぶ

で選び

を押す

4 「D 端子」「S 端子」「ビデオ映像」のいずれかを選ぶ

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子→ S 端子→映像端子の優先順位で映像が表示されます。（D 映像端子は入力３·４のみ、S 端子は入力５のみです。）

で選び

を押す

使用していない入力をスキップするには（入力スキップ設定）

● 入力１～２および入力６を使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「本体設定」－「入力スキップ設定」を選ぶ

で選び

を押す

3 ①スキップしたい項目を選ぶ
②「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

おしらせ

- 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンで入力／放送を切り換える場合に地上 A、地上 D、BS、CS を飛ばして切り換える（スキップする）設定もできます。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

● 入力１～６に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

例えば､入力4にゲーム機をつないだとき､入力切換メニューの「入力4」を「ゲーム」の表示にできます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
ゲーム
入力5
入力6

● お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例）入力4を「ゲーム」の表示にする

1 変更したい入力を選ぶ

- ここでは「入力４」を選びます。

入力切換 を押す

2 メニューを表示する

メニュー を押す

3 「本体設定」－「入力表示選択」を選ぶ

で選び

を押す

見られる映像の種類について

4 表示させたい名称を選ぶ

で選び
を押す

・ここでは「ゲーム」を選びます。

チャンネルサインに表示する名称の設定です。

入力4	ビデオ4	ビデオ
コンポーネント2	コンポーネント	D端子2
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D−VHS	HDD	DVR
B D	ユーザー設定:	

編集

ユーザー設定について
- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選びます。
  （文字入力のしかた▶ **180**ページ）
- ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

表示できる名称について

・入力ごとに設定できる名称は異なります。

入力1／入力2

(自動)入力1 ※	入力1 ※	ビデオ1 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1 ※
DVD	ゲーム	HDD
DVR	BD	

※「入力2」選択時は、(自動)入力2 入力2 ビデオ2 HDMI2 と表示されます。

- HDMI機器を接続し、「(自動)入力1」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。（「自動(入力2)」も同様）

入力3／入力4

入力3 ※	ビデオ3 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力4」選択時は、入力4 ビデオ4 コンポーネント2 D端子2 と表示されます。

入力5

入力5	ビデオ5	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

入力6

入力6	ビデオ6	ビデオ
RGB	DVD	ゲーム
PC		

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p（24Hz/60Hz）、720p、
1080i、480p、480i、VGA

・対応している音声信号はリニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

おしらせ

・映像の種類について詳しくは、▶ **230** ページをご覧ください。

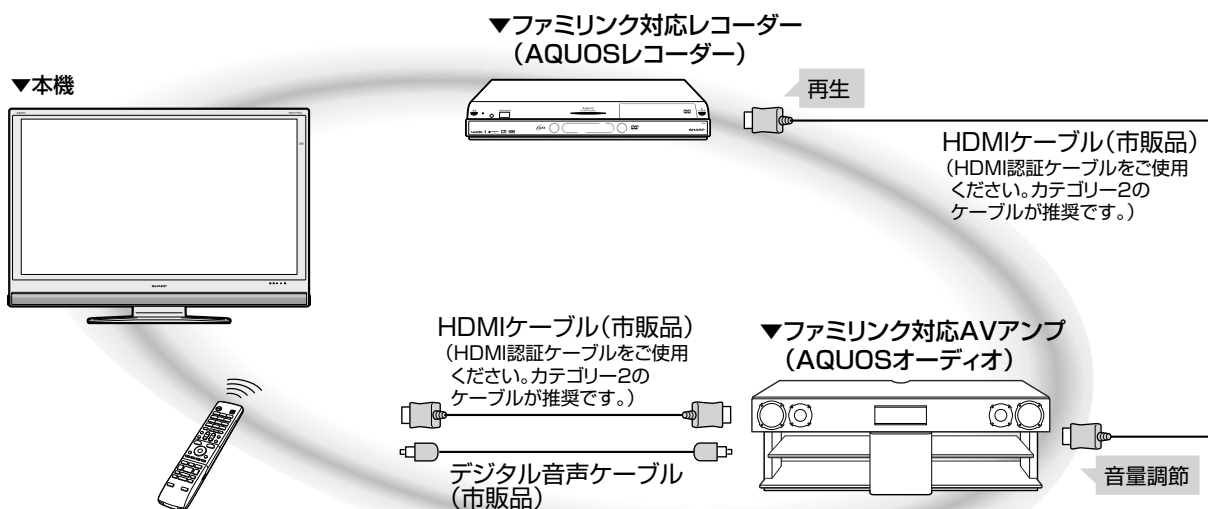
ファミリンクを使うための準備をする

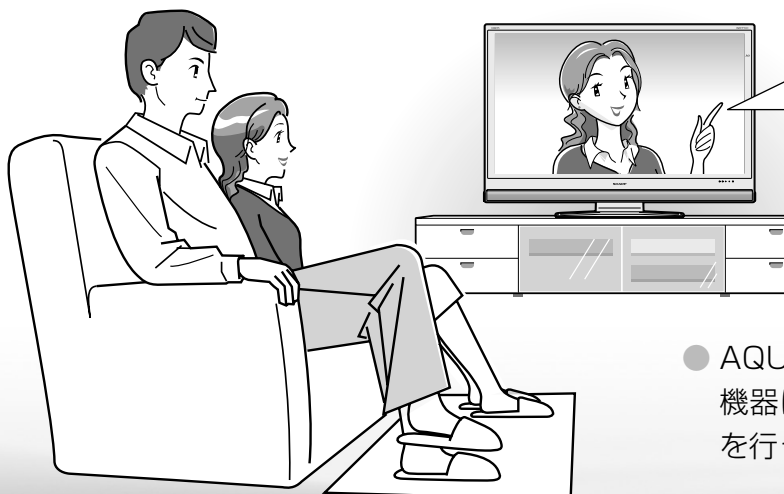
ファミリンクについて

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格 ── HDMI CEC（Consumer Electronics Control）── を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

ここでは、
ファミリンクの概要を
説明しています。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOSレコーダー）やAVアンプ（AQUOSオーディオ）をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組をワンタッチ録画	テレビの電子番組表で予約録画	録画した番組をワンタッチ再生

おしらせ

- ファミリンクの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機には i.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載の AQUOS レコーダーと接続したとき i.LINK 録画（2 番組同時録画）は働きません。

- AQUOS レコーダー側の設定も必要です。機器に付属の取扱説明書をご覧の上、設定を行ってください。

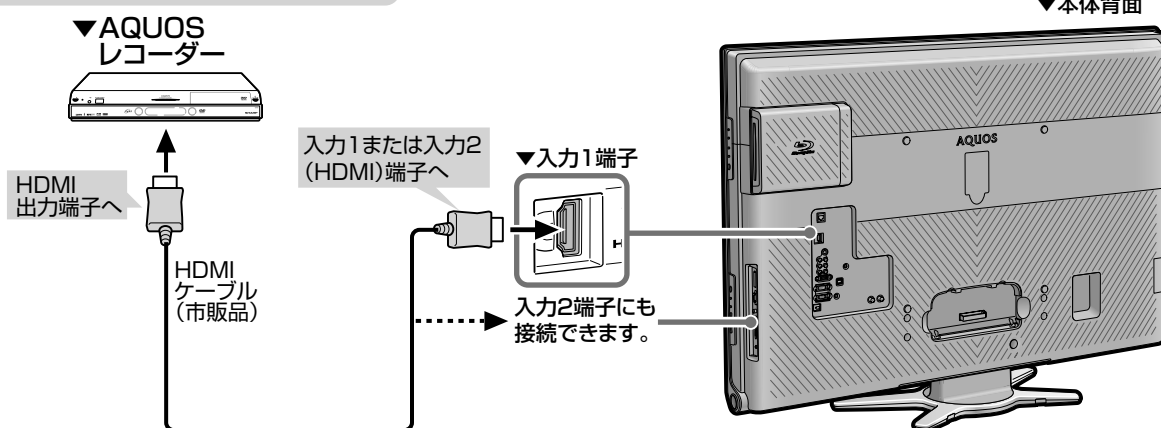
ファミリンク対応機器の つなぎかた

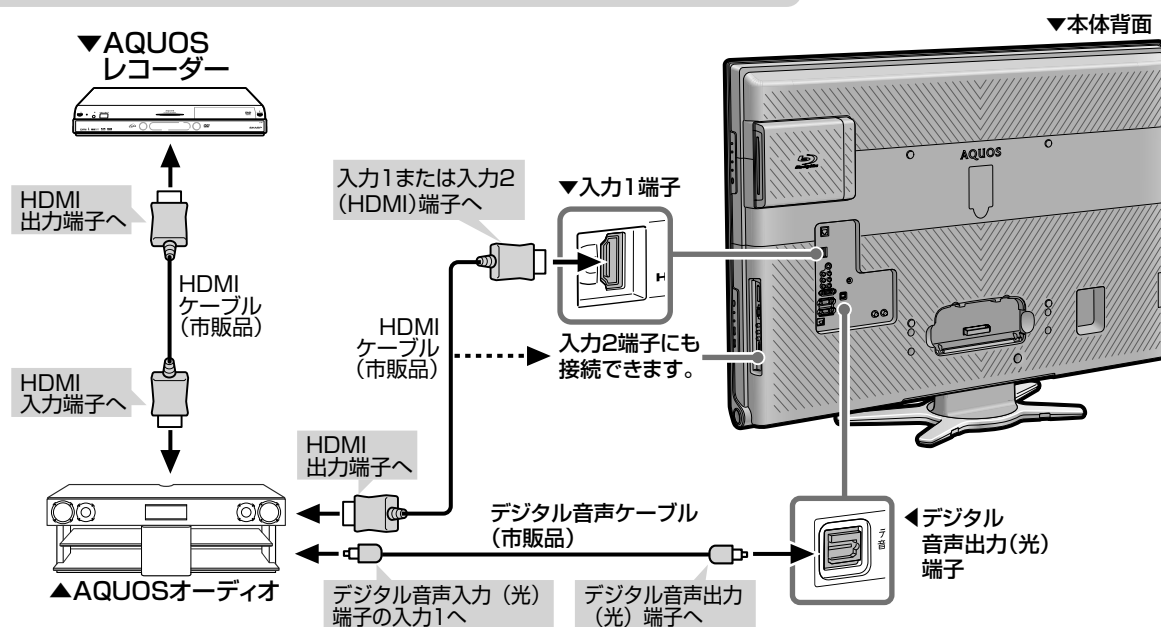
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 複数の HDMI 端子のあるファミリンク対応アンプを経由して接続すれば、AQUOS レコーダーを 3 台まで操作できます。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

重 要

- ケーブルを抜き差ししたり接続方法を変えた場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れなおし、本機の入力を入力 1・2 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

ファミリンク機能を使うための設定をする

- 本機に付属のリモコンでも操作できます。
- 以下の設定をしないと、ファミリンクの連動機能などが働きません。

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- 「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

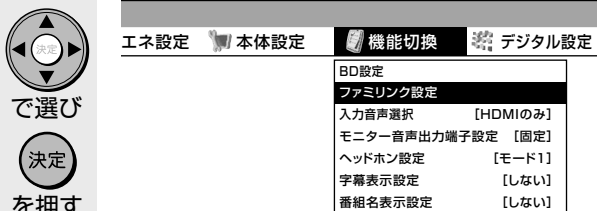
1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

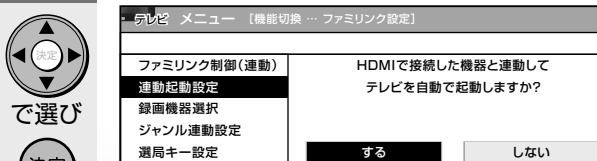
BD設定
ファミリンク設定
入力音声選択　［HDMIのみ］
モニター音声出力端子設定　［固定］
ヘッドホン設定　［モード1］
字幕表示設定　［しない］
番組名表示設定　［しない］

3 ①「連動起動設定」を選ぶ
②「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

テレビ　メニュー　［機能切換 … ファミリンク設定］

ファミリンク制御（連動）
連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
選局キー設定

HDMIで接続した機器と連動して
テレビを自動で起動しますか?

する　しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

レコーダーの接続時に、録画を行う機器を選ぶ

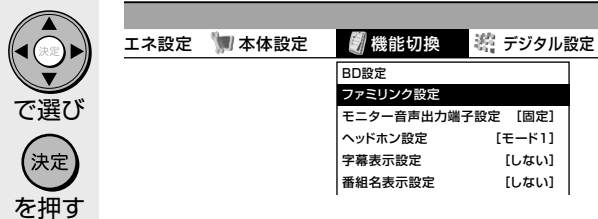
- AQUOS レコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンフタ内のファミリンク部の録画ボタンを押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを設定します。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

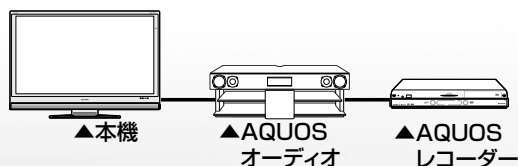
で選び
決定
を押す

エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

3 ①「録画機器選択」を選ぶ
②リモコンフタ内のファミリンク部の録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

おしらせ

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

● ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合は、「しない」に設定してください。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

エネ設定 本体設定 機能切換 デジタル設定
BD設定
ファミリンク設定
モニター音声出力端子設定 ［固定］
ヘッドホン設定 ［モード1］
字幕表示設定 ［しない］
番組名表示設定 ［しない］

3 ①「ファミリンク制御（連動）」を選ぶ
②「しない」を選ぶ

で選び
を押す

テレビ メニュー ［機能切換 … ファミリンク設定］
ファミリンク制御（連動）
連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
選局キー設定
ファミリンクの制御の設定をします。
する しない

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

● 次の操作が本機のリモコンで行えます。
・選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 ～ 12 で選局の操作ができます。
・番組表ボタンで番組表を表示できます。
・番組情報ボタンで番組情報を表示できます。
・データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
・番組表ボタン、番組情報ボタン、データ連動ボタンは、機器によっては操作できない場合があります。

● この設定は、入力端子ごとに設定されます。

1 メニューを表示する

メニュー
を押す

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
を押す

エネ設定 本体設定 機能切換 デジタル設定
BD設定
ファミリンク設定
モニター音声出力端子設定 ［固定］
ヘッドホン設定 ［モード1］
字幕表示設定 ［しない］
番組名表示設定 ［しない］

3 「選局キー設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ

で選ぶ

5 「する」を選ぶ

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
決定
を押す

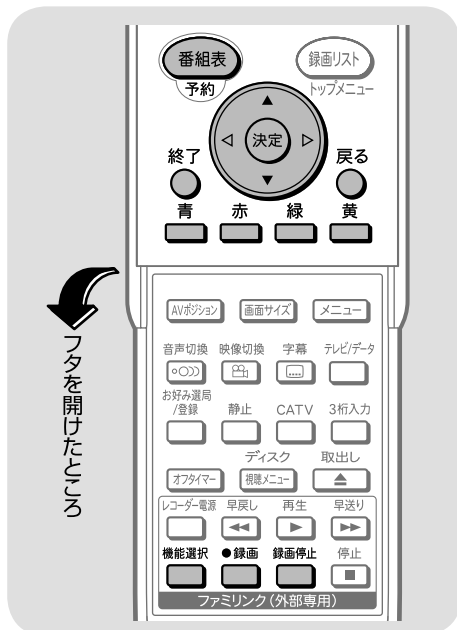
ファミリンク制御（連動）
連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
選局キー設定
HDMI入力別にファミリンク対応機器へ選局キーの連動設定をします

ファミリンクで使う

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

重 要

ワンタッチ録画を行う前に

- AQUOS レコーダー側の録画準備をしてください。次のことなどを確認します。
  - B-CASカードが挿入されていますか
  - アンテナが接続されていますか
  - 録画メディア(HDD、DVDなど)に空き容量がありますか
- あらかじめ、「ファミリンク設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。（▶ **158** ページ）
- 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

1 フタ内の ●録画 を押す

ファミリンクで録画する

- 「録画機器選択」（▶ **158** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

2 フタ内の 録画停止 を押す

ファミリンクの録画を停止する

おしらせ

- 「録画機器選択」（▶ **158** ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」（▶ **158** ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、フタ内の録画ボタン（赤）を押しても録画できません。

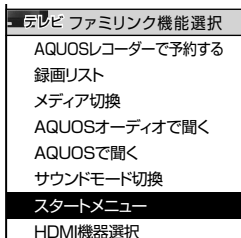
AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 機能選択 を押す

ファミリンク機能選択メニューを表示する

テレビ ファミリンク機能選択
- AQUOSレコーダーで予約する
- 録画リスト
- メディア切換
- AQUOSオーディオで聞く
- AQUOSで聞く
- サウンドモード切換
- スタートメニュー
- HDMI機器選択

2 ▲▼で選び 決定 を押す

「スタートメニュー」を選ぶ

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。
- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

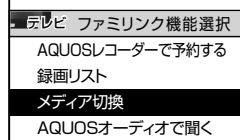
AQUOSレコーダーの再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

1 機能選択 を押す

ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 ▲▼で選び

「メディア切換」を選ぶ

テレビ ファミリンク機能選択
- AQUOSレコーダーで予約する
- 録画リスト
- メディア切換
- AQUOSオーディオで聞く

3 決定 を押す

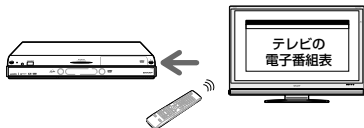
レコーダーのメディアの種類(「HDD」や「DVD」など)を選ぶ

- AQUOS レコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で 決定 を押すごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

AQUOS レコーダーに予約録画する

録画エラーのメッセージが出たときは、▶201ページをご覧ください。

本機の電子番組表で予約録画するには

本機の電子番組表と同じ予約の内容で予約を設定

- 本機の電子番組表から接続している AQUOS レコーダーに予約録画できます。
- 一度 BD レコーダー機能への予約録画を設定し、「予約方法」を「ファミリンク録画」に変更します。

1 AQUOS レコーダー側の準備をする
- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 **118 ページの手順 3 ～ 5 でファミリンク録画したい番組を選び、予約録画を設定する**
- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(▶ **81** ページ)

3 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び

決定を押す

4 ①「予約方法」で「ファミリンク録画」を選ぶ
②「変更する」で決定する

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
ーーー	11/3 [火]	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	ファミリンク録画

BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

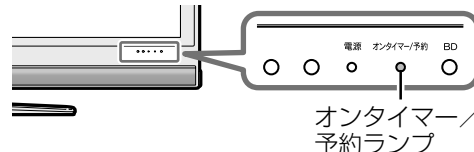
変更する　変更しない　取り消す　予約の書き込み

で選ぶ

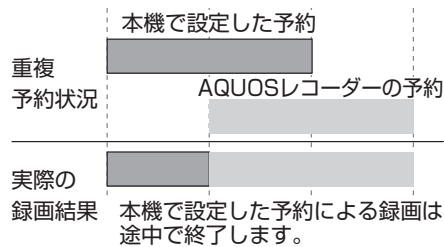
を押す

③「戻る」で決定する

を押す

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択(▶ **158** ページ)を行ってください。
- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。
- 電子番組表画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。
- テレビ側番組表でのファミリンク予約録画中は、テレビの主電源を切らないでください。テレビの主電源を切ると、録画停止してしまいます。

重 要

ファミリンク録画に関するご注意
- 予約録画状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

(例)

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機で予約した番組が録画されます。

おしらせ
- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **122** ページをご覧ください。

次のページに続く

AQUOS レコーダーを再生する

AQUOS レコーダーの電子番組表で予約録画するには

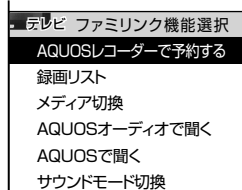
AQUOS レコーダーの電子番組表を呼び出して予約

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

を押す

2 「AQUOS レコーダーで予約する」を選ぶ

で選び
を押す

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 予約したい番組を選び、予約録画の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの   で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

最後に録画した番組を、AQUOS のリモコンで再生する（ワンタッチプレー）

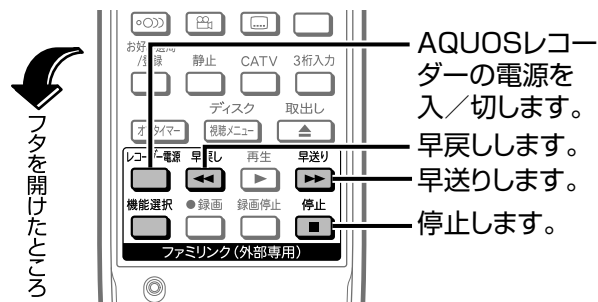
- 本機のリモコンでHDMI 接続したAQUOS レコーダーを操作できます。

録画した番組を再生する

フタ内の 再生 ▶ を押す

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リスト」を選びます。

再生中の操作について

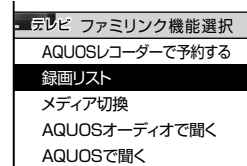
- ファミリンクで再生しているときは、リモコンフタ内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「ファミリンク設定」の「連動起動設定」を「する」に設定します。(▶ **158** ページ)

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「録画リスト」を選ぶ

で選び
を押す

- AQUOSレコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOSレコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組(タイトル)を選ぶ
再生する

で選び
フタ内の 再生 を押す

- 録画リストは本機のリモコンの
で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、フタ内の 停止 を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

おしらせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどのディスクがセットされている場合など、録画リストがない場合、録画リストは表示されません。
  ファミリンク機能選択メニューから「メディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。

視聴するHDMI対応のレコーダー(録画機器)を選ぶ

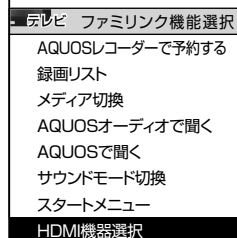
- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選ぶことができます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「HDMI機器選択」を選ぶ

で選び
を押す

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

- 「HDMI機器選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。(ファミリンクに対応していない機器は、本機に直接接続されていない場合は選択することはできません。)

AQUOS オーディオで聞く

AQUOS オーディオで聞く

● AQUOS オーディオからのみ音声を出力できます。

1 機能選択 を押す

ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 ▲▼で選び 決定 を押す

「AQUOS オーディオで聞く」を選ぶ

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、機能選択 を押し、上下カーソルボタンで「AQUOS で聞く」を選びます。

おしらせ

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- モニター音声出力端子設定（▶ **169** ページ）を「可変」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「視聴環境設定（音声）」の設定はできません。

番組内容に適した音に切り換える

番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

● デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

で選び
を押す

エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

BD設定
ファミリンク設定
モニター音声出力端子設定　［固定］
ヘッドホン設定　［モード1］
字幕表示設定　［しない］
番組名表示設定　［しない］
映像オフ

3 「ジャンル連動設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

ファミリンク制御（連動）
連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
選局キー設定

AQUOSオーディオのサウンドモードを
番組情報に連動させますか?

する　しない

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・地上アナログ放送やBD映像、DVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」で手動で切り換えます。
・サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

手動でサウンドモードを切り換える

● AQUOSオーディオのサウンドモードを手動で切り換えます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択
を押す

2 「サウンドモード切換」を選ぶ

で選び
決定
を押す

・「サウンドモード切換」で決定ボタンを押すごとに、サウンドモードが順次切り換わります。

テレビ　ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

ゲームをするときは

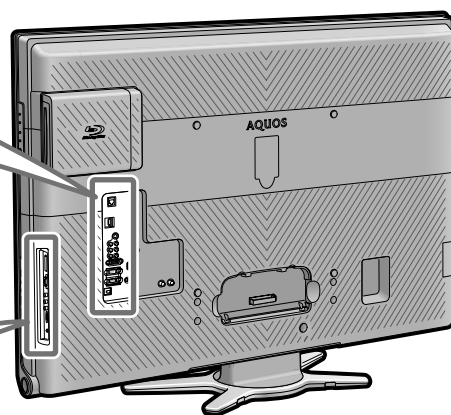
接続のしかた

- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
  ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の入力端子のうち、ゲーム機で対応している端子と接続してください。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

LC-52DX1の端子▼

- LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1の端子部については**23**ページをご覧ください。

おしらせ

- 本機のHDMI入力端子は1080pの信号入力に対応しています。1080pの映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー2）に対応したHDMIケーブルをお使いください。

ゲームを楽しむときは

ゲームの画面に切り換える

● ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

1 **ゲーム機と本機の電源を入れる**

2 **入力切換メニューを表示する**

入力切換 を押す

・表示中に次の操作を行います。

3 **繰り返し押し、ゲーム機を接続した入力を選ぶ**

入力切換 を押す

・選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
・例えば、本機の入力１にゲーム機を接続した場合は､｢入力１｣を選びます。

上下カーソルボタンでも選べます。入力切換について詳しくは、**153**ページをご覧ください。

フタを開けたところ

本機でテレビゲームをお楽しみになる前に

● テレビゲームをお楽しみになるときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適の AV ポジションの「ゲーム」にして、お使いいただくことをお奨めします。

● 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

● ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。
反応が遅くなるときは､AV ポジションを「ゲーム」に設定し､｢映像調整」－「プロ設定」－「QS 駆動（120Hz)」で「しない」にしてください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

● ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。

● メニューの｢機能切換」－｢ゲーム時間表示設定」で設定します。

項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	何も表示しません。

重 要

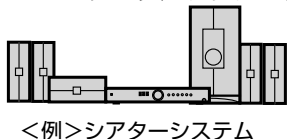
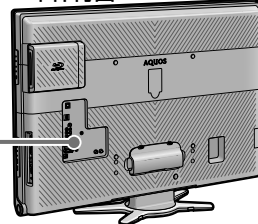
・経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（▶**93** ページ）を「ゲーム」にしてください。
・外部入力視聴時のみ有効です。

ゲームをするときは、AV ポジション（▶**93** ページ）を「ゲーム」にすることをお勧めします。

オーディオ機器で音声を楽しむには

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

● 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC/ ドルビーデジタル /dts 音声フォーマットを出力できます。AAC/ ドルビーデジタル /dts サラウンド対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

おしらせ

- 接続する機器がビットストリーム /PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「ビットストリーム」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「ビットストリーム」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ(AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（▶ **156** ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI 端子からの入力音声信号※1	リニア PCM※2
視聴中のデジタル放送音声	リニア PCM※2、AAC
内蔵 BD ユニットでのディスク再生中の音声信号	リニア PCM※2、ドルビーデジタル、dts

※1 HDMI 端子で接続したレコーダーからの音声信号は、本機のデジタル音声出力（光）端子から、2ch のリニア PCM で出力されます。
レコーダーからの音声をサラウンドで楽しみたい場合は、直接レコーダーから AV アンプへ音声信号を入力してください。詳しくは、お手持ちのレコーダーおよび AV アンプの取扱説明書をご確認ください。本機で受信したデジタル放送（サラウンド対応番組）の場合は、デジタル音声出力（光）端子からサラウンドの AAC で出力できます。

※2 48kHz以下の2ch音声が出力されます。

- 「デジタル音声設定」を「ビットストリーム」に設定しているときは、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX6.1 ch」音声や「DTS · ES6.1 ch」音声など「6.1 ch」以上の音声は「5.1 ch」音声として出力されます。
- ロスレスオーディオの「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声は「コアストリーム」(5.1 ch)」音声のみ出力されます。

出力される音声信号の設定（デジタル音声設定）

1 メニューを表示する

を押す

2 「デジタル設定」－「デジタル音声設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「PCM」または「ビットストリーム」を選ぶ

で選び
を押す

- **「ビットストリーム」**：AAC/ ドルビーデジタル /dts 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
- **「PCM」**：AAC/ ドルビーデジタル /dts に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。

デジタル音声光出力端子の信号形式を選択できます。

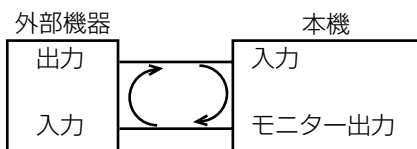
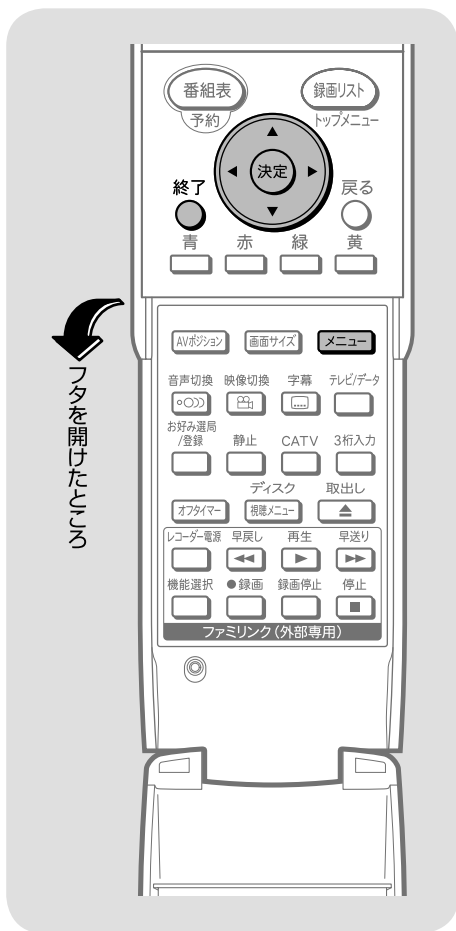
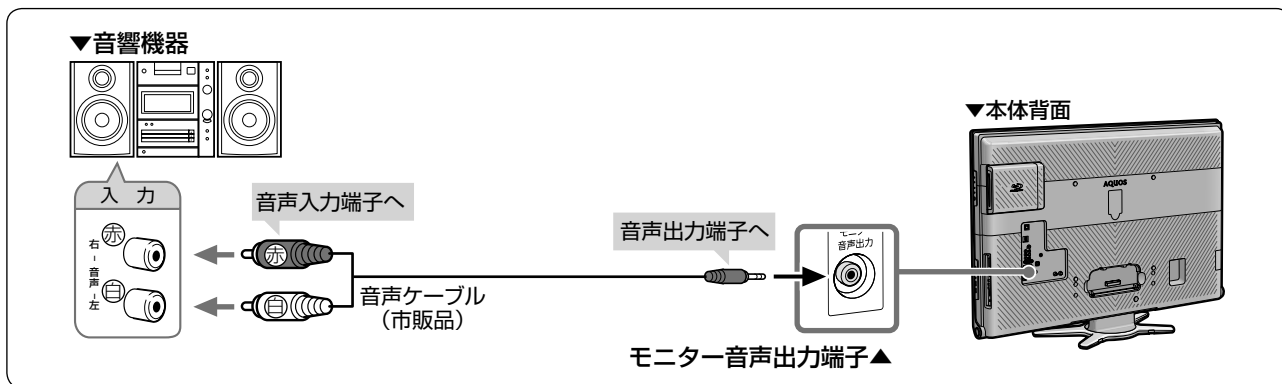
PCM
標準の設定です。
デジタル音声出力端子からは
ＰＣＭで出力されます。

ビットストリーム
デジタル音声出力端子からは
ドルビーデジタルで出力されます。
接続先の機器がドルビーデジタルに
対応している必要があります。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

アナログ音声のオーディオ機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

● 本体のモニター音声出力端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

おしらせ

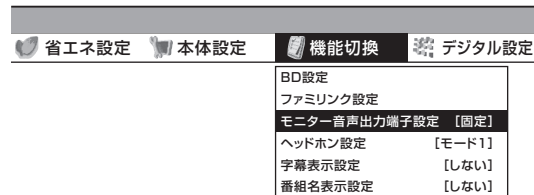
・ 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

モニター出力端子から出る音を調整する（モニター音声出力端子設定）

1 メニューを表示する

メニューを押す

2 「機能切換」－「モニター音声出力端子設定」を選ぶ

で選び 決定を押す

3 「固定」または「可変」を選ぶ

で選び 決定を押す

「固定」を選ぶと
- 本機のスピーカーからも音声が出ます。
- 出力される音量は一定です。

「可変」を選ぶと
- 本機のスピーカーからの音声が停止します。
- 出力される音量は音量ボタン（青）で調整できます。

・「外部入力の音声も出力しますか？」と表示されます。

4 「する」または「しない」を選ぶ

外部入力の音声も出力しますか？

する　しない

で選び 決定を押す

- 本機と音響機器をループ接続（左図）しないでください。ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

パソコンのモニターとして使う

パソコンと接続する

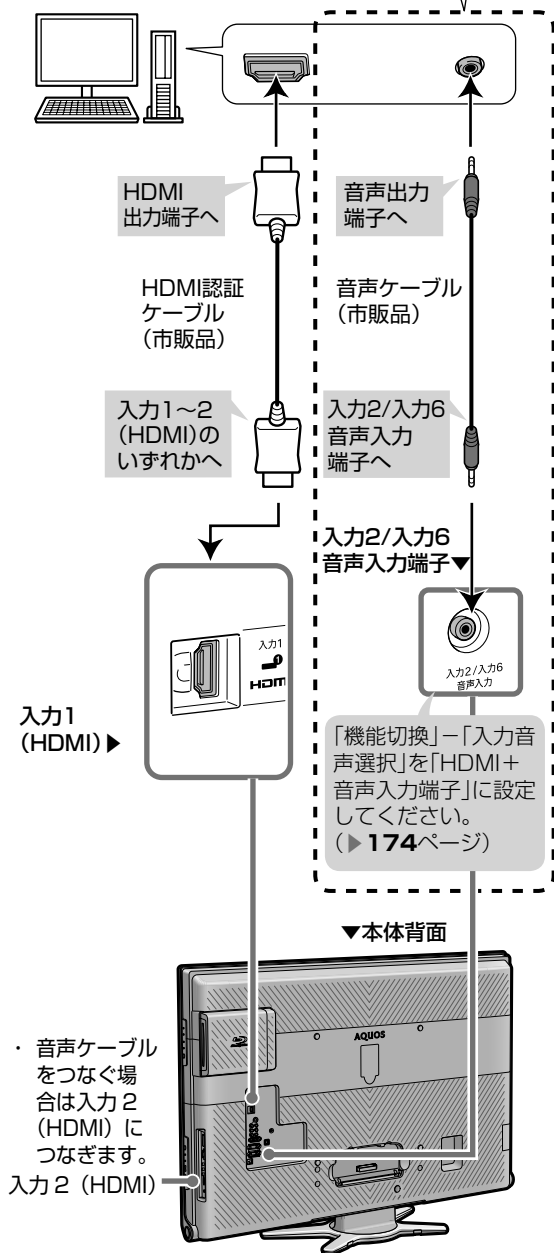
● 本機をパソコン(PC)のモニターとしても使用できます。

おしらせ

・省エネの設定をすることができます。(▶ **205** ページ)

・接続の前に、本機とパソコンの電源を切ってください。

パソコンの出力端子を確認して適合するケーブルをご用意ください。

HDMI 出力端子付きパソコンと接続する(デジタル接続)

DVI 出力端子付きパソコンと接続する(デジタル接続)

・市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

おしらせ

・本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされてないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。

DVI
出力端子へ

音声出力
端子へ

DVI/HDMI
変換ケーブル
(市販品)

音声ケーブル
(市販品)

入力2
(HDMI)へ

入力2/入力6
音声入力
端子へ

入力2/入力6
音声入力端子▼

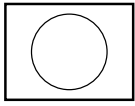
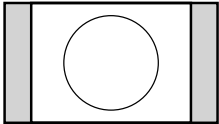
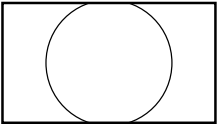
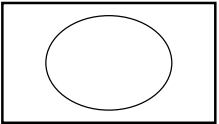
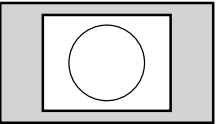
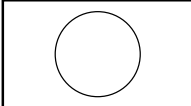
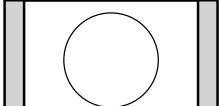
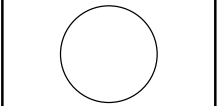
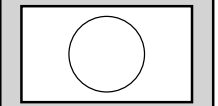
入力2/入力6
音声入力

「機能切換」－「入力音声選択」を「HDMI＋音声入力端子」に設定してください。(▶**174**ページ)

▼本体背面

AQUOS

入力２端子につなぎます。

アナログ RGB 出力端子付きパソコンと接続する（アナログ接続）

・市販のD-subケーブルと音声ケーブルが必要です。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

◀入力6（アナログRGB）・入力2/入力6音声入力端子

アナログRGB（PC入力）　入力2/入力6 音声入力

「機能切換」－「入力音声選択」を「アナログRGB＋音声入力端子」に設定してください。（▶**174**ページ）
工場出荷時は「アナログRGB＋音声入力端子」に設定されています。

▼本体背面

パソコンの解像度について

- パソコン（PC）の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。
- 次の表は、本機が対応している解像度です。

	解像度(ピクセル)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	VGA	720×400	31.5	70	
		640×480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
	SVGA	800×600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
	XGA	1024×768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
	WXGA	1360×768	47.7	60	○
	SXGA	1280×1024	64.0	60	○
※	SXGA+	1400×1050	65.3	60	○
※	480p	720×480	31.5	60	
※	1080i	1920×1080	33.8	60	
※	720p	1280×720	45.0	60	
※	1080p	1920×1080	67.5	60	

※の入力信号はデジタル接続時のみ可能です。画面サイズについては、▶ **91** ページをご覧ください。

おしらせ

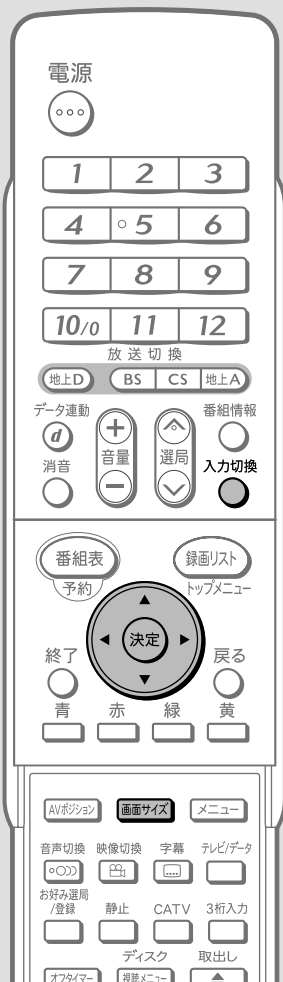
- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動で画面を調整する▶ **173** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、「パソコンの画面を表示する」（▶ **172** ページ）をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

パソコンの画面を表示する

画面サイズの選びかた

● 以下の画面サイズを選べます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768、 1920×1080など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。		画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

・1080p の信号を入力している場合で、AV ポジションを「PC」にしているときは、Dot by Dot のみになります。

1 PC（パソコン）の電源を入れる

2 繰り返し押し、パソコンを接続した入力を選ぶ

入力切換を押す

・PC（パソコン）の画面が表示されます。

3 画面サイズ切換メニューを表示する

画面サイズを押す

・表示中に次の操作を行います。

4 お好みの画面サイズを選ぶ

画面サイズを押す

・上下カーソルボタンでも選べます。

5 画面サイズ切換メニューを消す

決定を押す

・画面の調整が必要なときは次のページをご覧ください。
・画面が正しく映らないときは、▶ **174** ページをご覧ください。
・パソコンの画面解像度を「1024 × 768」または、「1360 × 768」でお使いになるときは、入力解像度の設定（▶ **174** ページ）が必要です。

入力６に接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

● 画面の調整が必要なときは、まず、自動同期調整を行ってください。クロック周波数、クロック位相などが調整され、最良に近い画面になります。

- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整だけでは、最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（▶**右記**）

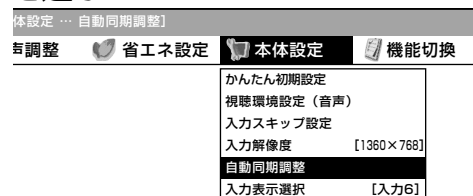
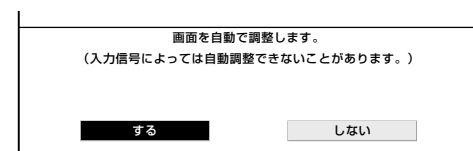
1 メニューを表示する

を押す

2 「本体設定」－「自動同期調整」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 画面が正しく映らないときは、▶ **174** ページをご覧ください。
- お使いのパソコンによっては、外部出力ボードを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力ボードが有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手動で画面を調整する

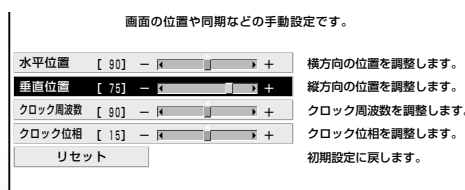
● 以下の項目が調整できます。

項目	内容
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。0 ～ 180 の範囲で調整できます。
クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。0 ～ 30 の範囲で調整できます。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

（例） 画面の垂直位置を調整する

1 メニューを表示する

メニュー
を押す

2 「本体設定」－「画面調整」を選ぶ

で選び
を押す

3 「垂直位置」を選ぶ

で選び

4 適切な位置に調整する

で選び

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

画面が正しく映らないときは

入力解像度の設定

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768ライン）が自動判別できないため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコンの解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。

1 メニューを表示する

を押す

2 「本体設定」－「入力解像度」を選ぶ

で選び
を押す

3 入力解像度を選ぶ

で選び
を押す

入力映像信号の解像度の手動設定です。
1024×768
1360×768

- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- この場合は、一度他の設定を選んだ後、再度正しい設定を選んでみてください。
- 映像を表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像を表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

入力 1 または入力 2 に接続したパソコンの画面を調整する

- メニューの「本体設定」－「位置調整」で設定します。
  詳しくは、「画面の位置がずれているときは」（▶ **90** ページ）をご覧ください。

- 画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」（▶ **94 ～ 95** ページ）をご覧ください。

パソコンの音声入力端子を設定する（入力音声選択）

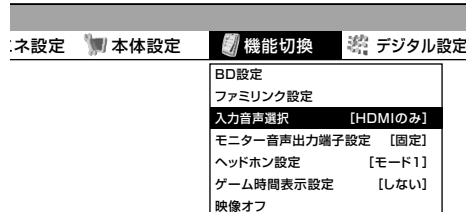
- 入力２／入力６音声入力端子（アナログ音声用ミニプラグ）を入力６（PC）の音声入力端子として使うか入力２（HDMI）の音声入力端子として使うかを設定します。

1 メニューを表示する

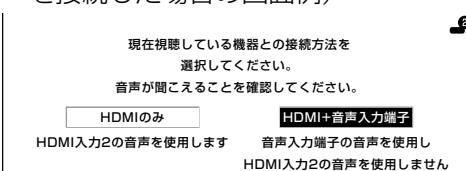
メニュー
を押す

2 「機能切換」－「入力音声選択」を選ぶ

で選び
決定
を押す

ネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定
BD設定
ファミリンク設定
入力音声選択　［HDMIのみ］
モニター音声出力端子設定　［固定］
ヘッドホン設定　［モード1］
ゲーム時間表示設定　［しない］
映像オフ

3 以下の設定項目を選ぶ
（入力２（HDMI）にパソコン（PC）を接続した場合の画面例）

で選び
決定
を押す

現在視聴している機器との接続方法を選択してください。
音声が聞こえることを確認してください。
HDMIのみ　HDMI入力2の音声を使用します
HDMI+音声入力端子　音声入力端子の音声を使用し HDMI入力2の音声を使用しません

- パソコン（PC）を接続した端子により、選べる項目が異なります。

項目	内容
HDMI のみ	HDMI ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、HDMI から音声が入力される場合
HDMI ＋ 音声入力端子	HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合
アナログ RGB のみ	アナログRGBケーブルを使って入力６（PC）に接続し、音声を使用しない場合
アナログ RGB ＋ 音声入力端子	アナログ RGB ケーブルを使って入力６（PC）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 「入力音声選択」で「HDMI ＋音声入力端子」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルのみで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
  通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「入力音声選択」を「HDMI のみ」に戻してください。

本機の機能を活かした使いかた

視聴できる番組や操作を制限するには

暗証番号を設定し、視聴を制限する

● 視聴する人の年齢制限など、各種の制限を設定できます。

暗証番号設定

● 年齢制限などを設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 4 桁の暗証番号を入力する

1 〜 10/0 で入力

- 「0」を入力したい場合は 10/0 を押します。
- 暗証番号は必ずメモしてください。

5 確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

1 〜 10/0 で入力

- 間違った番号を入力した場合は、手順 4 からやり直してください。

6 「確認」で決定する

 を押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2008 年 10 月現在）

暗証番号を変更するときは

① メニューから「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定をするには、前のページの暗証番号設定が必要です。

1 メニューを表示する

を押す

2 「デジタル設定」－「視聴年齢制限設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 暗証番号を入力する

1 ～ 10/0 で入力

4 年齢の入力欄を選ぶ

- 制限しない場合は「無制限」を選びます。

で選ぶ

5 制限する年齢の上限を入力する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

1 ～ 10/0 で入力し

を押す

リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

チャイルドロックの設定項目

項目	内容
しない	リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	本体ボタンでの操作ができない状態にします。（本体の電源スイッチはロックされません。）

1 メニューを表示する

を押す

2 「機能切換」－「チャイルドロック」を選ぶ

で選び

を押す

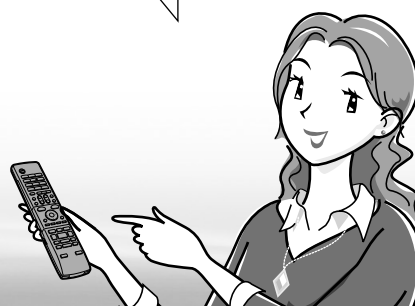
3 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

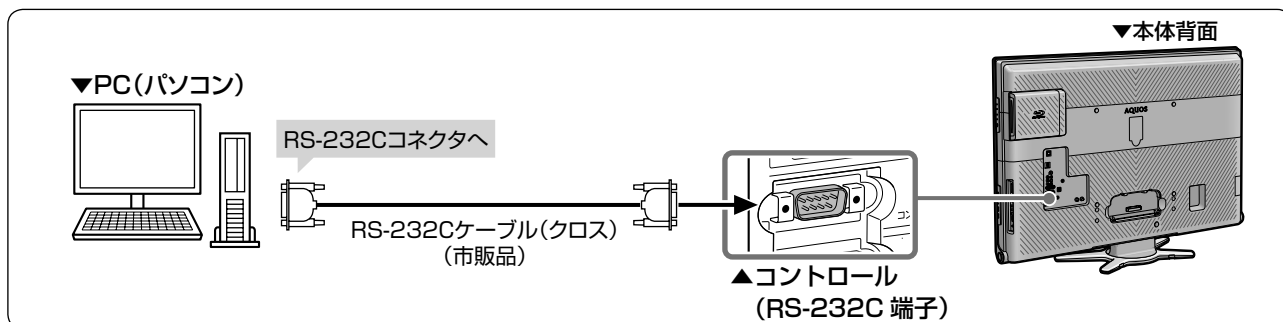
おしらせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体右側面のボタン（▶ **21** ページ）で上記の操作をし、ロックを解除してください。

お子様などが誤って操作しても変わらないようにできます。

パソコンで本機を操作するには

パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。

接続のしかた

● ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。

● パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。

● 本機の仕様は、右のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

● パソコンからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。

● 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値（OK）を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド（パソコンから本機へ）

レスポンス（本機からパソコンへ）

・正常時

O	K	⏎

リターンコード（0DH）

・異常発生時（通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき）

E	R	R	⏎

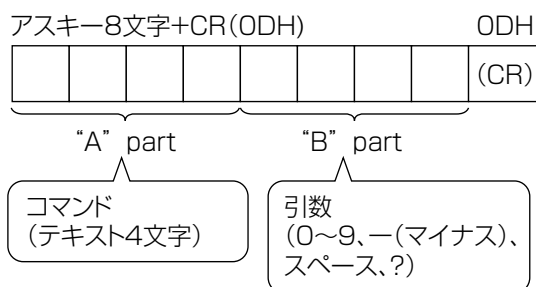
リターンコード（0DH）

戻り値について

・ コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

・ コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

コマンドと引数について

・ "B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず４文字にしてください。）設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

・ 次ページのコマンド一覧で引数が「－」になっているものは、「0」〜「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を書いてもかまいません。

・ いくつかのコマンドは、引数に「？」を与えることにより、現在の設定値を返します。

引数の例

?	スペース	スペース	スペース
?	?	?	?

RS-232C コマンド一覧

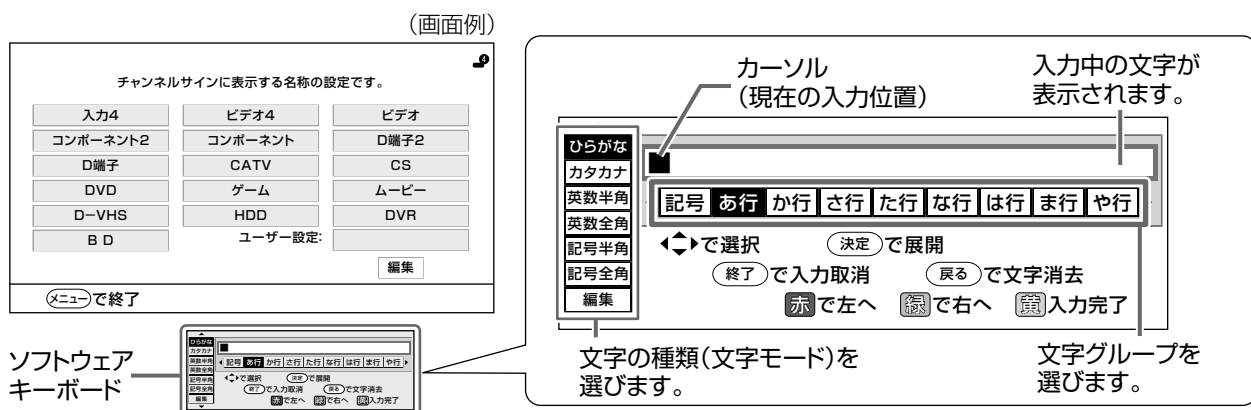
●下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

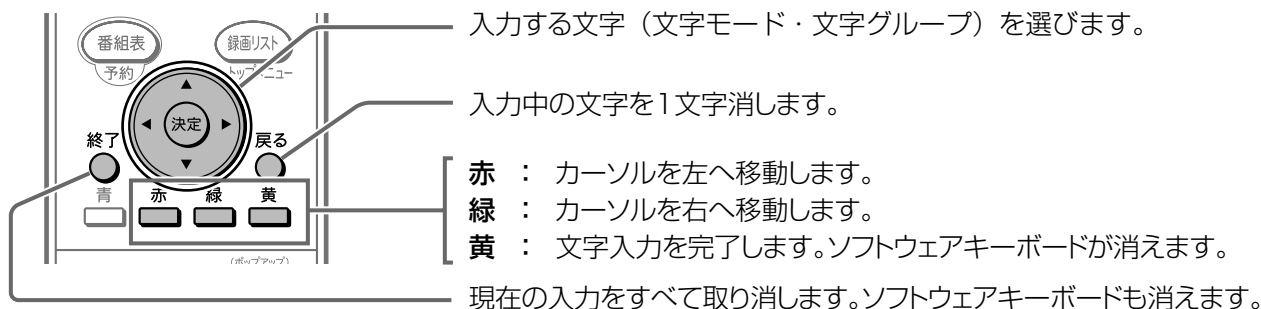
機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	–	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	–		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～6	IAVD	1～6	（入力端子番号）	入力1～入力6に入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	–	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CSデジタル3桁入力	CCSD	0～999	CSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力3 入力4 入力5	INP3 INP4 INP5	0	自動	入力切換含む。入力3～5で有効
			1	D端子	入力3～4のみ有効
			3	S端子	入力5のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力3～5のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
			10	映画（リビング）	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	※	移動値	
	垂直位置	VPOS	※	移動値	
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV1080i、1080p／PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

• “B”part欄の「－」は、「0」～「9」、「－」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

文字を入力するには（ソフトウェアキーボード）

- 入力表示の編集や LAN 設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。
- ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと、表示されます。

（画面例）

文字の入力に使うリモコンのボタン

入力する文字（文字モード・文字グループ）を選びます。

入力中の文字を1文字消します。

赤　：　カーソルを左へ移動します。
緑　：　カーソルを右へ移動します。
黄　：　文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。

現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

入力できる文字の一覧

文字モード	入力できる文字
ひらがな	（下表）

記号	ー、。・「」ー（全角ハイフン）		
あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ		
か行	かきくけこ ゛	さ行	さしすせそ ゛
た行	たちつてとっ ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ ゛゜	ま行	まみむめも
や行	やゆよゃゅょ	ら行	らりるれろ
わ行	わをんゎ		
空白	（全角スペース）		

文字モード	入力できる文字
カタカナ	ひらがなと同じ文字をカタカナで入力できます。
英数半角	（下表）

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
ABC	a b c A B C	DEF	d e f D E F
GHI	g h i G H I	JKL	j k l J K L
MNO	m n o M N O	PQRS	p q r s P Q R S
TUV	t u v T U V	WXYZ	w x y z W X Y Z
空白	（半角スペース）		

文字モード	入力できる文字
英数全角	「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。
記号半角	（下表）

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>; _ − ¥</td><td>; _ − ¥</td></tr>
<tr><td>$ % ! ?</td><td>$ % ! ?</td><td>& # + *</td><td>& # + *</td></tr>
<tr><td>= / | ~</td><td>= / | ~</td><td>” ’ ^ `</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>( ) < ></td><td>( ) < ></td><td>[ ] { }</td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>空白</td><td colspan="3">（半角スペース）</td></tr>
</table>

文字モード	入力できる文字
記号全角	「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。
編集	入力取消　左へ　右へ　入力完了 文字消去 カラーボタンや戻るボタンなどを押したときと同じ働きをします。

文字を入力する

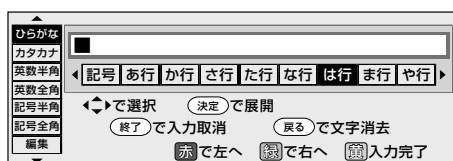
● ここでは、例として入力表示選択の画面で文字入力する手順を説明します。

1 「入力表示選択」で「編集」を選ぶ（▶ 155 ページ）

で選び
を押す

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 文字モードと文字グループを選ぶ

で選び
で選び
を押す

3 入力する文字を選ぶ

で選び
を押す

・キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

・続けて手順 2 ～ 3 を行い、文字を入力します。

4 文字入力を完了する

黄
を押す

・黄ボタンを押すと入力中の文字が、入力欄に入力され、ソフトウェアキーボードが消えます。
これで文字の入力は完了です。

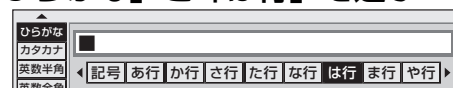
おしらせ

・入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

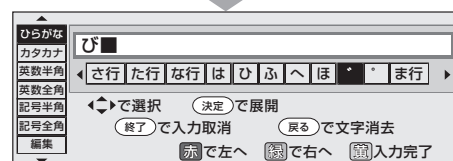
［例］「ぴ」を入力する

1 「ひらがな」と「は行」を選ぶ

で選び
で選び
を押す

2 「ひ」を選ぶ

で選び
を押す

3 「゛」を選ぶ

で選び
を押す

・「゜」を選ぶと、「ぴ」になります。

スペースを入力するとき

文字グループから「空白」を選ぶ

で選び
を押す

・文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

電話回線の接続と設定

● 双方向通信をお楽しみになるには、電話回線が必要です。

電話回線の接続と設定のながれ

おしらせ

・ 一部の双方向番組は LAN 接続でも利用できます。この場合、ブロードバンド環境が必要です。

電話回線の接続（▶下記～184ページ）

↓

電話回線の設定（▶184ページ）

※ブロードバンドルーターに接続したときは、LAN 設定（▶187 ページ）も必要です。

電話会社の設定（▶185ページ）

↓

システム動作テスト（▶186ページ）

↓

双方向サービスの利用の制限（▶186ページ）

↓

完了

電話回線の接続

電話回線の状態を確認する

● 右の図で電話回線の状態を確認した後、接続してください。

● 詳細は NTT へお問い合わせください。

あなたがお使いの電話回線は通常の電話回線? ISDN回線（デジタル回線）?

通常の電話回線 / ISDN回線

あなたのお住まいは一戸建て? 集合住宅?

集合住宅 / 一戸建て

ターミナルアダプターを使っていますか?

はい / いいえ

NTTに基本料金･通話料金を払っていますか?

払っている / 払っていない

通常、外線をかけるとき、どのボタンを押しますか?

押さない(NTT回線) / 0～9以外 / 0～9

電話回線の設定（▶184ページ）を行ってください

お持ちの電話機は2台以上ありますか?

2台以上 / 1台

コードレスホンですか?

いいえ / はい

電話機間で内線通話が可能ですか?

はい / いいえ

電話機の本体、ターミナルボックス、またはドアホンアダプターは壁に埋め込まれていますか?

いいえ / はい

モジュラーコンセントですか?

いいえ / はい

3ピン差し込みコンセントですか?

はい / いいえ

① ② ③※ ④ ⑤※ ⑥ ⑦

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 市販の電話線とモジュラー分配器で接続可能です。（▶183 ページ）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）でご相談ください。

電話回線に接続する

・本機と電話機の電源を切り、下図の❶～❺の順番で取りはずしと接続を行います。

・電話線のプラグやモジュラー分配器は奥までしっかり差し込んでください。

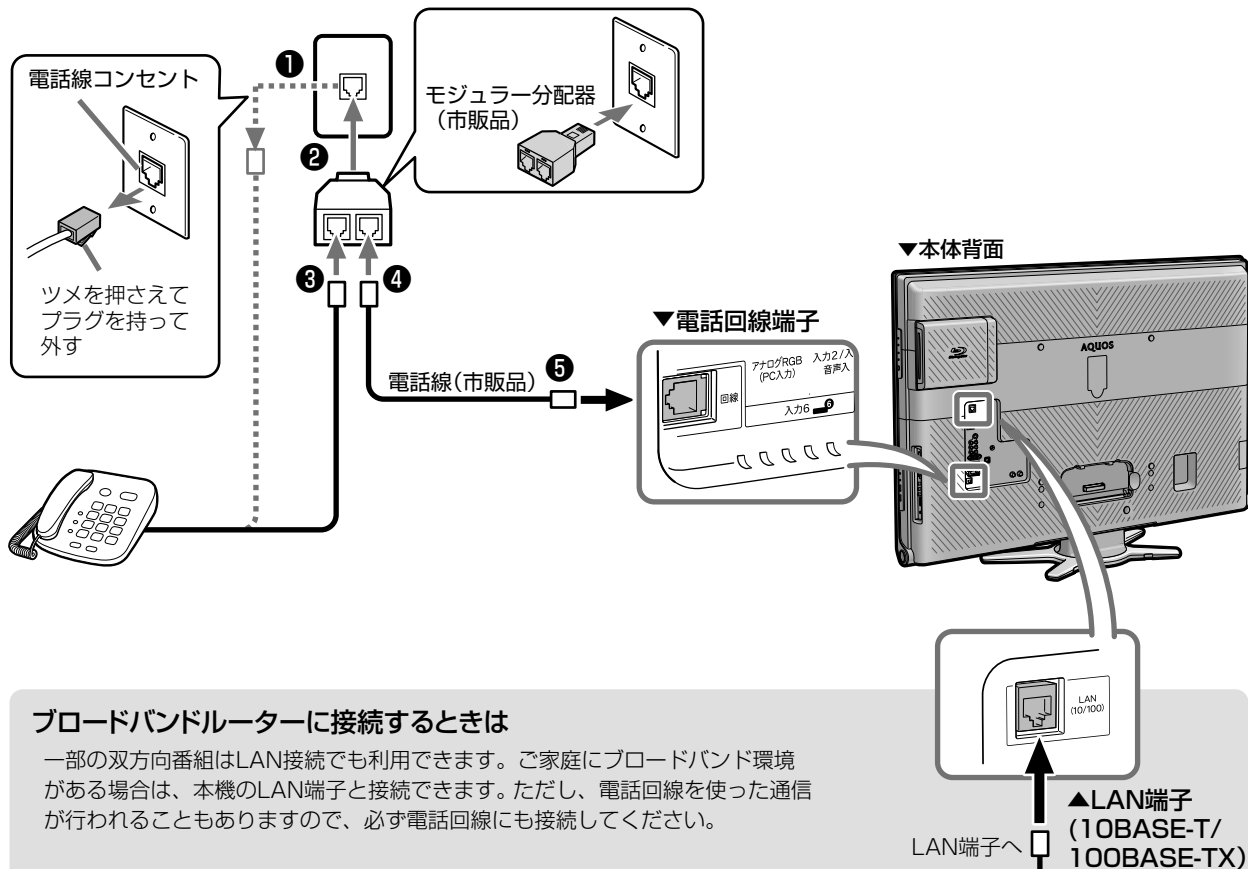
電話線コンセント

ツメを押さえてプラグを持って外す

モジュラー分配器（市販品）

▼本体背面

▼電話回線端子

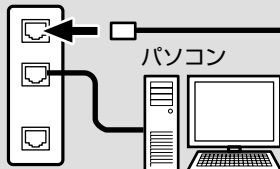
電話線（市販品）❺

ブロードバンドルーターに接続するときは

一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。ご家庭にブロードバンド環境がある場合は、本機のLAN端子と接続できます。ただし、電話回線を使った通信が行われることもありますので、必ず電話回線にも接続してください。

▲LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）

LAN端子へ

ブロードバンドルーター

パソコン

LANケーブル（市販品）
10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
また、LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルがあり、接続する機器の種類によって、使用するものが異なります。
購入する前にブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

ADSL回線をお使いの場合は: 上記の「電話回線に接続する」の❷でモジュラー分配器(市販品)をスプリッターに接続してください。

・電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）
・本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やFAXが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

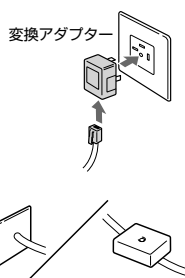
次のページに続く

次の電話回線では注意が必要です。

光回線や ADSL を使用する、インターネットを介した IP 電話などの電話回線の場合

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- 3ピンプラグの場合は、市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
- 直結配線方式の場合は、簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）の場合

- そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
  詳細は電話設置会社にご相談ください。

キャッチホンの場合

- 通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

FAX を使っている場合

- FAX の「電話機へ」と書かれたモジュラージャック端子に接続している電話機の電話線をはずし、代わりにモジュラー分配器を差し込み、分配器の一方に電話機の電話線を、もう一方に市販の電話線を接続してください。分配器で FAX と本機に分配すると、FAX が誤動作する場合があります。

本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

- 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

直接デジタル回線に接続することはできません。

- 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認の上、ご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

電話回線の設定

● 接続した電話回線の設定をします。

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最長7分程度かかる場合があります。
- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。

1 メニューを表示する

を押す

2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 ①「電話回線設定－自動」を選ぶ
②「テスト実行」で決定する

で選び
を押す

電話回線設定－自動
電話回線設定－手動
電話会社設定

お使いの電話回線を確認します。
電話回線の接続を確認して
テスト実行をしてください。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。

◆外線発信番号の設定

4 「なし」または「あり」を選ぶ

で選び
を押す

- 外線交換機を使用しない場合は、「なし」を選びます。（通常はこちらを選びます。）
- 電話交換機などをご使用の場合は、「あり」を選びます。数字ボタン（チャンネルボタン）（ 1 ～ 10/0 ）で、外線発信番号（0 ～ 9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

4 つづき

電話回線設定－自動
電話回線設定－手動
電話会社設定

お使いの電話回線を設定してください。
[外線発信番号]
なし
あり … 0

5 決定 を押す

「テスト実行」で決定する

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 自動で電話回線の設定ができない場合は、以降の手順を行います。

◆手動による電話回線設定

6

で選び

を押す

「電話回線設定－手動」を選ぶ

7

を押す

「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定する

LAN設定
電話回線設定－自動
電話回線設定－手動
電話会社設定

お使いの電話回線を設定してください。
[現在の設定]
電話回線種別 : 20pps
外線発信番号 : なし
ダイヤルトーン検出 : する
次へ

8

で選び

を押す

① 電話回線種別を選ぶ

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT 営業窓口にお問い合わせください。

② 外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

③ ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選ぶ

- NTT 回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電話会社の設定
（通常は設定する必要はありません。）

- 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

発信者番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

① メニューボタンを押し、メニューを表示する
② カーソルボタンで「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「電話会社設定」を選ぶ
④ 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定ボタンを押す

⑤ 上下カーソルボタンで「設定しない」「186」（電話番号を通知する）「184」（電話番号を通知しない）のいずれかを選ぶ

事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

⑥ カーソルボタンで利用している電話会社の事業者番号を選ぶ

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

⑦ 左右カーソルボタンで「する」（マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信する）または「しない」（マイラインプラスを解除しないで発信する）を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

システム動作テスト

● 本機は、電話回線の接続やB-CASカードの挿入が正しく行われているかなどをテストできます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「デジタル設定」－「システム動作テスト」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「テスト実行」で決定する

を押す

バージョン番号 ： 00000000 0000000
00000000
システム状態 ：
B-CASカード ：
電話線接続 ：
テスト実行

・表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

4 結果を確認し、「テスト終了」で決定する

を押す

バージョン番号 ： 00000000 0000000
00000000
システム状態 ： 0000－0000－0000－0000－0000
B－CASカード ： 0000－0000－0000－0000
電話線接続 ： 接続無し
テスト終了

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

システム動作テストに失敗したときは

・電話回線の接続と設定を確認してください。
（▶ **183**～**185** ページ）

・B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
（▶ **32**ページ）

双方向サービスの利用を制限する

● 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、電話回線やLANでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

おしらせ

・この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ **176** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 暗証番号を入力する

1 ～ 10/0 で入力

4 以下の設定項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

項目
電話回線を禁止する
電話回線とLAN接続を禁止する
禁止しない

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・「禁止しない」に設定した場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示します。

灰色のときは**回線コール中**　**青色**のときは**回線使用中**

LAN 設定

● LAN 接続（▶**183** ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダが指定した LAN の設定が必要となります。

おしらせ

・ LAN 設定は専門知識が必要ですので、お買いあげの販売店や ADSL 事業者などにご相談ください。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

本体設定	機能切換	デジタル設定	お知らせ

デジタル音声設定	[PCM]
ダウンロード設定	[する]
番組表設定	
通信設定	
暗証番号設定	
視聴年齢制限設定	
双方向サービス設定	
システム動作テスト	

3 「LAN 設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 「変更する」を選ぶ

で選び

を押す

5 IP アドレスを設定する

・IP アドレスの自動取得設定
ブロードバンドルーターやルーター機能付き ADSL モデムをお使いの場合は、通常 DHCP での IP 自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

「する」……IPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IP アドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

6 DNS の IP アドレスを設定する

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの IP アドレス（ブロードバンドルーターが DNS の機能を持つ場合）またはプロバイダから指示された DNS の IP アドレスを入力してください。

7 プロキシサーバーの設定

・プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

「する」……「する」を選んだときは、プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力してください。

「しない」…プロキシサーバーを利用しません。

8 より詳細な設定

・LAN 接続スピードの設定を行います。通常は「しない」を選びます。

LAN 接続スピードを設定する

・通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

次のページに続く

LANに接続するためのテストを実行する

・テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

設定項目について

項目	内容
DHCP	IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。
IPアドレス	TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。
ネットマスク	TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。
ゲートウェイ	ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

LAN設定の内容を変更・消去する

● LAN設定を行ったあとで、メニューから「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN設定」を選び、設定の内容を変更・消去できます。

変更するとき

「変更する」を選んだあと設定をやり直します。

• この画面に表示されている数値は一例です。お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

消去するとき

「初期化する」－「する」を選びます。

故障かな？と思ったら／こんなときは

故障かな？と思ったら

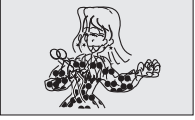
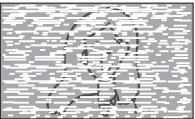
こんなときは

・ 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（▶ **211** ページ）をご覧ください。

全般について

の故障かな？と思ったら

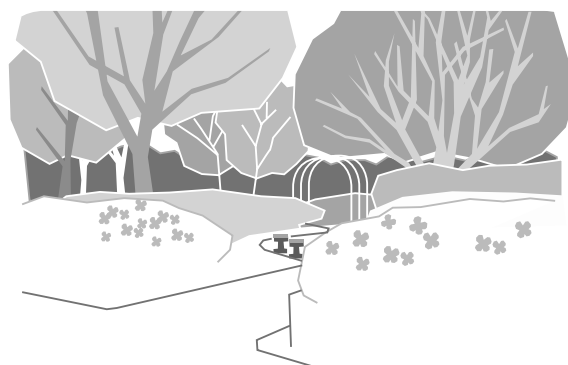
こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	•電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 •電源が「切」の状態になっていませんか。 •テレビ（地上アナログ放送やデジタル放送）を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 •外部機器の映像が出ないときは、正しく入力切換ができているか確認してください。 •接続ケーブルが抜けていないか確認してください。	41 45 153 153 –
リモコンが動作しない	•乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 •リモコンの乾電池が消耗していませんか。 •リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 •リモコン番号が本体と一致しているか確認してください。画面左下に「リモコン番号が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 •リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。 •乾電池が消耗すると、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。 •リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 •蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。 •受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） •電池の端子が酸化（薄黒く）、消耗、室温低下で不活発になり、動作しにくいことがあります。	44 44 44 100 –
映像は出るが音声が出ない	•音量調整が最小になっていませんか。 •「消音」状態になっていませんか。 •ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 •D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	73 73 22～23 150～151
音声は出るが映像が出ない	•映像オフが「する」になっていませんか。 •映像ケーブルが抜けていませんか。	99 150～151

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
色が薄い 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	94
画面が暗い 黒色が潰れる	・「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	93
特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がずれていませんか。	66
画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	92
テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。	– – –
リモコンや本体のボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。 ・画面左下に「リモコン番号が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	– 100
ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	・本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 ・デジタル放送の予約録画を実行している場合 ・ダウンロードをしている場合 ・有料放送の契約情報を取得している場合 ・地上デジタル放送の電子番組表の情報を取得している場合	119 207 – 82

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／予約録画）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。デジタル放送が受信できないなど、時刻の自動設定がされないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時刻が合っていないときは（時刻設定）▶ **89** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・映像オフ

次のページに続く

アンテナについて
の故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像が出ず雑音のみ出る	•アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 •アンテナ線は正しく接続されていますか。	36~39
画像にはん点が出る	•自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	15
映像が二重になる（ゴースト）	•近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
色じま模様が出る	•近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 •付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	– 8•36~39
雪が降っているような画面になる	•アンテナ線は正しく接続されていますか。 •屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 •アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。 •平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	36~39 – – 36

デジタル放送の受信について
の故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	•個人でBS·110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 •個人でBS·110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 •その局が放送していない時間帯ではありませんか。 •ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 •B-CASカードは正しく挿入されていますか。	52 52 – 153 32

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面に四角のノイズ(モザイク)が出る	・アンテナの向きがずれていませんか。 ・受信強度を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 52•53 – 36~39
WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。	32 33
110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器などをご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。	37~39 37•39
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	・強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 ・春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	– 26 36~39 54 56~58
画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	–
特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・受信強度を確認してください。	33 52•53
電子番組表が表示されない 電子番組表に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」(待機状態)にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 ・スキップを「する」に設定していませんか。	82 – 57・58
番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
デジタル放送が受信できない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。 ・BSデジタル放送および110度CSデジタル放送の視聴には、BS・110度CS共用アンテナ(市販品)およびBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)が必要です。	–

次のページに続く

録画や再生について

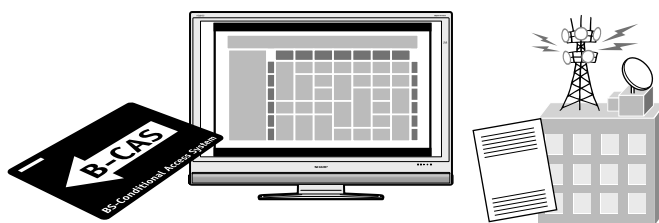
の故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BDやDVDディスクの画面が映らない	・BDやDVDディスクをクリーニングしてください。	19
映像が停止する	・本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。	–
スピーカーから音が出ない、音が歪む	・一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。 ・BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。 ・BDまたはDVDディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。 ・デジタル音声ケーブルを使ってオーディオ機器と接続したとき、デジタル音声設定を「ビットストリーム」に設定しているときは、「DTS－HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」など7.1ch音声は出力されません。「コアストリーム(5.1ch)」音声のみ出力されます。 ・市販のBDビデオの「ドルビーデジタルEX6.1ch」音声や「DTS·ES6.1ch」音声など6.1以上の音声は出力されません。5.1ch音声となります。	19 168 –
録画が中断されている	・録画中に停電などがありませんでしたか。	–
録画ができない、録画が途中で止まる	・本機で録画できる放送は、本機のチューナーで受信したデジタル放送のみです。 ・録画ができるディスクは、BD-RE Ver.2.1ディスク、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3ディスク(Ver.1.3はLTHを除く)のみです。DVDディスクには録画ができません。 ・ディスク保護が設定されているBD-RE Ver.2.1、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3ディスク(Ver.1.3はLTHを除く)を使用したときは録画可能ディスクでも再生専用ディスクとなります。(録画や初期化は行えません。) ・電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 ・BDの空き時間は足りていますか。BD-REの場合はBDに録画された不要なタイトルを消去して、録画に必要な空き容量を確保してください。BD-Rの場合は新しいディスクをご用意ください。 ・ディスク再生中は録画ができません。 ・録画が禁止された映像は録画できません。 ・BDをクリーニングしてください。 ・傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。 ・停電などがありませんでしたか。 ・本体の電源スイッチで電源を切っていませんでしたか。	– – 145 – 124•146 – 106 19 – – –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
予約したのに録画されていない、途中で切れている	・予約待機中/録画中に停電がありませんでしたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。 ・停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。 ・BDの録画可能時間は充分でしたか。録画可能時間が少ない場合、不要なタイトル(番組)を消去してください。 ・放送時間が変更されていませんか。 ・番組が延長されていませんでしたか。 ・電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 ・電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。 ・「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。 ・途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 ・BDをクリーニングしてください。 ・予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。 ・「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。 ・レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。 ・レポートに「予約の開始時間に電源が切れていた。」と書かれている場合は、本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。予約録画した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。	– – 124・146 – – 41 208 106 19 208
電子番組表から予約したのに、途中で番組が終わっている	・デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。	
BSデジタル放送のラジオ放送、データ放送が記録されていない	・ラジオ放送、データ放送は記録できません。	
BDやDVDディスクが再生できない	・BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない(リージョンコードが設定されていない)BDビデオが再生できます。 ・BD-RE Ver.1.0は再生できません。 ・DVDディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。 ・ディスクをクリーニングしてください。 ・ディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 ・本機内部の結露(つゆつき)を除去してください。 ・ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。 ・他のBDレコーダーでH.264長時間録画されたBDディスクは再生できない場合があります。	212 19 110 17・19

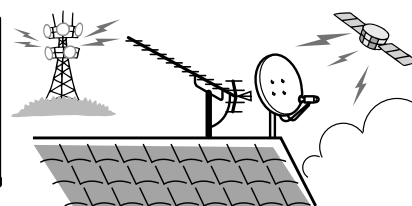
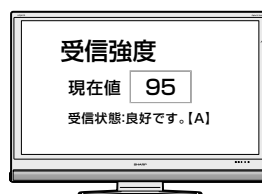
こんなときに	ここをお確かめください	ページ
市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	• 市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	
市販のBDビデオやDVDビデオが再生できない	• 視聴制限が設定されていると、BDビデオやDVDビデオを再生できないことがあります。 BDビデオの場合は、再生を停止し、視聴制限年齢を解除してください。 DVDビデオの場合は、暗証番号を入力し、メニューで視聴制限レベルを設定し直してください。 • ディスクのパッケージをご覧になり、リージョンコードをお確かめください。BDビデオやDVDビデオには、国によって再生を制限するためのリージョンコードが設定されています。日本で再生できるのは次のとおりです。 **BDビデオ** → リージョンコード「A」またはリージョンコードの記載がないディスク **DVDビデオ** → リージョンコード「ALL」または「2」 • PAL、SECAM方式のBDビデオは再生できません。	**142** **212** –
他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる	• 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。 • DVD-R DL(2層)ディスクは再生できない場合があります。	– –
つづき再生が働かない	• ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。 • その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。	– –
二ヶ国語の音声が切り換えられない	• オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。 アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。	–
再生リストや録画リスト(録画番組一覧)が表示されない	• 一度ディスクを取り出し、再度挿入してみてください。 • 一度本体の電源ボタンで電源を切り、再度電源を入れてみてください。	**110~111** **45**
再生リストや録画リストのタイトル名に「＊」が表示される	• 他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊‥‥」と表示されます。	–
録画した最後の数秒間が再生されない	• 再生した番組の終了位置は、他機で録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。 • 連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	– –
一時停止／コマ送り再生がうまくいかない	• DVD-RW/-Rディスク(VRフォーマット)以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。 • 市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。 • BDビデオの場合、コマ戻し再生はできません。	– – –
早送り／早戻し(サーチ)がうまくいかない	• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 • タイトルをまたぐサーチはできません。(音楽用CDは除く) BD・DVDディスクの場合は、再生状態になります。	– –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
スロー再生がうまくいかない	• タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。 • タイトルをまたぐスロー再生はできません。 • BDビデオの場合、逆スロー再生はできません。	– – –
他機で録画したDVDディスクが本機で再生できない	• 録画した機器でファイナライズをしていないDVDディスクは本機で再生できないことがあります。録画に使用した機器で、ファイナライズを行ってください。 • デジタルハイビジョンカメラで録画したディスクなど、本機で対応していないフォーマットで録画したディスクは再生できません。 • パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。	– – –
再生できない/再生が中断される	• デジタル放送をBDに録画しているときは、再生はできません。 • 再生中に選局操作をしたときは、再生が停止します。 • 予約録画開始時刻になると、再生が停止し、録画が始まります。	– – –
再生できないタイトルがある	• 正常に録画されなかった映像は再生できません。 • 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	– –
データ放送が再生できない	• 連動データ放送は、録画画質「5倍」の場合は録画できません。	–
写真データ(JPEG)の再生ができない	• 本機では写真データ(JPEG)の再生はできません。	–
ディスクを挿入しても出てきてしまう	• 市販のBDビデオやDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 • 再生できるディスクかどうか、確認してください。 • BDまたはDVDディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 • BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。 • 録画されていないDVD-RAMを挿入していませんか。 ディスク挿入時、表裏を間違えていないか確認してください。	212 212 110 19
ディスクが出ない	• 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。電源ランプが点灯してから、本体のディスク取出しボタンまたはリモコンの取出しボタンを押してください。 • 録画リスト·再生リストを表示させているときはディスクが取り出せません。録画リスト·再生リストを消してから取り出してください。 • 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。	210 129 211
ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする	• ディスクを読み込むための音で故障ではありません。	–
メニューを押してもメニューが表示されない	• メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。	–
MDレコーダーとデジタル接続をしてCDからMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない	• CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。 • 視聴メニューでトラックの指定を行った場合などは、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。	133 133

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	＊＊＊＊	• B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入しなおしてください。	32
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	32•33
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	＊＊＊＊	• 本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	32
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	−
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	31
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	−
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	36〜39 49•52 −
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	• 番組表などで放送時間を確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	− −
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	• 番組表などでチャンネルを確かめてください。	−
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	• 電源を入れ直してください。 • BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	37〜39• 52•53
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	• 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	−
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−

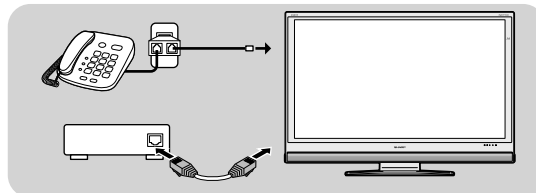
画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・電話回線の接続を確認の上、電源を切ってからB-CASカードを一度抜き、挿入し直してください。 ・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	32・183
データの通信に失敗しました。	E301	・電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	183～185
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

アンテナ受信強度

に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	・受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	53
アンテナ信号が強すぎます。【C】	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が不足しています。【C】	・ブースターの調整や挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が良くありません。【D】	・アンテナ線を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	36～39
受信できません。【E】	・アンテナが正しく設置されているか確認してください。 ・アンテナ線を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。	36～39

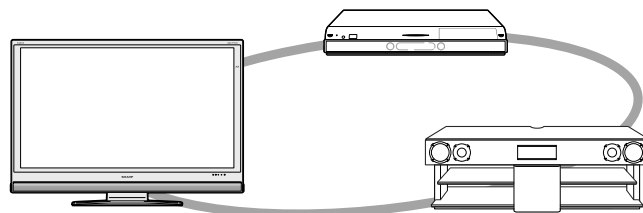
はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

次のページに続く

双方向通信

に関するエラーメッセージ

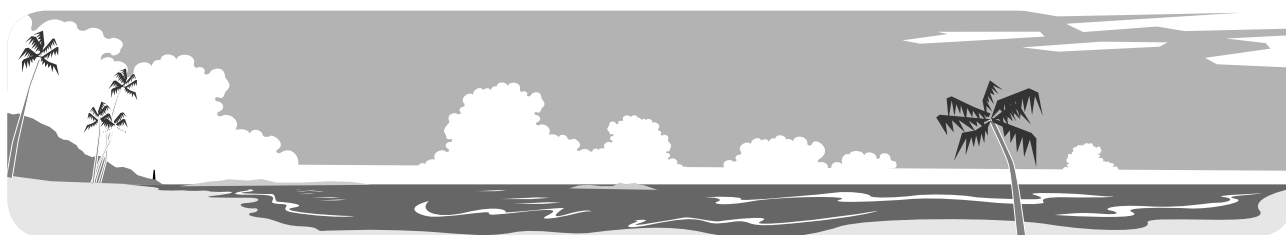
画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	• 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**182〜185**
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	• 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**182〜185**
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	• 電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**182〜185**
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**－**
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	＊＊＊＊	• 双方向サービス設定で「禁止しない」を選択してください。	**186**
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	＊＊＊＊	• 電話回線設定を確認してください。	**184**

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客様からのデータを受け取るセンター。

ファミリンク録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	・録画ができないコンテンツ(放送や番組)、または録画ができない記録メディア(HDD・DVDなどの録画媒体)です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	・このネットワークは録画することができません。 ・ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	・ファミリンク録画機能を使用せず、本機のBDレコーダー機能または録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	・このコンテンツ(放送や番組)は録画することができません。 ・コンテンツを確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	・録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	・再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	・現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	・録画メディアが書き込み禁止です。 ・録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	・放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	・録画メディアに録画できません。 ・録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	・録画メディアの容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	・視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	・録画機器を確認してください。

次のページに続く

BD レコーダー機能利用時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このディスクは再生できません。	・ディスクを確かめて入れ直してください。 ・録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。
ディスクが読み込めませんでした。	
ディスクが挿入されていません。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
録画できるディスクが入っていません。予約の開始ができませんでした。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
この操作はできません。	――
ディスクに保護がかかっています。ディスクの保護を外すか、録画可能なディスクを挿入してください。	・ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	――
ディスクを確認しています。完了まで10 分以上かかる場合があります。	・ディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は10分以上かかる場合があります。
初期化できませんでした。	・ディスクを確かめて入れ直してください。
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・不要なタイトルを消去してください。
録画可能なディスクを挿入してください。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入し直してください。
ディスクが満杯なので録画できません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・空き容量のあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 ・不要なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯なので録画を停止しました。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・不要なタイトルを消去してください。
現在のBD 残時間では最後まで録画できない可能性があります。満杯まで録画します。	・空き容量が十分にあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 ・不要なタイトルを消去してください。
日付・時刻が設定されていません。日付・時刻を設定してください。	・時計合わせを行ってください。
選局・再生に失敗しました。チャンネルを切り換えてください。	・本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。(▶**210**ページ)状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター(▶**211**ページ)にご相談ください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
録画禁止になりましたので、録画を停止しました。	―――
このディスクは保護されています。	• ディスク保護を解除してから行ってください。
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「録画禁止」の番組は、録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は予約録画できません。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンフタ上の録画ボタンで、直接録画してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大16番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
録画できない番組のため、視聴予約にしました。	• 録画禁止の番組は予約録画できません。 • データ放送やラジオ放送は、録画できません。
この番組をBD録画予約しました。 (録画番組の連動データは、記録されません)	• 連動データを録画したい場合は、録画画質を「標準(DR)」「2倍」「3倍」のいずれかに設定してください。
BDドライブがはずれているため、視聴予約しました。	• 内蔵のBDドライブがはずれている可能性があります。販売店またはシャープお客様相談センター(▶**211**ページ)にご相談ください。

省エネの設定をする

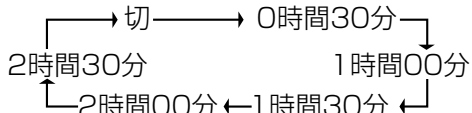
指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

● テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

オフタイマー を押す

繰り返し押してオフタイマーを設定する

・ボタンを押すごとに次のように画面の表示が変わります。

切 → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 → 切

・オフタイマーの残り時間が５分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

● メニューの「省エネ設定」ー「オフタイマー」を選び、時間を設定することもできます。

・オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマー を押す

オフタイマーの残り時間を確認する

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
・しばらくすると表示が消えます。
・残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

● 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「省エネ設定」ー「無信号オフ」を選ぶ

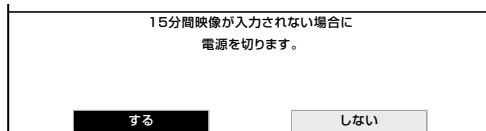
で選び

を押す

3 「する」を選ぶ

15分間映像が入力されない場合に
電源を切ります。

する　しない

で選び
を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
・電源が切れる５分前から画面左下に残り時間が表示されます。

おしらせ

無信号オフ機能について

・工場出荷時は「しない」に設定されています。
・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・入力６のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。（▶ **205** ページ）

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

- 操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 メニューを表示する

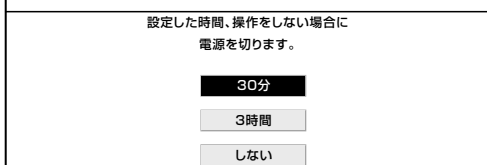
を押す

2 「省エネ設定」ー「無操作オフ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「30 分」または「3 時間」を選ぶ

で選び 決定 を押す

設定した時間、操作をしない場合に
電源を切ります。
30分
3時間
しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

パソコンをつないでいるときに省エネを設定する(パワーマネージメント)

- パソコン（PC）の画面が消えたときに自動的に本機の電源も切れるように設定できます。（パワーマネージメント）
- 「パワーマネージメント」は、入力 6 を選択しているときに選べます。

（例） パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 「入力 6」（PC 入力）を選ぶ

を押す

2 メニューを表示する

を押す

3 「省エネ設定」ー「パワーマネージメント」を選ぶ

で選び
を押す

4 「モード 1」を選ぶ

で選び
を押す

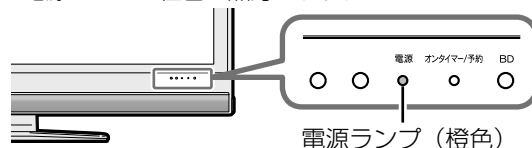
項目	内容
しない	パワーマネージメントを行いません。
モード 1	PC（パソコン）の画面が消えると、約 8 分後に自動的に電源が切れる機能です。電源が切れる 5 分前から、画面左下に残り時間が表示されます。 パワーマネージメント　残り　5分
モード 2	PC（パソコン）の画面が消えると、8 秒後に自動的に電源が切れる機能です。PC の映像信号が入力されると電源が入ります。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

パワーマネージメントを「モード 2」に設定しているときは

- パワーマネージメント状態になると、本体前面右下の電源ランプが橙色に点灯します。

電源ランプ（橙色）

- コンセントを抜くなどして本機の電源をしゃ断すると、電源を入れなおしても正常に動作しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタン（赤）を押してください。

本機のソフトウェアを更新するときは

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。
- お買いあげ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

- 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 メニューを表示する

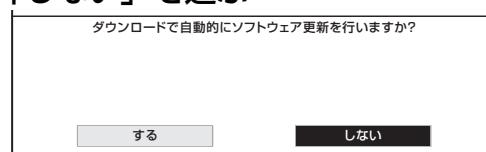
メニュー を押す

2 「デジタル設定」－「ダウンロード設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「しない」を選ぶ

で選び

決定 を押す

操作を終了する場合には、終了ボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

- 自動ダウンロードが「しない」の場合、受信メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードを行えます。

1 メニューを表示する

を押す

2 「お知らせ」－「受信メッセージ一覧」を選ぶ

で選び

を押す

3 「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

	受信日時	
未読	2/26［月］	ダウンロードのお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

で選び

決定
を押す

4 画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ

「メニュー」でダウンロード「しない」が
選択されています。
今回のみダウンロードをする場合は「実行」
を選択してください。

一覧へ　前へ　次へ　実行

で選び

を押す

5 画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」に
する事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。

する　しない

で選び

を押す

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
（お知らせを見る ▶ **208** ページ）

おしらせ

ダウンロードの可能な環境について
- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについて
- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定しなおしてください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン（赤）で、待機状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合、ダウンロードは実行されません。**

お知らせを見る

● 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、B-CAS カード番号などが確認できます。

項目	内容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 (地上アナログ放送視聴中、予約録画実行中は選べません。)
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。

- 未読の受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選ぶと、その受信機レポートが消去されます。

1 メニューを表示する

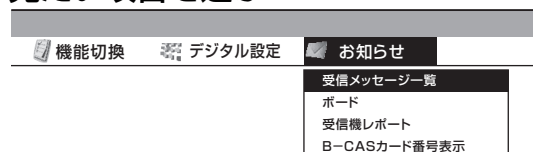
を押す

2 「お知らせ」を選ぶ

で選ぶ

3 見たい項目を選ぶ

で選び
決定 を押す

受信メッセージ一覧
ボード
受信機レポート
B−CASカード番号表示

- 項目によっては、この後ネットワーク(放送の種類)を選ぶ手順になります。

4 見たい情報を選ぶ

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

で選び
を押す

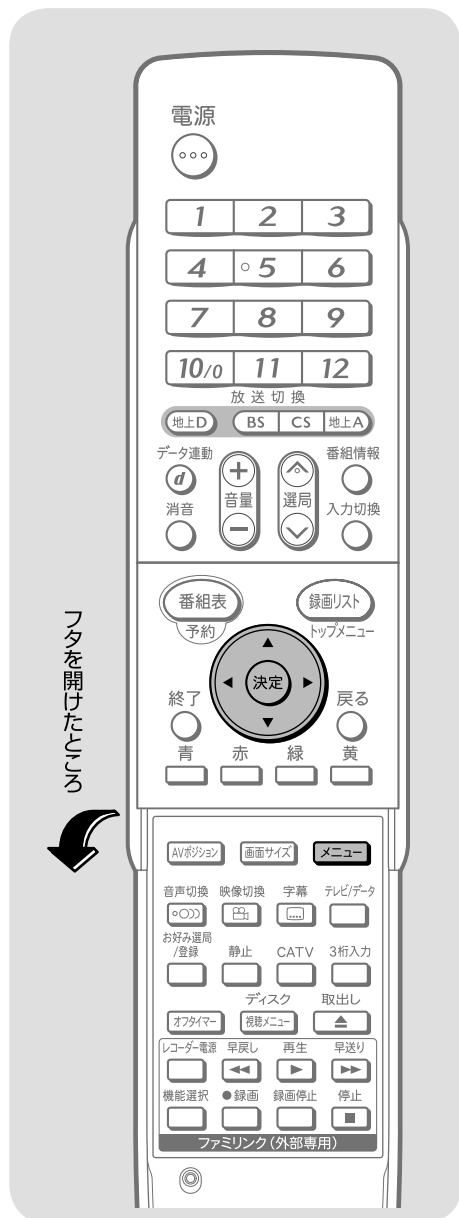
	受信日時	
未読	2/26[月]	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●

5 情報の内容を確認する

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選びます。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

で選び
を押す

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

重要

- お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、本体側のリモコン番号、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。** データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 メニューを表示する

メニュー を押す

2 「本体設定」－「個人情報初期化」を選ぶ

で選び

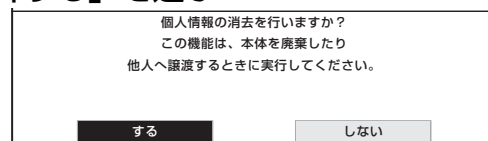
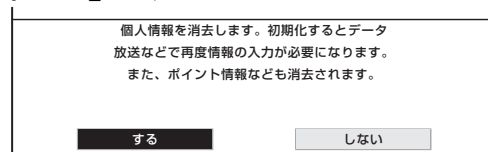
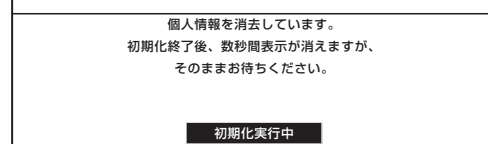
決定 を押す

3 「する」を選ぶ

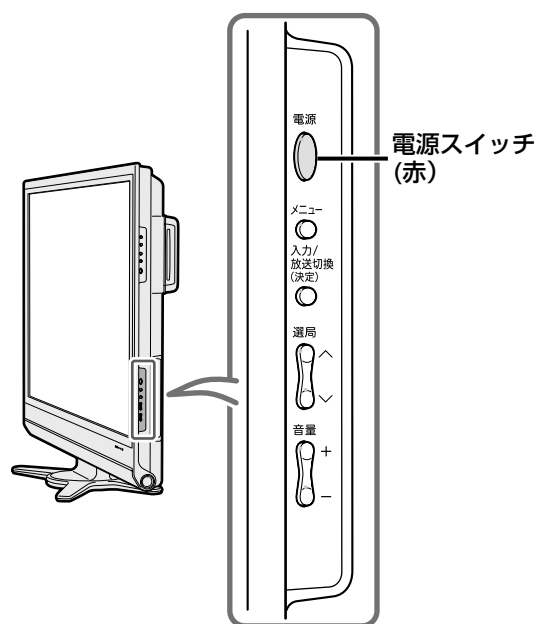
で選び

決定 を押す

4 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体の電源スイッチ（赤）を押してください。
- 初期化すると本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

本機の操作ができなくなったときは

● 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
このときは、本体の電源スイッチを押して、一旦電源を切った後、再度電源を入れてから、操作をやりなおしてください。
電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを５秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、電源スイッチを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

・ 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】
0120 - 001 - 251
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら」(▶ **190**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名:液晶カラーテレビ
- 形　　　名:LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

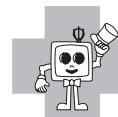
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

ご使用中止
故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類 ＼ 再生できる条件		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード Ⓐ または、Ⓐ を含む意味のもの 1層／2層	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-R	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3※	12cm盤	BDAVフォーマット	音声+映像（動画）
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク1層／2層	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW　DVD-R　DVD-R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD+RW, DVD+RW DL（2層） DVD+R, DVD+R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD-RAM［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7／9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット	音声+映像（動画）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声

• HDV 方式のディスクは、再生できない場合があります。
※ソニー製の 6 倍速対応ディスク（25GB）、パナソニック製の 6 倍速対応ディスク（25GB/50GB）での録画・再生が可能です。
BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。2008 年 10 月現在発売されておりません。

本機で再生できないディスク

• 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

ディスク	内容
BD ビデオ	• リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク） リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。
DVD ビデオ	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	• データが記録されていないディスク • 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク
HD DVD	• HD DVD 方式のディスクは再生できません。

ディスク	内容
CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽 CD フォーマット以外のフォーマットで記録されたディスクや、JPEG ファイルのデータが記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機で録画できるディスク

- 本機で録画に使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスク、BD-R Ver.1.1 ディスク、BD-R Ver.1.2 ディスク、BD-R Ver.1.2 LTH ディスク、BD-R Ver.1.3 ディスクです。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

ディスクの特長 ＼ ディスクの種類		Blu-ray Disc BD-RE（12cm 盤）※1	Blu-ray Disc BD-R（12cm 盤）※1
ディスクのバージョン		Ver.2.1（SL/1 層および DL/2 層）	Ver.1.1（SL/1 層および DL/2 層），Ver.1.2（SL/1 層および DL/2 層）Ver.1.2 LTH、Ver.1.3※4
繰り返し録画		○	×
追加録画		○	
放送を録画	録画可能の番組の録画	○	
	ダビング 10※3 の番組の録画	○	
	1 回だけ録画可能の番組の録画	○	
	録画禁止の番組の録画	×	
新品のディスクを使うとき		初期化が必要です。（自動で初期化されます。）	
再初期化		○	×
他の機器で録画したディスクを再生する		○※2	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質·音質の保証はいたしかねます。

※ 1 8cm 盤の BD-RE/BD-R は録画に使えません。
※ 2 BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
※ 3 ダビング 10 の番組は BD に録画すると、「1 回だけ録画可能」の番組として録画されます。オリジナルの映像は他の機器へダビングできません。
※ 4 ソニー製の 6 倍速対応ディスク（25GB）、パナソニック製の 6 倍速対応ディスク（25GB/50GB）での録画·再生が可能です。BD-R Ver.1.3 LTH ディスクは、本機ではご使用になれません。2008 年 10 月現在発売されていません。

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE（Ver.2.1/1x-2x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.2.1	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア

BD-R（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、LTH）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.1.1	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア
Ver.1.2	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア
Ver.1.2 LTH	太陽誘電（That’s）			

DVD ディスクの再生について

- 録画した機器でのファイナライズ処理が必要です。
- 他機で DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- 他機で DVD-R（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。（再生できない場合もあります。）
- 他機で録画した DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

- ▶ **112** ページをご覧ください。

本機で録画・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、CDG※、フォト CD、CD-ROM、CD-TEXT※、CD-EXTRA※、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）、DVD-RW（JPEG ファイル）、HD DVD

※ 音声のみ再生できます。

メニュー項目の一覧

テレビ、入力3～5選択時（入力1～2、入力6選択時については ▶216ページをご覧ください）

● ここでは、本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

機能切換

- BD設定
  - BD/DVD再生設定（▶**137•141•142•144**ページ）
    - 視聴制限レベル
      - 変更する
      - 初期化する
      - → DVD視聴制限レベル設定画面、BD視聴制限年齢設定画面、国コード設定画面へ
    - ディスク優先言語
      - 変更する
      - 初期化する
      - → 字幕言語設定画面、音声言語設定画面、メニュー言語設定画面へ
    - アングルマーク表示：する、しない
    - 音声レベル：標準、シフト
  - BD録画設定（▶**113•115**ページ）
    - 録画画質：標準(DR)、2倍、3倍、5倍
    - オートチャプター設定：しない、10分、15分、30分
  - ディスク管理（▶**145•148**ページ）
    - ディスク保護：保護する、保護解除
    - BD初期化：する、しない
  - BDビデオ初期化：する、しない
- ファミリンク設定（▶**158•159•165**ページ）
  - ファミリンク制御(連動)：する、しない
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：入力1、入力1(サブ)、入力2、入力2(サブ)
  - ジャンル連動設定 ※17：する、しない
  - 選局キー設定：入力1、入力2
- 入力選択 ※25：自動、D端子、S端子、ビデオ映像（▶**154**ページ）
- モニター音声出力端子設定：固定、可変（▶**169**ページ）
- ヘッドホン設定：モード1、モード2（▶**102**ページ）
- 字幕表示設定 ※9※10：する、しない（▶**85**ページ）
- 番組名表示設定 ※10：する、しない（▶**87**ページ）
- ゲーム時間表示設定※18：する、しない（▶**167**ページ）
- 映像オフ：する、しない（▶**99**ページ）
- オンタイマー設定※19（▶**89**ページ）
  - オンタイマー：切、入
  - オン時刻(時)
  - オン時刻(分)
  - オン入力：テレビ、入力1～6、ディスク
  - オンCH
  - 音量：0～60
- チャイルドロック：しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック（▶**177**ページ）
- 画面表示色設定：ブルー系、グレー系、レッド系、グリーン系（▶**99**ページ）
- 画面文字サイズ設定：標準、大きな文字（▶**98**ページ）
- 選局効果：する、しない

デジタル設定

- デジタル音声設定 ※30：PCM、ビットストリーム（▶**168**ページ）
- ダウンロード設定：する、しない（▶**206**ページ）
- 番組表設定 ※10（▶**82•83**ページ）
  - 番組表取得設定：する、しない
  - 表示方式設定：モード1、モード2
  - ジャンルアイコン設定：標準、薄く、注目
- 通信設定 ※30（▶**184•185•187•188**ページ）
  - LAN設定
    - IPアドレス設定：する、しない
    - DNS設定：する、しない
    - プロキシサーバー設定：する、しない
    - 詳細設定：する、しない
  - 電話回線設定ー自動
  - 電話回線設定ー手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
- 暗証番号設定 ※30：暗証番号設定画面（▶**176**ページ）
- 視聴年齢制限設定 ※10：無制限、XX歳以下（▶**177**ページ）
- 双方向サービス設定 ※30：電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない（▶**186**ページ）
- システム動作テスト：システム動作テスト画面（▶**186**ページ）

お知らせ（▶**207•208**ページ）

- 受信メッセージ一覧：受信メッセージ一覧画面
- ボード※9※11※31：ボード画面(CS1、CS2)
- 受信機レポート：受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示：B-CASカード番号表示画面

おしらせ

- 表中の※については▶ **217** ページのおしらせをご覧ください。

入力1～2（HDMI）、入力6（PC）選択時（記載以外の参照ページについては、▶214～215ページをご覧ください。）

映像調整※1 ※2

項目	設定
明るさセンサー	切、入、入:表示あり
明るさ	−16～標準～+16
映像	0～+40
黒レベル	−30～0～+30
色の濃さ	−30～0～+30
色あい ※3	−30～0～+30
画質※22	0～+15
プロ設定	→ 下記
リセット	する、しない

プロ設定

項目	設定
カラーマネージメント−色相	→ R / Y / G / C / B / M / リセット
カラーマネージメント−彩度	→ R / Y / G / C / B / M / リセット
カラーマネージメント−明度	→ R / Y / G / C / B / M / リセット
色温度	→ 低 / 中−低 / 中 / 高−中 / 高
QS駆動（120Hz）	アドバンス、スタンダード、しない
アクティブコントラスト	する、しない
ガンマ設定	モード1、モード2、モード3、モード4
I／P設定※4※21	動画より、静止画より
フィルムモード ※4※5※26	する、しない
3次元ノイズリダクション※20※28	しない、強、中、弱
モノクロ	する、しない
明るさセンサー設定	最大値設定:−16～0～+16、最小値設定:−16～0～+16

R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

低 / 中−低 / 中 / 高−中 / 高 →

Rゲイン	−30～0～+30
Gゲイン	−30～0～+30
Bゲイン	−30～0～+30
リセット	

音声調整※1 ※7 ※2 ※8

▶**214**ページと同じ

省エネ設定

項目	設定
無信号オフ ※22	する、しない
パワーマネージメント ※27	しない、モード1、モード2 （▶**205**ページ）
無操作オフ	30分、3時間、しない
オフタイマー	残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、切

本体設定

項目	下位項目	設定
かんたん初期設定※9		
視聴環境設定（音声）※7※8	ユーザー選択	
	部屋の種類	洋室、寝室、和室
	設置場所	壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
入力スキップ設定	入力1（HDMI）	する、しない
	入力2（HDMI）	する、しない
	入力6（PC）	する、しない
	地上アナログ（本体）	する、しない
	地上デジタル（本体）	する、しない
	BSデジタル（本体）	する、しない
	CSデジタル（本体）	する、しない
入力解像度 ※24※27		1024×768、1360×768 （▶**174**ページ）
自動同期調整 ※23		する、しない（▶**173**ページ）
入力表示選択 ※12		（自動）入力1、（自動）入力2、入力1、入力2、入力6、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ6、ビデオ、HDMI、HDMI1、HDMI2、RGB、DVD、ゲーム、HDD、DVR、BD、PC、ユーザー設定
位置調整 ※22	水平位置	調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
	垂直位置	調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
	リセット	
画面調整 ※23	水平位置	調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
	垂直位置	調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
	クロック周波数	0～+180
	クロック位相	0～+30
	リセット	
		（画面調整の各項目：▶**173**ページ）
オートワイド ※22	映像判別	する、しない
	HDMI識別	する、しない （▶**92**ページ）
映像反転		しない、左右反転
クイック起動設定		しない、する（常に有効）、する（2時間のみ有効）
Language（言語設定）		日本語、English
時計設定	時刻設定※16	時刻　時　分
	時刻表示	する、する（30分ごと）、しない
リモコン番号設定		リモコン番号1、リモコン番号2
個人情報初期化※31		する、しない

機能切換

項目	下位項目	設定
BD設定※31		▶**215**ページと同じ
ファミリンク設定	ファミリンク制御（連動）	する、しない
	連動起動設定	する、しない
	録画機器選択	入力1、入力1（サブ）、入力2、入力2（サブ）
	ジャンル連動設定 ※17	する、しない
	選局キー設定	入力1、入力2
入力音声選択※29		HDMIのみ、HDMI+音声入力端子、アナログRGBのみ、アナログRGB+音声入力端子（▶**174**ページ）
モニター音声出力端子設定		固定、可変
ヘッドホン設定		モード1、モード2
ゲーム時間表示設定※18		する、しない
映像オフ		する、しない
オンタイマー設定※19	オンタイマー	切、入
	オン時刻（時）	
	オン時刻（分）	
	オン入力	テレビ、入力1～6、ディスク
	オンCH	
	音量	0～60
チャイルドロック		しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック
画面表示色設定		ブルー系、グレー系、レッド系、グリーン系
画面文字サイズ設定		標準、大きな文字
選局効果		する、しない

デジタル設定

項目	設定
ダウンロード設定	▶**215**ページと同じ
システム動作テスト	▶**215**ページと同じ

お知らせ

▶**215**ページと同じ

おしらせ

※ 1　AV ポジションごとに設定できます。また、AV ポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※ 2　AV ポジションが「ダイナミック（固定)」になっているときは設定できません。
※ 3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 4　プログレッシブ信号入力時には選択できません。また PC 信号入力時も選択できません。
※ 5　AV ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 6　アナログ放送視聴時またはビデオ映像端子から入力された映像を表示しているときのみ選択できます。
※ 7　ヘッドホン設定が「モード 1」のときに、ヘッドホンが挿入されていると選択できません。
※ 8　「モニター音声出力端子設定」が「可変」に設定されているとき、またはファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定されているときは選択できません。
※ 9　予約録画実行中は選択できません。
※ 10 テレビ視聴時のみ表示されます。
※ 11 アナログ放送視聴時は選択できません。
※ 12 入力 1 ～ 6 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。また、選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 13 デジタル放送視聴時には選択できません。
※ 14 入力 5 選択時のみ表示されます。
※ 15 入力 3・4 選択時のみ表示されます。
※ 16 時刻が自動設定されているときは選択できません。
※ 17 ファミリンク対応の AQUOS オーディオが接続されていないときは選択できません。
※ 18 入力 1 ～ 6 選択時のみ表示されます。
※ 19 時刻が設定されていないときは時刻設定を行います。オンタイマー機能を使うためには時刻が設定されている必要があります。
※ 20 AV ポジションが「PC」のときは選択できません。
※ 21 入力 6 選択時は選べません。
※ 22 入力 1 ～ 2 選択時のみ表示されます。
※ 23 入力 6 選択時のみ表示されます。また、入力 6 に PC 信号が入力されているときのみ選択できます。
※ 24 入力 6 選択時に、入力信号の解像度が 1024 × 768 または 1360 × 768 のときに選択できます。
※ 25 入力 3 ～ 5 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。また、選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 26 入力信号が 1080i のときは選択できません。
※ 27 入力 6 選択時のみ表示されます。
※ 28 入力信号が 1080p のときは選択できません。
※ 29 入力 2 または入力6選択時のみ表示されます。
※ 30 テレビ視聴時およびディスク再生時のみ表示されます。
※ 31 ディスク再生時は表示されません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

おもな仕様について

項目		LC-52DX1	LC-46DX1	LC-42DX1	LC-37DX1
品名		液晶カラーテレビ			
形名		LC-52DX1	LC-46DX1	LC-42DX1	LC-37DX1
液晶パネル	画面サイズ	52V型 (横1152mm× 縦648mm／ 対角1322mm)	46V型 (横1018mm× 縦573mm／ 対角1168mm)	42V型 (横930mm× 縦523mm／ 対角1067mm)	37V型 (横819mm× 縦461mm／ 対角940mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式			
	画素数	1,920(水平)×1080(垂直) 画素			
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型(地上デジタル入力共用)、BS-IF 75Ω不平衡型			
スピーカー		6.5cm 丸型2個、2.0cm 丸型2個、 ウーファー(6.5cm丸型1個)		6.5cm 丸型2個、2.0cm 丸型2個	
音声実用最大出力(JEITA)		総合30W (7.5W+7.5W+15W)		総合20W (10W+10W)	
使用電源		AC100V·50/60Hz			
消費電力		312W(待機時電力: 0.1W、クイック起動 「する」時電力:37W)※1	273W(待機時電力: 0.1W、クイック起動 「する」時電力:37W)※1	241W(待機時電力: 0.1W、クイック起動 「する」時電力:37W)※1	212W(待機時電力: 0.1W、クイック起動 「する」時電力:37W)※1
年間消費電力量		• 区分名: BJJ • 受信機型サイズ: 52V • 年間消費電力量: 255kWh／年※1 [標準時※2]	• 区分名: BJJ • 受信機型サイズ: 46V • 年間消費電力量: 224kWh／年※1 [標準時※2]	• 区分名: BJJ • 受信機型サイズ: 42V • 年間消費電力量: 201kWh／年※1 [標準時※2]	• 区分名: BJJ • 受信機型サイズ: 37V • 年間消費電力量: 173kWh／年※1 [標準時※2]
接続端子		HDMI入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、S2映像入力1系統1端子、 ビデオ入力3系統3端子、 モニター音声出力1系統1端子、 アナログRGB(PC入力)端子、音声入力端子(入力2／入力6用)、 デジタル音声出力(光)1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル地上アナログ(VHF·UHF)端子、 アンテナ入力BS·110度CSデジタル端子、ヘッドホン接続端子、AC入力端子、 コントロール(RS-232C)端子、電話回線端子、LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)			
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch·UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATVパススルー対応)			
BS·110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2 (MP@HL)			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz			
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz			
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2 (MP@HL)			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz			
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯			
記録	録画可能ディスク※4	BD-RE Ver.2.1(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3※7			
記録 録画時間(デジタル放送)※3	標準(DR) BS/CSハイビジョン画質	約2時間10分(25GB時)、約4時間20分(2層50GB時)			
	標準(DR) 地上Dハイビジョン画質	約3時間(25GB時)、約6時間(2層50GB時)			
	標準(DR) 標準画質	約4時間20分(25GB時)、約8時間40分(2層50GB時)			
	2倍	約4時間20分(25GB時)、約8時間40分(2層50GB時)			
	3倍	約6時間30分(25GB時)、約13時間(2層50GB時)			
	5倍	約10時間50分(25GB時)、約21時間40分(2層50GB時)			
記録	連続可能録画時間	最大12時間			
記録 記録方式	映像	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264			
	音声	MPEG2 AAC			

<table>
<tr><td>再生</td><td colspan="2">再生可能ディスク</td><td colspan="4">BD-RE Ver.2.1※4(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、
BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.3(1層/2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、
BDビデオ(1層、2層)、DVDビデオ(1層、2層)、
DVD-RW(1層、2層)※5、DVD-R(1層、2層)※5、DVD-R DL(2層)※5、DVD+RW※6、
DVD+RW DL(2層)※6、DVD+R※6、DVD+R DL(2層)※6、
DVD-RAM(カートリッジから取り出せるもの)、
音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)</td></tr>
<tr><td>タイマー</td><td colspan="2">予約番組数</td><td colspan="4">16番組</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">外形寸法</td><td>ディスプレイ部のみ</td><td>幅1253×奥行125(最薄部90)×高さ825(mm)</td><td>幅1117×奥行125(最薄部90)×高さ753(mm)</td><td>幅1020×奥行125(最薄部90)×高さ675(mm)</td><td>幅913×奥行125(最薄部90)×高さ609(mm)</td></tr>
<tr><td>スタンド装着時</td><td>幅1253×奥行316×高さ898(mm)</td><td>幅1117×奥行316×高さ823(mm)</td><td>幅1020×奥行297×高さ742(mm)</td><td>幅913×奥行297×高さ674(mm)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">本体質量</td><td>ディスプレイ部のみ</td><td>約30.5kg</td><td>約25.5kg</td><td>約21.5kg</td><td>約21.0kg</td></tr>
<tr><td>スタンド装着時</td><td>約35.0kg</td><td>約30.0kg</td><td>約25.5kg</td><td>約23.5kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用温度</td><td colspan="4">5℃〜35℃</td></tr>
</table>

- ■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- ■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- ■ JIS C 61000-3-2適合品
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値ー高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。
- ■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- ■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。
- ■ あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

※1 ブルーレイディスク未挿入時
※2 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です。)
※3 録画可能時間は目安です。テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など(ビットレートの高い映像)が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。
※4 BD-RE Ver.1.0は本機では使用できません。
BD-RE Ver.2.1でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
※5 ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※6 ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※7 BD-R Ver.1.3 LTHディスクは、本機ではご使用になれません。2008年10月現在発売されていません。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

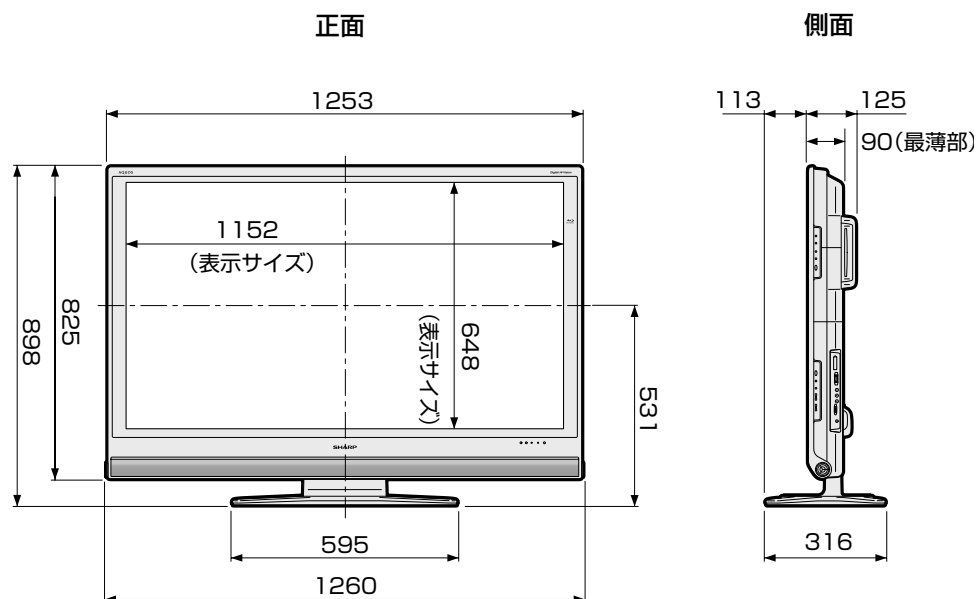
LC-52DX1／LC-46DX1／LC-42DX1用別売品(2008年10月現在)

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-52AG6
2	壁寄せスタンド	AN-52WS2
3	壁寄せスタンド(壁寄せスタンドオプションAN-52RS1が必要です。)	AN-52WS1
	壁寄せスタンドオプション	AN-52RS1

LC-52DX1／LC-46DX1／LC-42DX1の金具取付ピッチは400mmです。

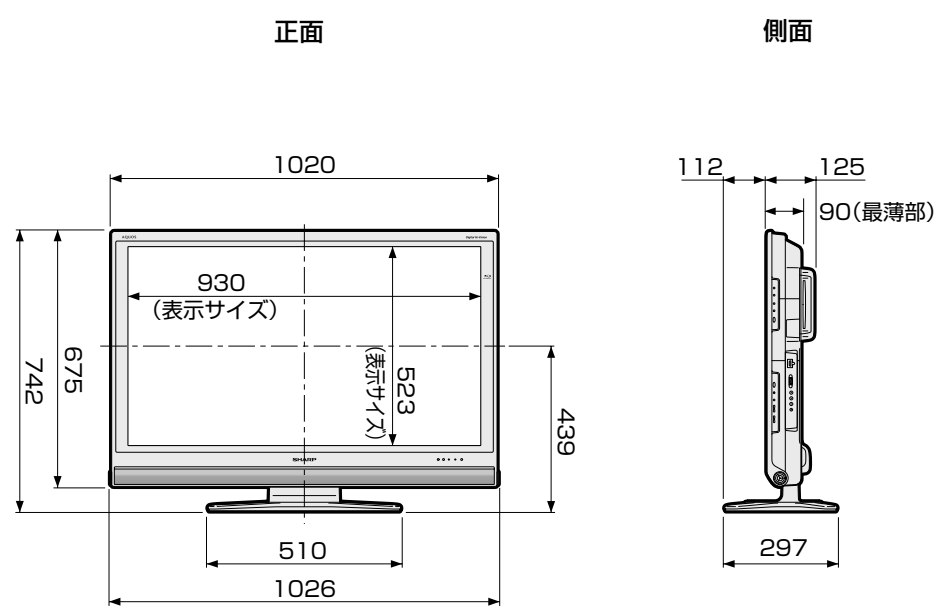
LC-37DX1用別売品(2008年10月現在)

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG4
2	壁掛け金具(垂直挿しアタッチメントAN-37P30が必要です。)	AN-37AG2※
	垂直挿しアタッチメント	AN-37P30
3	システムラック	TV120L

LC-37DX1の金具取付ピッチは300mmです。
※ AN-37AG2 をお持ちでない場合は、AN-37AG4のご使用をおすすめします。

LC-52DX1

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG6使用時

LC-46DX1

（単位：mm）

正面

1117
1018
（表示サイズ）
573
（表示サイズ）
823
753
494
595
1124

側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

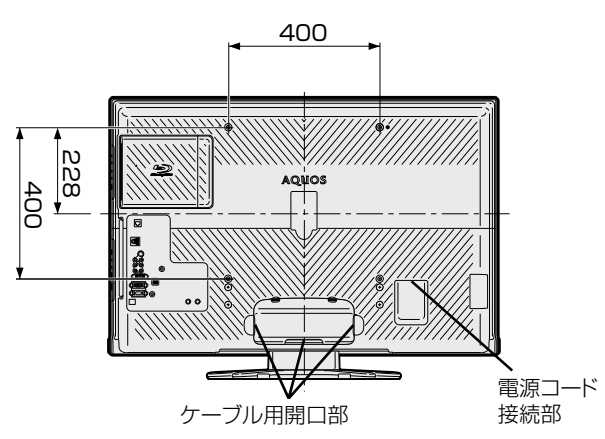
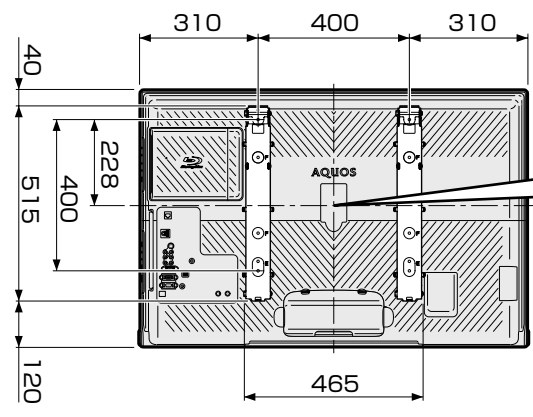
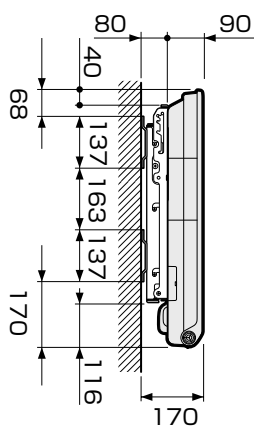
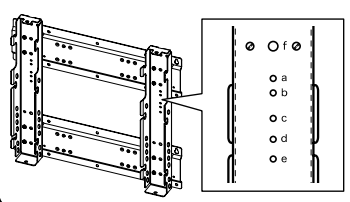
壁掛け金具AN-52AG6使用時

次のページに続く

LC-42DX1

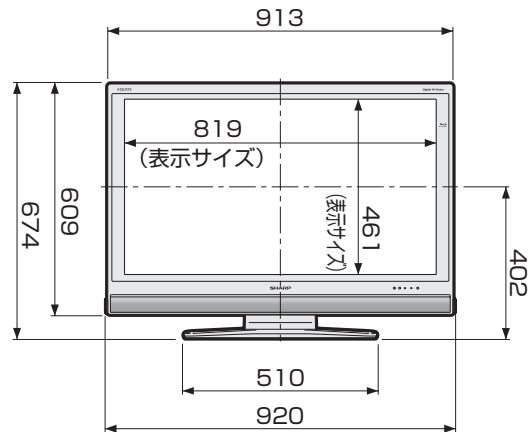
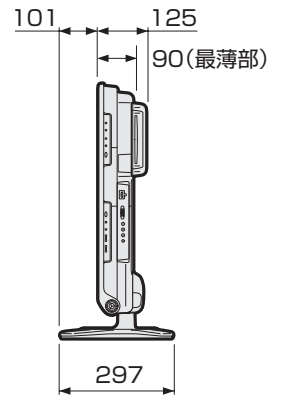
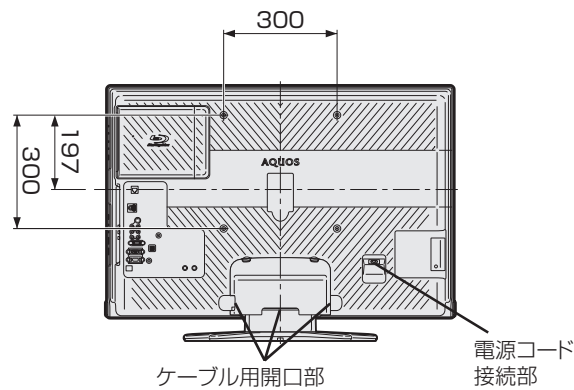
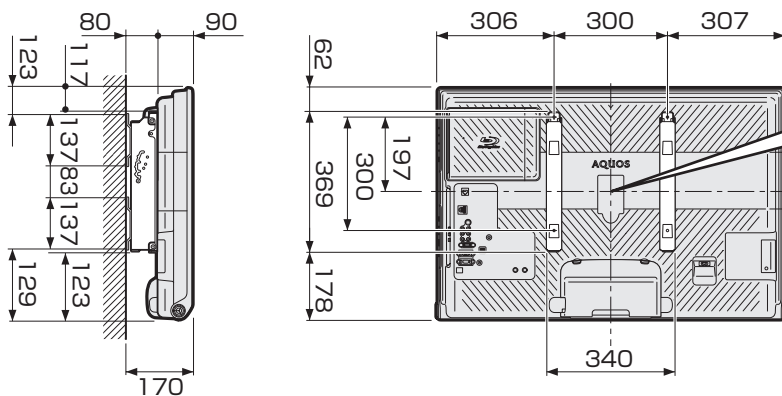
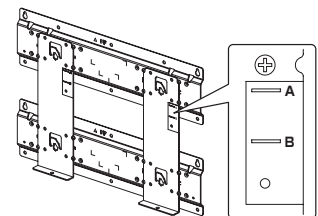
（単位：mm）

正面

側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-52AG6使用時

LC-37DX1

（単位：mm）

正面　　側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-37AG4使用時

壁に掛けて設置するには

スタンドをはずす
(LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1 の場合)

- 壁掛け設置をするときはディスクを取り出してから設置してください。
- 別売の壁掛け金具（AN-52AG6）で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）▶ **226** ページ）

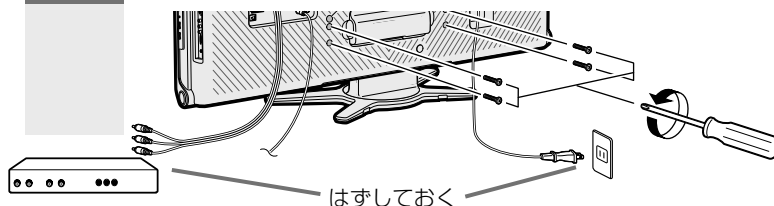
重 要

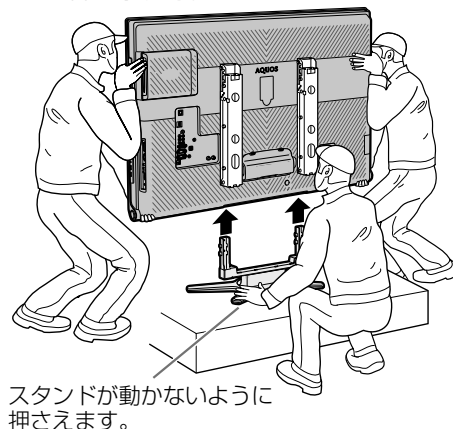
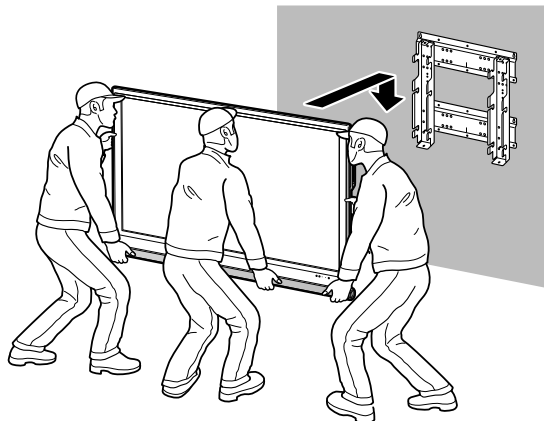
- 取付け方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

取り付け角度について
- 傾けて設置しないでください。
BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

準備する
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- 本体背面のキャップ（4 箇所）を取りはずしておきます。

1 スタンドのネジ（4 箇所）を取りはずす
- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

2 壁掛け金具ユニットを取り付ける
- 角度設定していない状態（0° 設定）で取り付けます。

3 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす
- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

スタンドをはずす（LC-37DX1 の場合）

- 別売の壁掛け金具（AN-37AG4、または AN-37AG2 と AN-37P30）で壁掛け設置する場合などは、スタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。
  （壁掛け設置のしかた
  （例） ▶ **226** ページ）

重 要

- 取付け方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

取り付け角度について

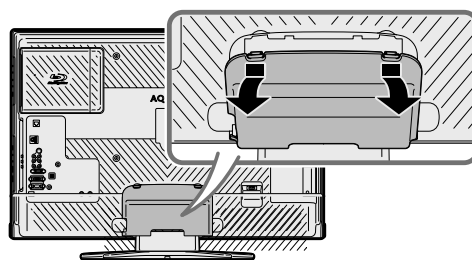
- 傾けて設置しないでください。
  BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

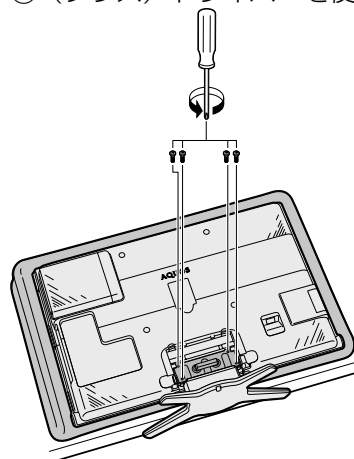
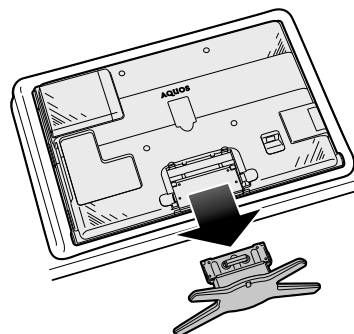
壁に掛ける前の準備

- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
  これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- 本体背面のキャップ（4 箇所）を取りはずしておきます。

1 テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に画面を下向きにして本機を置く

2 スタンドカバーを取りはずす

- 2 カ所のツメを押さえてはずします。

3 スタンドのジョイントアングル部のネジ（4 箇所）を取りはずす

- ⊕（プラス）ドライバーを使います。

4 スタンドを手前に引いて取りはずす

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。

壁掛け設置のしかた（例）

・この方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。
・くわしくは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

● 壁掛け設置をするときはディスクを取り出してから設置してください。
● 本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置することができます。その場合は、必ずスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす ▶ **224・225** ページ）

おしらせ

・壁掛け金具 AN-52AG6 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
・壁掛け金具 AN-52AG6 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。
・壁掛け金具 AN-37AG4 を取り付ける場合は、AN-37AG4 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
・壁掛け金具 AN-37AG2 を取り付ける場合は、壁掛け金具アタッチメント AN-37P30 が必要です。テレビとアタッチメントの取り付けには AN-37AG2 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）を、アタッチメントと壁掛け金具ユニットの取り付けには AN-37P30 に付属の金具取付用ねじⒶ（M6、長さ 10mm）をご使用ください。
・壁掛け金具 AN-37AG4、AN-37AG2 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

取り付け角度について

・傾けて設置しないでください。
BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができません。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける
・水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
・テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

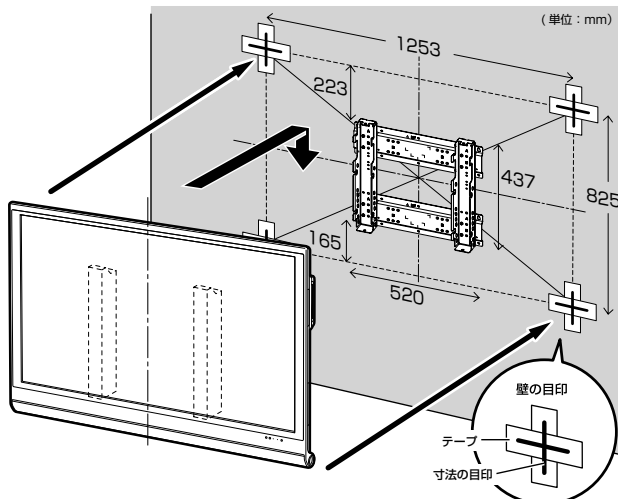
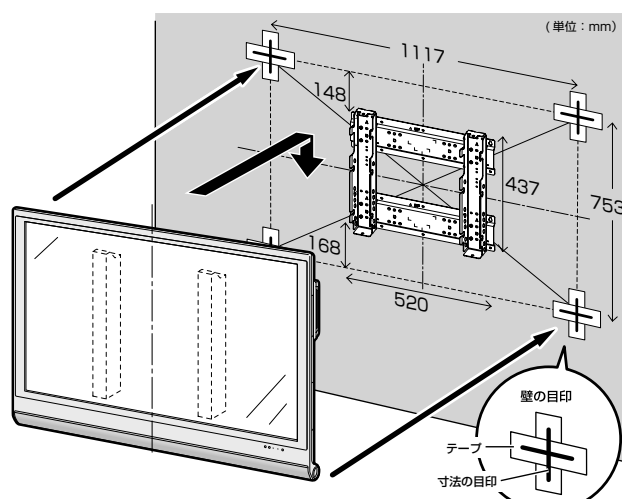
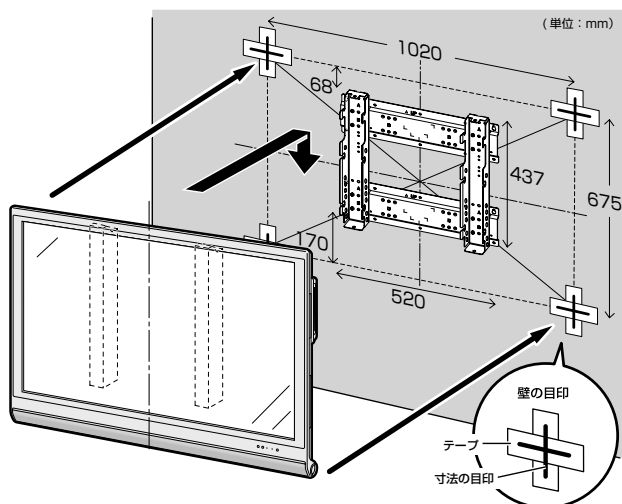
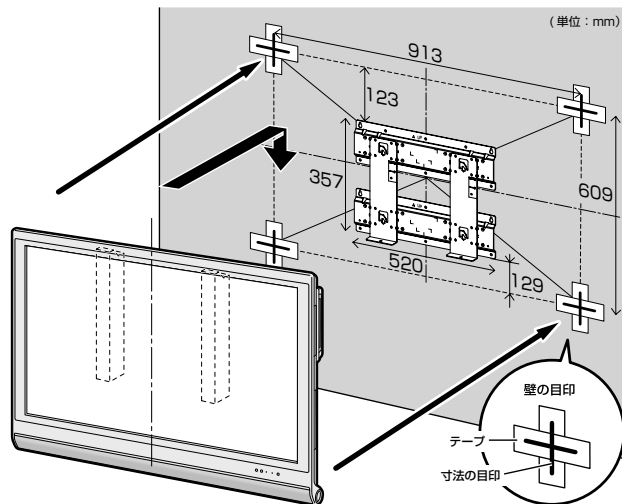
2 4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビのほぼ中心となる位置）に目印を付ける
・糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける
・下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

4 スタンドを外し、接続ケーブル類を踏まないように壁掛け金具に取り付ける
・壁掛け金具の取扱説明書に従って、本機を固定してください。

5 目印のテープ類を取り除く

6 本機につないでいる電源コードをコンセントにつなぐ
・録画機器などと接続するためのケーブルをつないでいるときは、そのケーブルを録画機器につなぐ

LC-52DX1
壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-46DX1
壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-42DX1
壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-37DX1
壁掛け金具 AN-37AG4 使用時

付属の保護カバーについて
（LC-52DX1 ／ LC-46DX1 ／ LC-42DX1 の場合）

● 壁掛け設置などで本機のスタンドを取り外した場合は、付属の保護カバーで底面の穴をふさいでください。

LC-52DX1／LC-46DX1 用
同じ形状の保護カバー 2 枚

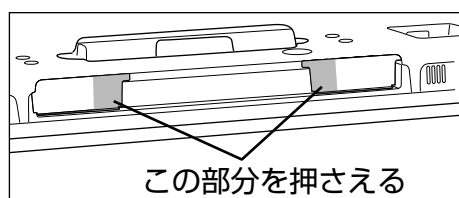
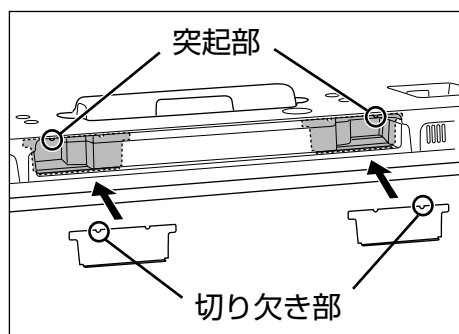
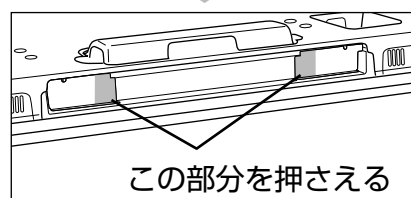
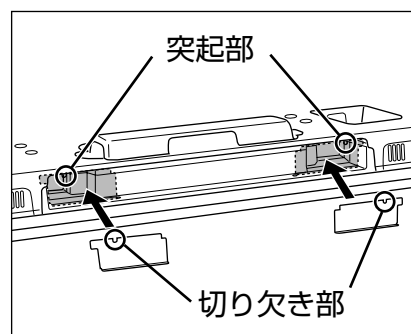
LC-42DX1 用
左右 1 枚ずつ

取り付け方
● あらかじめ柔らかい布などを敷き、本機を寝かせた状態で取り付けてください。

1 保護カバーのシールをはがす

2 保護カバーの切り欠き部と本体底面にある突起部の位置が合うように貼り付ける

3 グレーの部分を押さえて、保護カバーをしっかり貼り付ける

▼ LC-52DX1／LC-46DX1 本体底面
（スタンドを外した状態）

▼ LC-42DX1 本体底面
（スタンドを外した状態）

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkitにおける使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品にはEric Youngによって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。一部 LC フォントでないものも使用しています。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

・ linux kernel
・ modutils
・ glibc
・ DirectFB
・ OpenSSL
・ zlib

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS は、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS 2.0 + Digital Out は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc は商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

用語の解説

● 1ビットデジタルアンプ
シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。
１秒間に1228.8万回（12.288MHz）というCDの約278倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。
従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。

● 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

● 1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本（有効走査線 720 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、インターレース方式。 地上アナログ放送（VHF/UHF）と同等の画質です。

● 1080p（24Hz）
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ（24p信号）で撮影されています。

● 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

● AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声（5.1チャンネルサラウンドなど）にも対応できる方式です。

● ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

● AV
Audio Visual（またはAudio Video）の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。
テレビやビデオデッキ、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

● B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

● BD-R
本機で録画用として使用できるディスクです。一回だけ録画ができる、追記型のブルーレイディスクです。
また、BD-R Ver.1.1ディスクおよびBD-R Ver.1.2ディスクにはSL/1層とDL/2層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

● BD-RE
本機で録画用として使用できるディスクです。
繰り返し録画ができる、書き換え型のブルーレイディスクです。録画した番組を消去したり、録画済みのディスクを初期化することで、繰り返し録画ができます。
ディスクのバージョンにはVer.1.0、Ver.2.1があり、本機ではVer.2.1がご使用になれます。また、BD-RE Ver.2.1ディスクにはSL/1層とDL/2層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

● BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

● CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。
最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

● CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

● CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

● DL
デュアルレイヤーの略で、片面2層ディスクのことです。

● DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

● DVI（Digital Visual Interface）
コンピュータとディスプレイを接続するための標準規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

● D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

● EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。本機では、電子番組表から番組を選んで選局や予約録画をすることができます。

● HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

次のページに続く

● MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

● NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

● PCM(Pulse Code Modulation)
音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。本機とオーディオ機器をデジタル音声(光)端子で接続すると、音声をPCMとAACのどちらで出力するか設定できます。

● S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

● SL
シングルレイヤーの略で、片面1層ディスクのことです。

● インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、480本の有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

● 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

● お知らせ
BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

● オリジナル／プレイリスト
オリジナル
テレビ放送などを録画した映像(タイトル)を「オリジナル」と呼びます。
プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。(本機ではプレイリストは作成できません。)

● コピーガード(コピー制御信号)
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

● コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

● コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

● 再生リスト
再生できる番組が一覧で確認できる画面です。

● **視聴制限(パレンタルレベル)**
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

● **タイトルとチャプター、ディスク内の構成**
BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル(録画した番組)」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター(章・区切り)」という単位で構成されています。
タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- 録画リスト = もくじ

本機では、お好きな場所にチャプターマークをつけることはできません。

● **チャプター**
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

● **つづき再生**
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

● **地上デジタル放送**
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

● **ドルビーデジタル(5.1ch)**
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル(5.1ch)対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

● **ハイビジョン放送**
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

● **ビデオフォーマット**
DVDの録画方式のひとつです。本機で再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

● **ファイナライズ**
DVD-RW/-Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。
本機では、ディスクをファイナライズすることはできません。ファイナライズは録画した機器で行ってください。

● **プログレッシブ(順次走査)**
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

● **マルチアングル**
BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。(マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。)

● **マルチ音声**
デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

● **予約の書き込み機能**
BD-REに予約情報を書き込み、予約情報の書き込まれたディスクを挿入するだけで予約録画が行える機能です。

● **リージョンコード(再生可能地域番号)**
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

● **リニアPCM音声**
BD・DVD・音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

● **録画リスト**
録画した番組が一覧で確認できる画面です。

索引

本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、▶ 20 ～ 24 ページをご覧ください。

●英数字・記号

●あ行

●か行

●さ行

●た行

●な行

●は行

●ま行

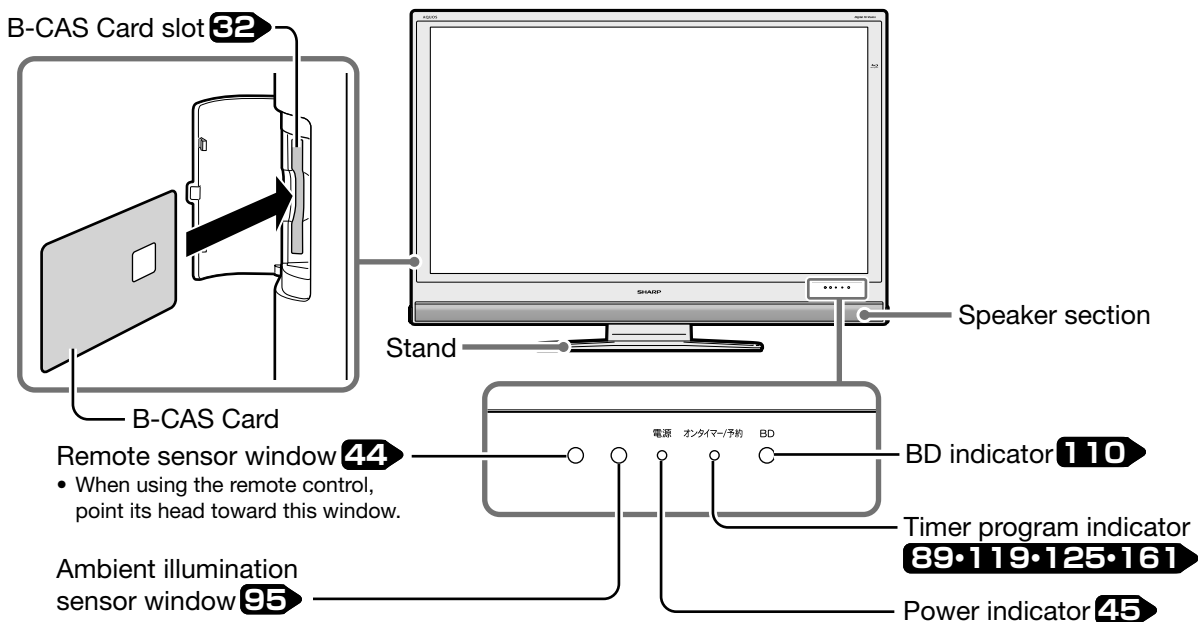
●や行

●ら行

●わ行

Part Names – Main Unit

● The number shown in each ➡ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle 35

- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Control panel

Right side view

Disc slot 110

BD REC 116

BD REC STOP 116

Disc PLAY 128

Disc STOP 128

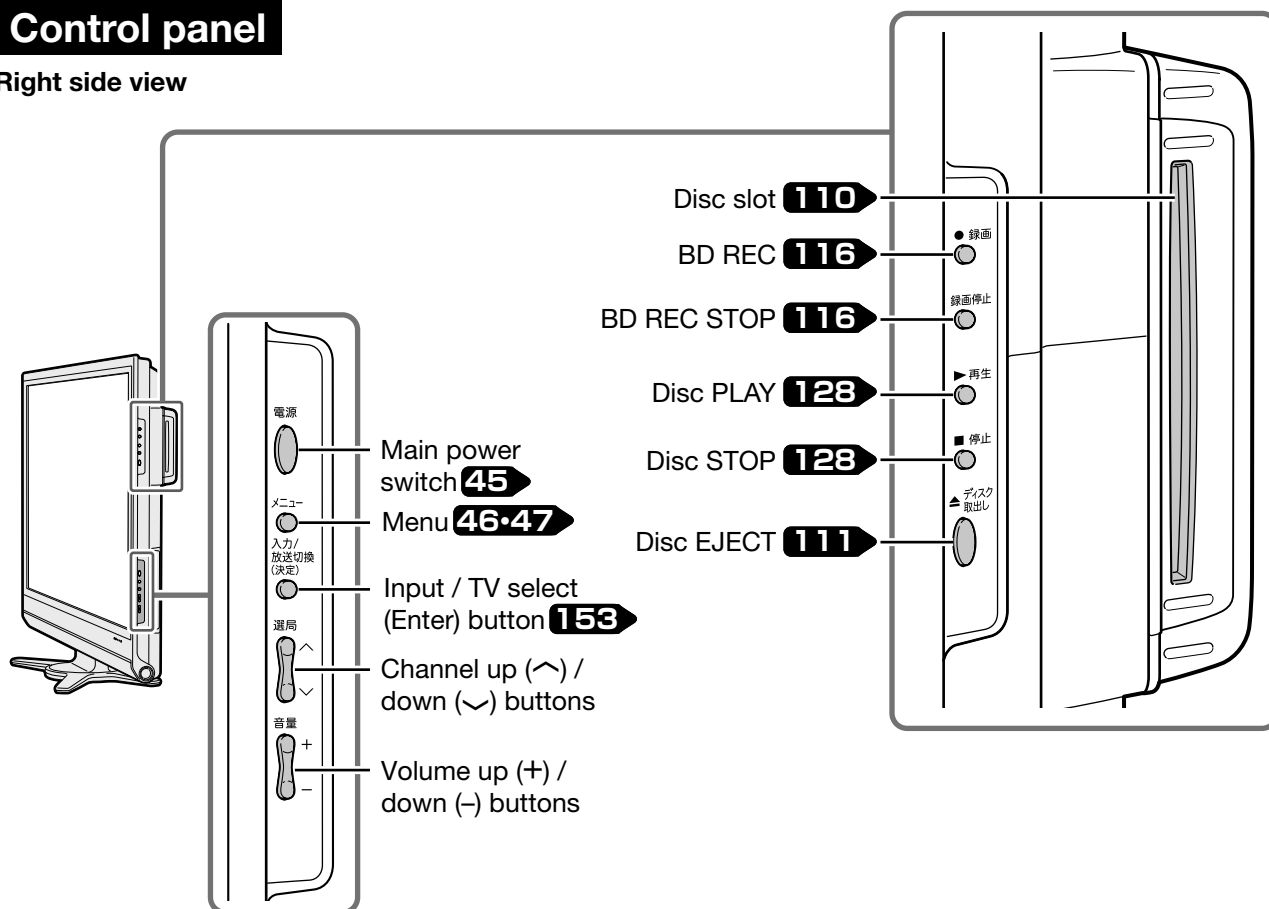
Disc EJECT 111

Main power switch 45

Menu 46•47

Input / TV select (Enter) button 153

Channel up (︿) / down (﹀) buttons

Volume up (+) / down (–) buttons

Back view

The illustrations below are those of LC-52DX1.
LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1 have almost the same layout of jacks and terminals as LC-52DX1.

▼LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX) 183

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1 (HDMI) 150~151・152・157・166・170

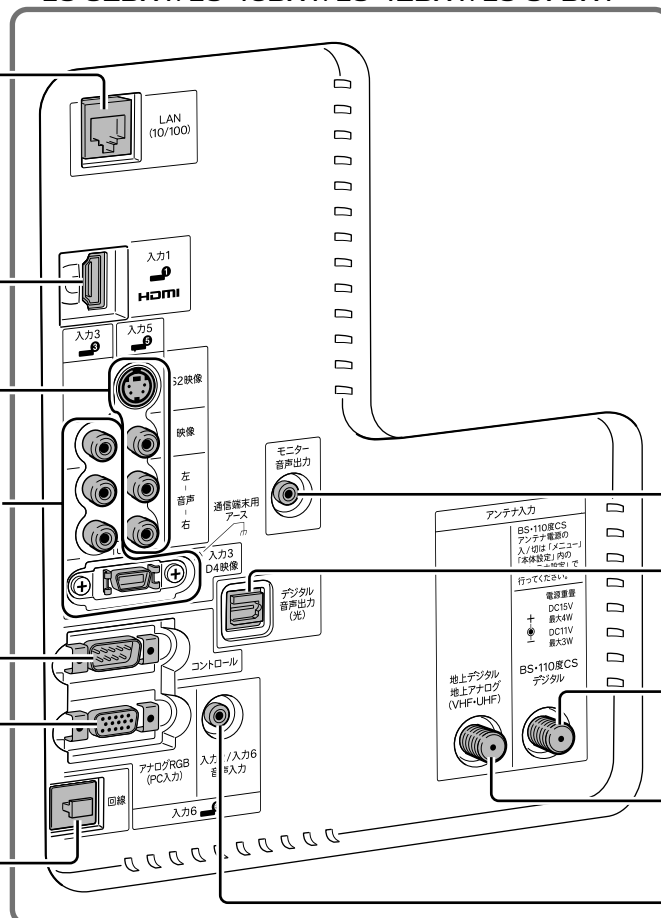
AV in 5 150~151・166

AV in 3 150~151・166

RS-232C 178

AV in 6 (PC) 171

Connect the telephone line

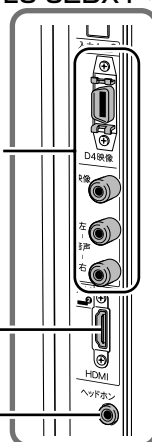
Telephone line jack 183

Monitor out (REC OUT) 169

Digital audio output jack (optical) 157・168

BS·CS 110 antenna input terminal 37~39

VHF·UHF antenna input terminal 36~39

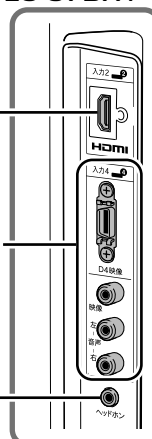
PC input (audio) 170~171

LC-52DX1▼

Connect a video game equipment, video camera, etc.

AV in 4 150~151・166

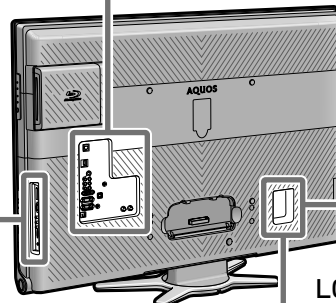
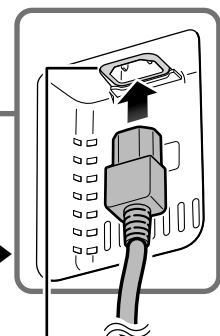
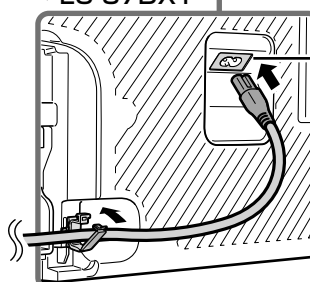
AV in 2 (HDMI) 150~151・152・157・166・170

Headphones jack

LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1▼

AV in 2 (HDMI) 150~151・152・157・166・170

AV in 4 150~151・166

Connect a video game equipment, video camera, etc.

Headphones jack

LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1 ▶

▼LC-37DX1

Connect the AC cord

AC cord connector (AC 100V) 41

The provided power connector may have different shape from that shown in the drawing.

Part Names – Remote Control Unit

See Page **72** for how to select a program.

Active/Standby 45
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

Channel select 73
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

Terrestrial analog/Terrestrial Digital/BS/CS 72
Select the CS digital channel for the first time. 51

Linked data broadcast 76 • 88 • 136

Mute 73
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Volume up (+)/down (–) 73
Press to adjust the volume.

EPG 78 • 80 • 118 • 161
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.
Select a future program in EPG to set a timer program.

Finish 46
Press to finish menu operation, etc.
* This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Other on-air programs 79
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組).

Display 74
Press to display or turn off the channel call, etc.

Playback programs recorded on a disc 128
Fast forward, rewind, etc. during playback 134~135

電源
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換
地上D BS CS 地上A
データ連動 番組情報
消音 音量 選局 入力切換
番組表 予約 録画リスト トップメニュー
終了 決定 戻る
青 赤 緑 黄
(ポップアップ)メニュー
画面表示 裏番組 BD状態
早戻し 再生 早送り
前 次
一時停止
10秒戻し 30秒送り
停止
録画 録画停止

Program info 87

Input select 153

Channel up (∧)/down (∨) 73
Press to select channels in the current network, media and CATV channels in the ascending or descending order.
* CATV channels are factory set to be skipped.

List the programs recorded on a BD 129
Display the Top Menu of the disc 131

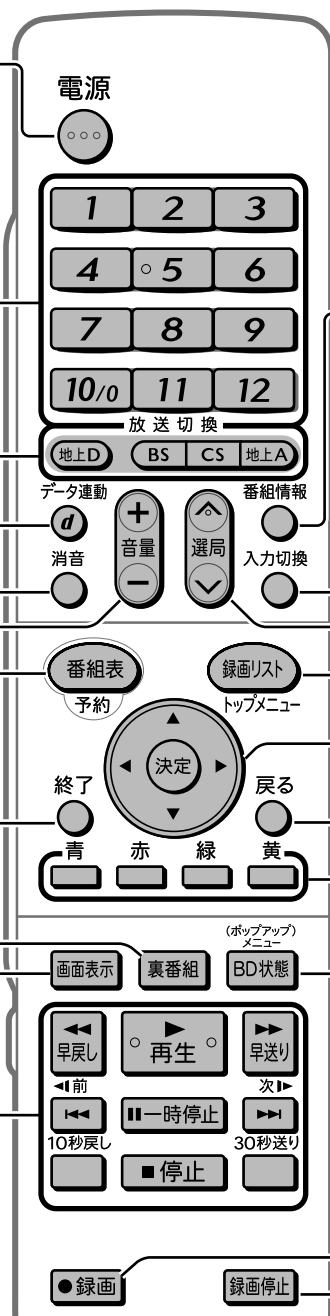
Cursor (up, down, left, right) 46
Enter/Confirm 46

Return 46

Color 80~81 • 88
Use to operate EPGs and data program screens.

View status of the BD 124
Display the Pop-up Menu (BD) or Disc Menu (DVD) 131

REC 116

REC STOP 116

Buttons under the cover
Hold the cover by the projections ( ) and lift.

AV mode select 93

Audio select 84 • 85 • 136
Picture select 85 • 137
Caption 85 • 136

Favorite channel select/register 75

Freeze 86

Display the Playback Menu 138

Sleep timer 204

Screen mode 90 • 172

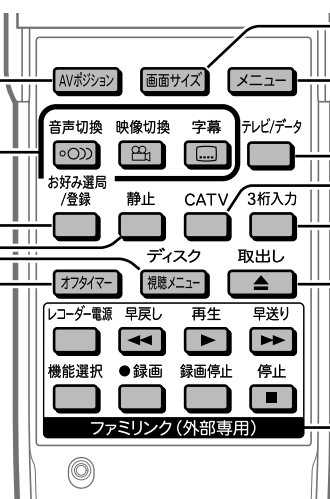
Menu 46
Press to display or turn off the menu screen.

Media select (TV/data) 72

CATV 76

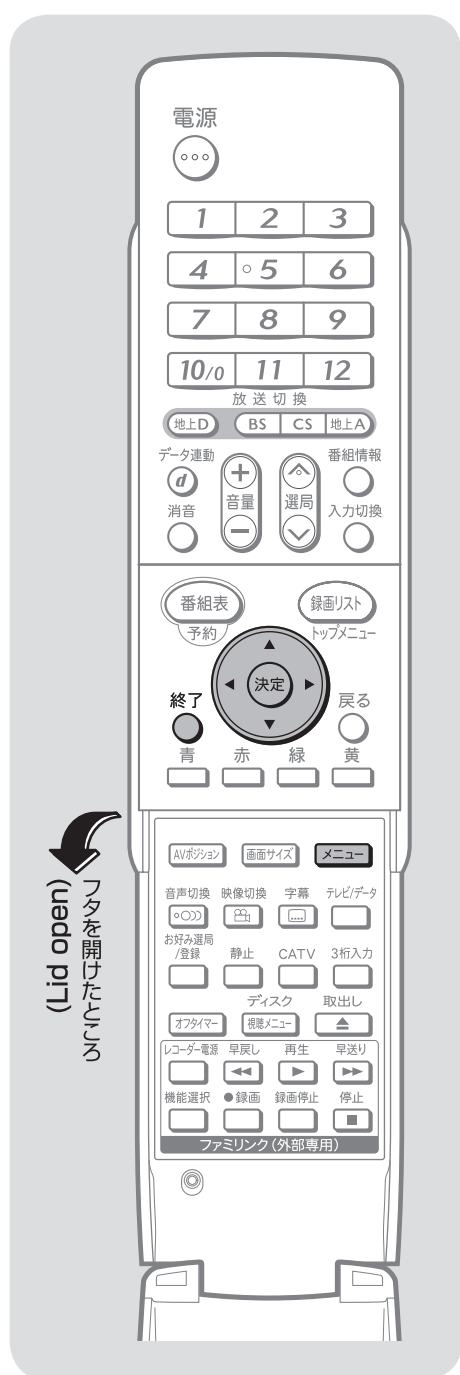
Digital channel number input 75

Eject the disc 111

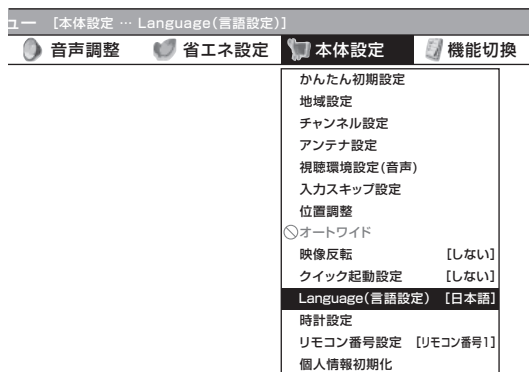
Familink 160 • 162~165
Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

Switching the Display Language to English
メニューなどの言語を英語にする

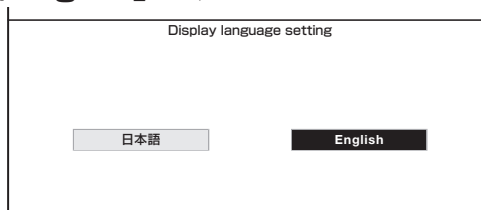
はじめに
準備
番組を見る
BDレコーダー機能で録画・再生
レコーダー・プレーヤー・パソコンなどにつなぐ
ファミリンクで録画・再生
本機の機能の活用
故障かな・仕様・寸法図など
English Guide

- Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

メニューなどの画面表示を英語にすることができます。

1 Display the menu screen.
メニューを表示する

Press
2 Select “本体設定” (Setup) ー “Language (言語設定)” and Enter.

「本体設定」ー「Language（言語設定）」を選ぶ

Select with
Press
3 Select “English” and Enter.

「English」を選ぶ

Select with
Press
- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

4 Finish this operation.

終了する

Press 終了

誤ってメニューを英語にしてしまったときは

- メニューから「Setup」ー「言語設定(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-52DX1/LC-46DX1/LC-42DX1/LC-37DX1

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切ってください。

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などはパソコンから検索できます

パソコン

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696

〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　(年末年始を除く)

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2008.8)

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINS-D917WJZZ④
08P10-JA-OK